

**船橋市高齢者生活実態調査
報告書**

平成 29 年 3 月

船 橋 市

目次

第1章 調査実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査地区	2
4. 配布・回収の状況	3
5. 回答者の基本属性	3
6. 表章上の留意点	4
第2章 高齢者基本調査	5
問1 あなたのご家族や生活状況について	5
問2 お住まいの地域について	18
問3 住環境について	19
問4 からだを動かすことについて	29
問5 食べることについて	36
問6 毎日の生活について	38
問7 地域での活動について	44
問8 たすけあいについて	52
問9 健康について	56
問10 介護予防・介護サービスの利用意向について	61
問11 高齢者福祉サービスの充実について	65
第3章 要介護高齢者調査	71
問1 あなたのご家族や生活状況について	71
問2 お住まいの地域について	76
問3 住環境について	77
問4 健康について	82
問5 要介護認定・介護保険サービス等について	90
問6 介護者について	96
問7 介護保険についてのお考え・ご意見	104
第4章 ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査	115
問1 あなたのご家族や生活状況について	115
問2 お住まいの地域について	128
問3 住環境について	128
問4 からだを動かすことについて	136
問5 食べることについて	143
問6 毎日の生活について	145
問7 地域での活動について	151
問8 たすけあいについて	159
問9 健康について	163

問 10 介護予防・介護サービスの利用意向について	168
問 11 高齢者福祉サービスの充実について	172
第 5 章 若年調査	178
問 1 あなたのご家族や生活状況について	178
問 2 お住まいの地域について.....	182
問 3 住環境について	182
問 4 健康について	187
問 5 地域での活動について	191
問 6 介護や高齢者施策などについて.....	197
第 6 章 調査結果の総括	206
1. 住まい	206
2. 予防	207
3. 生活支援.....	208
4. 介護	209
5. 医療	211
資料編	213
調査票別の調査項目一覧	214
調査票（高齢者実態調査）	217
調査票（要介護高齢者調査）	237
調査票（ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査）	257
調査票（若年調査）	277

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

本調査は、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の平成30年3月の策定に向け、市内の高齢者などの生活実態や健康状態、介護保険および保健福祉サービスなどに関するニーズを把握し、今後の高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用することを目的とする。

2. 調査の対象

(1) 調査地域 船橋市全域

(2) 調査対象

本調査は、対象者別に次の4種類のアンケート調査を、無記名式で実施した。

①高齢者基本調査	市内在住の65歳以上の高齢者から、要介護認定者（要介護1～5）、ひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯の者を除いた10,000人を抽出	郵送配付・ 郵送回収
②要介護高齢者調査	市内在住の65歳以上の高齢者から、要介護認定（要介護1～5）を受けている10,000人を抽出	郵送配付・ 郵送回収
③ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみ世帯調査	市内在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者または高齢者のみ世帯の者から、要介護認定者（要介護1～5）を除いた1,000人を抽出	訪問による聞き取り調査 (一部郵送回収)
④若年調査	市内在住の40～64歳の市民から、1,000人を抽出	郵送配付・ 郵送回収

※「①高齢者基本調査」「②要介護高齢者調査」の対象者は、24地区コミュニティ別の介護保険第1号被保険者数の人口比で抽出した。

※「③ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査」「④若年調査」の対象者は、日常生活圏域（5圏域）別の介護保険第1号被保険者数の人口比で抽出した。

3. 調査地区

日常生活圏域 (行政コミュニティ)	地区 コミュニティ	構成町丁目
南部	宮本	宮本1～9丁目、市場1～5丁目、東船橋1～7丁目、東町、駿河台1～2丁目
	湊町	本町3丁目、湊町1～3丁目、浜町1～3丁目、若松1～3丁目、日の出1～2丁目、西浦1～3丁目、栄町1～2丁目、潮見町、高瀬町
	本町	本町1～2丁目、本町4～7丁目
	海神	南本町、海神1～6丁目、海神町2～3丁目、海神町東1丁目、海神町西1丁目、海神町南1丁目、南海神1～2丁目
西部	葛飾	山野町、印内町、葛飾町2丁目、本郷町、古作町、古作1～4丁目、西船1～7丁目、印内1～3丁目、東中山1～2丁目
	中山	二子町、本中山1～7丁目
	塚田	旭町、行田町、行田1～3丁目、山手1～3丁目、北本町1～2丁目、前貝塚町、旭町1～6丁目
	法典	丸山1～5丁目、上山町1～3丁目、馬込町、馬込西1～3丁目、藤原1～8丁目
中部	夏見	夏見1～7丁目、夏見町2丁目、夏見台1～6丁目、米ヶ崎町
	高根・金杉	高根町、金杉町、金杉1～9丁目、金杉台1～2丁目、緑台1～2丁目
	高根台	高根台1～6丁目
	新高根・芝山	芝山1～7丁目、新高根1～6丁目、高根台7丁目
東部	前原	前原東1～6丁目、前原西1～8丁目、中野木1～2丁目
	二宮・飯山満	二宮1～2丁目、飯山満町1～3丁目、滝台町、滝台1～2丁目
	薬円台	薬円台1～6丁目、薬園台町1丁目、七林町
	三山・田喜野井	三山1～9丁目、田喜野井1～7丁目、習志野1～5丁目
	習志野台	習志野台1～8丁目、西習志野1～4丁目、習志野台4丁目 (住居表示実施外)
北部	二和	二和東1～6丁目、二和西1～6丁目
	三咲	三咲町、三咲1～9丁目、南三咲1～4丁目
	八木が谷	八木が谷町、咲が丘1～4丁目、みやぎ台1～4丁目、八木が谷1～5丁目、高野台1～5丁目
	松が丘	松が丘1～5丁目
	大穴	大穴町、大穴南1～5丁目、大穴北1～8丁目
	豊富	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町
	坪井	坪井町、坪井東1～6丁目、坪井西1～2丁目

4. 配布・回収の状況

各アンケート調査の配布・回収の状況は次のとおりである。

アンケート種類	配布数	有効回収数	有効回収率
①高齢者基本調査	10,000	5,969	59.7%
②要介護高齢者調査	10,000	4,992	49.9%
③ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみ世帯調査	1,000	811	81.1%
④若年調査	1,000	416	41.6%

5. 回答者の基本属性

◇ 性別

項目	高齢者基本調査		要介護高齢者調査		ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみ世帯調査		若年調査	
	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	3,066	51.4	1,843	36.9	360	44.4	198	47.6
女性	2,850	47.7	3,023	60.6	450	55.5	214	51.4
無回答	53	0.9	126	2.5	1	0.1	4	1.0
合計	5,969	100.0	4,992	100.0	811	100.0	416	100.0

◇ 年齢

項目	高齢者基本調査		要介護高齢者調査		ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみ世帯調査		若年調査	
	人	%	人	%	人	%	人	%
40～44歳							84	20.2
45～49歳							93	22.4
50～54歳							88	21.2
55～59歳							72	17.3
60～64歳							75	18.0
65～69歳	2,330	39.0	270	5.4	189	23.3		
70～74歳	1,551	26.0	509	10.2	232	28.6		
75～79歳	1,135	19.0	850	17.0	213	26.3		
80～84歳	662	11.1	1,228	24.6	118	14.5		
85歳以上	278	4.7	2,083	41.7	56	6.9		
無回答	13	0.2	52	1.0	3	0.4	4	1.0
合計	5,969	100.0	4,992	100.0	811	100.0	416	100.0

◇ 要介護等の認定状況

項目	高齢者基本調査		要介護高齢者調査		ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査		若年調査			
	人	%	人	%	人	%	人	%		
認定は受けていない	5,472	91.7	/	/	747	92.1	/	/		
総合事業※対象者	32	0.5			1	0.1				
要支援1	114	1.9			18	2.2				
要支援2	102	1.7			17	2.1				
要介護1	/	/			1,452	29.1			/	/
要介護2					1,373	27.5				
要介護3					838	16.8				
要介護4					570	11.4				
要介護5					452	9.1				
無回答	249	4.2			307	6.1			28	3.5
合計	5,969	100.0	4,992	100.0	811	100.0				

※介護予防・日常生活支援総合事業

◇ 日常生活圏域（5区分）

項目	高齢者基本調査		要介護高齢者調査		ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査		若年調査	
	人	%	人	%	人	%	人	%
南部	874	14.6	793	15.9	117	14.4	77	18.5
西部	1,141	19.1	912	18.3	164	20.2	101	24.3
中部	971	16.3	780	15.6	132	16.3	53	12.7
東部	1,592	26.7	1,363	27.3	211	26.0	121	29.1
北部	1,281	21.5	1,036	20.8	177	21.8	59	14.2
無回答	110	1.8	108	2.2	10	1.2	5	1.2
合計	5,969	100.0	4,992	100.0	811	100.0	416	100.0

6. 表章上の留意点

- ◇構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100（%）にならない場合がある。
- ◇集計結果の「n=」の値は、当該設問の回答数を表す。
- ◇「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査」は住民基本台帳からひとり暮らし及び高齢者のみ世帯を抽出したため、実態として家族と同居している人が含まれる。

第2章 高齢者基本調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

記入者については、「あて名のご本人が記入」70.2%、「ご家族が記入」4.2%であった。

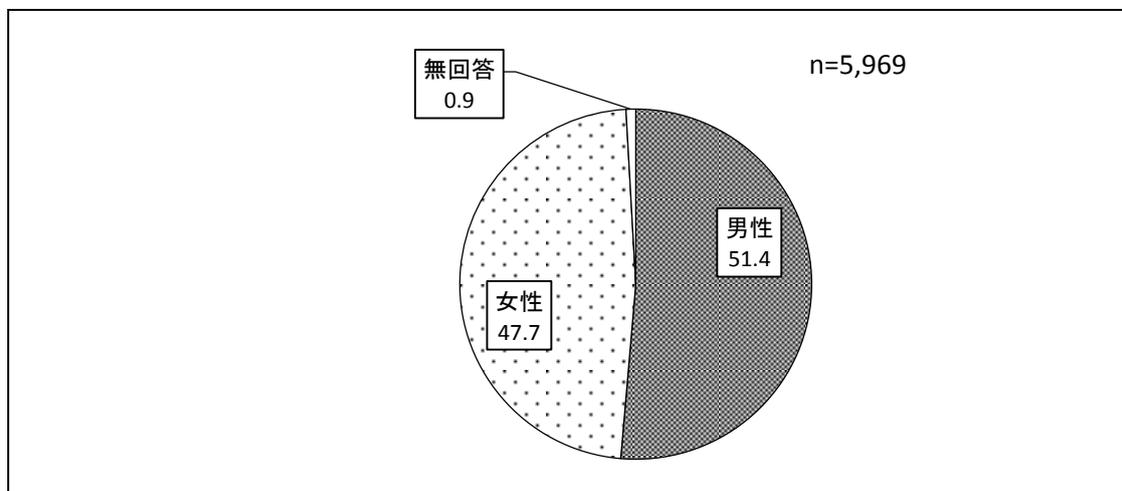
単位：%

	あて名のご本人が 記入	ご家族が記入	その他	無回答
全体(n=5969)	70.2	4.2	0.0	25.6
65～69歳(n=2330)	75.7	3.0	0.0	21.2
70～74歳(n=1551)	70.1	2.5	0.0	27.5
75～79歳(n=1135)	66.9	4.1	0.0	29.0
80～84歳(n=662)	63.0	8.3	0.2	28.5
85歳以上(n=278)	57.2	13.3	0.0	29.5

問1 あなたのご家族や生活状況について

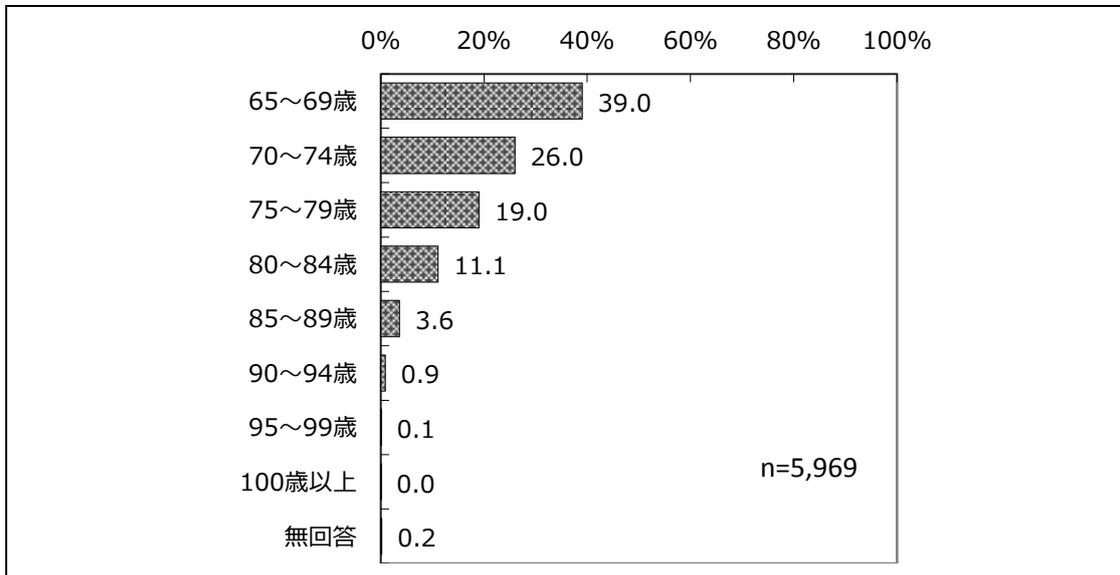
問1（1）あなたの性別をお教えてください（○は1つ）

性別については、「男性」51.4%、「女性」47.7%であり、若干男性が多かった。



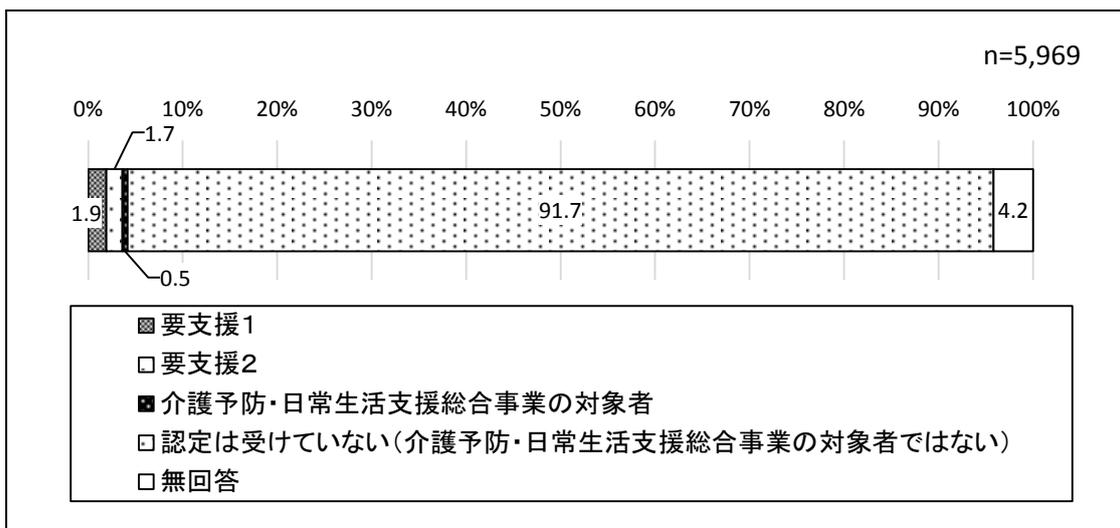
問1（2）あなたの年齢をお教えてください（○は1つ）

年齢については、「65～69歳」39.0%が最も多く、次いで「70～74歳」26.0%、「75～79歳」19.0%であった。



問1（3）あなたの現在の要介護度等はどれですか（○は1つ）

要介護度については、「認定は受けていない（介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ではない）」91.7%が最も多く、次いで「要支援1」が1.9%、「要支援2」が1.7%であった。



問1 (4) 家族構成をお教えてください (〇は1つ)

家族構成については、「息子・娘との2世帯」18.8%が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」17.4%、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)11.9%であった。これを年齢別にみると、「息子・娘との2世帯」では、年齢が上がるほど割合が大きくなる傾向が見られた。

単位：%

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
全体(n=5969)	1.8	17.4	11.9	18.8	48.1	2.0
65~69歳(n=2330)	1.2	17.6	22.3	15.8	42.3	0.9
70~74歳(n=1551)	1.9	19.6	7.7	17.1	51.7	1.9
75~79歳(n=1135)	2.0	18.3	4.0	22.4	50.6	2.7
80~84歳(n=662)	3.2	13.3	3.5	22.1	54.5	3.5
85歳以上(n=278)	1.8	9.7	1.4	32.7	52.5	1.8

問1 (5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (〇は1つ)

普段の生活における介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」90.1%が最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」5.7%、「現在、何らかの介護を受けている」3.0%であった。これを年齢別にみると、65~69歳では介護・介助の必要がない人が大半であったが、85歳以上では37.1%の人が何らかの介護・介助が必要な状況であった。

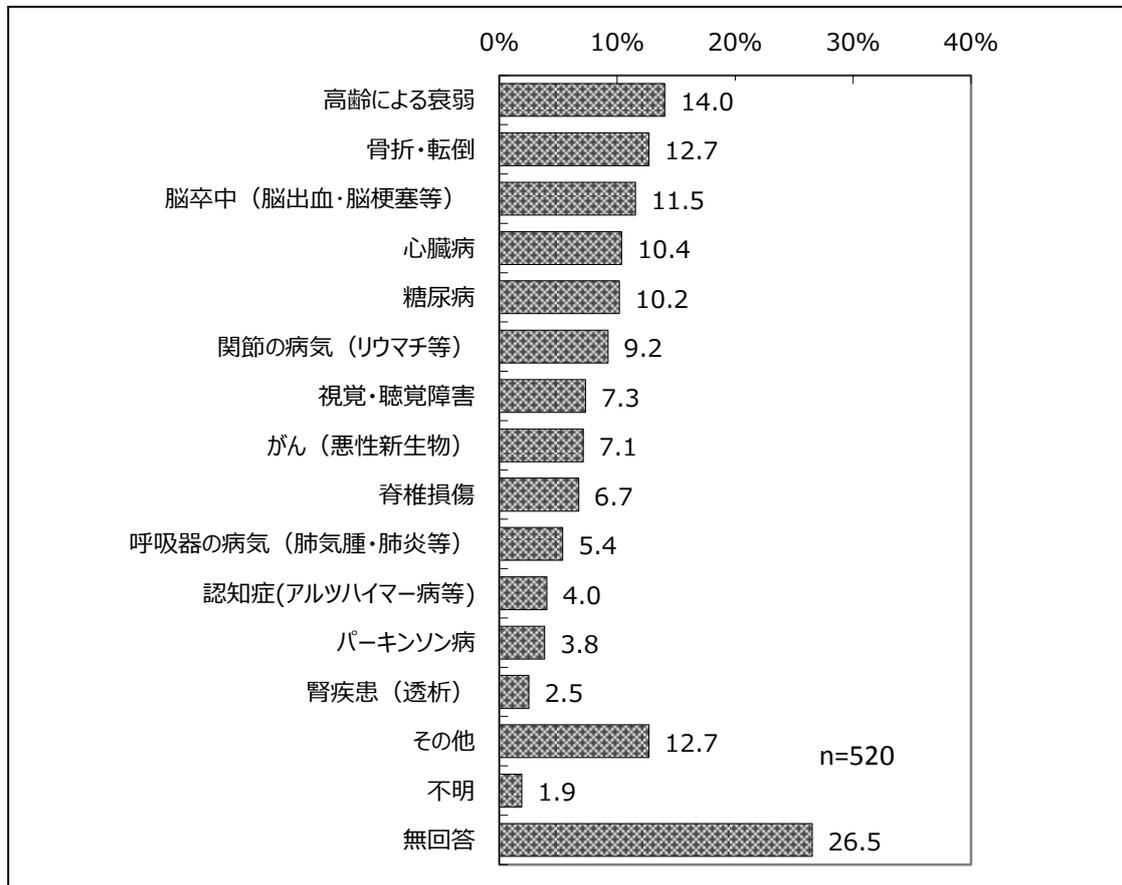
単位：%

	介護・介助は 必要ない	何らかの介護・ 介助は必要だが、 現在は 受けていない	現在、何らかの 介護を受けている	無回答
全体(n=5969)	90.1	5.7	3.0	1.2
65~69歳(n=2330)	96.4	1.8	1.5	0.3
70~74歳(n=1551)	93.2	3.9	1.7	1.2
75~79歳(n=1135)	88.7	6.8	3.2	1.3
80~84歳(n=662)	77.2	13.9	6.8	2.1
85歳以上(n=278)	59.4	23.4	13.7	3.6

問1 【(5) において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

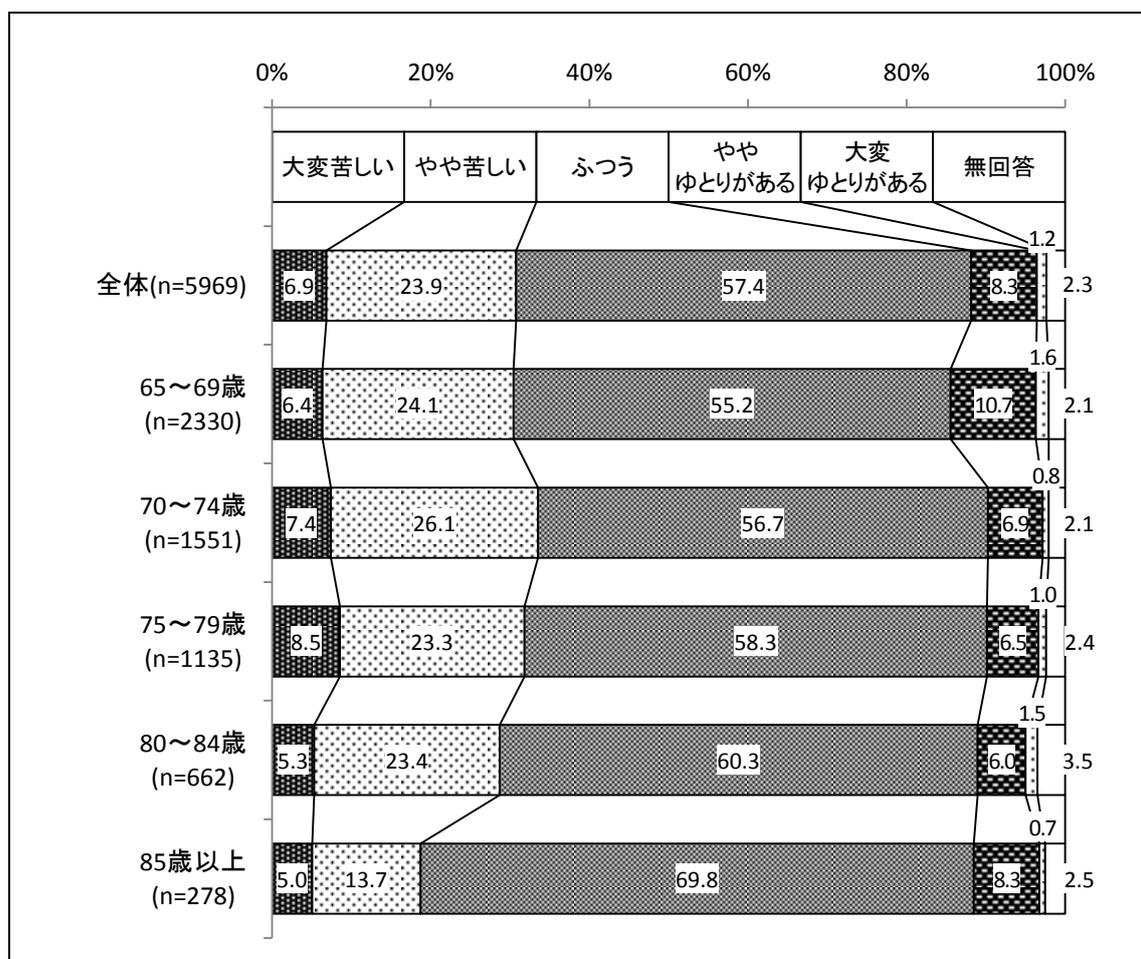
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（〇はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」14.0%が最も多く、次いで「骨折・転倒」12.7%、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）11.5%であった。介護・介助が必要になった要因として、様々な疾患等がある状況がうかがえた。



問1（6）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（〇は1つ）

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」57.4%が最も多く、次いで「やや苦しい」23.9%、「ややゆとりがある」8.3%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が小さくなる一方、「ふつう」の割合が大きくなる傾向が見られた。「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の割合は、年齢による大きな差異はみられなかった。

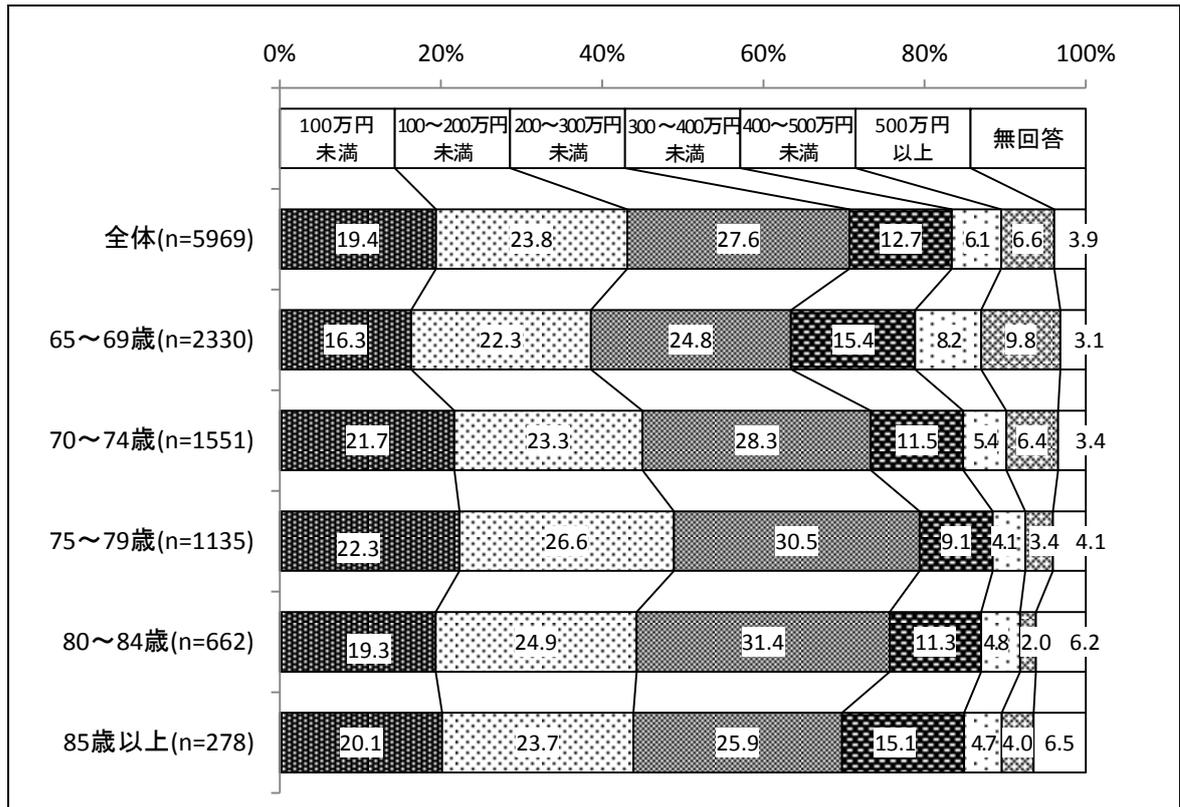


単位：%

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体(n=5969)	6.9	23.9	57.4	8.3	1.2	2.3
65～69歳(n=2330)	6.4	24.1	55.2	10.7	1.6	2.1
70～74歳(n=1551)	7.4	26.1	56.7	6.9	0.8	2.1
75～79歳(n=1135)	8.5	23.3	58.3	6.5	1.0	2.4
80～84歳(n=662)	5.3	23.4	60.3	6.0	1.5	3.5
85歳以上(n=278)	5.0	13.7	69.8	8.3	0.7	2.5

問1（7）あなたの年金を含めた1年間の収入は、次のどれにあたりますか
（○は1つ）

年金を含めた1年間の収入については、「200～300万円未満」27.6%が最も多く、次いで「100～200万円未満」23.8%、「100万円未満」19.4%であった。これを年齢別にみると、「100万円未満」や「100～200万円未満」が最も多かったのは75～79歳であった。

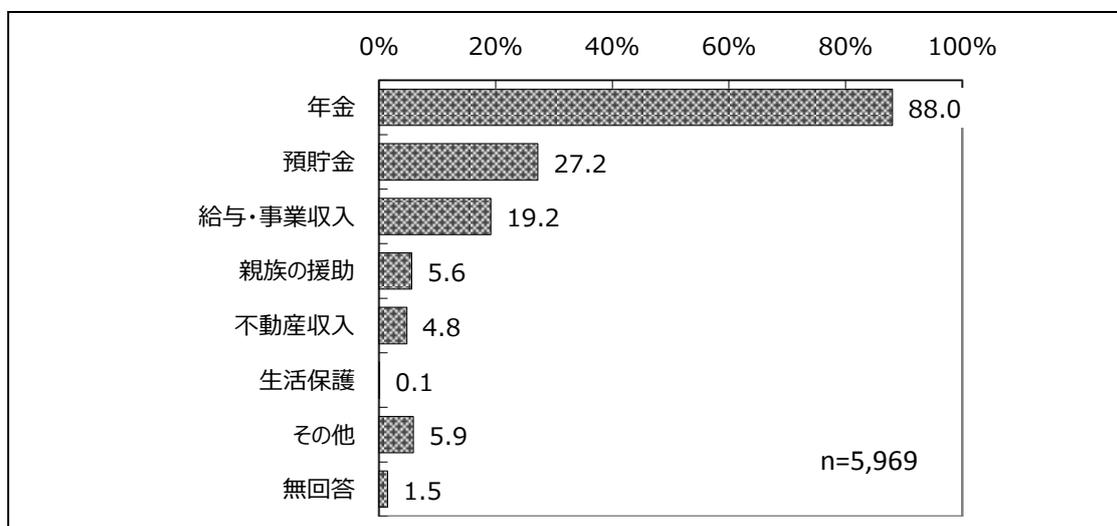


単位：%

	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上	無回答
全体(n=5969)	19.4	23.8	27.6	12.7	6.1	6.6	3.9
65～69歳(n=2330)	16.3	22.3	24.8	15.4	8.2	9.8	3.1
70～74歳(n=1551)	21.7	23.3	28.3	11.5	5.4	6.4	3.4
75～79歳(n=1135)	22.3	26.6	30.5	9.1	4.1	3.4	4.1
80～84歳(n=662)	19.3	24.9	31.4	11.3	4.8	2.0	6.2
85歳以上(n=278)	20.1	23.7	25.9	15.1	4.7	4.0	6.5

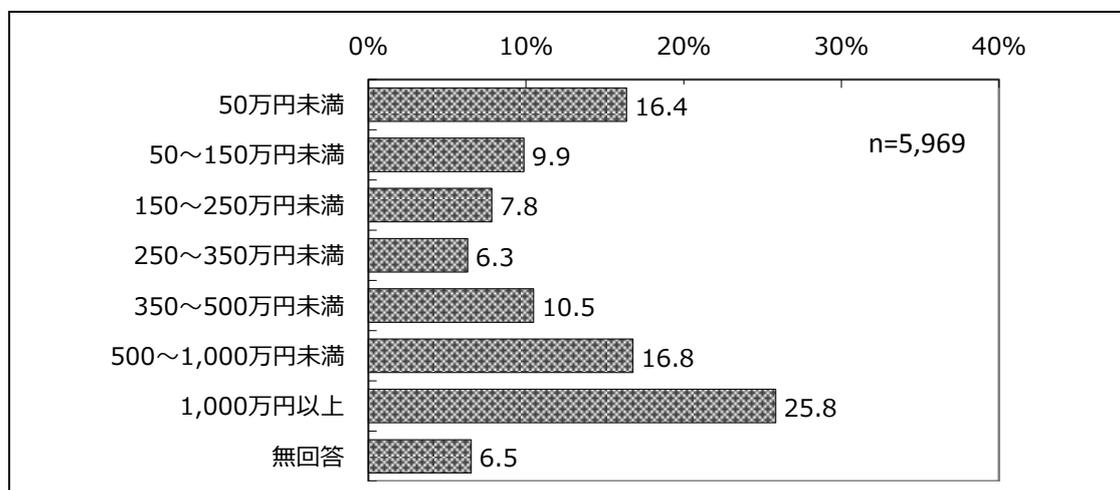
問1（8）あなたは、生活費をどこから捻出していますか（〇はいくつでも）

生活費の捻出については、「年金」88.0%が最も多く、次いで「預貯金」27.2%、「給与・事業収入」19.2%であった。



問1（9）あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか（〇は1つ）

預貯金額については、「1,000万円以上」25.8%が最も多く、次いで「500～1,000万円未満」16.8%であった。500万円以上の預貯金がある人が42.6%である一方、「50万円未満」の人も16.4%であった。



問1 (10) あなたは、自動車*を日常的に運転していますか。(○は1つ)
 ※普通免許で運転が可能な「軽自動車、普通自動車」とします。

運転状況については、「運転している」34.6%が最も多く、次いで「運転免許証を取得したことがない」32.4%、「時々運転することがある」10.8%であった。

これを年齢別にみると、65～74歳では「運転している」、75歳以上では「運転免許証を取得したことがない」が最も多かった。圏域別にみると、南部では「運転免許証を取得したことがない」、北部では「運転している」が、いずれの地区でも最も多かった。

<年齢別>

単位：%

	運転している	時々運転することがある	運転免許証を取得しているが運転していない	運転免許証を取得していたが自主返納した	運転免許証を取得したことがない	無回答
全体(n=5969)	34.6	10.8	9.4	9.0	32.4	3.9
65～69歳(n=2330)	43.5	14.7	14.1	2.9	23.3	1.6
70～74歳(n=1551)	37.5	11.0	8.4	9.7	31.0	2.3
75～79歳(n=1135)	28.2	7.0	5.6	13.5	40.5	5.1
80～84歳(n=662)	19.2	6.5	3.8	14.8	46.5	9.2
85歳以上(n=278)	7.2	2.5	3.6	23.7	49.3	13.7

<地区コミュニティ別>

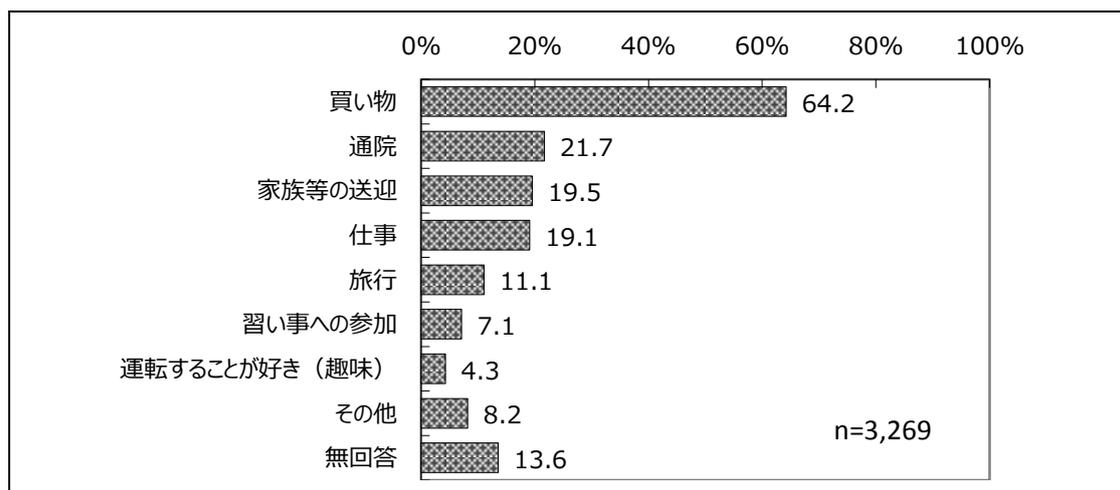
単位：%

	運転している	時々運転することがある	運転免許証を取得しているが運転していない	運転免許証を取得していたが自主返納した	運転免許証を取得したことがない	無回答	
全体(n=5969)	34.6	10.8	9.4	9.0	32.4	3.9	
南部	宮本(n=276)	27.5	11.6	11.2	13.4	33.7	2.5
	湊町(n=234)	24.4	9.0	9.4	8.5	42.3	6.4
	本町(n=118)	17.8	14.4	7.6	13.6	44.1	2.5
	海神(n=246)	29.3	11.0	12.2	10.6	33.3	3.7
西部	葛飾(n=237)	31.6	15.2	11.0	13.5	24.5	4.2
	中山(n=150)	25.3	8.0	16.7	12.7	32.7	4.7
	塚田(n=321)	32.7	12.5	16.8	7.5	27.7	2.8
	法典(n=433)	35.8	8.5	8.8	6.2	34.2	6.5
中部	夏見(n=249)	34.1	11.2	7.6	11.6	32.9	2.4
	高根・金杉(n=229)	34.5	10.5	4.4	7.9	36.7	6.1
	高根台(n=168)	19.0	11.3	13.7	7.1	42.3	6.5
	新高根・芝山(n=325)	40.9	11.4	9.5	8.3	27.7	2.2
東部	前原(n=332)	30.4	12.7	12.3	8.7	33.4	2.4
	二宮・飯山満(n=276)	37.0	11.6	7.6	10.5	29.7	3.6
	薬円台(n=126)	35.7	6.3	7.9	7.9	39.7	2.4
	三山・田喜野井(n=447)	36.7	12.5	8.3	10.1	29.8	2.7
	習志野台(n=411)	33.3	13.6	6.6	9.7	33.6	3.2
北部	二和(n=151)	40.4	11.9	7.9	5.3	29.1	5.3
	三咲(n=166)	42.8	7.2	6.6	8.4	31.9	3.0
	八木が谷(n=327)	42.8	8.0	7.6	5.5	31.5	4.6
	松が丘(n=217)	37.8	9.7	8.8	7.4	32.7	3.7
	大穴(n=205)	43.9	8.3	4.9	5.9	32.2	4.9
	豊富(n=143)	51.7	5.6	9.1	2.8	28.0	2.8
	坪井(n=72)	43.1	12.5	9.7	4.2	26.4	4.2

問1 (11) 現在、運転している方に伺います。

あなたが自動車を運転する目的は何ですか。(〇は主なもの2つまで)

自動車を運転する目的については、「買い物」64.2%が最も多く、次いで「通院」21.7%、「家族等の送迎」19.5%であった。買い物、通院、送迎等といった日常生活の中で必要な事項の回答が多く、旅行、習い事等は比較的少ない傾向であった。これを年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事」「旅行」の割合が大きいほか、特に75歳以上で「通院」の割合が大きくなる傾向が見られた。



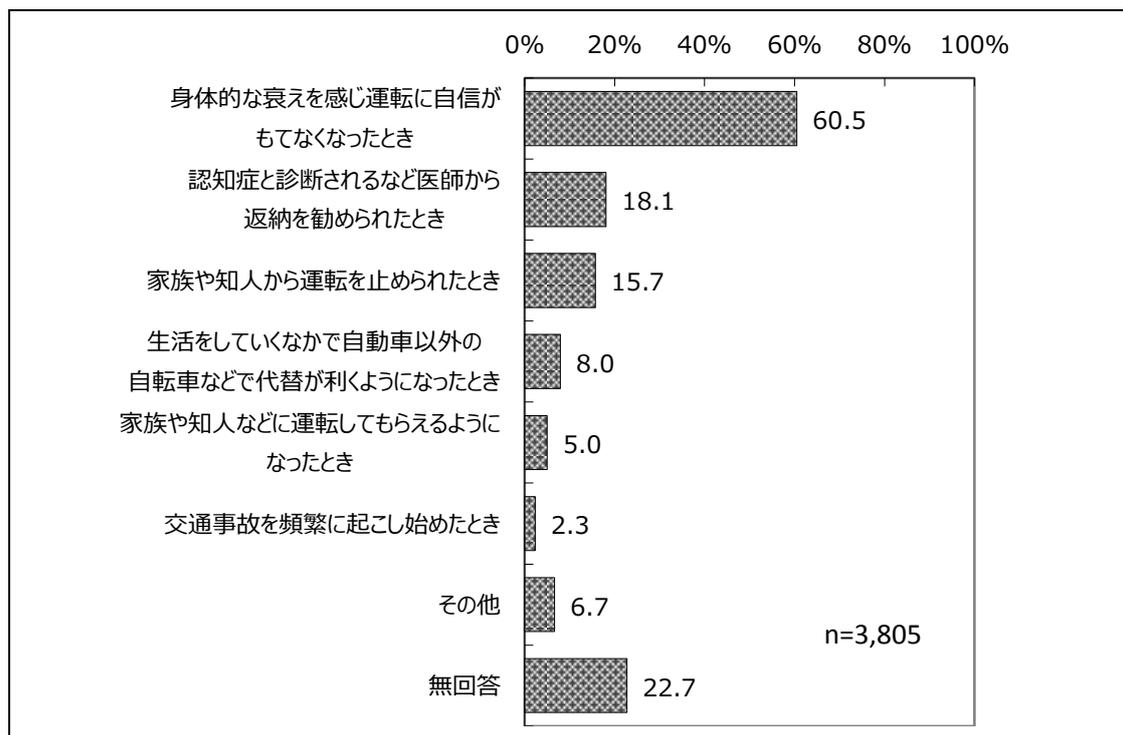
単位：%

	買い物	通院	仕事	旅行	習い事への参加	運転することが好き(趣味)	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=3269)	64.2	21.7	19.1	11.1	7.1	4.3	19.5	8.2	13.6
65～69歳(n=1684)	60.6	14.5	21.8	14.0	6.2	4.5	19.8	7.9	15.7
70～74歳(n=883)	66.1	24.0	19.3	10.6	9.4	4.1	19.1	9.2	11.8
75～79歳(n=464)	68.8	31.9	15.5	4.5	6.7	5.4	21.8	7.5	10.1
80～84歳(n=195)	77.9	45.6	5.6	5.1	6.7	1.5	14.9	7.2	8.7
85歳以上(n=37)	59.5	35.1	8.1	2.7	5.4	0.0	13.5	10.8	24.3

問1 (12) 運転免許証を返納された方は、どのような時に返納を考え始めましたか。また現在お持ちの方は、あなたがどのような状況になった時にご自身の運転免許証の返納をすべきだと考えますか。(〇は主なもの2つまで)

運転免許証の返納をどのような時に考え始めるかについては、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」60.5%が最も多く、次いで「認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき」18.1%、「家族や知人から運転を止められたとき」15.7%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき」の割合が小さくなる傾向が見られた。

また、問1 (10) の回答内容をもとに、日常的に自動車を運転している人、時々運転することがある人が、どのような状況になった時に返納すべきと考えているかについては、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」が70%前後と多く、「生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき」は5%前後であった。一方、運転免許証を自主返納した人が返納を考え始めた時については、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」は34.5%にとどまり、「生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき」が22.8%と多くなっていた。ここから、自動車の代替となる交通手段の充実が、運転免許証の自主返納につながるケースが多いことがうかがえた。



＜年齢別＞

単位：%

	身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき	認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき	家族や知人から運転を止められたとき	交通事故を頻繁に起こし始めたとき	家族や知人などに運転してもらえないようになったとき	生活をしながらで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき	その他	無回答
全体(n=3805)	60.5	18.1	15.7	2.3	5.0	8.0	6.7	22.7
65～69歳(n=1751)	64.6	21.9	15.4	2.7	3.9	6.5	4.5	23.8
70～74歳(n=1034)	59.8	17.6	15.0	2.1	4.8	8.2	7.4	23.0
75～79歳(n=617)	55.3	15.4	15.6	1.5	6.2	10.7	8.3	21.7
80～84歳(n=293)	54.3	8.9	19.1	3.1	7.5	7.8	11.3	20.8
85歳以上(n=103)	46.6	1.9	20.4	1.9	11.7	13.6	12.6	13.6

＜運転状況別＞

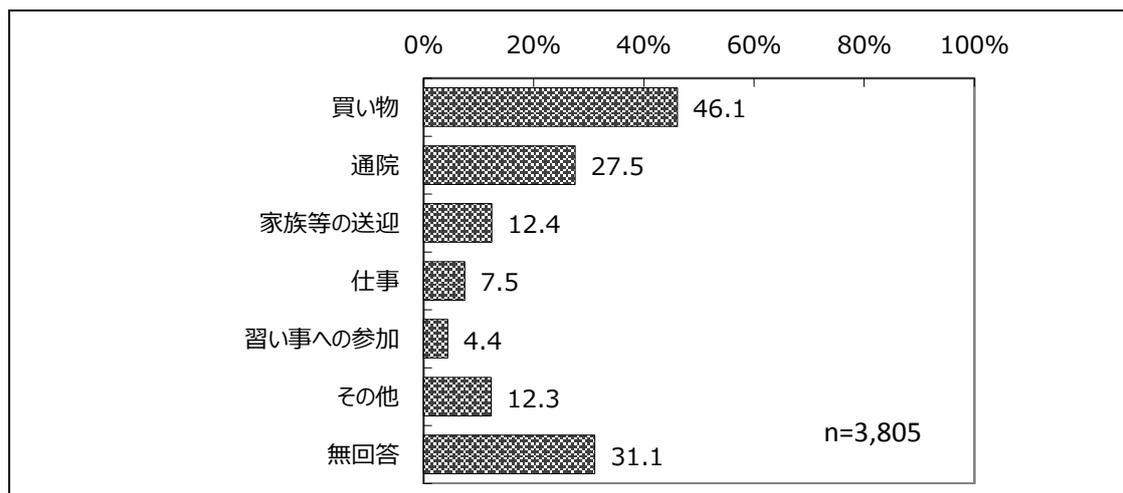
単位：%

	身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき	認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき	家族や知人から運転を止められたとき	交通事故を頻繁に起こし始めたとき	家族や知人などに運転してもらえないようになったとき	生活をしながらで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき	その他	無回答
全体(n=3805)	60.5	18.1	15.7	2.3	5.0	8.0	6.7	22.7
運転している(n=2064)	68.3	23.4	18.5	3.1	3.0	4.3	2.3	23.4
時々運転することがある(n=644)	70.8	20.0	15.5	1.7	4.2	6.8	2.2	22.5
運転免許証を取得しているが運転していない(n=561)	45.1	12.5	9.6	0.4	6.4	8.6	9.6	34.8
運転免許証を取得していたが自主返納した(n=536)	34.5	1.5	11.8	2.1	12.5	22.8	25.9	7.6

問1 (13) 運転免許証を返納された方は、返納により日常生活で困ったことは何ですか。また現在お持ちの方は、返納した場合に日常生活で困ると思うことは何ですか。(〇は主なもの2つまで)

運転免許証を返納することにより日常生活で困ることについては、「買い物」46.1%が最も多く、次いで「通院」27.5%、「家族等の送迎」12.4%であり、「問1 (11)」と同様、買い物、通院等といった日常生活の中で必要な事項の回答が多かった。これを年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事」「家族等の送迎」の割合が大きくなり、年齢が上がるほど「通院」の割合が大きくなる傾向が見られた。

また、問1 (10) の回答内容をもとに、日常的に自動車を運転している人、時々運転することがある人が、返納した場合に日常生活で困ると思うことをみると、「買い物」「仕事」などの項目で、実際に自主返納した人よりも高い割合の回答が見られた。運転免許証を自主返納した人が実際に日常生活で困ったことについては、「買い物」「通院」が多かったが、「その他」も33.0%と他に比べて多い傾向が見られた。ここから、自主返納により日常生活で困ることは、本人の生活状況に応じて多岐にわたり存在することがうかがえた。



<年齢別>

単位：%

	買い物	通院	仕事	習い事への参加	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=3805)	46.1	27.5	7.5	4.4	12.4	12.3	31.1
65～69歳(n=1751)	46.4	24.2	8.9	4.2	13.4	10.3	32.8
70～74歳(n=1034)	44.2	27.2	7.8	6.0	11.2	14.0	30.9
75～79歳(n=617)	46.7	30.3	6.0	3.4	13.1	15.1	28.5
80～84歳(n=293)	51.9	38.6	2.0	3.8	9.9	11.6	28.3
85歳以上(n=103)	41.7	37.9	3.9	1.0	8.7	14.6	26.2

<運転状況別>

単位：%

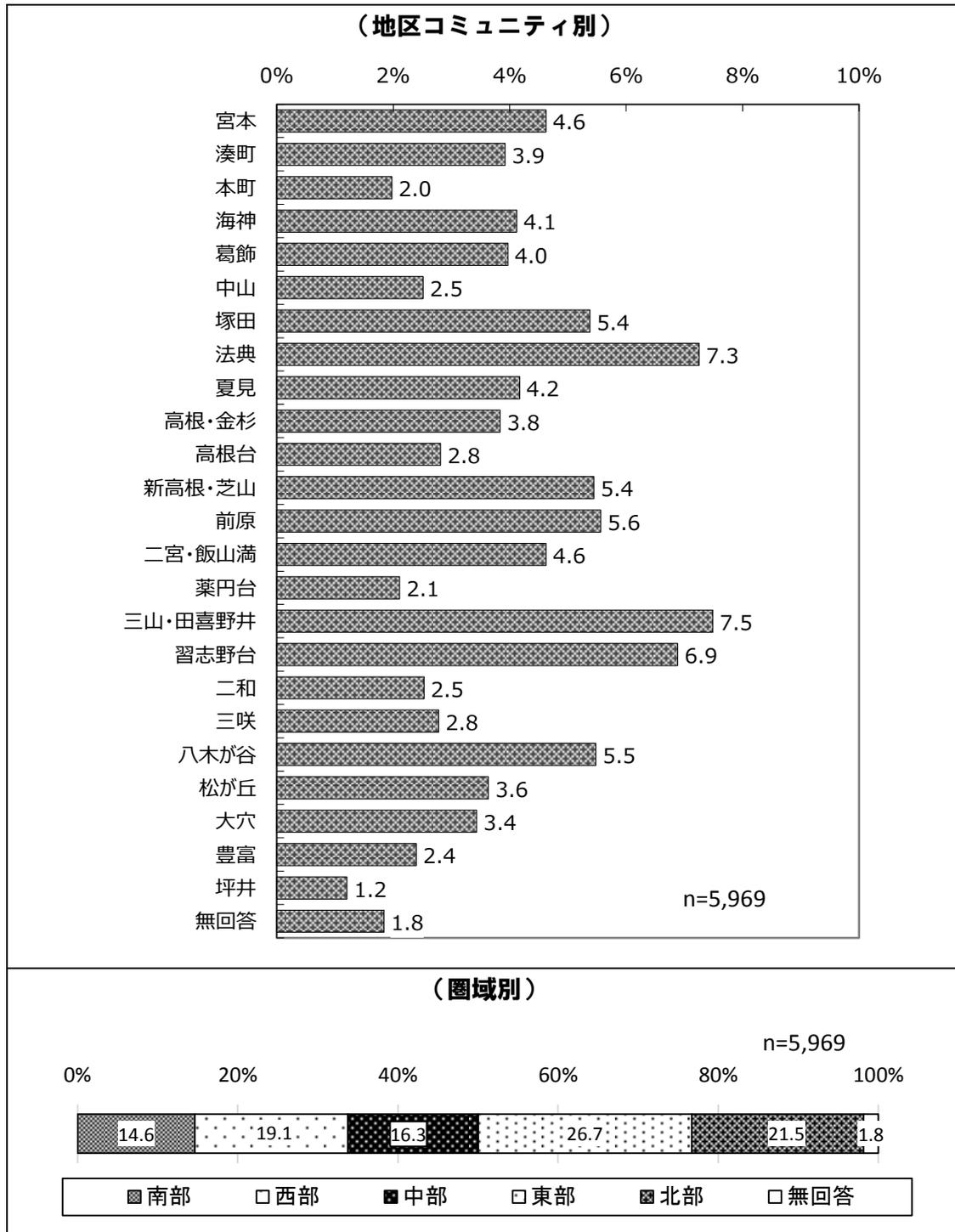
	買い物	通院	仕事	習い事への参加	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=3805)	46.1	27.5	7.5	4.4	12.4	12.3	31.1
運転している(n=2064)	51.9	28.0	12.1	6.0	14.8	6.3	31.1
時々運転することがある(n=644)	50.5	29.0	3.1	3.7	14.9	9.9	28.6
運転免許証を取得しているが運転していない(n=561)	25.5	20.9	1.2	1.6	3.2	16.9	51.2
運転免許証を取得していたが自主返納した(n=536)	39.9	31.0	1.5	2.2	9.7	33.0	13.1

問2 お住まいの地域について

問2（1）あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。

当てはまる町丁名の番号に○をつけてください（○は1つ）

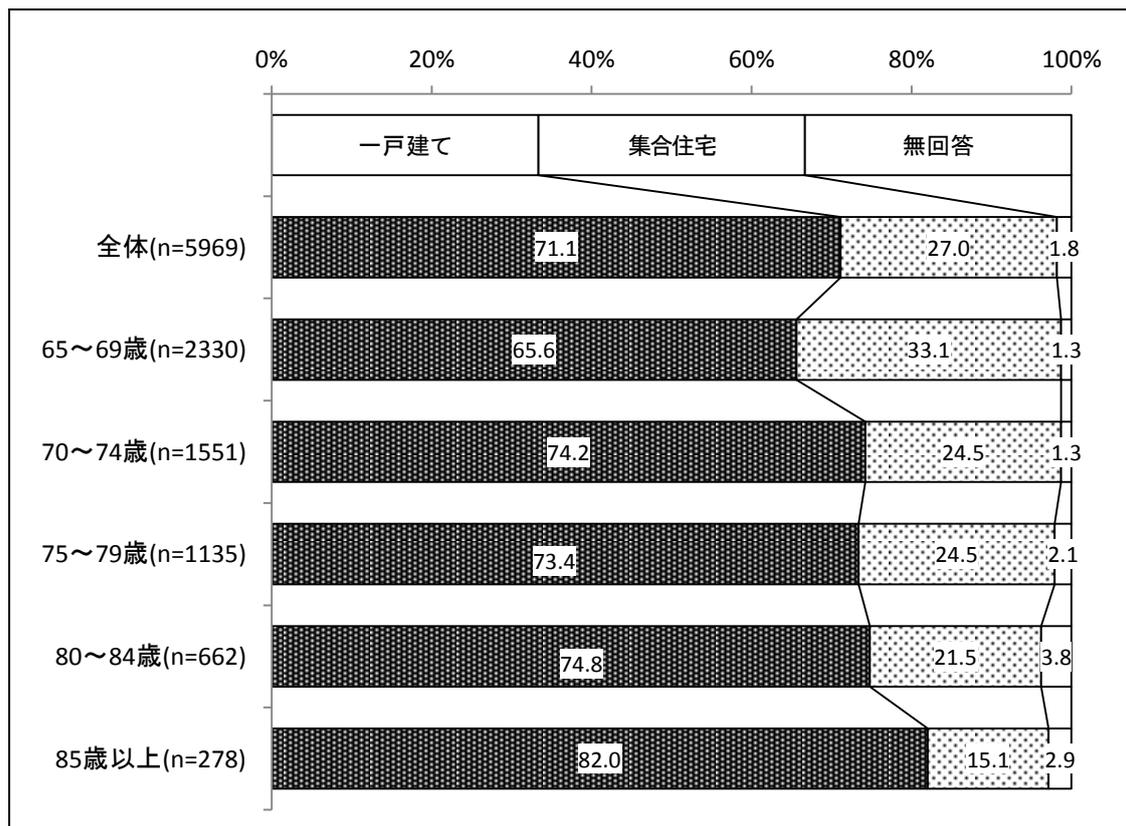
住まいについて、地区コミュニティ別では「三山・田喜野井」7.5%が最も多く、次いで「法典」7.3%、「習志野台」6.9%であった。圏域別では「東部」26.7%が最も多く、次いで「北部」21.5%、「西部」19.1%であった。



問3 住環境について

問3(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか(○は1つ)

住居については、「一戸建て」71.1%、「集合住宅」27.0%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「一戸建て」の割合が大きくなる傾向が見られた。また、地区コミュニティ別にみると、大半の地区で「一戸建て」の割合が多かったが、「湊町」「中山」では「集合住宅」の割合が多かった。圏域別にみると、北部では特に「一戸建て」の割合が多い傾向が見られた。



<年齢別>

単位：％

	一戸建て	集合住宅	無回答
全体(n=5969)	71.1	27.0	1.8
65～69歳(n=2330)	65.6	33.1	1.3
70～74歳(n=1551)	74.2	24.5	1.3
75～79歳(n=1135)	73.4	24.5	2.1
80～84歳(n=662)	74.8	21.5	3.8
85歳以上(n=278)	82.0	15.1	2.9

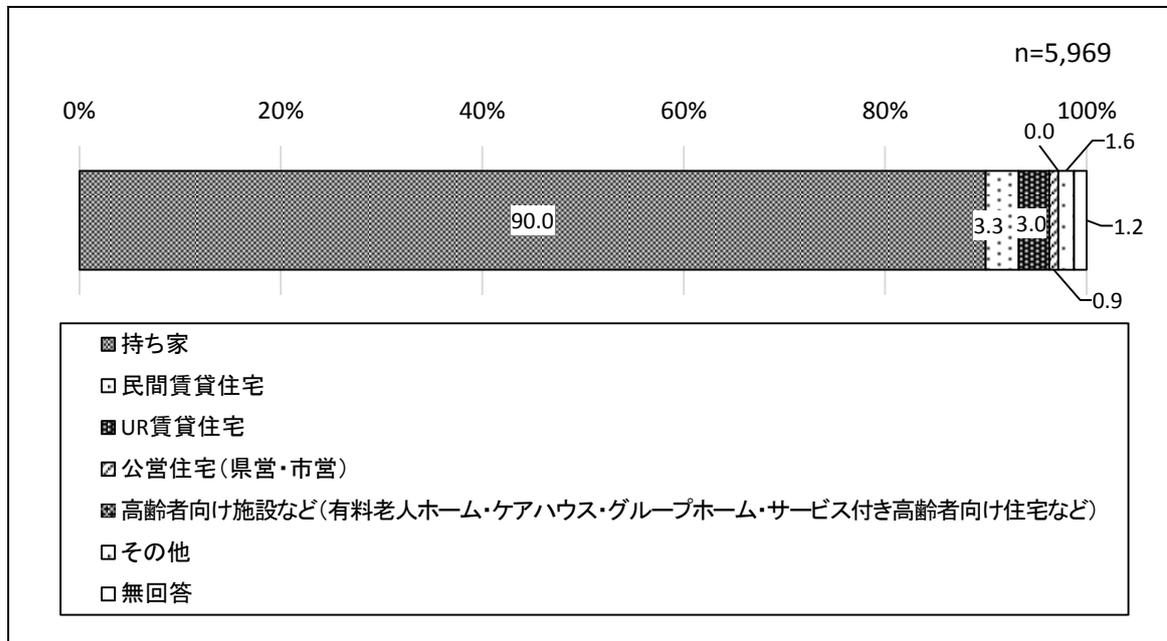
<地区コミュニティ別>

単位：％

		一戸建て	集合住宅	無回答
全体(n=5969)		71.1	27.0	1.8
南部	宮本(n=276)	74.6	24.6	0.7
	湊町(n=234)	38.5	59.8	1.7
	本町(n=118)	51.7	48.3	0.0
	海神(n=246)	68.7	30.5	0.8
西部	葛飾(n=237)	53.2	45.6	1.3
	中山(n=150)	44.7	52.7	2.7
	塚田(n=321)	58.9	39.6	1.6
	法典(n=433)	79.4	20.3	0.2
中部	夏見(n=249)	67.5	31.3	1.2
	高根・金杉(n=229)	58.1	41.0	0.9
	高根台(n=168)	47.6	47.0	5.4
	新高根・芝山(n=325)	87.7	12.0	0.3
東部	前原(n=332)	70.8	27.7	1.5
	二宮・飯山満(n=276)	81.5	17.8	0.7
	薬円台(n=126)	61.9	38.1	0.0
	三山・田喜野井(n=447)	80.3	18.3	1.3
	習志野台(n=411)	58.2	40.6	1.2
北部	二和(n=151)	79.5	19.2	1.3
	三咲(n=166)	86.1	12.7	1.2
	八木が谷(n=327)	93.3	5.8	0.9
	松が丘(n=217)	95.9	3.7	0.5
	大穴(n=205)	93.7	3.9	2.4
	豊富(n=143)	76.2	23.8	0.0
	坪井(n=72)	91.7	8.3	0.0

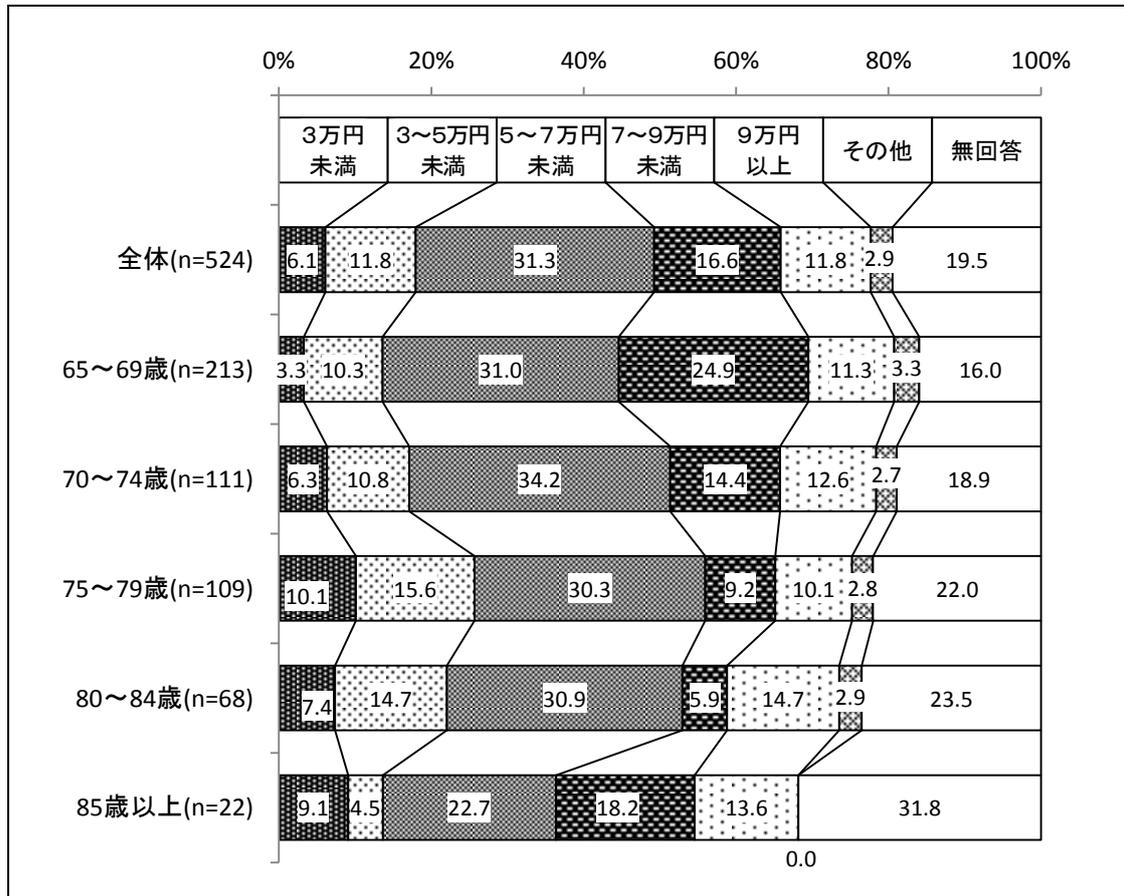
問3 (2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (〇は1つ)

居住形態については、「持ち家」90.0%が最も多く、次いで「民間賃貸住宅」3.3%、「UR賃貸住宅」3.0%であった。大半の人が持ち家に住んでいる状況がうかがえた。



問3【(2)において「民間賃貸住宅～その他」と回答された方におたずねします】
 現在、あなたがお住まいの住宅の家賃（共益費を含む）は、次のどれにあたりま
 すか（○は1つ）

家賃については、「5～7万円未満」31.3%が最も多く、次いで「7～9万円未満」
 16.6%、「3～5万円未満」「9万円以上」がともに11.8%であった。これを年齢別に
 みると、75～79歳で「3万円未満」「3～5万円未満」が最も多かった。



単位：%

	3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～9万円未満	9万円以上	その他	無回答
全体(n=524)	6.1	11.8	31.3	16.6	11.8	2.9	19.5
65～69歳(n=213)	3.3	10.3	31.0	24.9	11.3	3.3	16.0
70～74歳(n=111)	6.3	10.8	34.2	14.4	12.6	2.7	18.9
75～79歳(n=109)	10.1	15.6	30.3	9.2	10.1	2.8	22.0
80～84歳(n=68)	7.4	14.7	30.9	5.9	14.7	2.9	23.5
85歳以上(n=22)	9.1	4.5	22.7	18.2	13.6	0.0	31.8

問3 (3) あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか (〇は1つ)

入院、施設入所等が必要になった場合の保証人等については、「保証人になってくれる人がいる」79.0%が最も多く、次いで「保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる」8.8%、「保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない」2.8%であった。

保証人になってくれる人がいない割合は、全体の11.6%であった。

単位：%

	保証人になってくれる人がいる	保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる	保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない	その他	無回答
全体(n=5969)	79.0	8.8	2.8	1.4	8.0
65～69歳(n=2330)	80.7	9.2	2.1	1.1	6.9
70～74歳(n=1551)	79.0	8.9	3.4	1.2	7.5
75～79歳(n=1135)	75.9	10.0	3.6	1.9	8.6
80～84歳(n=662)	79.3	5.9	3.3	1.5	10.0
85歳以上(n=278)	77.7	7.2	1.4	2.5	11.2

問3 (4) あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか (○は1つ)

生活する部屋が2階以上にあるかについては、「はい(2階、もしくは2階より上にある)」が43.2%であった。これを年齢別にみると、65~69歳では「はい」が多く、それ以外の年齢では「いいえ」が多かった。圏域別にみると、南部、西部で「はい」の割合が大きい地区が多い一方、東部、北部では全地区が「いいえ」であり、地域差が大きいことがうかがえた。

<年齢別>

単位：%

	はい(2階、もしくは2階より上にある)	いいえ	無回答
全体(n=5969)	43.2	49.7	7.1
65~69歳(n=2330)	50.7	43.7	5.5
70~74歳(n=1551)	39.5	53.9	6.6
75~79歳(n=1135)	40.0	52.1	7.9
80~84歳(n=662)	38.2	51.7	10.1
85歳以上(n=278)	26.6	62.2	11.2

<地区コミュニティ別>

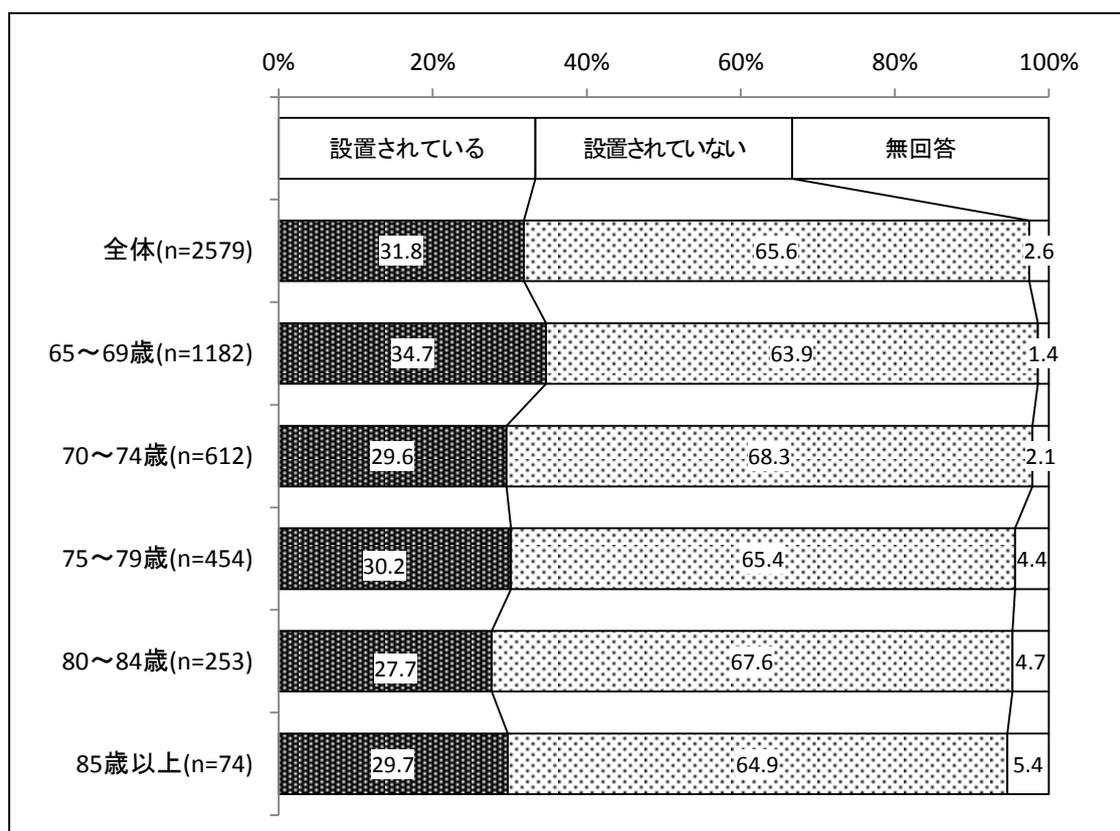
単位：%

		はい(2階、もしくは2階より上にある)	いいえ	無回答
全体(n=5969)		43.2	49.7	7.1
南部	宮本(n=276)	42.0	50.7	7.2
	湊町(n=234)	67.1	26.1	6.8
	本町(n=118)	64.4	30.5	5.1
	海神(n=246)	55.7	40.7	3.7
西部	葛飾(n=237)	58.2	38.0	3.8
	中山(n=150)	67.3	28.0	4.7
	塚田(n=321)	53.3	43.3	3.4
	法典(n=433)	35.8	58.4	5.8
中部	夏見(n=249)	52.2	43.0	4.8
	高根・金杉(n=229)	50.2	46.3	3.5
	高根台(n=168)	56.5	39.3	4.2
	新高根・芝山(n=325)	35.1	58.2	6.8
東部	前原(n=332)	43.4	49.4	7.2
	二宮・飯山満(n=276)	37.7	52.2	10.1
	薬円台(n=126)	47.6	50.0	2.4
	三山・田喜野井(n=447)	35.6	56.8	7.6
	習志野台(n=411)	46.5	49.1	4.4
北部	二和(n=151)	31.1	60.9	7.9
	三咲(n=166)	27.7	63.9	8.4
	八木が谷(n=327)	29.7	60.6	9.8
	松が丘(n=217)	28.6	64.5	6.9
	大穴(n=205)	27.3	62.4	10.2
	豊富(n=143)	40.6	48.3	11.2
	坪井(n=72)	33.3	56.9	9.7

問3【(4)において「はい」と回答された方におたずねします】
お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか（〇は1つ）

住まいにエレベーターが設置されているかについては、「設置されていない」65.6%、「設置されている」31.8%であった。

これを年齢別にみると、いずれの年齢層においても、2階以上に住んでいる人の60～70%程度が、外出にあたり階段昇降が必要な状況であった。また、圏域別にみると、南部・西部でエレベーターが設置されているとの割合が多い地区が見られたが、中部・東部・北部では、すべての地区においてエレベーターが設置されていないとの割合が多い状況であり、地域差が大きいことがうかがえた。



<年齢別>

単位：%

	設置されている	設置されていない	無回答
全体(n=2579)	31.8	65.6	2.6
65～69歳(n=1182)	34.7	63.9	1.4
70～74歳(n=612)	29.6	68.3	2.1
75～79歳(n=454)	30.2	65.4	4.4
80～84歳(n=253)	27.7	67.6	4.7
85歳以上(n=74)	29.7	64.9	5.4

<地区コミュニティ別>

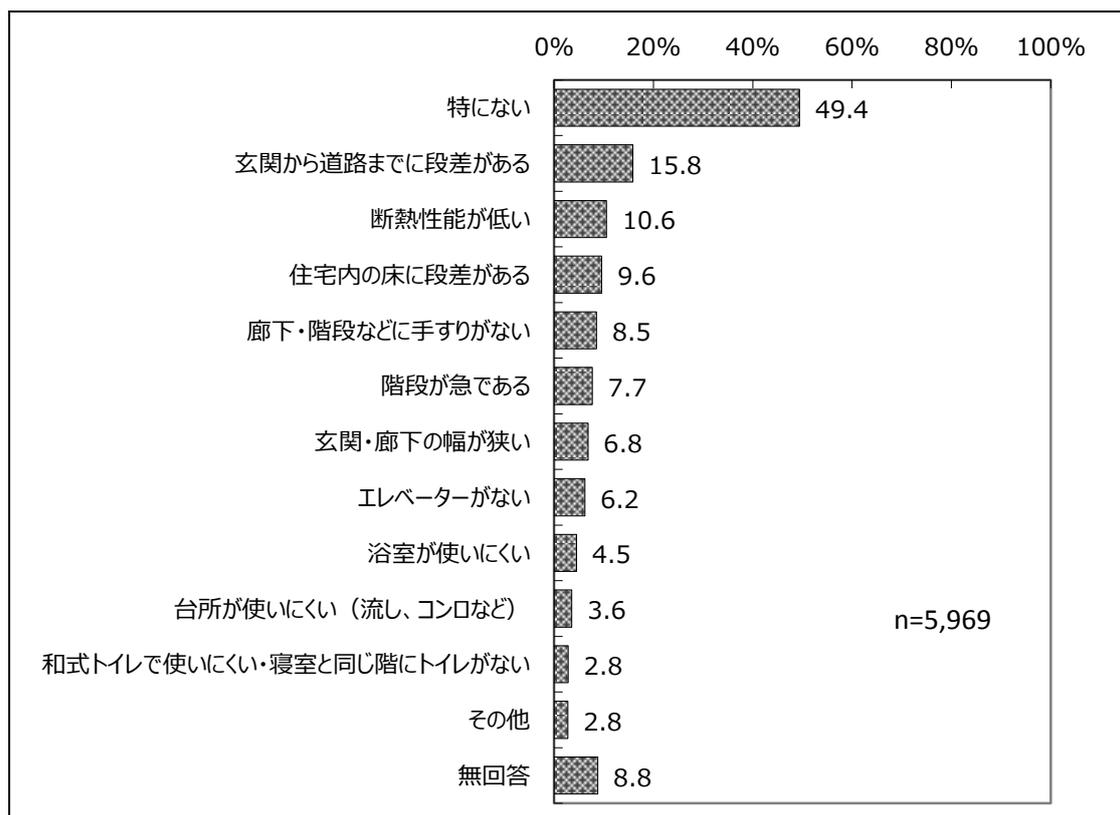
単位：%

		設置されている	設置されていない	無回答
全体(n=2579)		31.8	65.6	2.6
南部	宮本(n=116)	39.7	59.5	0.9
	湊町(n=157)	51.6	47.1	1.3
	本町(n=76)	63.2	35.5	1.3
	海神(n=137)	43.1	53.3	3.6
西部	葛飾(n=138)	51.4	47.1	1.4
	中山(n=101)	67.3	32.7	0.0
	塚田(n=171)	44.4	52.6	2.9
	法典(n=155)	20.0	74.8	5.2
中部	夏見(n=130)	24.6	71.5	3.8
	高根・金杉(n=115)	12.2	86.1	1.7
	高根台(n=95)	44.2	54.7	1.1
	新高根・芝山(n=114)	13.2	83.3	3.5
東部	前原(n=144)	47.9	51.4	0.7
	二宮・飯山満(n=104)	29.8	68.3	1.9
	薬円台(n=60)	23.3	75.0	1.7
	三山・田喜野井(n=159)	18.9	79.2	1.9
	習志野台(n=191)	30.4	66.5	3.1
北部	二和(n=47)	8.5	89.4	2.1
	三咲(n=46)	26.1	71.7	2.2
	八木が谷(n=97)	3.1	92.8	4.1
	松が丘(n=62)	1.6	90.3	8.1
	大穴(n=56)	0.0	96.4	3.6
	豊富(n=58)	5.2	89.7	5.2
	坪井(n=24)	12.5	87.5	0.0

問3（5）あなたのお住まいの中で、不便なところはありますか （〇は主なもの3つまで）

住まいに不便なところがあるかについては、「特にない」49.4%、「玄関から道路までに段差がある」15.8%、「断熱性能が低い」10.6%、「住宅内の床に段差がある」9.6%、「廊下・階段などに手すりがない」8.5%であった。

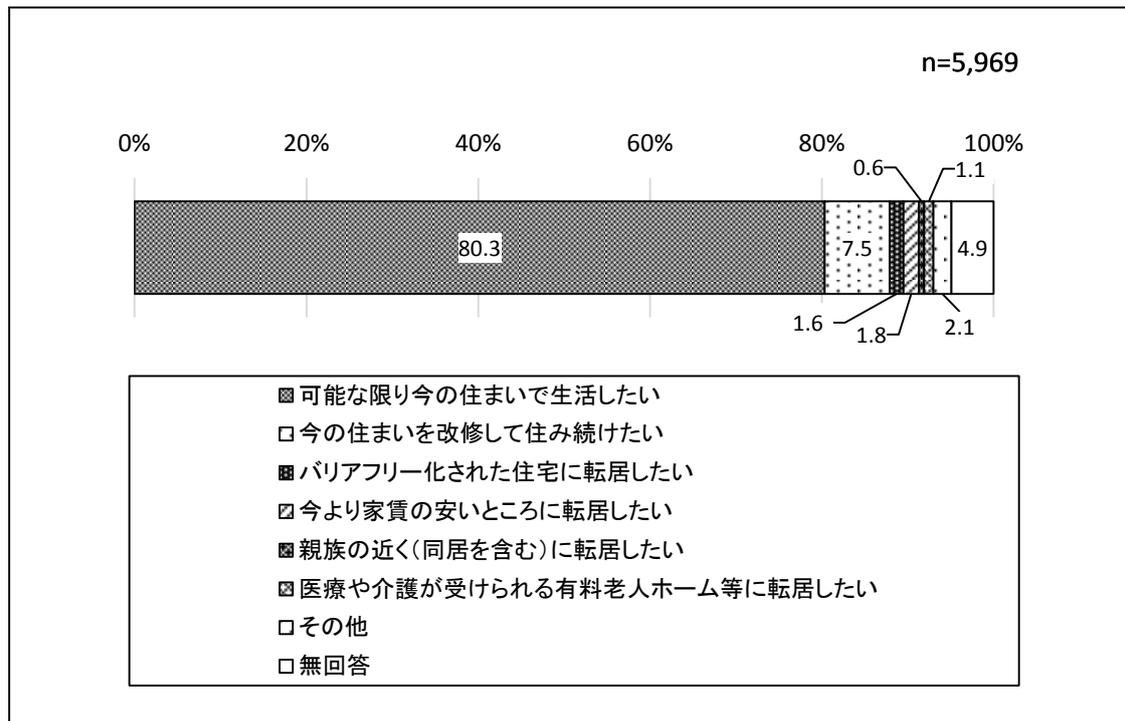
最も多かったのは「特にない」であったが、段差や断熱性能を挙げる回答も比較的多く見られた。



問3（6）あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか
（○は1つ）

今後も現在の住まいで生活していきたいと思うかについては、「可能な限り今の住まいで生活したい」80.3%が最も多く、次いで「今の住まいを改修して住み続けたい」7.5%、「今より家賃の安いところに転居したい」1.8%であった。

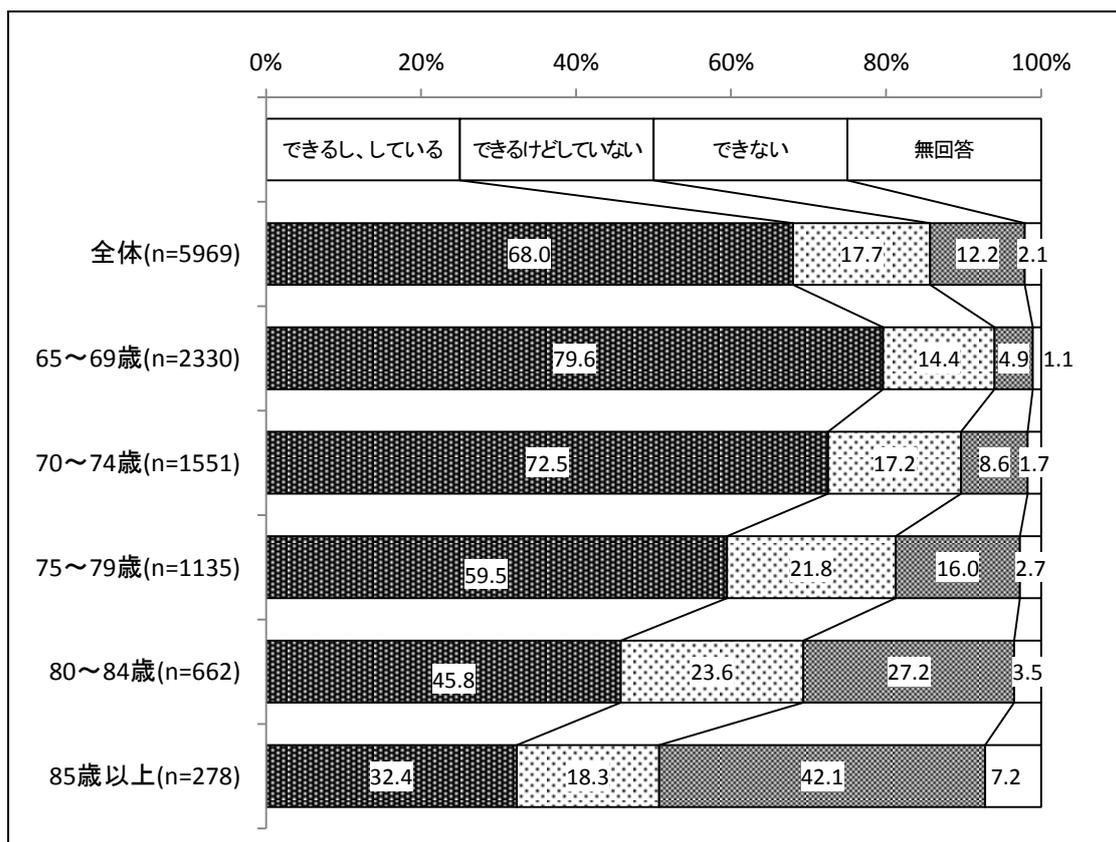
今の住まいに住み続けたいとする回答が大半で、転居したいとの意向がある人は全体の5.1%であった。



問4 からだを動かすことについて

問4(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」68.0%が最も多く、次いで「できるけどしていない」17.7%、「できない」12.2%であった。これを年齢別にみると、65歳から84歳までは「できるし、している」人が最も多かったが、85歳以上では「できない」の割合が「できるし、している」を上回る状況が見られた。

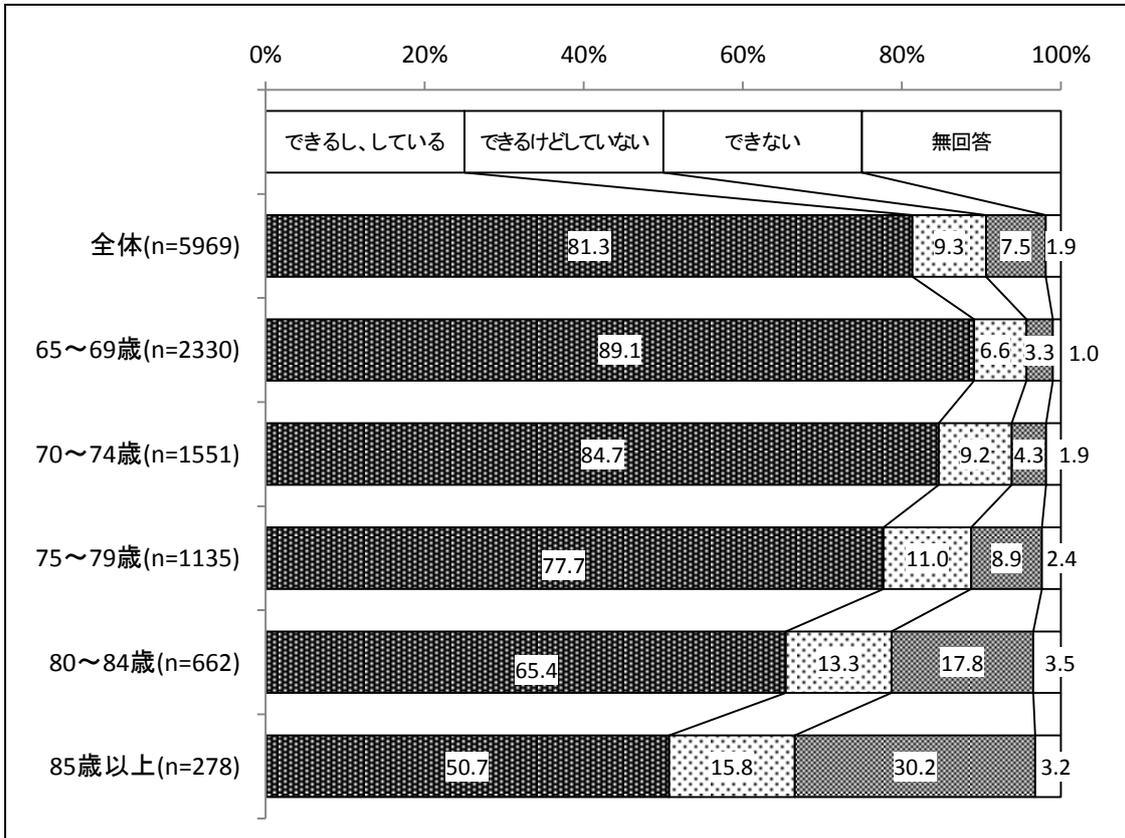


単位：%

	できるし、している	できるけど していない	できない	無回答
全体(n=5969)	68.0	17.7	12.2	2.1
65～69歳(n=2330)	79.6	14.4	4.9	1.1
70～74歳(n=1551)	72.5	17.2	8.6	1.7
75～79歳(n=1135)	59.5	21.8	16.0	2.7
80～84歳(n=662)	45.8	23.6	27.2	3.5
85歳以上(n=278)	32.4	18.3	42.1	7.2

問4(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○は1つ)

椅子から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」81.3%が最も多く、次いで「できるけどしていない」9.3%、「できない」7.5%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が大きくなる傾向がみられ、85歳以上では「できない」と回答した人が30%を超える状況であった。

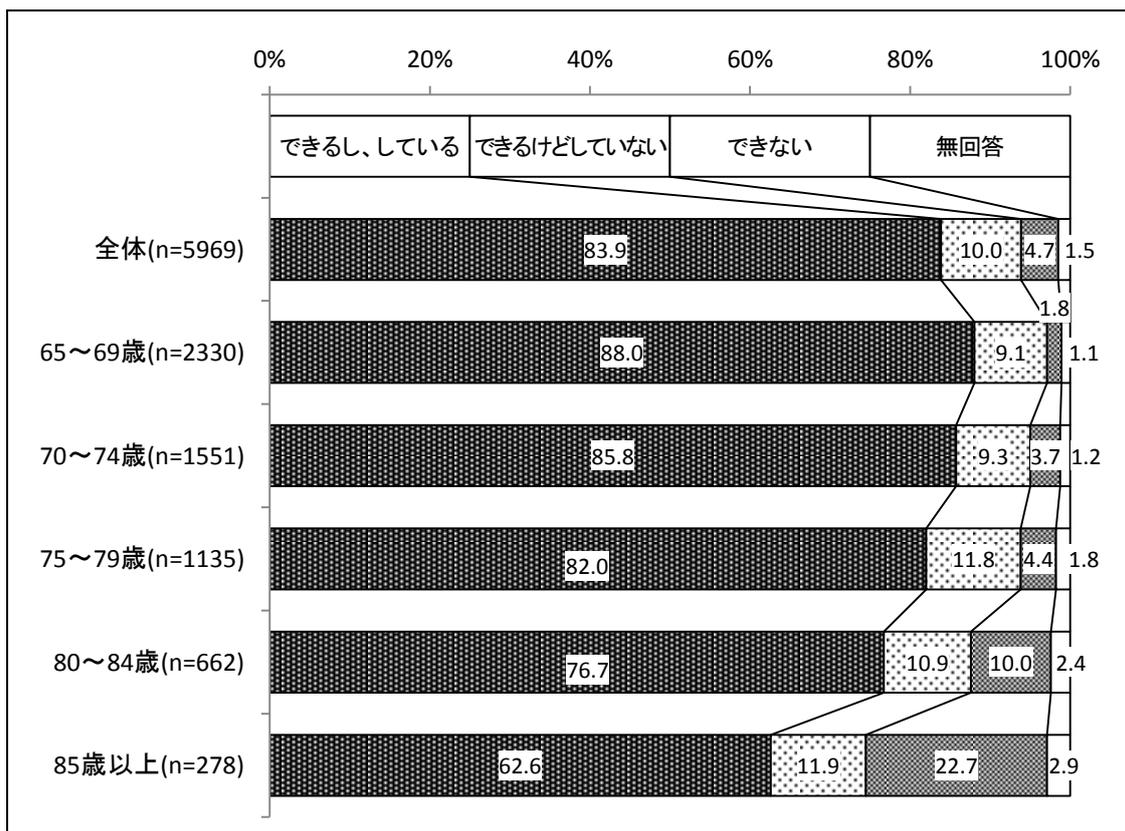


単位: %

	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体(n=5969)	81.3	9.3	7.5	1.9
65~69歳(n=2330)	89.1	6.6	3.3	1.0
70~74歳(n=1551)	84.7	9.2	4.3	1.9
75~79歳(n=1135)	77.7	11.0	8.9	2.4
80~84歳(n=662)	65.4	13.3	17.8	3.5
85歳以上(n=278)	50.7	15.8	30.2	3.2

問4 (3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

15分程度の歩行については、「できるし、している」83.9%が最も多く、次いで「できるけどしていない」10.0%、「できない」4.7%であった。これを年齢別にみると、65～79歳では「できるし、している」と回答した人は80%を超えている一方、85歳以上では「できない」と回答した人は20%を超える状況であった。「できるけどしていない」と回答した人は、いずれの年齢層でも10%前後と、年齢による大きな差異はみられなかった。

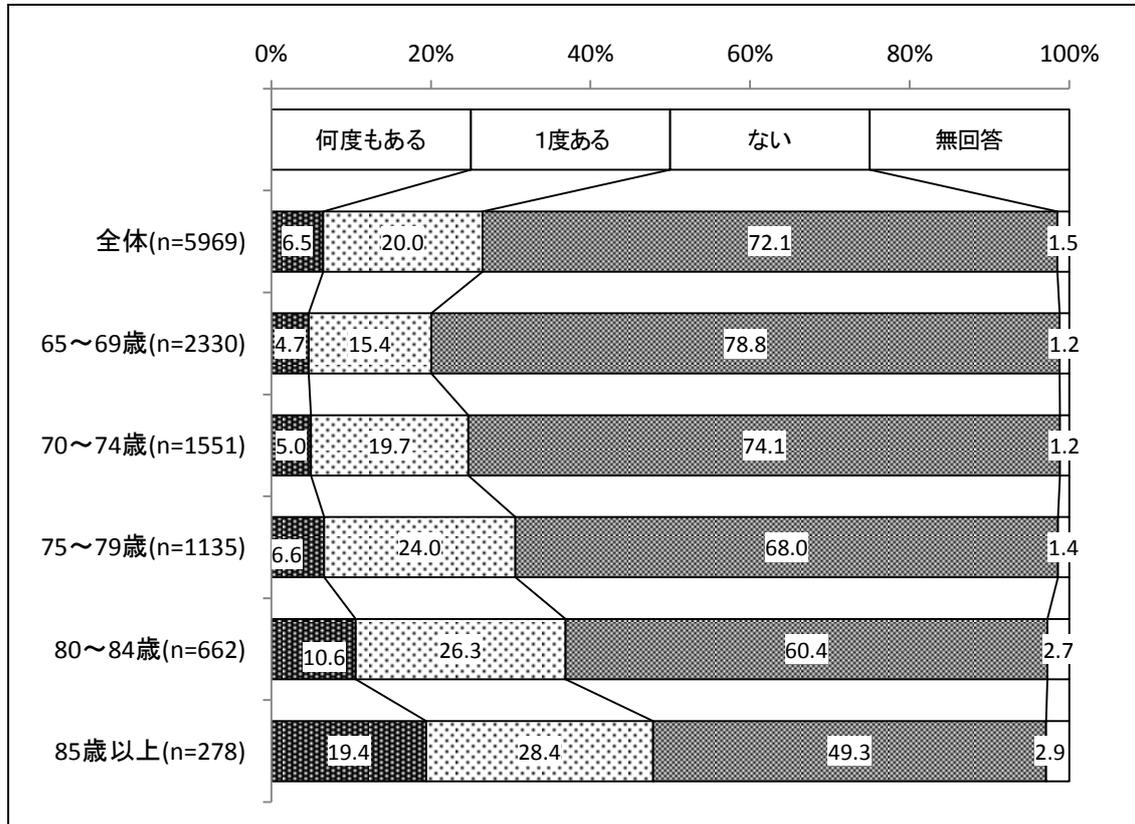


単位：%

	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体(n=5969)	83.9	10.0	4.7	1.5
65～69歳(n=2330)	88.0	9.1	1.8	1.1
70～74歳(n=1551)	85.8	9.3	3.7	1.2
75～79歳(n=1135)	82.0	11.8	4.4	1.8
80～84歳(n=662)	76.7	10.9	10.0	2.4
85歳以上(n=278)	62.6	11.9	22.7	2.9

問4（4）過去1年間に転んだ経験がありますか（○は1つ）

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」72.1%が最も多く、次いで「1度ある」20.0%、「何度もある」6.5%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「何度もある」「1度ある」の割合が大きくなる傾向がみられ、85歳以上では「何度もある」と回答した人は全体の約20%を占めていた。

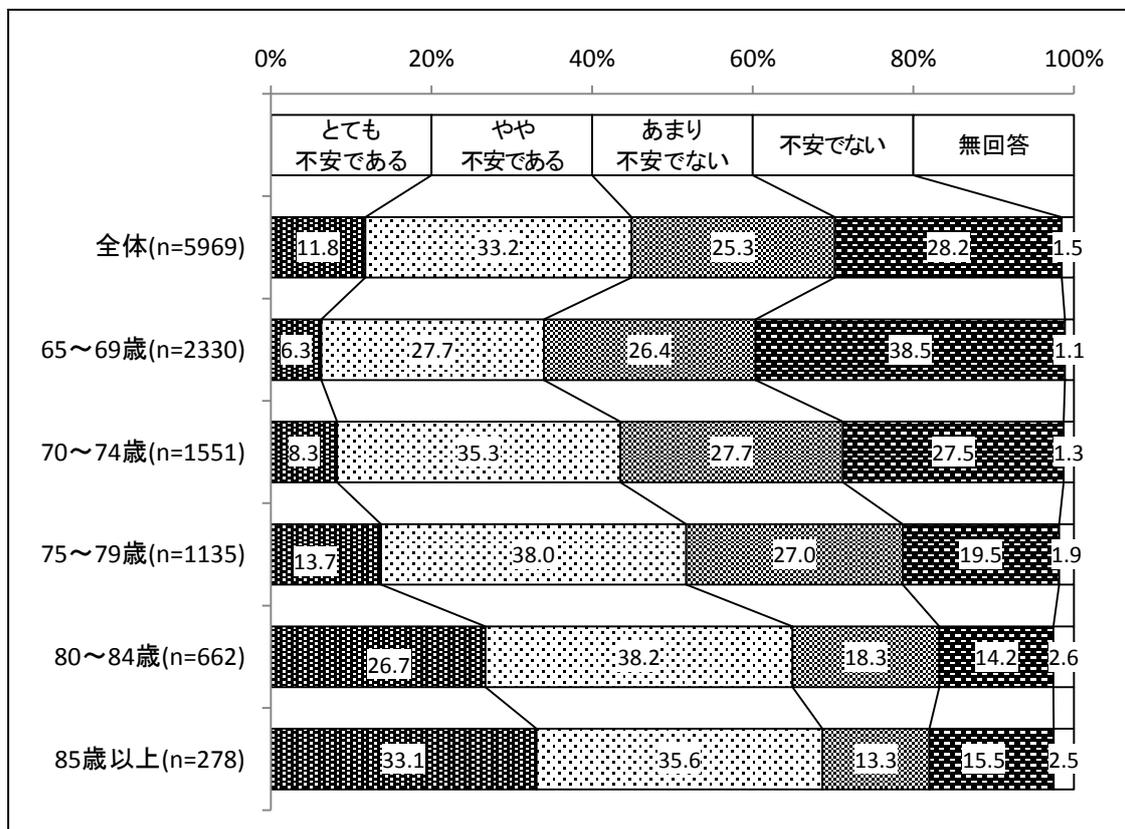


単位：%

	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体(n=5969)	6.5	20.0	72.1	1.5
65~69歳(n=2330)	4.7	15.4	78.8	1.2
70~74歳(n=1551)	5.0	19.7	74.1	1.2
75~79歳(n=1135)	6.6	24.0	68.0	1.4
80~84歳(n=662)	10.6	26.3	60.4	2.7
85歳以上(n=278)	19.4	28.4	49.3	2.9

問4 (5) 転倒に対する不安は大きいですか (〇は1つ)

転倒に対する不安については、「やや不安である」33.2%が最も多く、次いで「不安でない」28.2%、「あまり不安でない」25.3%であった。これを年齢別にみると、65～69歳では「不安でない」と回答した人が最も多かったが、70歳以上では「やや不安である」と回答した人が最も多い状況であった。

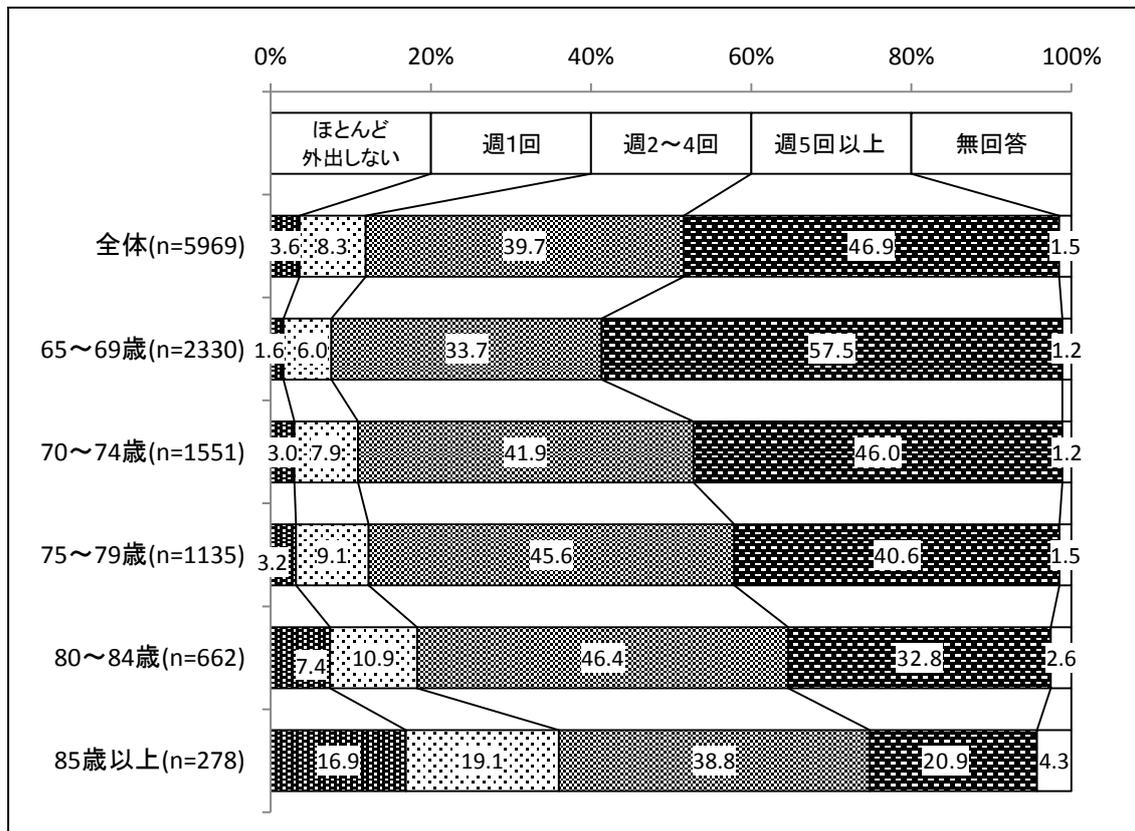


単位：%

	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体(n=5969)	11.8	33.2	25.3	28.2	1.5
65～69歳(n=2330)	6.3	27.7	26.4	38.5	1.1
70～74歳(n=1551)	8.3	35.3	27.7	27.5	1.3
75～79歳(n=1135)	13.7	38.0	27.0	19.5	1.9
80～84歳(n=662)	26.7	38.2	18.3	14.2	2.6
85歳以上(n=278)	33.1	35.6	13.3	15.5	2.5

問4（6）週に1回以上は外出していますか（○は1つ）

外出頻度については、「週5回以上」46.9%が最も多く、次いで「週2～4回」39.7%、「週1回」8.3%であった。これを年齢別にみると、65～74歳では「週5回以上」と回答した人が最も多かったが、75歳以上では「週2～4回」と回答した人が最も多かった。また、「週1回」「ほとんど外出しない」の割合も、年齢が上がるほど大きくなる傾向が見られた。

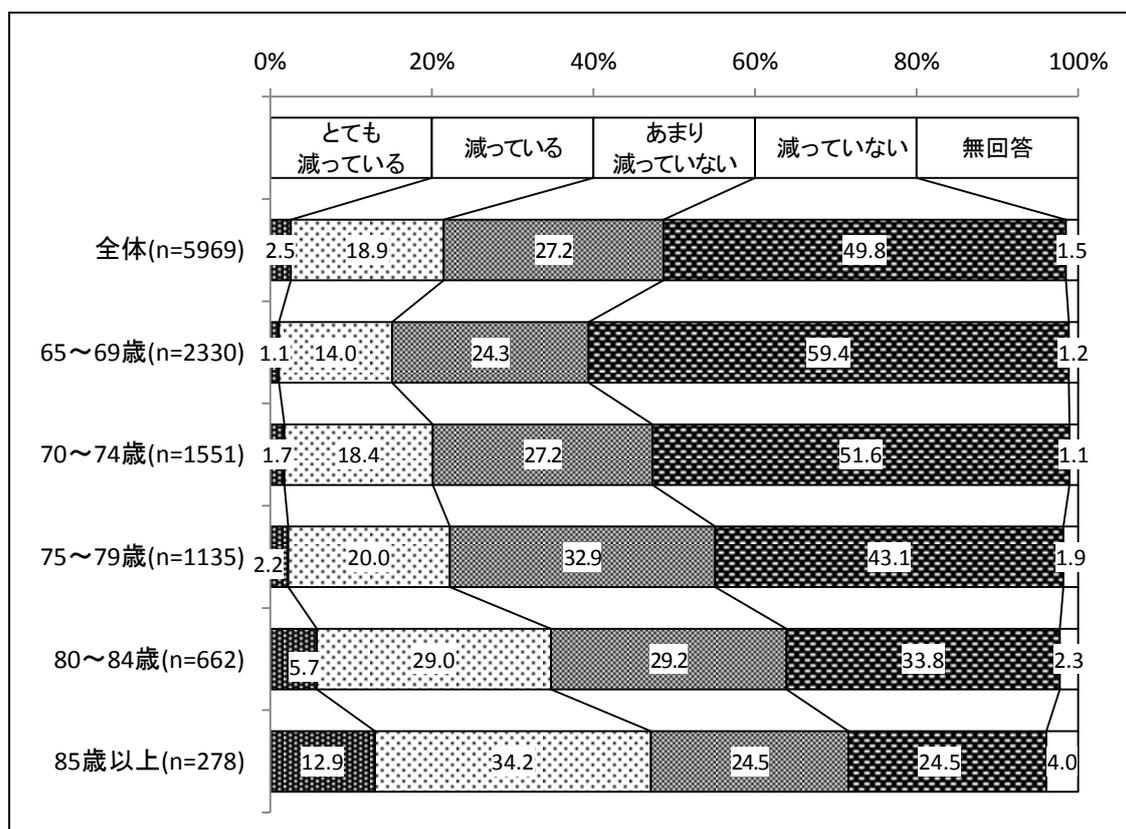


単位：%

	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体(n=5969)	3.6	8.3	39.7	46.9	1.5
65～69歳(n=2330)	1.6	6.0	33.7	57.5	1.2
70～74歳(n=1551)	3.0	7.9	41.9	46.0	1.2
75～79歳(n=1135)	3.2	9.1	45.6	40.6	1.5
80～84歳(n=662)	7.4	10.9	46.4	32.8	2.6
85歳以上(n=278)	16.9	19.1	38.8	20.9	4.3

問4（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか（〇は1つ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」49.8%が最も多く、次いで「あまり減っていない」27.2%、「減っている」18.9%であった。これを年齢別にみると、65～84歳では「減っていない」と回答した人が最も多かったのに対し、85歳以上では「減っている」が最も多い状況であった。また、年齢が上がるほど「とても減っている」「減っている」の割合が大きくなる傾向が見られた。



単位：%

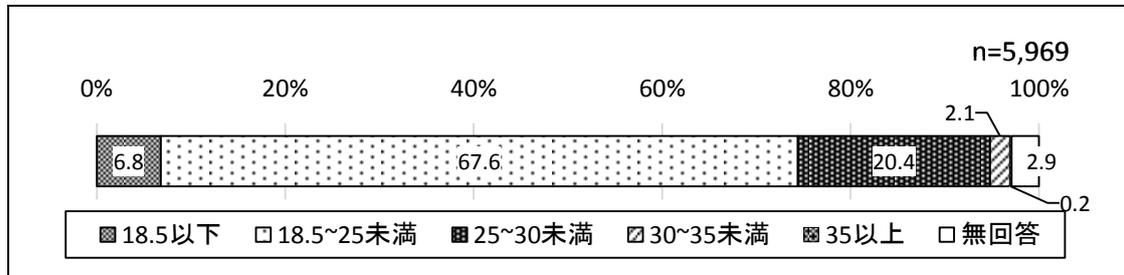
	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体(n=5969)	2.5	18.9	27.2	49.8	1.5
65～69歳(n=2330)	1.1	14.0	24.3	59.4	1.2
70～74歳(n=1551)	1.7	18.4	27.2	51.6	1.1
75～79歳(n=1135)	2.2	20.0	32.9	43.1	1.9
80～84歳(n=662)	5.7	29.0	29.2	33.8	2.3
85歳以上(n=278)	12.9	34.2	24.5	24.5	4.0

問5 食べることについて

問5(1) 身長・体重

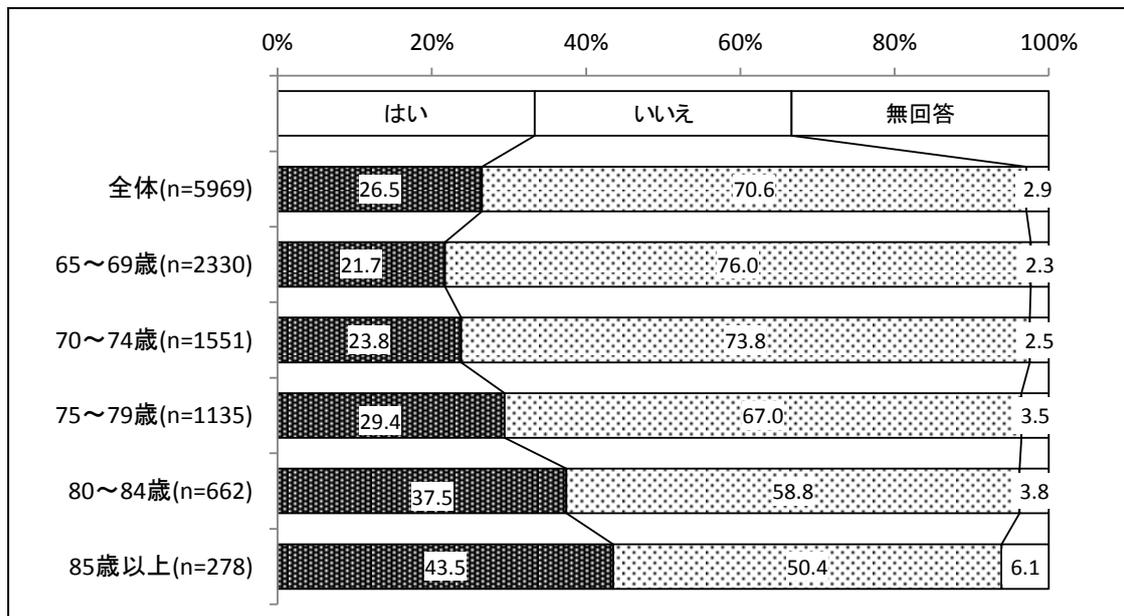
回答のあった身長・体重から BMI (Body Mass Index) を算出・集計した結果、最も多かったのは「18.5~25未満」67.6%であった。

低栄養が疑われる「18.5以下」は6.8%であった。



問5(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (〇は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」70.6%、「はい」26.5%であり、高齢になるほど固いものが食べにくくなる傾向がみられ、食生活に影響が出ていることがうかがわれた。



単位：%

	はい	いいえ	無回答
全体(n=5969)	26.5	70.6	2.9
65~69歳(n=2330)	21.7	76.0	2.3
70~74歳(n=1551)	23.8	73.8	2.5
75~79歳(n=1135)	29.4	67.0	3.5
80~84歳(n=662)	37.5	58.8	3.8
85歳以上(n=278)	43.5	50.4	6.1

問5（3）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

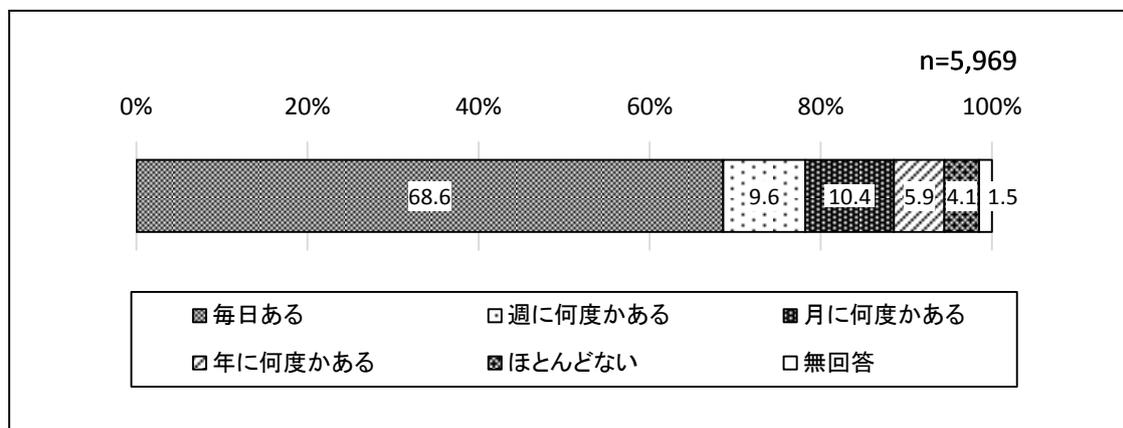
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」34.8%が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」33.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」19.3%であった。これを年齢別にみると、65～69歳でも、38.8%の人は自分の歯が19本以下という状況であった。

単位：%

	自分の歯は 20本以上、かつ 入れ歯を利用	自分の歯は 20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は 19本以下、かつ 入れ歯を利用	自分の歯は 19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
全体(n=5969)	19.3	33.2	34.8	9.3	3.4
65～69歳(n=2330)	18.2	41.3	28.0	10.8	1.8
70～74歳(n=1551)	21.3	34.8	34.4	7.7	1.9
75～79歳(n=1135)	20.3	26.5	39.6	8.1	5.6
80～84歳(n=662)	18.1	22.1	45.3	8.8	5.7
85歳以上(n=278)	17.3	10.1	50.4	11.5	10.8

問5（4）どなたかと食事をとる機会がありますか（○は1つ）

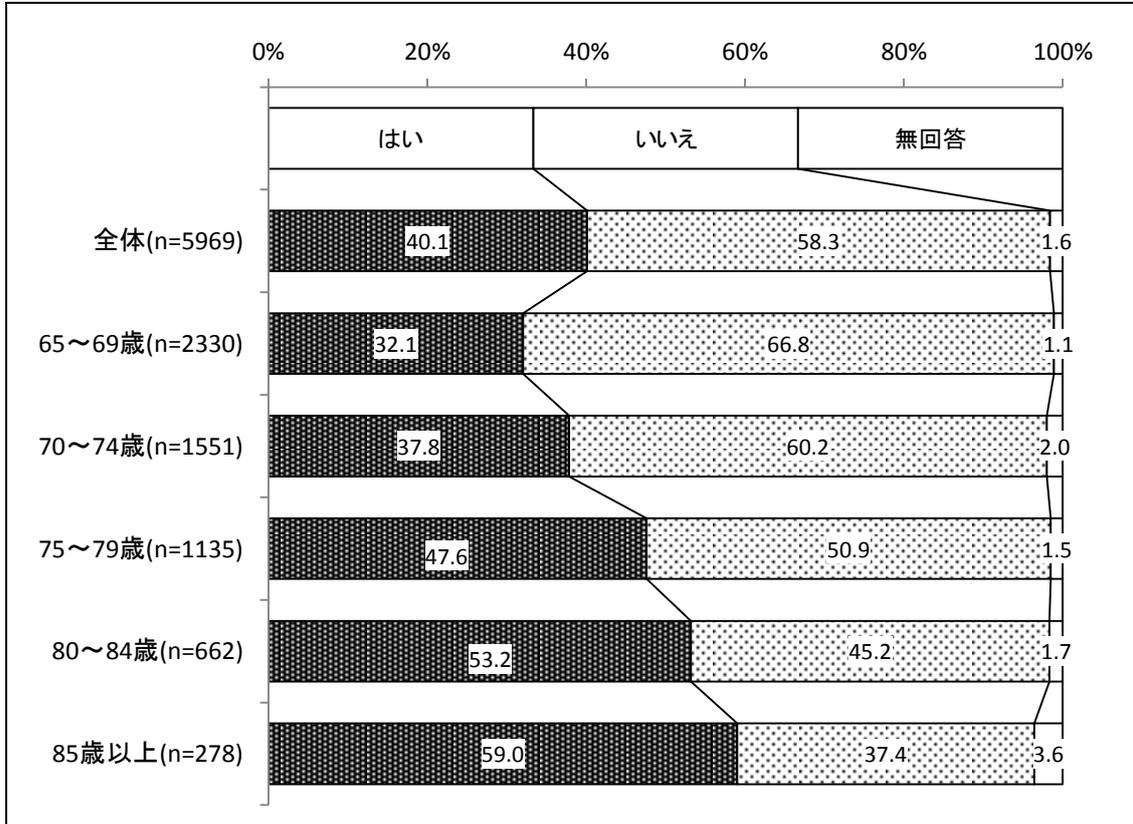
誰かと食事をとる機会については、「毎日ある」68.6%が最も多く、次いで「月に何度かある」10.4%、「年に何度かある」9.6%であった。「年に何度かある」「ほとんどない」と回答した人も10.0%であった。



問6 毎日の生活について

問6（1）物忘れが多いと感じますか（〇は1つ）

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」58.3%、「はい」40.1%であった。
80歳以上では、半数以上の人物が忘れが多いと感じている状況であった。

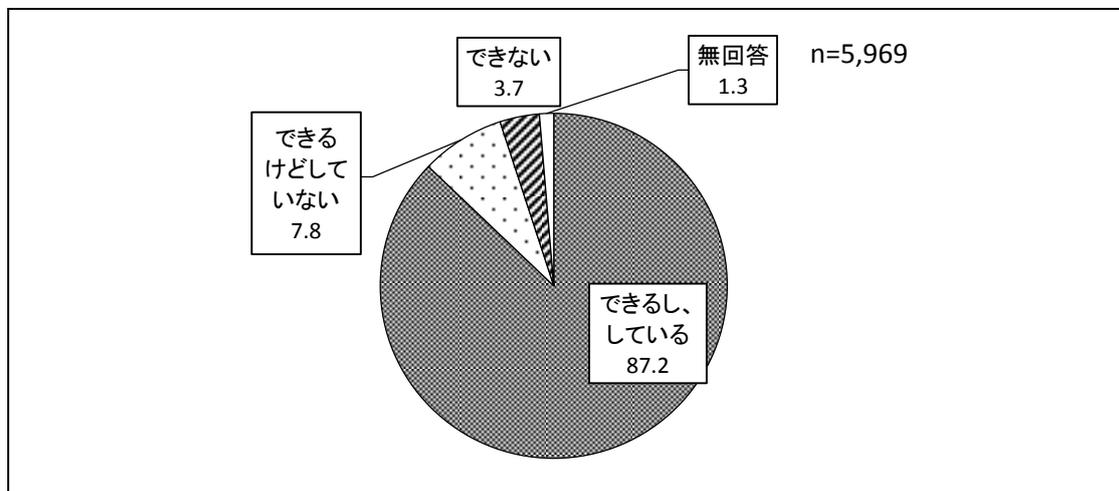


単位：%

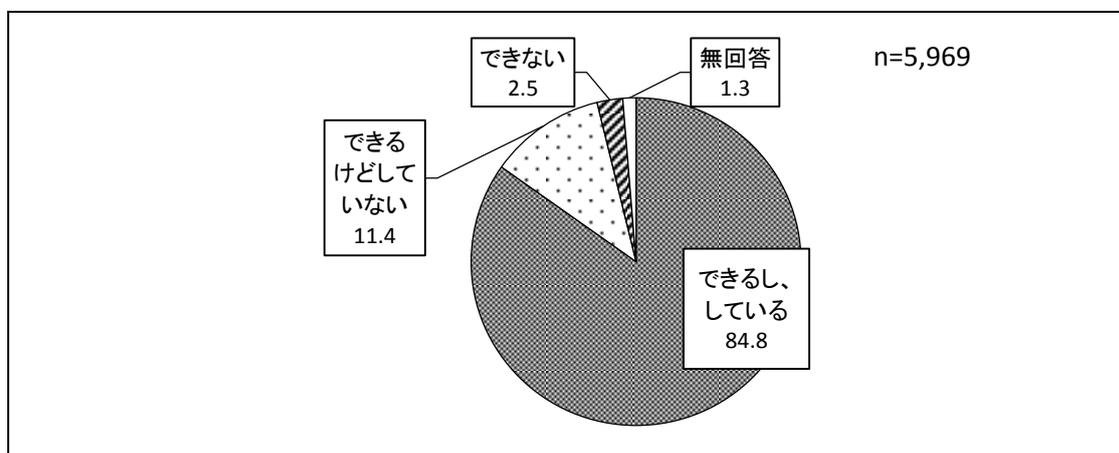
	はい	いいえ	無回答
全体(n=5969)	40.1	58.3	1.6
65～69歳(n=2330)	32.1	66.8	1.1
70～74歳(n=1551)	37.8	60.2	2.0
75～79歳(n=1135)	47.6	50.9	1.5
80～84歳(n=662)	53.2	45.2	1.7
85歳以上(n=278)	59.0	37.4	3.6

問6(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」87.2%が最も多く、次いで「できるけどしていない」7.8%であった。「できない」も3.7%であった。

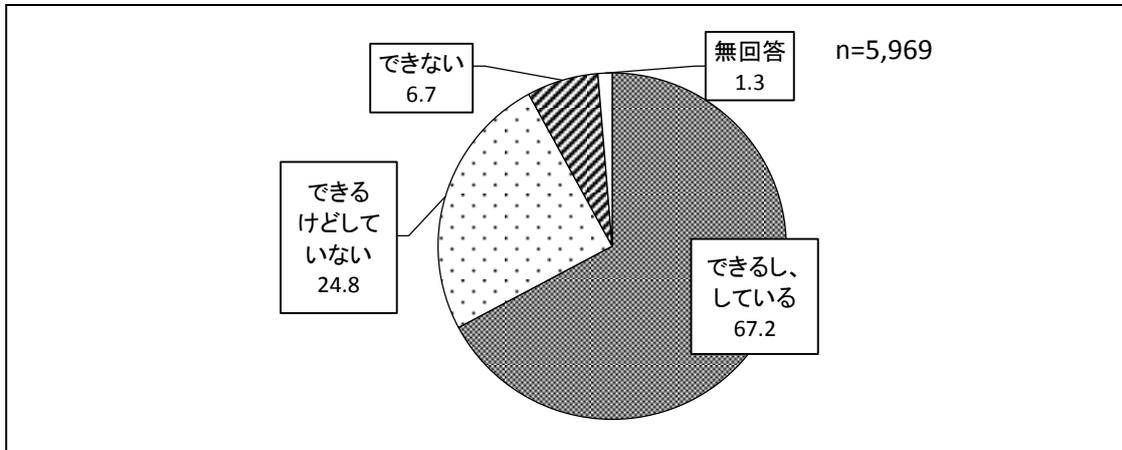
**問6(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(○は1つ)**

食品・日用品の買物については、「できるし、している」84.8%が最も多く、次いで「できるけどしていない」11.4%であった。「できない」も2.5%であった。



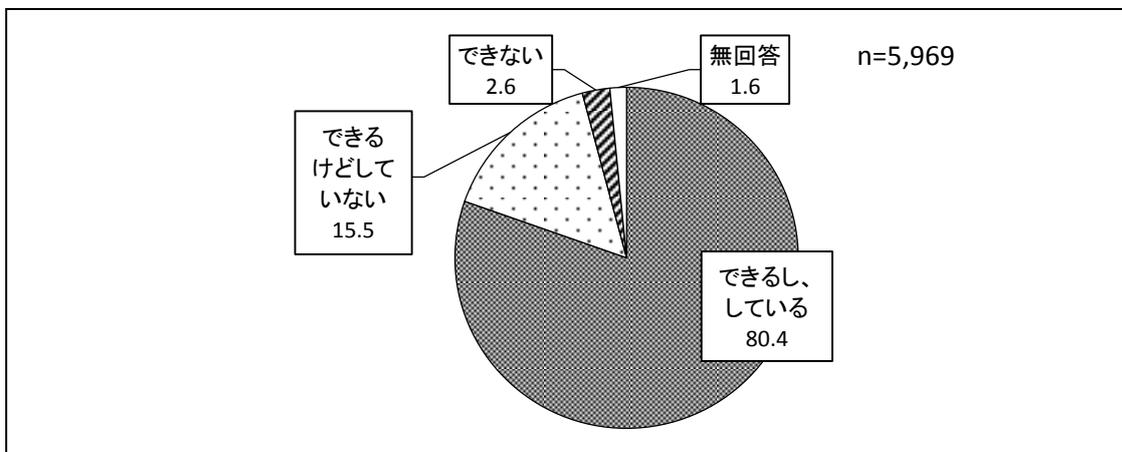
問6（4）自分で食事の用意をしていますか（〇は1つ）

食事の用意については、「できるし、している」67.2%が最も多く、次いで「できるけどしていない」24.8%であった。「できない」も6.7%であった。



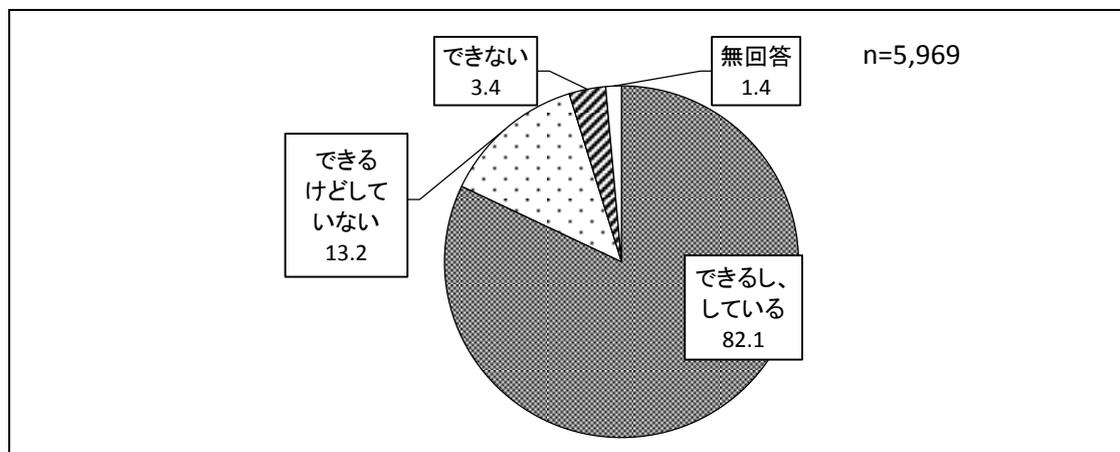
問6（5）自分で請求書の支払いをしていますか（〇は1つ）

請求書の支払については、「できるし、している」80.4%が最も多く、次いで「できるけどしていない」15.5%であった。「できない」も2.6%であった。



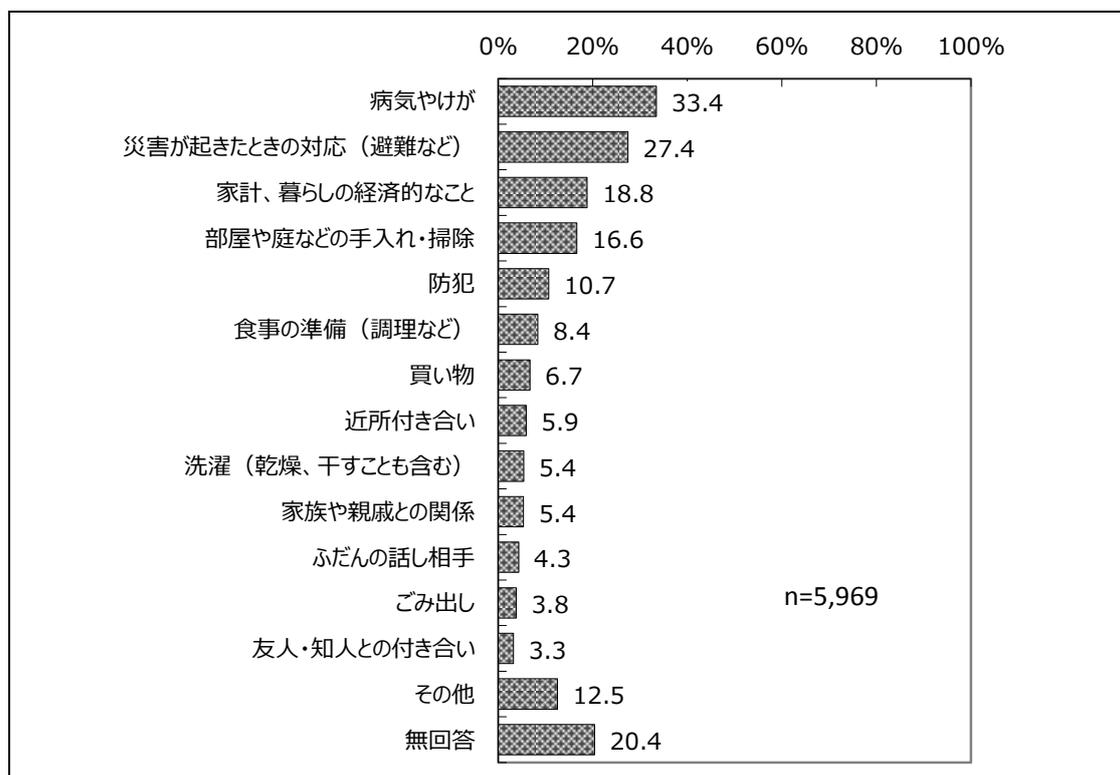
問6（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか（〇は1つ）

預貯金の出し入れについては、「できるし、している」82.1%が最も多く、次いで「できるけどしていない」13.2%であった。「できない」も3.4%であった。



問6（7）あなたがふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか（〇はいくつでも）

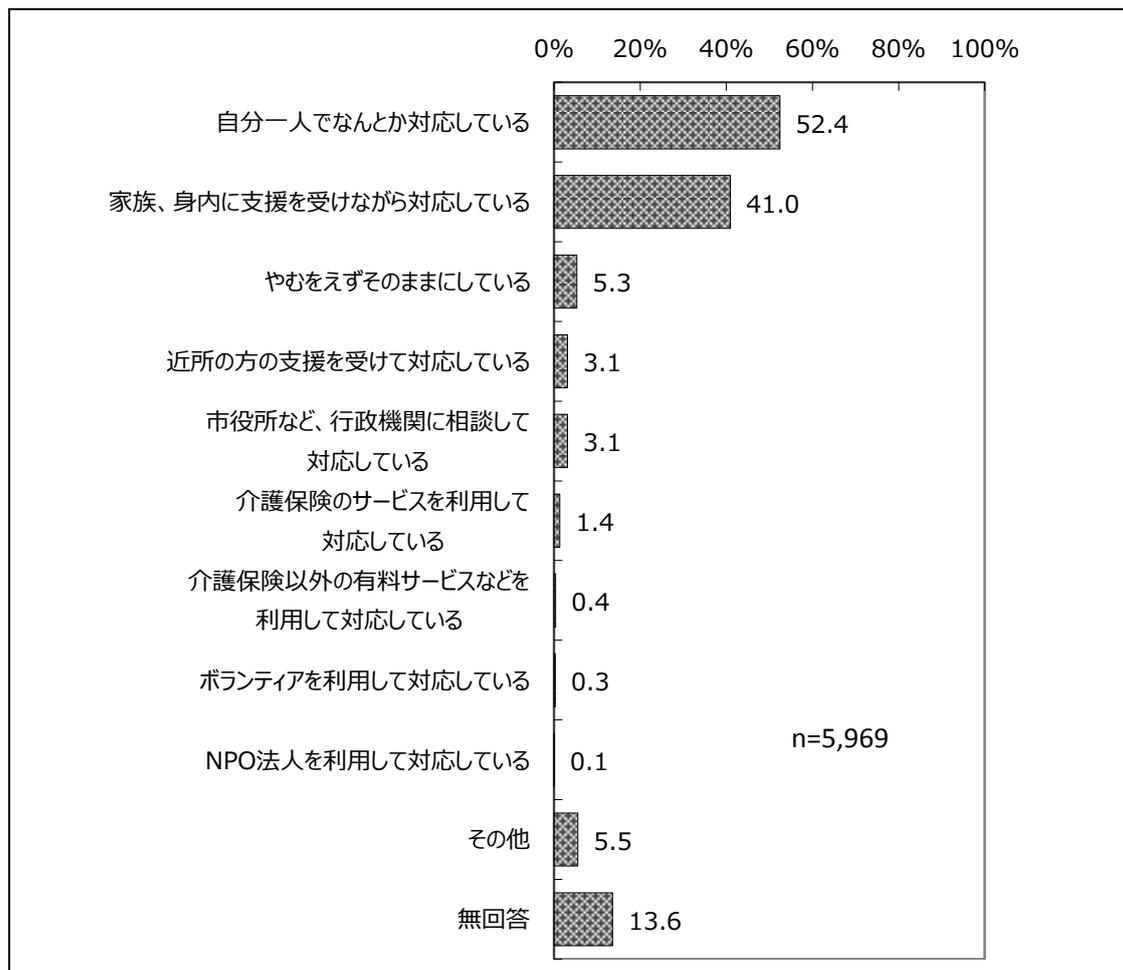
ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることについては、「病気やけが」33.4%、「災害が起きたときの対応（避難など）」27.4%、「家計、暮らしの経済的なこと」18.8%、「部屋や庭などの手入れ・掃除」16.6%、「防犯」10.7%であった。最も多かったのは「病気やけが」であり、次いで災害を心配する意見が多かった。



問6（8）あなたが気になったり、困ったりしていることに、どのように対応されていますか（〇はいくつでも）

気になったり、困ったりしていることに、どのように対応しているかについては、「自分一人でなんとか対応している」52.4%、「家族、身内に支援を受けながら対応している」41.0%、「やむをえずそのままにしている」5.3%、「近所の方の支援を受けて対応している」「市役所など、行政機関に相談して対応している」がともに3.1%であった。

最も多かったのは「自分一人でなんとか対応している」であり、次に家族、身内の支援を受けて対応しているケースが多かった。近所の方の支援など、他の支援を活用している割合は比較的少なかった。



問6（9）市では他の方の支援を受けられず、自らごみ収集ステーションにごみを出すことが困難な方に対し、市職員が戸別にごみ収集を行う事業の実施を検討しています。

このような事業を実施した場合、あなたは利用したいですか（○は1つ）

市職員が戸別にごみ収集を行う事業を実施した場合、利用したいかについては、「自身でごみ出しができており困っていない」82.2%が最も多く、次いで「支援を受けることができるため、利用するつもりはない」7.0%、「支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい」2.9%であった。

年齢が上がるほど、ごみ収集のサービスに対するニーズが高まる傾向が見られた。

単位：%

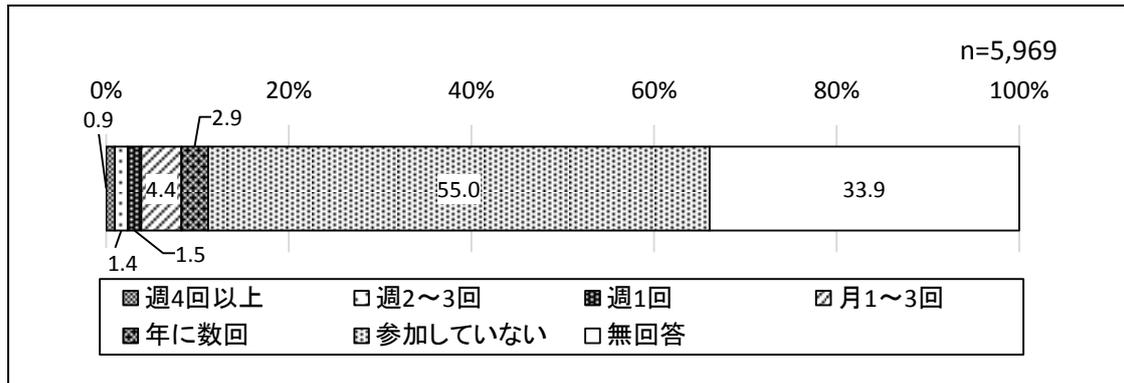
	支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい	自身でごみ出しができており困っていない	支援を受けることができるため、利用するつもりはない	無回答
全体(n=5969)	2.9	82.2	7.0	7.9
65～69歳(n=2330)	2.1	87.3	5.3	5.2
70～74歳(n=1551)	3.2	84.6	5.5	6.7
75～79歳(n=1135)	2.6	80.9	6.6	9.9
80～84歳(n=662)	4.1	72.5	10.4	13.0
85歳以上(n=278)	6.5	55.8	22.3	15.5

問7 地域での活動について

問7(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①-⑦それぞれに回答してください

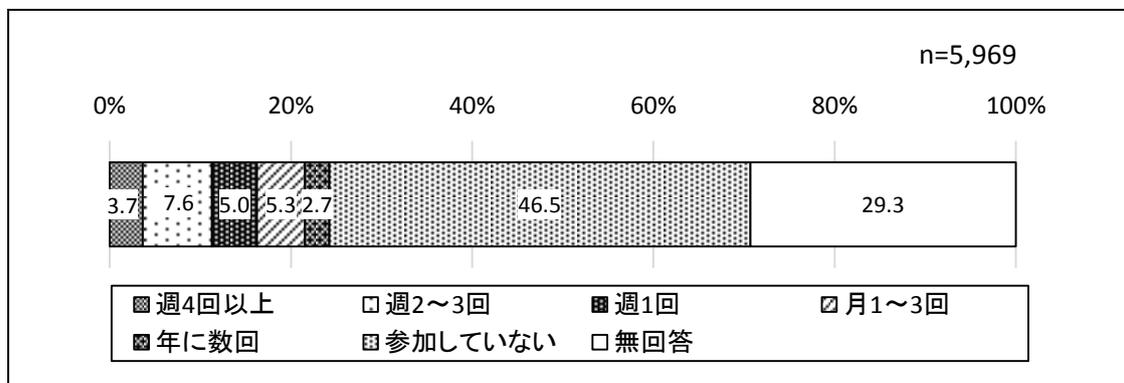
① ボランティアのグループ

「参加していない」55.0%が最も多く、次いで「月1～3回」4.4%、「年に数回」2.9%であった。年数回以上参加している人は全体の11.1%であった。



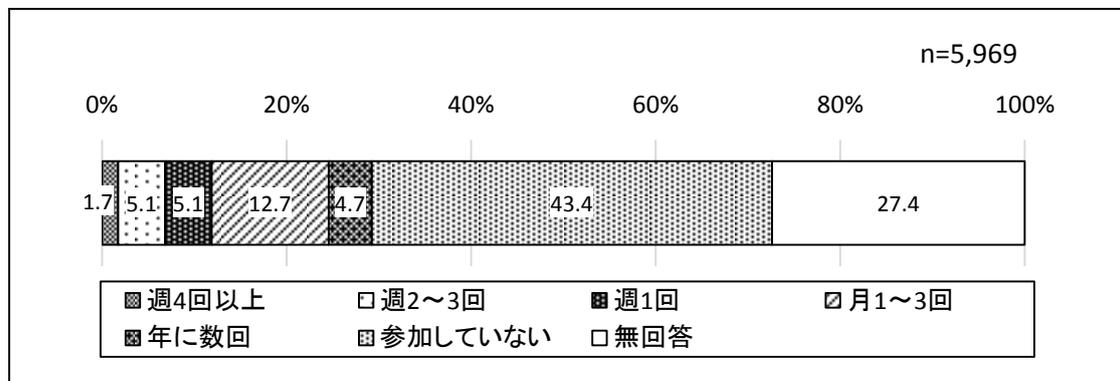
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」46.5%が最も多く、次いで「週2～3回」7.6%、「月1～3回」5.3%であった。年数回以上参加している人は全体の24.3%であった。



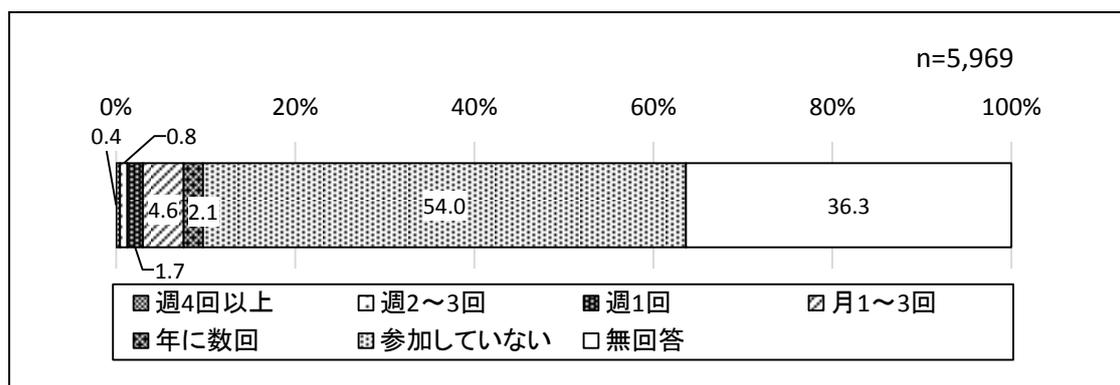
③趣味関係のグループ

「参加していない」43.4%が最も多く、次いで「月1～3回」12.7%、「週2～3回」「週1回」がともに5.1%であった。年数回以上参加している人は全体の29.3%であった。



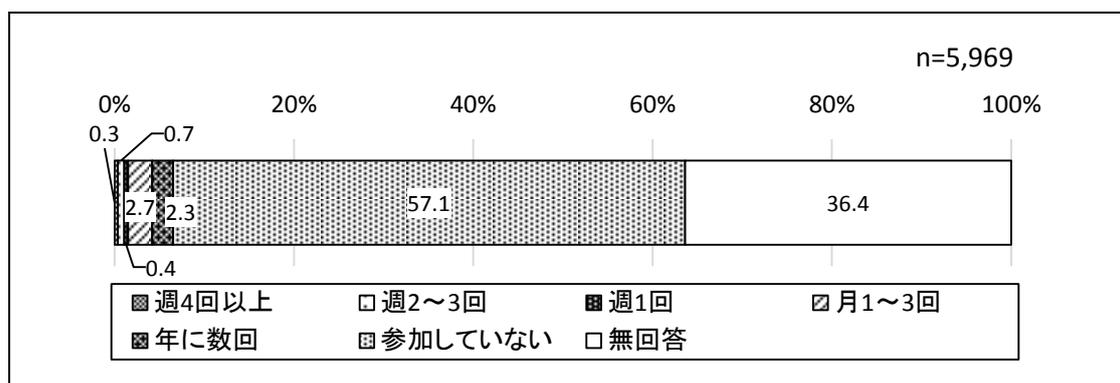
④学習・教養サークル

「参加していない」54.0%が最も多く、次いで「月1～3回」4.6%、「年に数回」2.1%であった。



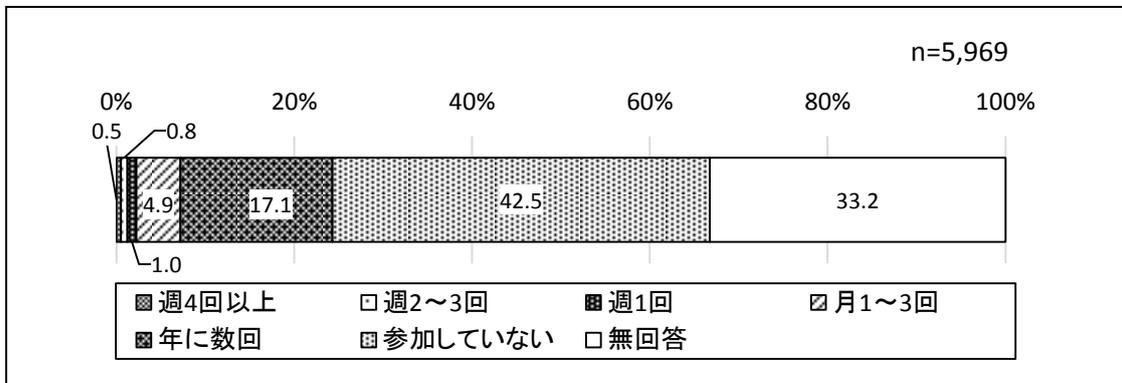
⑤老人クラブ

「参加していない」57.1%が最も多く、次いで「月1～3回」2.7%、「年に数回」2.3%であった。年数回以上参加している人は全体の6.4%であった。



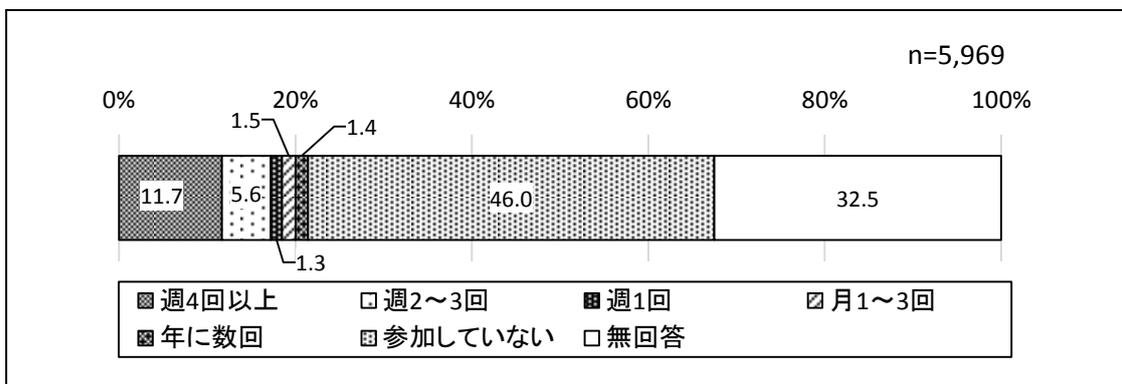
⑥町会・自治会

「参加していない」42.5%が最も多く、次いで「年に数回」17.1%、「月1～3回」4.9%であった。年数回以上参加している人は全体の24.3%であった。



⑦収入のある仕事

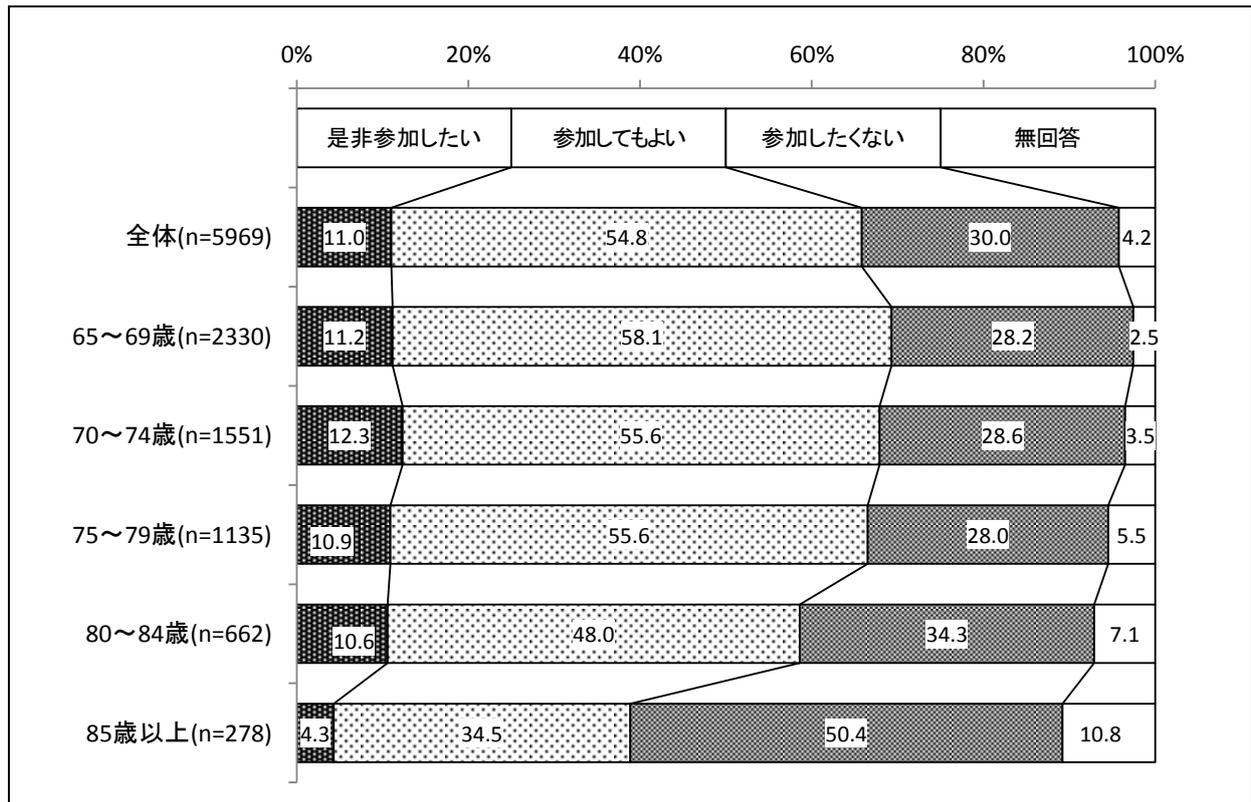
収入のある仕事への従事状況については、「参加していない」46.0%が最も多く、次いで「週4回以上」11.7%、「週2～3回」5.6%であった。年数回以上仕事に従事している人は全体の21.5%であった。



問7(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(〇は1つ)

健康づくり活動等による地域づくりへの参加者としての参加意向については、「参加してもよい」54.8%が最も多く、次いで「参加したくない」30.0%、「是非参加したい」11.0%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた65.8%の人に、参加意向が見られた。



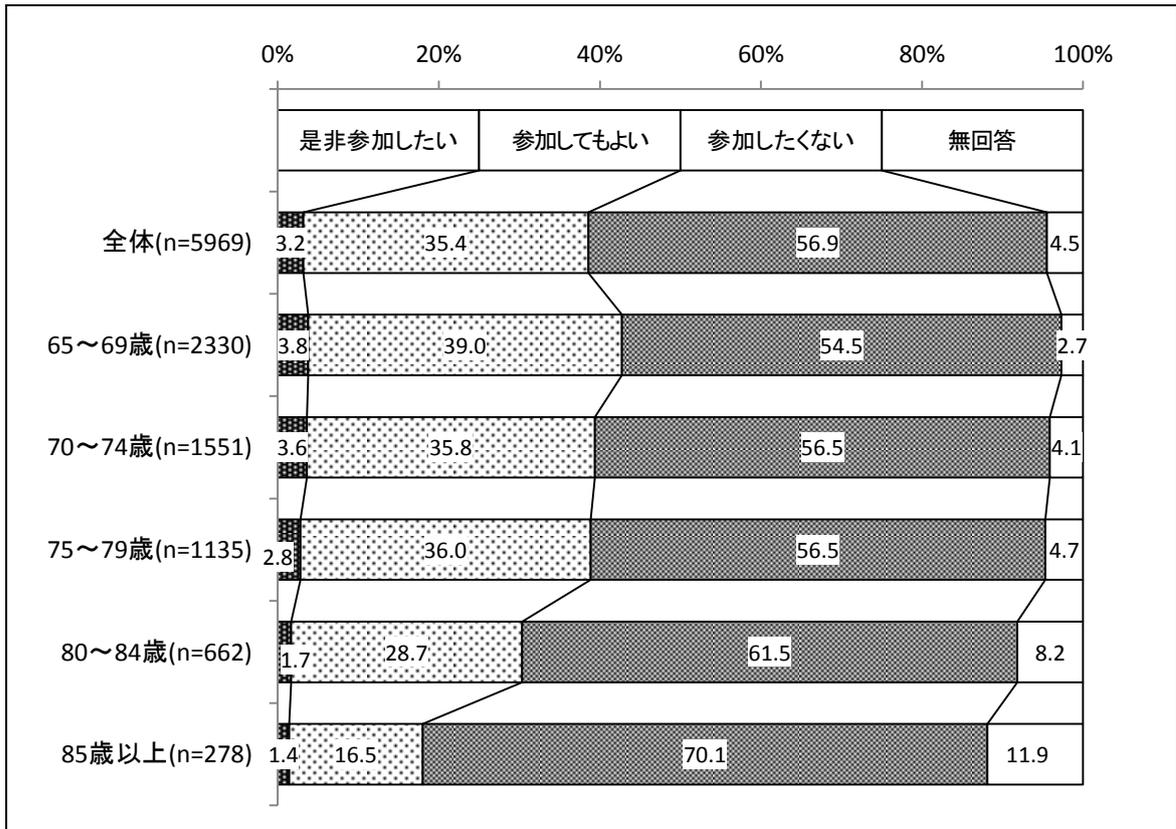
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=5969)	11.0	54.8	30.0	4.2
65～69歳(n=2330)	11.2	58.1	28.2	2.5
70～74歳(n=1551)	12.3	55.6	28.6	3.5
75～79歳(n=1135)	10.9	55.6	28.0	5.5
80～84歳(n=662)	10.6	48.0	34.3	7.1
85歳以上(n=278)	4.3	34.5	50.4	10.8

問7(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(〇は1つ)

健康づくり活動等による地域づくりへの企画・運営側としての参加意向については、「参加したくない」56.9%が最も多く、次いで「参加してもよい」35.4%、「是非参加したい」3.2%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた38.6%の人に、お世話役としての参加意向が見られた。



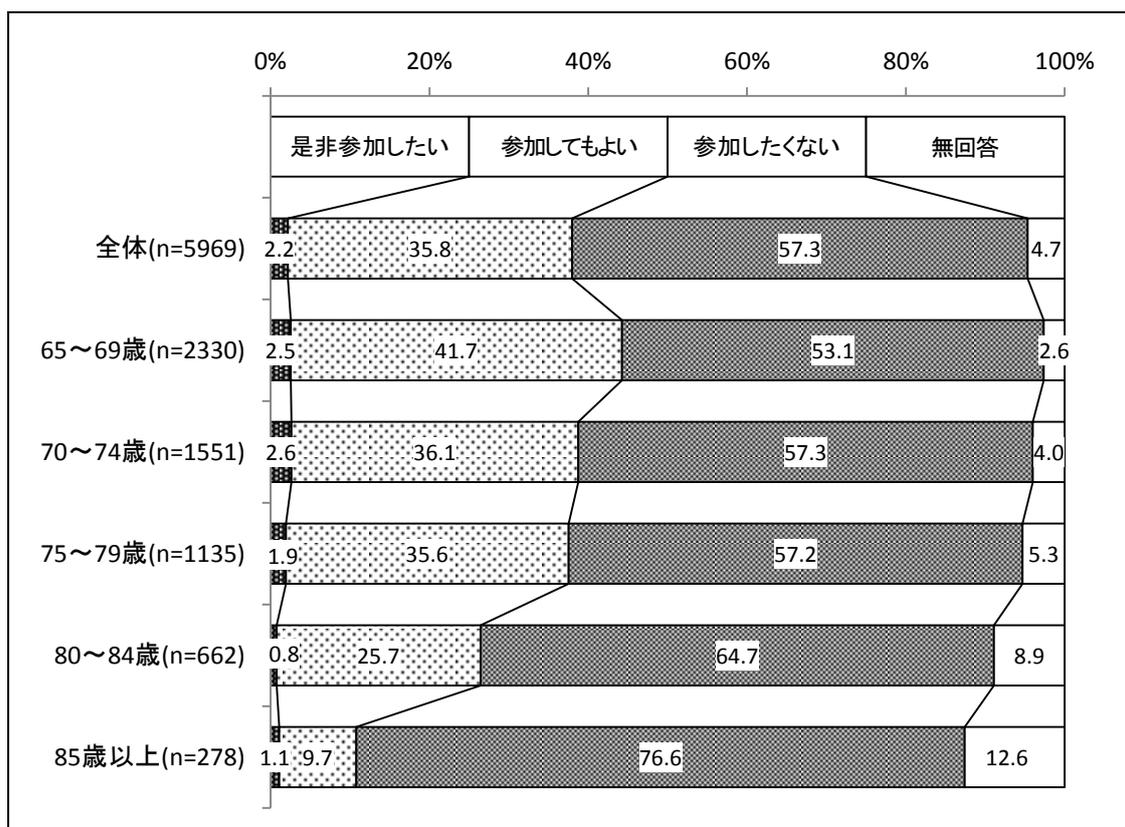
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=5969)	3.2	35.4	56.9	4.5
65~69歳(n=2330)	3.8	39.0	54.5	2.7
70~74歳(n=1551)	3.6	35.8	56.5	4.1
75~79歳(n=1135)	2.8	36.0	56.5	4.7
80~84歳(n=662)	1.7	28.7	61.5	8.2
85歳以上(n=278)	1.4	16.5	70.1	11.9

問7(4) 地域住民の有志によって、家事援助などのたすけあい活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいですか(〇は1つ)

家事援助などのたすけあい活動による地域づくりへのボランティアとしての参加意向については、「参加したくない」57.3%が最も多く、次いで「参加してもよい」35.8%、「是非参加したい」2.2%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた38.0%の人に、ボランティアとしての参加意向が見られた。



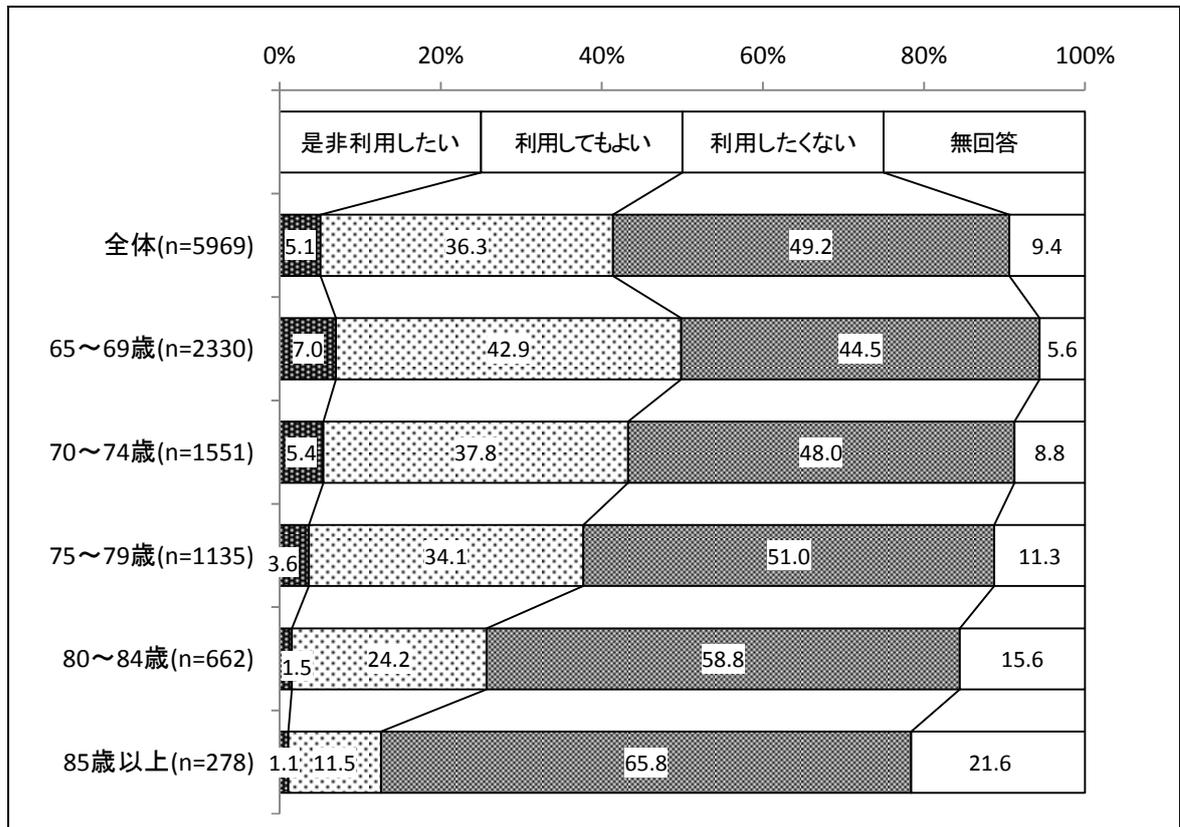
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=5969)	2.2	35.8	57.3	4.7
65～69歳(n=2330)	2.5	41.7	53.1	2.6
70～74歳(n=1551)	2.6	36.1	57.3	4.0
75～79歳(n=1135)	1.9	35.6	57.2	5.3
80～84歳(n=662)	0.8	25.7	64.7	8.9
85歳以上(n=278)	1.1	9.7	76.6	12.6

問7 (5) 「(4)」の活動をする、後日換金等ができるポイントをもたらる制度があったら、利用してみたいですか (〇は1つ)

ボランティア活動をする、換金等ができるポイントがもらえる制度の利用意向については、「利用したくない」49.2%が最も多く、次いで「利用してもよい」36.3%、「是非利用したい」5.1%であった。

是非利用したい、利用してもよいを合わせた41.4%の人に利用意向が見られた。

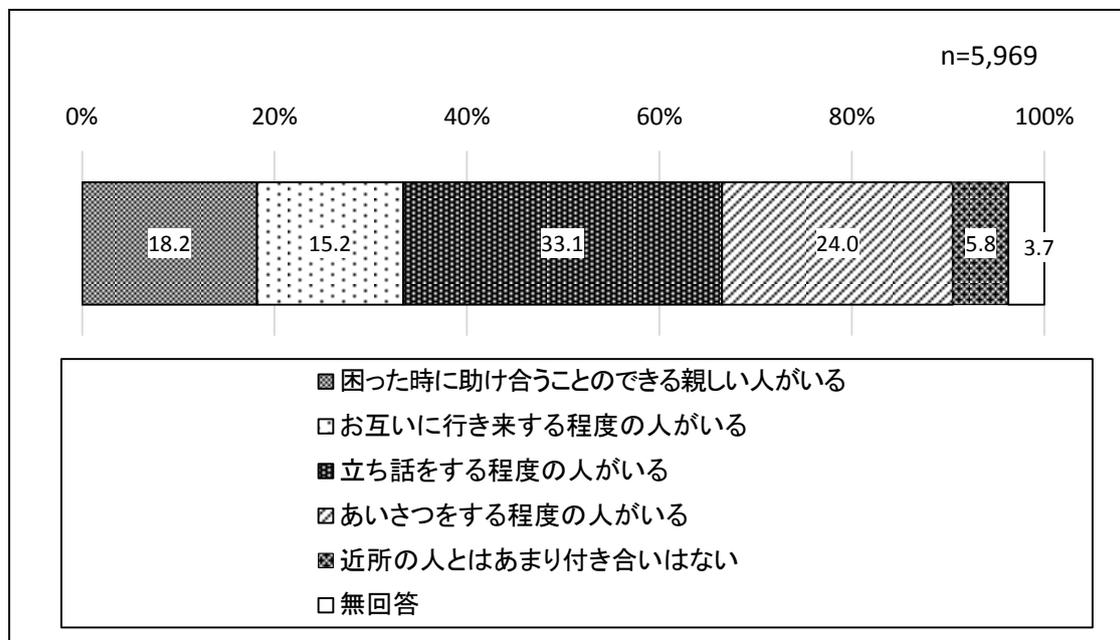


単位：%

	是非利用したい	利用してもよい	利用したくない	無回答
全体(n=5969)	5.1	36.3	49.2	9.4
65～69歳(n=2330)	7.0	42.9	44.5	5.6
70～74歳(n=1551)	5.4	37.8	48.0	8.8
75～79歳(n=1135)	3.6	34.1	51.0	11.3
80～84歳(n=662)	1.5	24.2	58.8	15.6
85歳以上(n=278)	1.1	11.5	65.8	21.6

問7(6) あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか(○は1つ)

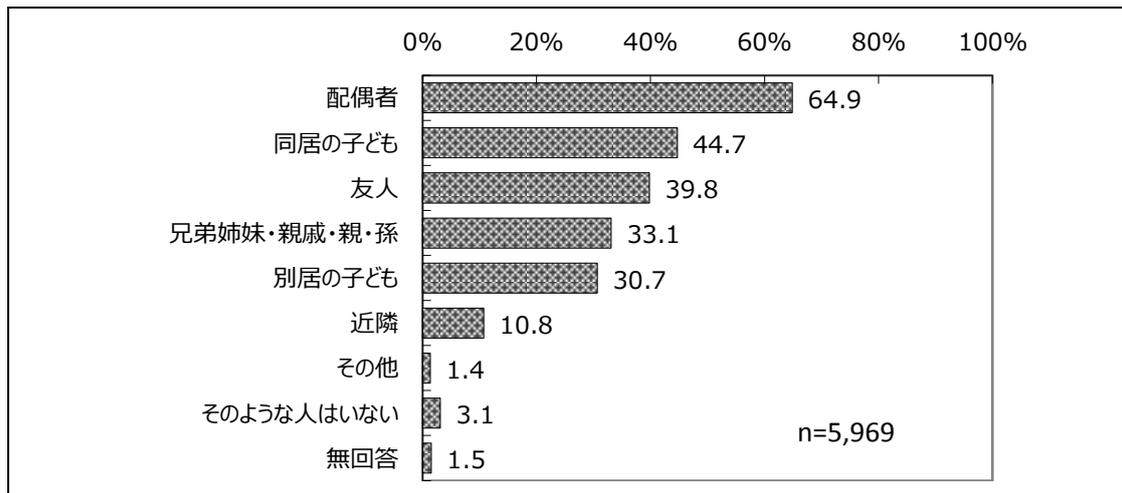
近所付き合いの状況については、「立ち話をする程度の人がある」33.1%が最も多く、次いで「あいさつをする程度の人がある」24.0%であったが、「困った時に助け合うことのできる親しい人がある」も18.2%であった。



問8 たすけあいについて

問8(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる相手については、「配偶者」64.9%、「同居の子ども」44.7%、「友人」39.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」33.1%、「別居の子ども」30.7%であった。年齢が若いほど「配偶者」や「友人」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

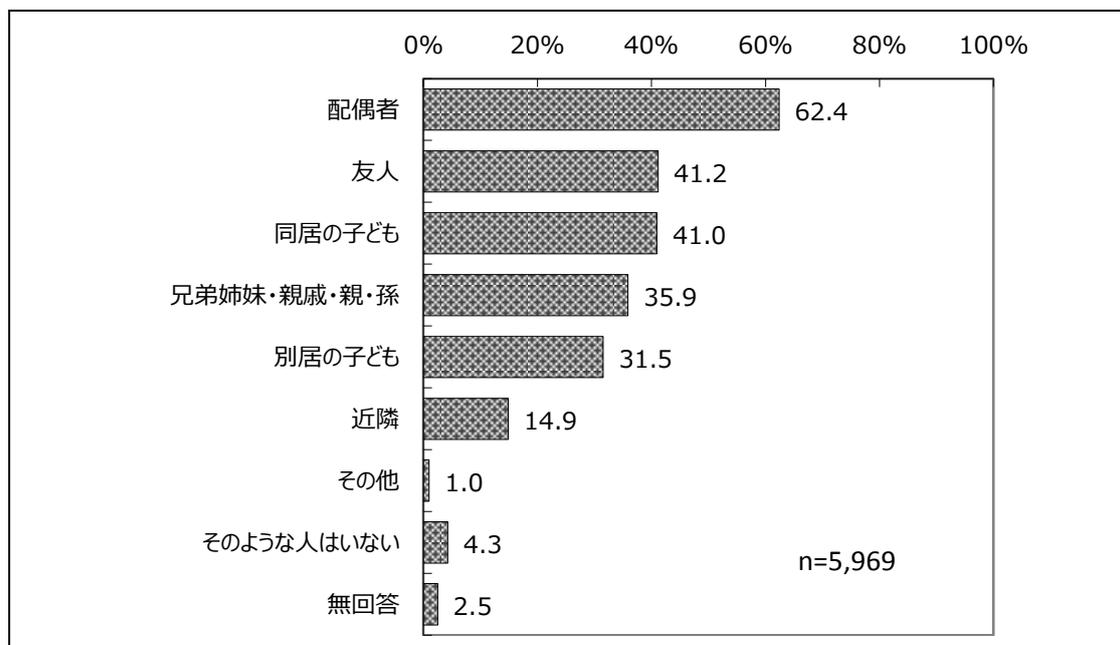


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=5969)	64.9	44.7	30.7	33.1	10.8	39.8	1.4	3.1	1.5
65～69歳(n=2330)	74.6	37.5	31.1	33.5	8.2	44.0	1.4	3.0	0.9
70～74歳(n=1551)	68.1	45.9	29.9	34.0	12.8	42.3	1.5	2.9	1.7
75～79歳(n=1135)	59.6	49.2	31.2	33.7	13.9	39.6	1.3	3.6	1.3
80～84歳(n=662)	44.7	53.3	31.9	29.6	11.2	27.2	1.2	4.1	2.3
85歳以上(n=278)	35.3	60.4	26.6	30.9	6.8	20.9	0.7	1.8	4.7

問8(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる相手については、「配偶者」62.4%、「友人」41.2%、「同居の子ども」41.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」35.9%、「別居の子ども」31.5%であった。最も多かったのは「配偶者」であった。年齢が若いほど「配偶者」や「友人」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

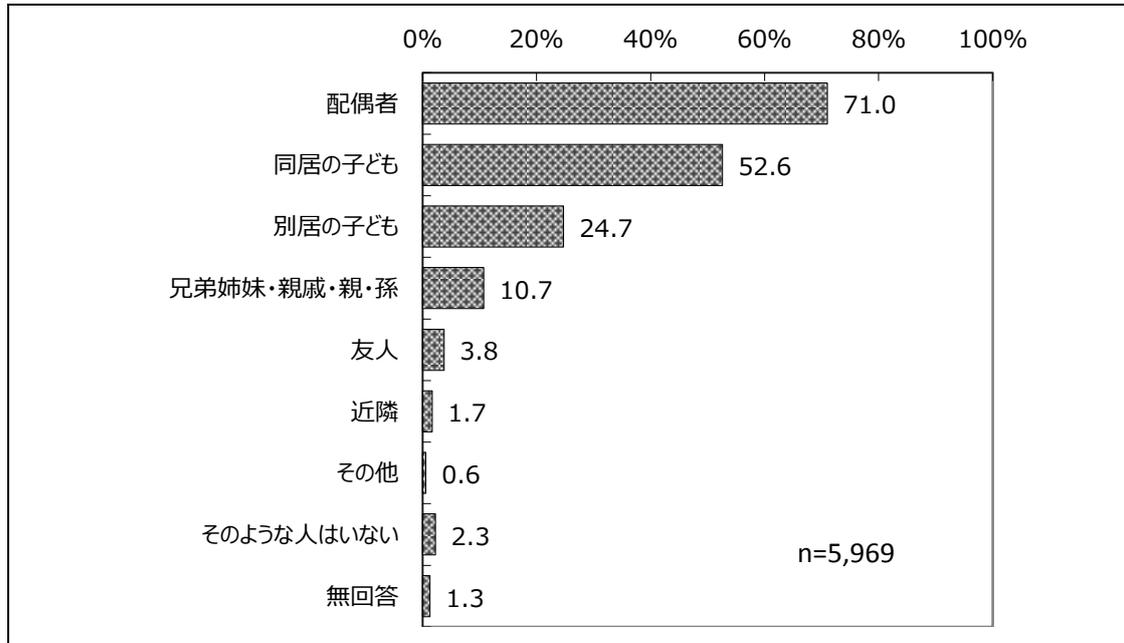


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=5969)	62.4	41.0	31.5	35.9	14.9	41.2	1.0	4.3	2.5
65～69歳(n=2330)	73.3	37.3	33.6	36.9	11.9	44.8	1.3	3.8	1.2
70～74歳(n=1551)	64.9	43.2	31.9	36.6	17.0	43.9	0.8	3.5	2.4
75～79歳(n=1135)	55.6	44.7	30.7	35.6	18.9	41.3	0.7	5.0	1.8
80～84歳(n=662)	41.7	41.8	29.5	32.9	15.7	30.4	1.1	5.1	6.3
85歳以上(n=278)	34.5	43.5	20.5	31.7	9.0	20.5	0.4	7.9	7.9

問8（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
（〇はいくつでも）

病気で数日間寝込んだ時に看病や世話をしてくれる相手については、「配偶者」71.0%、「同居の子ども」52.6%、「別居の子ども」24.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」10.7%、「友人」3.8%であった。年齢が若いほど「配偶者」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

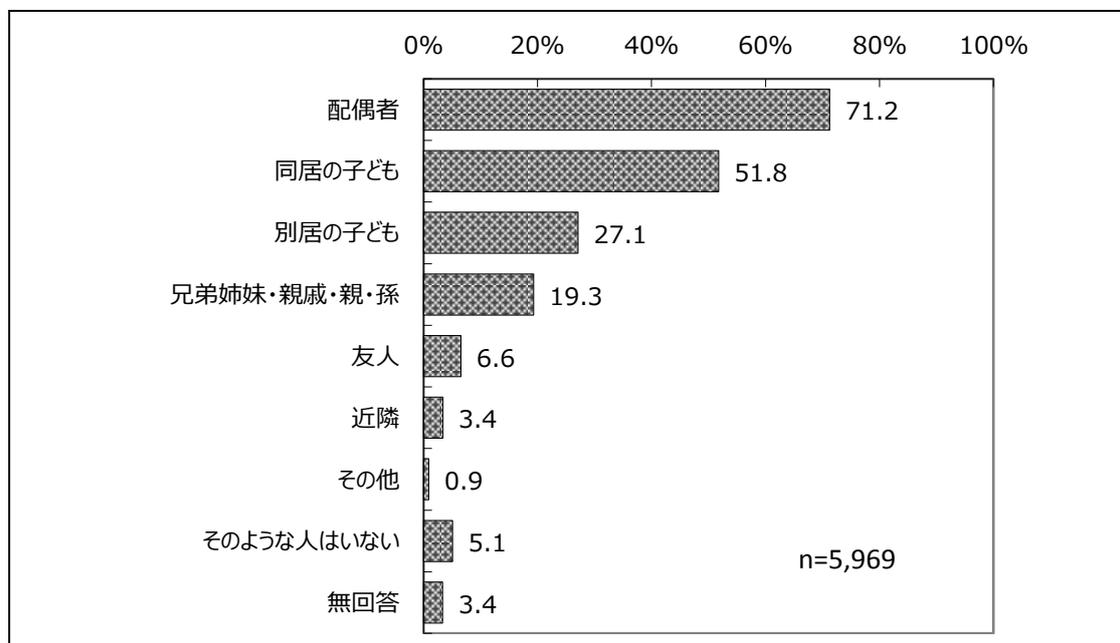


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=5969)	71.0	52.6	24.7	10.7	1.7	3.8	0.6	2.3	1.3
65～69歳(n=2330)	82.7	42.5	23.9	10.4	0.9	3.4	0.3	1.7	1.0
70～74歳(n=1551)	73.6	54.5	24.0	10.4	1.9	4.3	0.4	2.4	1.5
75～79歳(n=1135)	64.6	60.9	25.3	12.0	3.1	4.7	0.7	2.2	0.8
80～84歳(n=662)	48.2	62.4	29.9	9.4	1.8	3.3	1.8	4.2	2.6
85歳以上(n=278)	38.8	70.1	21.6	13.3	0.7	1.4	1.1	2.5	1.8

問8(4) 反対に、看病や世話をしあける人(〇はいくつでも)

看病や世話をしあける相手については、「配偶者」71.2%、「同居の子ども」51.8%、「別居の子ども」27.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」19.3%、「友人」6.6%であった。年齢が若いほど「配偶者」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。



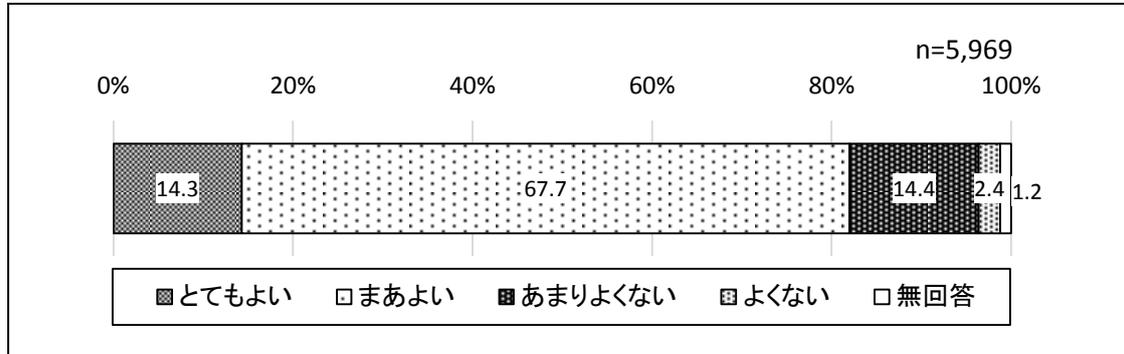
単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=5969)	71.2	51.8	27.1	19.3	3.4	6.6	0.9	5.1	3.4
65～69歳(n=2330)	81.2	46.2	31.1	21.8	2.1	6.3	0.6	3.9	1.6
70～74歳(n=1551)	75.2	56.0	28.0	20.4	4.0	7.4	0.6	3.8	2.3
75～79歳(n=1135)	65.7	57.5	25.6	18.6	5.4	7.8	0.9	5.2	3.4
80～84歳(n=662)	50.0	53.3	20.7	12.5	4.2	5.9	1.7	8.5	8.5
85歳以上(n=278)	38.5	47.8	10.1	11.2	1.1	1.1	4.0	13.7	11.5

問9 健康について

問9(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (〇は1つ)

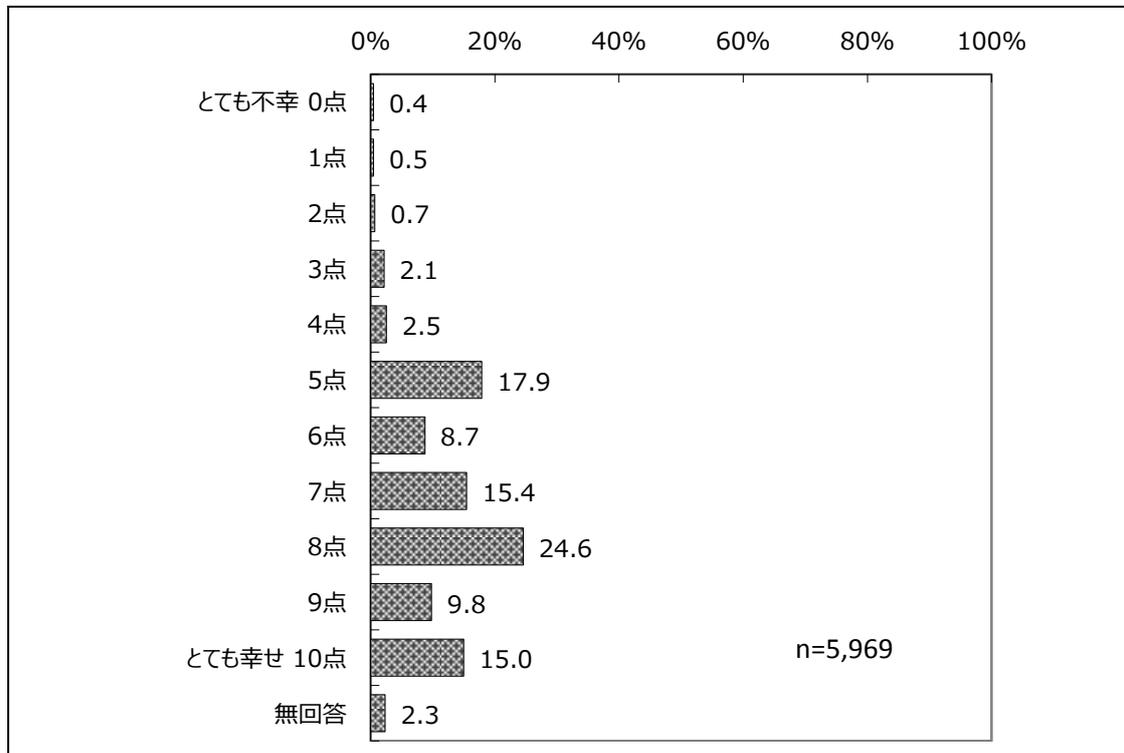
健康状態については、「まあよい」67.7%が最も多く、次いで「あまりよくない」14.4%、「とてもよい」14.3%であった。「あまりよくない」「よくない」を合わせると16.8%の回答があった。



問9(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

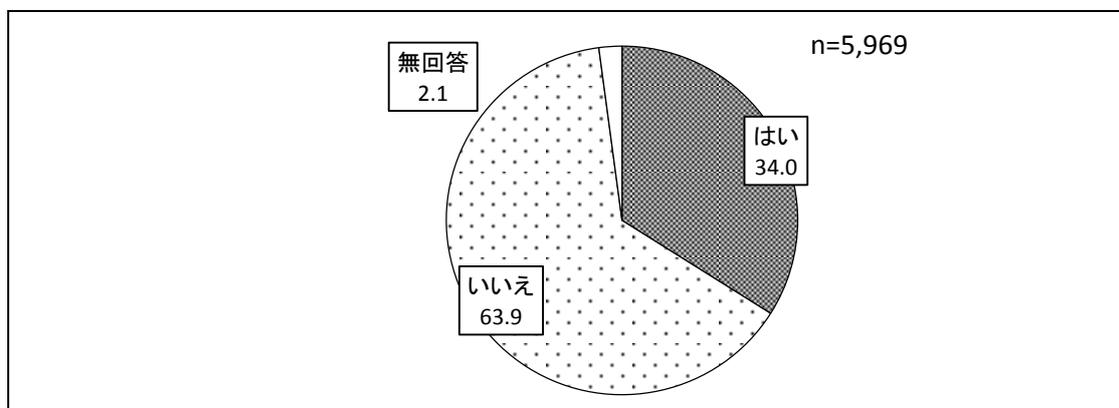
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、〇を1つ付けてください)

現在の幸福度については、「8点」24.6%、「5点」17.9%、「7点」15.4%、「10点とても幸せ」15.0%、「9点」9.8%であった。最も多かったのは「8点」であり、平均値は7.2点、中央値は8点であった。



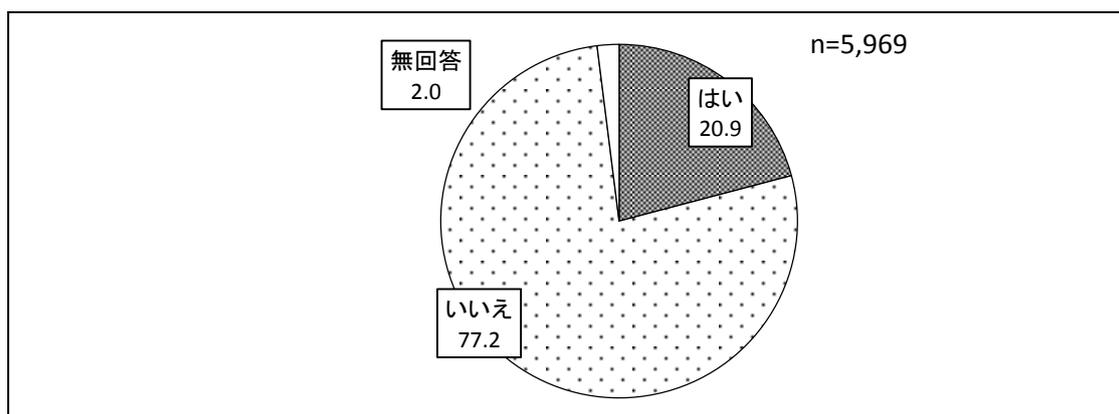
問9(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (〇は1つ)

「はい」と回答した人が34.0%であった。



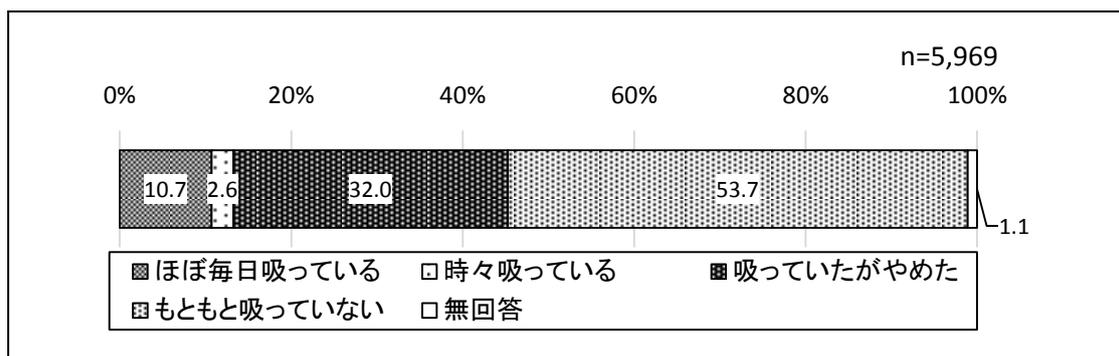
問9(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (〇は1つ)

「はい」と回答した人が20.9%であった。



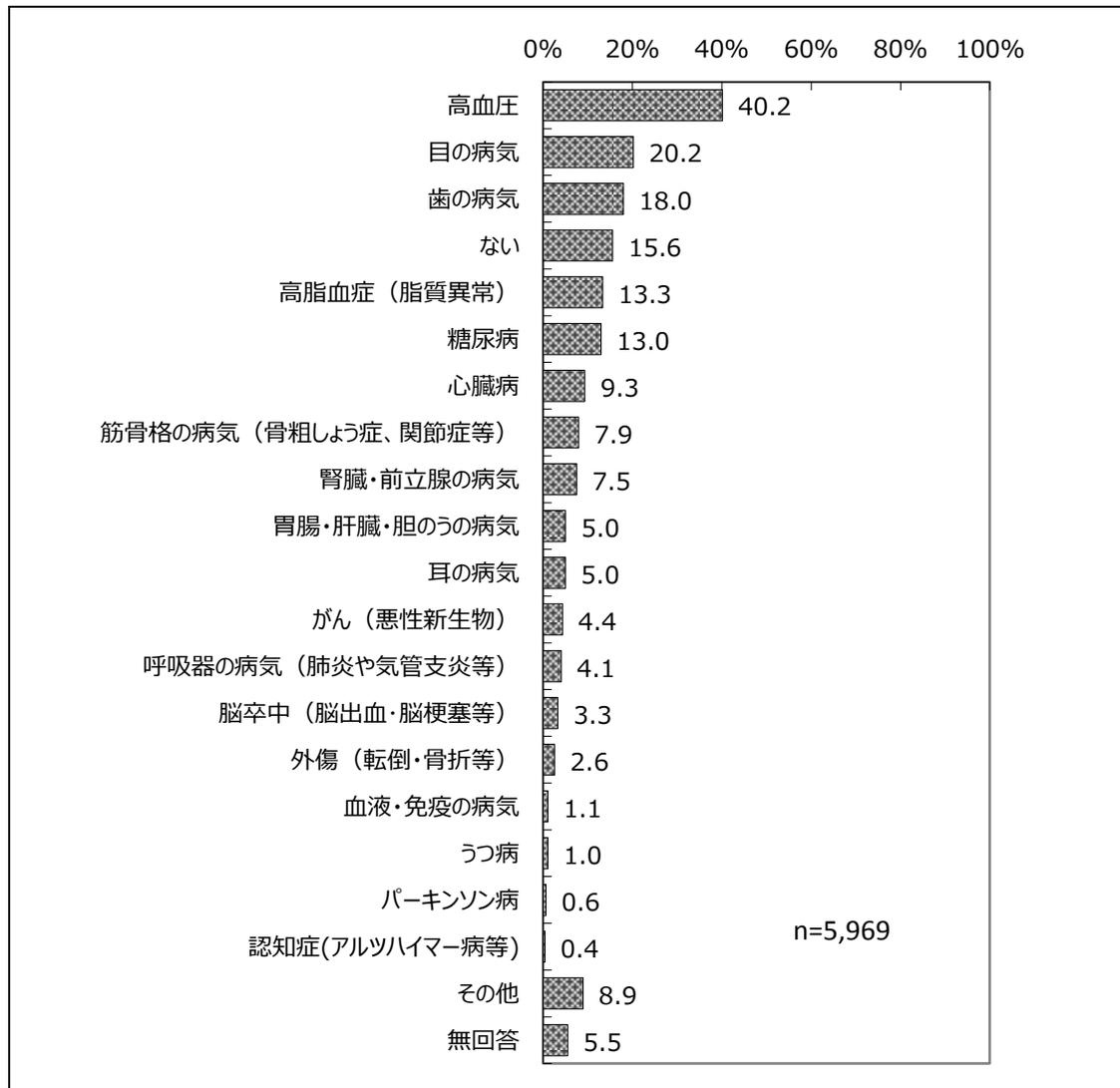
問9(5) タバコは吸っていますか (〇は1つ)

喫煙習慣については、「もともと吸っていない」53.7%が最も多かったが、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」と回答した人が計13.3%であった。



問9（6）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」40.2%、「目の病気」20.2%、「歯の病気」18.0%、「ない」15.6%、「高脂血症（脂質異常）」13.3%であった。最も多かったのは「高血圧」であったが、他にも様々な病気のある状況がうかがえた。



問9（7）あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか（○は1つ）

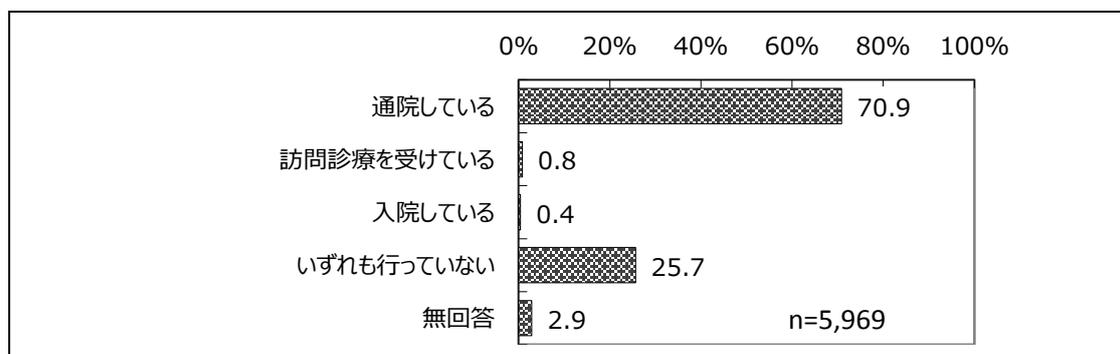
かかりつけ医の有無については、「「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている」48.3%が最も多く、次いで「総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている」25.1%、「病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている」13.9%であった。近所にかかりつけ医を持つ人は48.3%であった。

単位：%

	「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている	総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている	病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている	滅多に病気になるので、よくわからない	その他	無回答
全体(n=5969)	48.3	25.1	13.9	7.7	1.6	3.5
65～69歳(n=2330)	43.7	23.0	18.8	10.6	1.9	2.1
70～74歳(n=1551)	48.3	26.0	13.3	7.0	1.7	3.7
75～79歳(n=1135)	52.4	26.3	10.5	5.9	0.9	4.1
80～84歳(n=662)	54.8	28.5	7.1	3.9	0.9	4.7
85歳以上(n=278)	54.3	25.9	6.8	3.2	1.8	7.9

問9（8）あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか（○は2つまで）

診療状況については、「通院している」70.9%が最も多く、次いで「いずれも行っていない」25.7%、「訪問診療を受けている」0.8%であった。何らかの形で医療を受けている人が70%を超える状況であった。

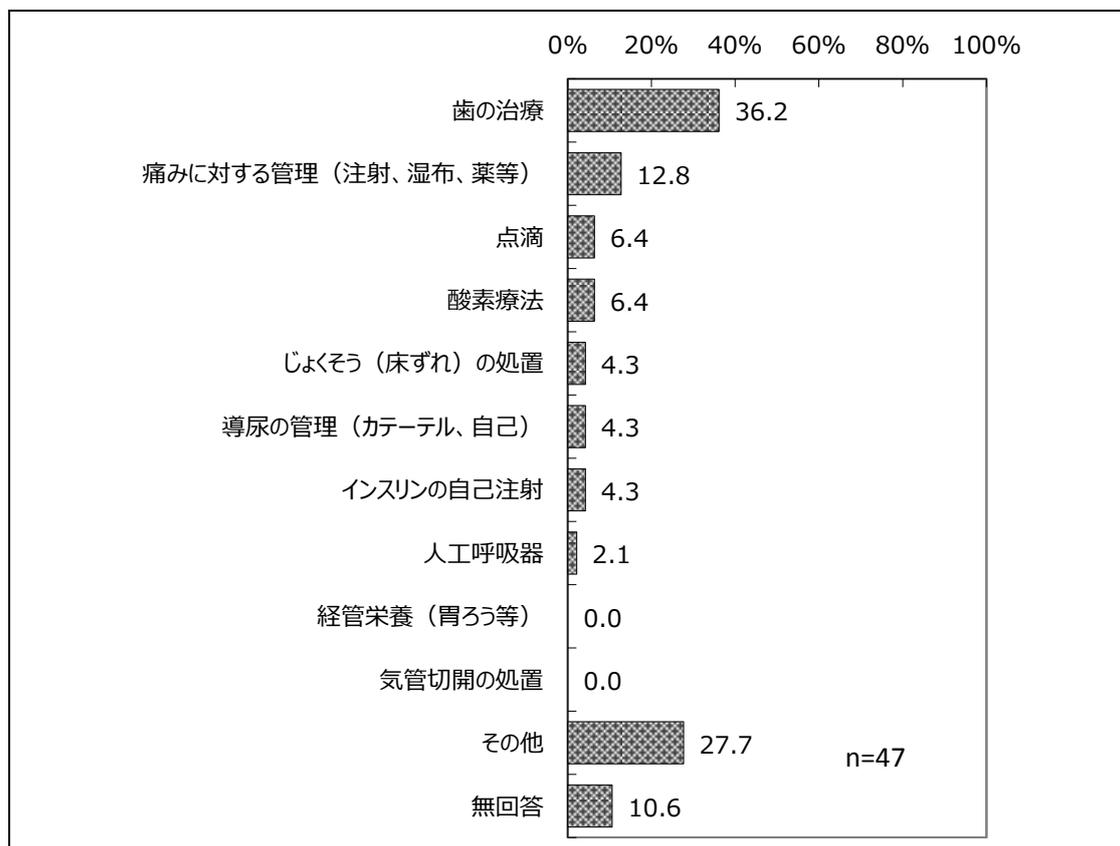


単位：%

	通院している	訪問診療を受けている	入院している	いずれも行っていない	無回答
全体(n=5969)	70.9	0.8	0.4	25.7	2.9
65～69歳(n=2330)	65.8	0.4	0.3	32.0	1.9
70～74歳(n=1551)	70.3	0.8	0.3	26.2	2.8
75～79歳(n=1135)	73.7	0.6	0.3	22.0	4.1
80～84歳(n=662)	80.7	1.7	0.6	14.8	3.3
85歳以上(n=278)	82.4	2.5	1.4	10.1	5.0

**問9【(8)において「訪問診療を受けている」と回答された方へおたずねします】
訪問診療で受けているものは、どのような内容ですか（〇はいくつでも）**

訪問診療で受けている内容については、「歯の治療」36.2%が最も多く、次いで「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」12.8%、「点滴」「酸素療法」がともに6.4%であった。歯科、疼痛管理が多かったが、その他にも訪問診療により様々な治療・処置等がなされている状況がうかがえた。



問10 介護予防・介護サービスの利用意向について

問10(1) あなたは、ご自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか(○は1つ)

介護が必要となったとき、どのような介護を受けたいかについては、「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」38.2%が最も多く、次いで「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」24.0%、「介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい」13.6%であった。

いずれの年代でも自宅で生活したいとの回答が60%程度と最も多かったが、85歳以上では介護保険サービスの利用意向が下がる傾向が見られた。

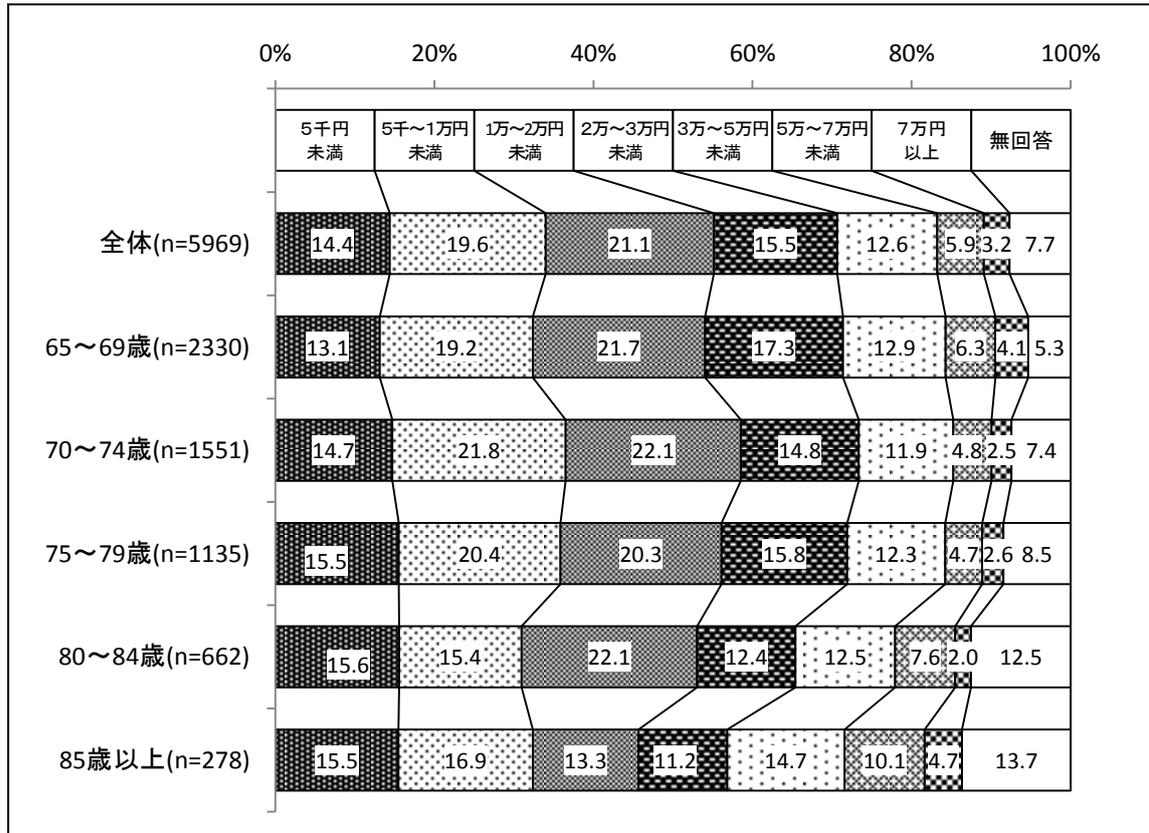
単位：%

	家族の介護を受けながら、自宅で生活したい	介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい	高齢者向け施設など(有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など)に住み替えて、介護サービスを利用したい	介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい	その他	わからない	無回答
全体(n=5969)	24.0	38.2	6.2	13.6	0.9	13.5	3.5
65～69歳(n=2330)	20.2	40.4	7.3	13.1	0.9	15.8	2.2
70～74歳(n=1551)	23.5	39.8	5.7	14.4	0.6	13.0	3.1
75～79歳(n=1135)	26.6	37.4	5.3	14.3	1.4	10.7	4.3
80～84歳(n=662)	27.9	34.3	5.4	13.3	0.6	13.6	4.8
85歳以上(n=278)	39.6	24.8	5.0	11.5	0.4	8.6	10.1

問 10 (2) あなたがご自宅で介護保険のサービスを受けるにあたって、負担できる月額(介護を受けることに伴ってかかる費用であり、日常生活に係る費用は除きます)はどの程度まで可能ですか (〇は1つ)

自宅で介護保険サービスを受けるにあたっての可能な負担金額(月額)については、「1万～2万円未満」21.1%が最も多く、次いで「5千～1万円未満」19.6%、「2万～3万円未満」15.5%であった。

いずれの年齢層においても、5千円未満から7万円以上までの幅広い金額の回答が見られた。



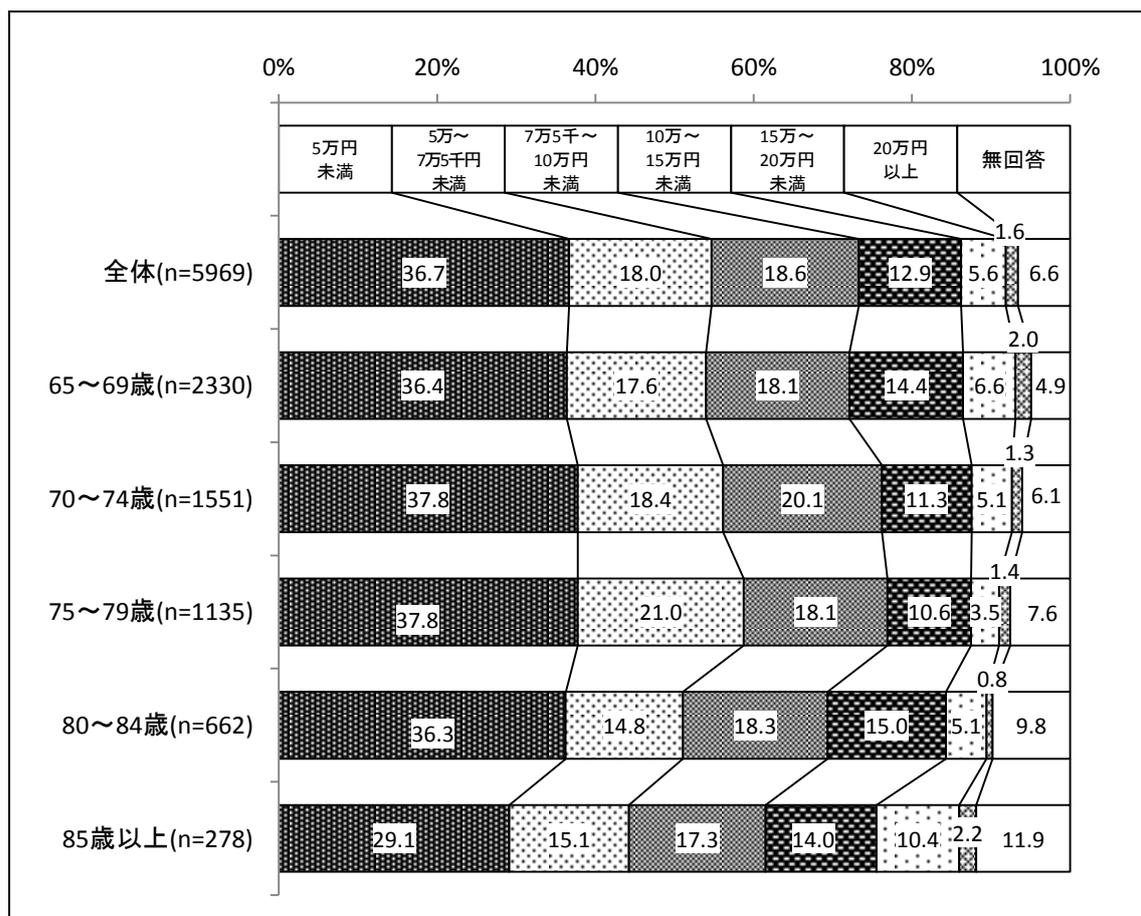
単位：%

	5千円未満	5千～1万円未満	1万～2万円未満	2万～3万円未満	3万～5万円未満	5万～7万円未満	7万円以上	無回答
全体(n=5969)	14.4	19.6	21.1	15.5	12.6	5.9	3.2	7.7
65～69歳(n=2330)	13.1	19.2	21.7	17.3	12.9	6.3	4.1	5.3
70～74歳(n=1551)	14.7	21.8	22.1	14.8	11.9	4.8	2.5	7.4
75～79歳(n=1135)	15.5	20.4	20.3	15.8	12.3	4.7	2.6	8.5
80～84歳(n=662)	15.6	15.4	22.1	12.4	12.5	7.6	2.0	12.5
85歳以上(n=278)	15.5	16.9	13.3	11.2	14.7	10.1	4.7	13.7

問10(3) 今後、もしあなたが施設に入所するとしたら、1か月間にかかる費用は総額でいくらまで負担できますか (〇は1つ)

施設に入所するにあたっての可能な負担金額(月額)については、「5万円未満」36.7%が最も多く、次いで「7万5千～10万円未満」18.6%、「5万～7万5千円未満」が18.0%であった。

全体の73.3%が、負担可能な金額として10万円以下を回答していた。



単位：%

	5万円未満	5万～7万5千円未満	7万5千～10万円未満	10万～15万円未満	15万～20万円未満	20万円以上	無回答
全体(n=5969)	36.7	18.0	18.6	12.9	5.6	1.6	6.6
65～69歳(n=2330)	36.4	17.6	18.1	14.4	6.6	2.0	4.9
70～74歳(n=1551)	37.8	18.4	20.1	11.3	5.1	1.3	6.1
75～79歳(n=1135)	37.8	21.0	18.1	10.6	3.5	1.4	7.6
80～84歳(n=662)	36.3	14.8	18.3	15.0	5.1	0.8	9.8
85歳以上(n=278)	29.1	15.1	17.3	14.0	10.4	2.2	11.9

問 10 (4) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設^{※1}」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費^{※2}は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください（○は1つ）

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

調査対象者の考えに近いものは、「たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ」30.9%が最も多く、次いで「介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ」29.5%、「介護保険料の上昇を必要最低限度に抑えられるよう、重度（要介護4・5）の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ」23.4%であった。

年齢が若い人では介護保険料が上昇しても施設整備を行うべきと考える人が多く、75歳以上の人では在宅サービスの充実に力を注ぐべきと考える人が多い傾向が見られた。

単位：%

	たとえ介護保険料が 上昇しても、施設 入所を希望する方が 入所できるように 介護保険施設を 整備すべきだ	介護保険料の上昇 を必要最低限度に 抑えられるよう、 重度（要介護4・ 5）の方や、身寄 りのない高齢者の方 に 限って入所でき る ように、介護保険 施設を整備すべきだ	介護保険料がこれ 以上上昇しない よう、施設を整備す る よりも、在宅サービ スの充実に力を注ぐ べきだ	その他	無回答
全体(n=5969)	30.9	23.4	29.5	3.4	12.7
65～69歳(n=2330)	33.1	27.5	28.0	3.5	7.9
70～74歳(n=1551)	32.0	21.5	31.1	3.9	11.5
75～79歳(n=1135)	28.7	20.3	31.2	3.3	16.5
80～84歳(n=662)	26.1	21.3	29.8	2.4	20.4
85歳以上(n=278)	25.5	18.3	27.0	2.9	26.3

問 11 高齢者福祉サービスの充実について

問 11 (1) 超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか (○は1つ)

今後の高齢者福祉サービスのあり方については、「現状の高齢者福祉サービスについて、必要性和内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく」35.2%が最も多く、次いで「福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく」31.3%、「地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく」10.1%であった。

年齢が若い人ではサービスの必要性・内容の再検討を挙げる意見が多く、75歳以上の人では行政による福祉サービスの提供・拡大を求める意見が多い傾向が見られた。

単位：%

	地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく	現状の高齢者福祉サービスについて、必要性和内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく	福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく	その他	わからない	無回答
全体(n=5969)	10.1	35.2	31.3	1.3	16.1	6.0
65～69歳(n=2330)	10.9	40.5	29.6	1.5	13.8	3.8
70～74歳(n=1551)	9.5	36.5	32.4	1.2	14.7	5.7
75～79歳(n=1135)	10.3	31.5	31.5	1.3	18.1	7.2
80～84歳(n=662)	8.9	26.0	34.0	1.1	21.1	8.9
85歳以上(n=278)	9.0	22.3	30.2	1.1	22.7	14.7

問 11 (2) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。
あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか（それぞれ○は1つ）

① 地域包括支援センター

地域包括支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」49.6%が最も多く、次いで「知らない」41.2%、「利用している・利用したことがある」5.7%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の55.3%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体(n=5969)	5.7	49.6	41.2	3.4
65～69歳(n=2330)	3.4	44.8	49.2	2.5
70～74歳(n=1551)	4.7	54.0	38.2	3.2
75～79歳(n=1135)	6.3	55.2	35.4	3.2
80～84歳(n=662)	11.6	48.6	33.8	5.9
85歳以上(n=278)	14.7	46.0	32.0	7.2

② 在宅介護支援センター

在宅介護支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」51.6%が最も多く、次いで「知らない」41.7%、「利用している・利用したことがある」2.6%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の54.2%であった。

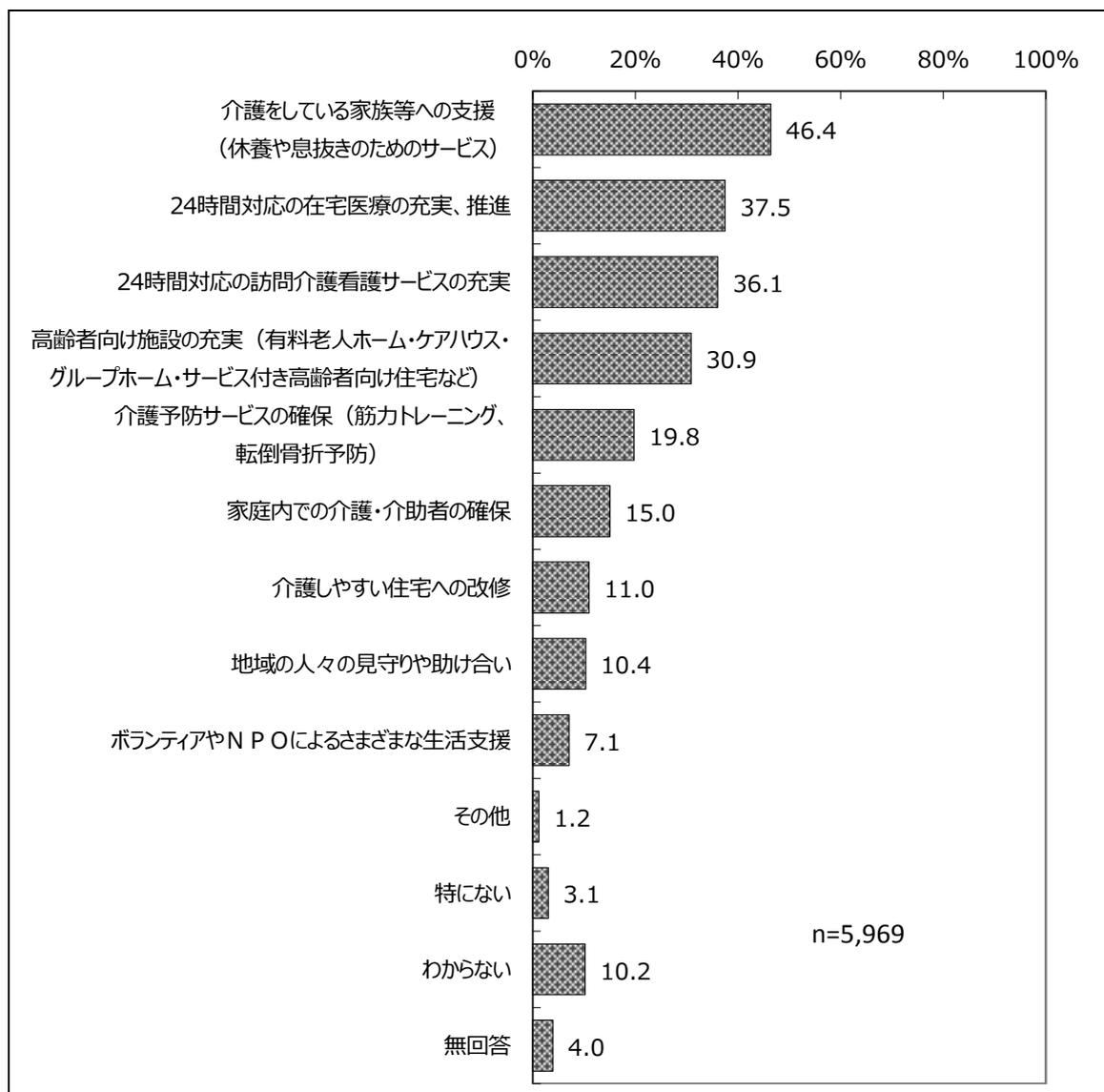
単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体(n=5969)	2.6	51.6	41.7	4.0
65～69歳(n=2330)	2.0	47.8	47.5	2.8
70～74歳(n=1551)	2.5	54.7	39.3	3.4
75～79歳(n=1135)	2.2	56.7	37.2	3.9
80～84歳(n=662)	4.8	49.5	38.1	7.6
85歳以上(n=278)	5.8	49.6	34.9	9.7

問11(3) 可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために、あなたはどのようなサービスが必要だと思いますか（〇は3つまで）

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要だと思うサービスについては、「介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス）」46.4%、「24時間対応の在宅医療の充実、推進」37.5%、「24時間対応の訪問介護看護サービスの充実」36.1%、「高齢者向け施設の充実（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など）」30.9%であった。

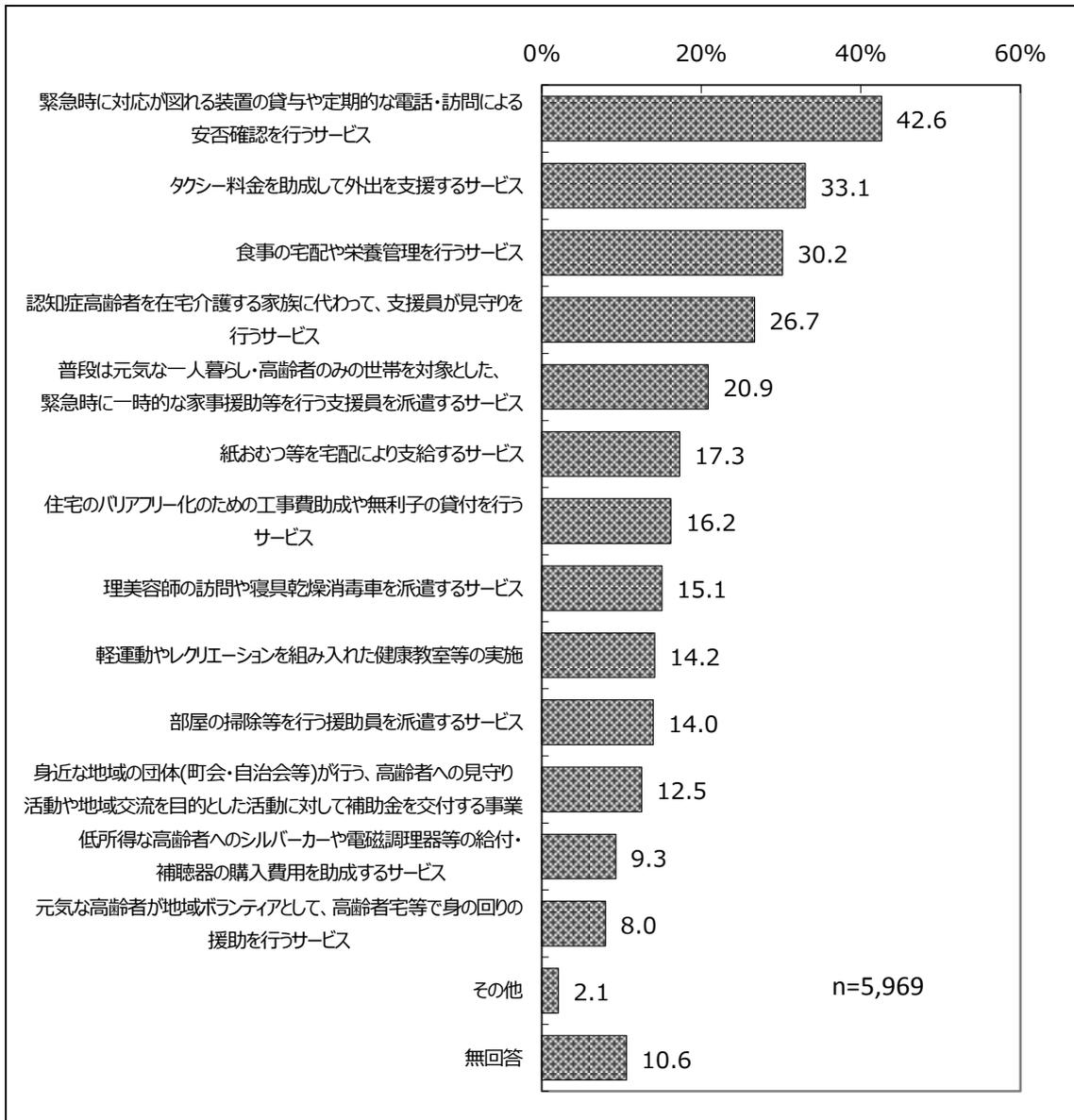
最も多かったのは「介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス）」であり、その他も24時間対応サービスなどを挙げる回答が多かった。「介護予防サービスの確保」は19.8%、「地域の人々の見守りや助け合い」は10.4%と、介護を必要としない市民にも関わりの深い項目については比較的割合が小さい傾向が見られた。



問 11 (4) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと思いますか (〇は3つまで)

今後充実すべき在宅高齢者福祉サービスについては、「緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス」42.6%が最も多く、次いで「タクシー料金を助成して外出を支援するサービス」33.1%、「食事の宅配や栄養管理を行うサービス」30.2%であった。

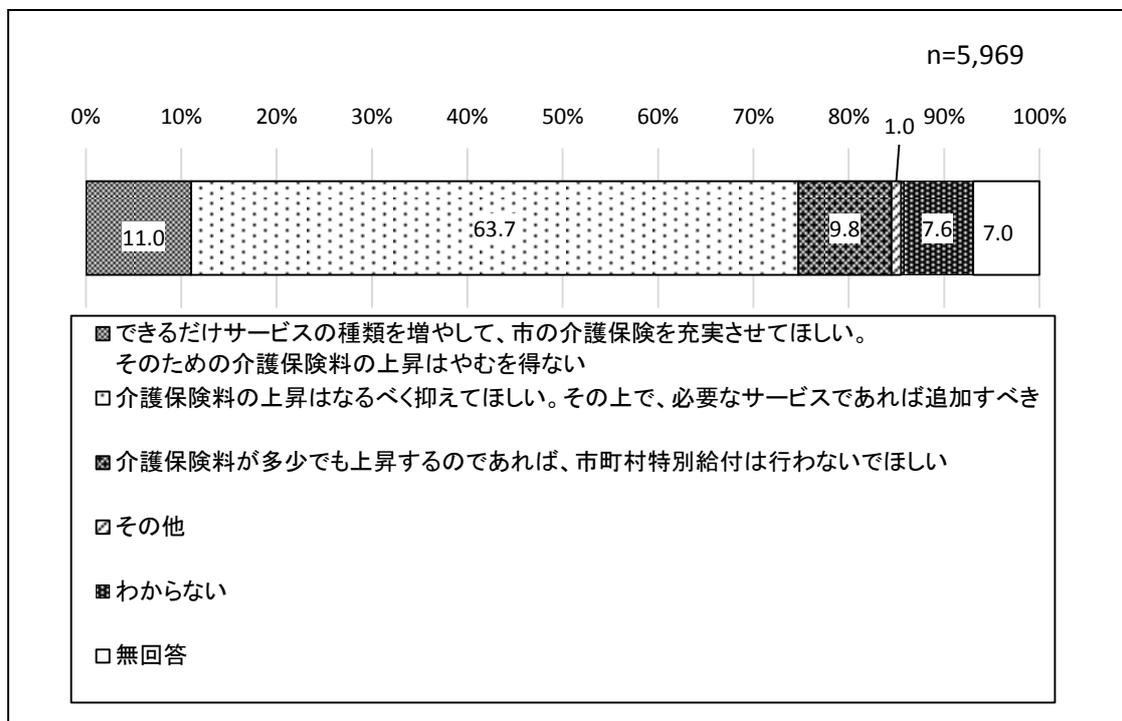
回答として多かったサービスは、緊急時対応や安否確認、外出支援、配食サービス等多岐にわたっており、特定のサービスのみを整備するだけでなく、生活を様々な面から総合的に支援することの重要性がうかがえた。



問 11 (5) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

市町村特別給付について調査対象者の考えに近いものは、「介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき」63.7%が最も多く、次いで「できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない」11.0%、「介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい」9.8%であった。

市町村特別給付については、必要なサービスであれば追加すべきとする意見が多く見られた。



問 11 (6) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

敬老記念品（購入券）の今後のあり方については、「現在のまま継続する」45.8%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」31.8%であった。これを年齢別にみると、65～69歳では、事業継続と縮小・見直しをすべきとの意見が同程度であり、その他の年齢層では事業継続を挙げる意見が多かった。

単位：%

	現在のまま継続する	他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	その他	無回答
全体(n=5969)	45.8	31.8	12.6	2.4	7.4
65～69歳(n=2330)	39.3	39.4	14.1	2.9	4.3
70～74歳(n=1551)	45.2	31.0	15.2	2.3	6.4
75～79歳(n=1135)	53.3	26.2	10.0	2.1	8.5
80～84歳(n=662)	52.6	22.8	8.9	2.0	13.7
85歳以上(n=278)	55.8	16.9	6.8	1.8	18.7

② 敬老会を実施する町会・自治会等に対する敬老行事交付金

敬老行事交付金の今後のあり方については、「現在のまま継続する」45.4%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」31.8%であった。これを年齢別にみると、65～69歳では、事業継続が40.6%、事業の縮小・見直しが37.1%と割合に近い傾向が見られたが、その他の年齢層では事業継続を挙げる意見が多かった。

単位：%

	現在のまま継続する	他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	その他	無回答
全体(n=5969)	45.4	31.8	13.5	2.3	7.0
65～69歳(n=2330)	40.6	37.1	15.3	2.7	4.2
70～74歳(n=1551)	44.2	32.5	15.3	1.8	6.3
75～79歳(n=1135)	51.1	28.1	10.3	2.0	8.5
80～84歳(n=662)	53.0	22.5	10.4	2.9	11.2
85歳以上(n=278)	50.4	20.9	7.9	2.5	18.3

第3章 要介護高齢者調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

記入者については、「ご家族が記入」45.0%、「あて名のご本人が記入」17.3%であった。

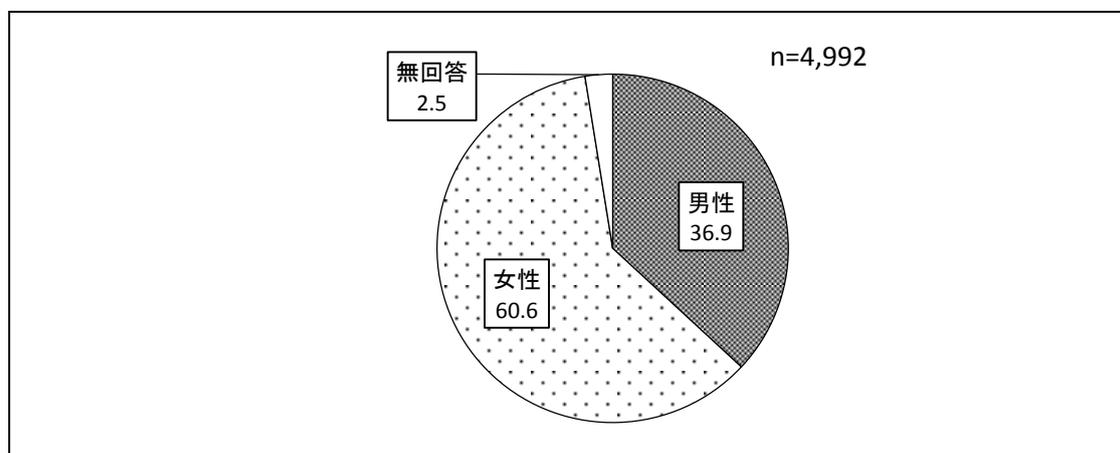
単位：%

	あて名のご本人 が記入	代筆・代読して もらった上、 あて名の ご本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
全体 (n=4992)	17.3	3.5	45.0	0.7	33.5
要介護1 (n=1452)	25.2	3.7	32.5	1.0	37.6
要介護2 (n=1373)	19.6	4.6	40.1	0.6	35.1
要介護3 (n=838)	9.9	3.3	57.4	1.0	28.4
要介護4 (n=570)	5.3	3.3	64.2	0.2	27.0
要介護5 (n=452)	2.2	1.3	73.2	0.4	22.8

問1 あなたのご家族や生活状況について

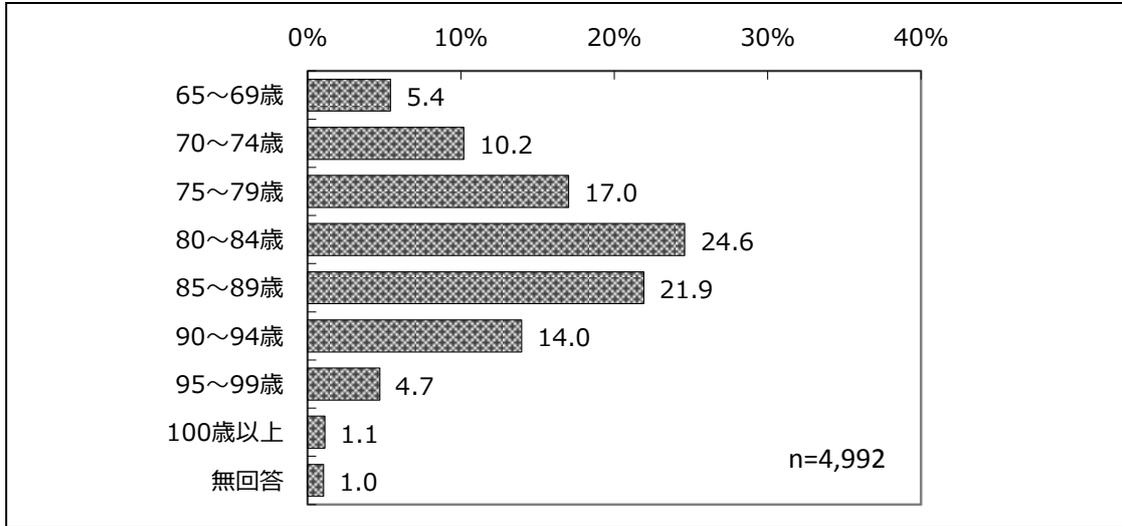
問1(1) あなたの性別をお教えてください(○は1つ)

性別については、「女性」60.6%、「男性」36.9%であり、女性が多かった。



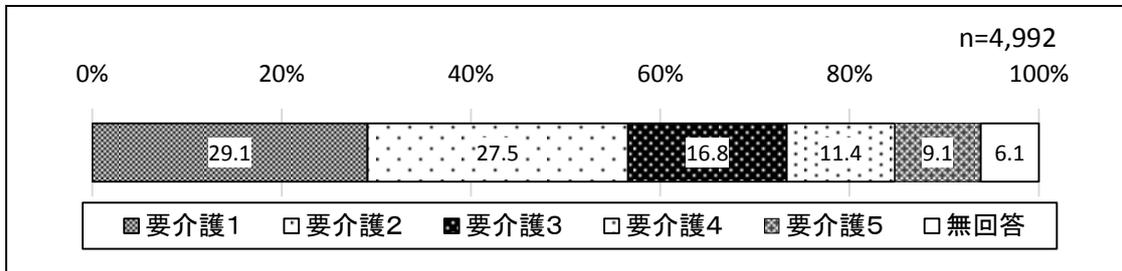
問1（2）あなたの年齢をお教えてください（〇は1つ）

年齢については、「80～84歳」24.6%が最も多く、次いで「85～89歳」21.9%、「75～79歳」17.0%であった。



問1（3）あなたの現在の要介護度はどれですか（〇は1つ）

要介護度については、「要介護1」29.1%が最も多く、次いで「要介護2」27.5%、「要介護3」16.8%であった。



問1（4）あなたの家族構成は次のどれですか（〇は1つ）

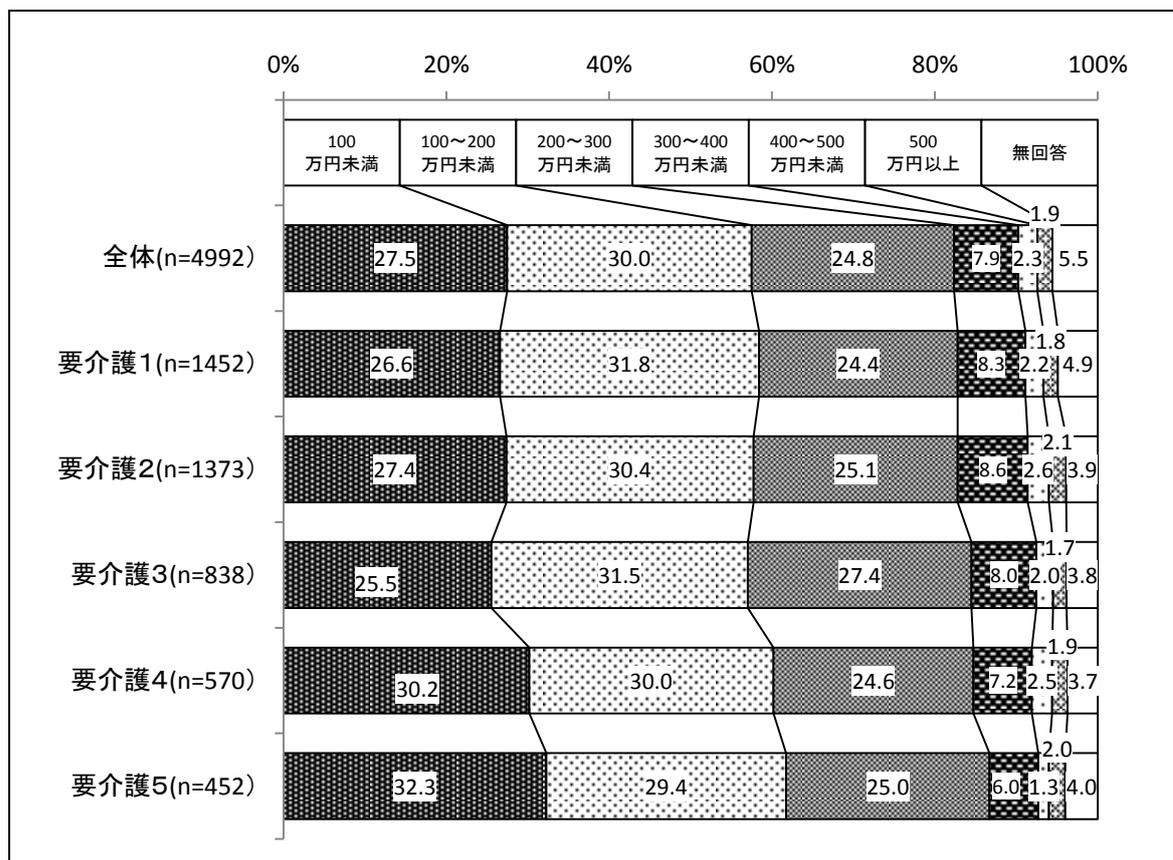
家族構成については、「夫婦と2人暮らし（配偶者65歳以上）」31.1%が最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」25.0%、「1人暮らし」17.2%であった。「1人暮らし」については、要介護1で22.3%、要介護5で9.7%と、大きな差が見られた。

単位：%

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
全体 (n=4992)	17.2	31.1	2.6	25.0	21.5	2.6
要介護1 (n=1452)	22.3	31.8	2.1	22.0	20.4	1.4
要介護2 (n=1373)	16.6	33.5	2.8	25.8	20.0	1.2
要介護3 (n=838)	13.0	29.2	2.9	29.0	24.1	1.8
要介護4 (n=570)	14.6	26.1	1.9	29.6	25.6	2.1
要介護5 (n=452)	9.7	31.0	3.1	26.5	27.7	2.0

問1 (5) あなたの年金を含めた1年間の収入は、次のどれにあたりますか
(○は1つ)

年金を含めた1年間の収入については、「100～200万円未満」30.0%が最も多く、次いで「100万円未満」27.5%、「200～300万円未満」24.8%であった。これを要介護度別にみると、要介護4～5では「100万円未満」が30%を上回り、他の要介護度より若干高い傾向が見られた。

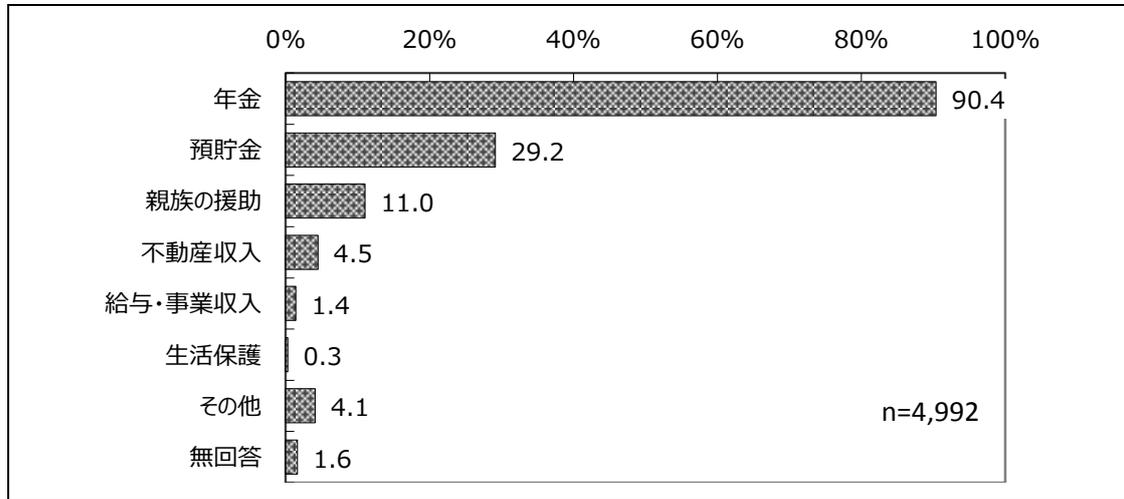


単位：%

	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上	無回答
全体 (n=4992)	27.5	30.0	24.8	7.9	2.3	1.9	5.5
要介護1 (n=1452)	26.6	31.8	24.4	8.3	2.2	1.8	4.9
要介護2 (n=1373)	27.4	30.4	25.1	8.6	2.6	2.1	3.9
要介護3 (n=838)	25.5	31.5	27.4	8.0	2.0	1.7	3.8
要介護4 (n=570)	30.2	30.0	24.6	7.2	2.5	1.9	3.7
要介護5 (n=452)	32.3	29.4	25.0	6.0	1.3	2.0	4.0

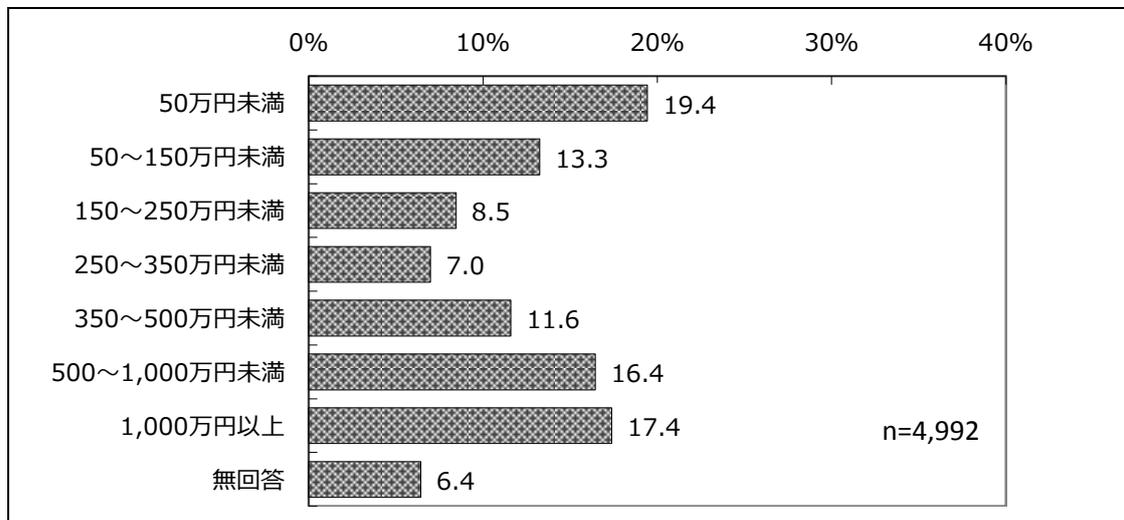
問1（6）あなたは、生活費をどこから捻出していますか（〇はいくつでも）

生活費の捻出については、「年金」90.4%が最も多く、次いで「預貯金」29.2%、「親族の援助」11.0%であった。



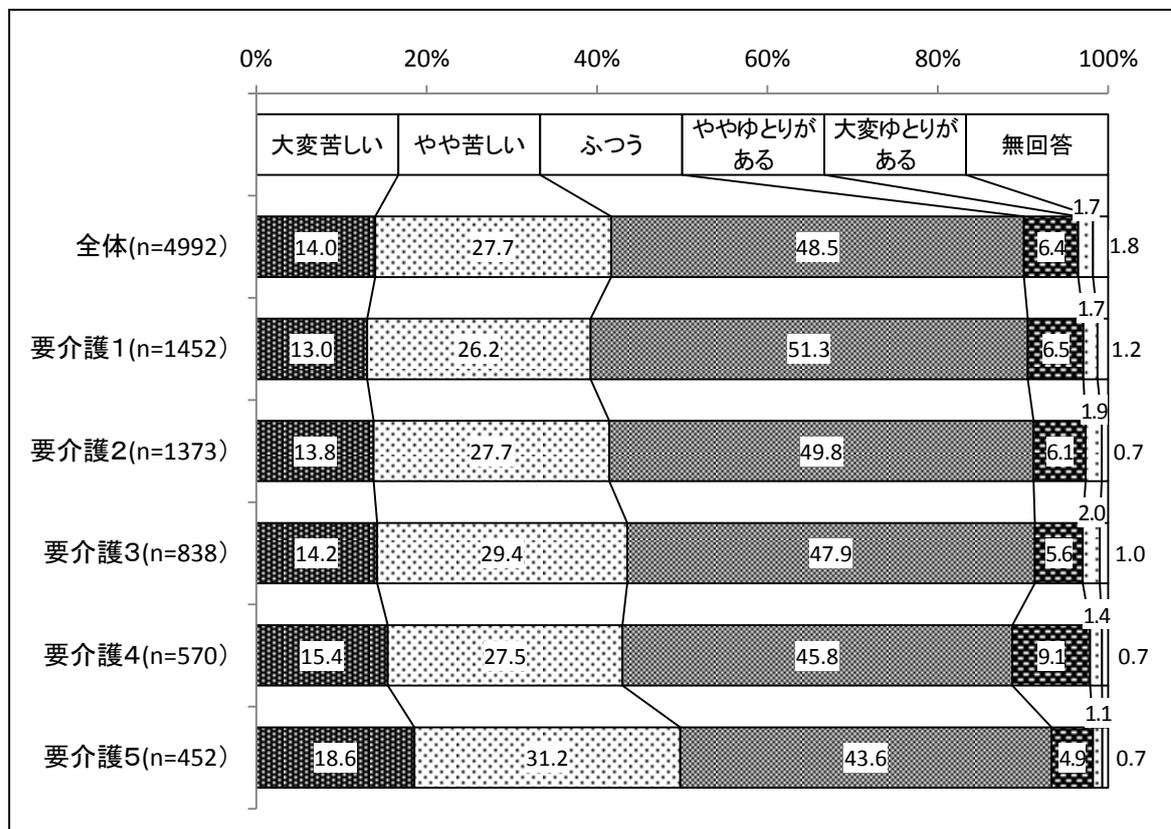
問1（7）あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか（〇は1つ）

預貯金額については、「50万円未満」19.4%が最も多く、次いで「1,000万円以上」17.4%、「500～1,000万円未満」16.4%であった。



問1 (8) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」48.5%が最も多く、次いで「やや苦しい」27.7%、「大変苦しい」14.0%であった。これを要介護度別にみると、「大変苦しい」「やや苦しい」の合計は、要介護1で39.2%、要介護5で49.8%と差が見られた。



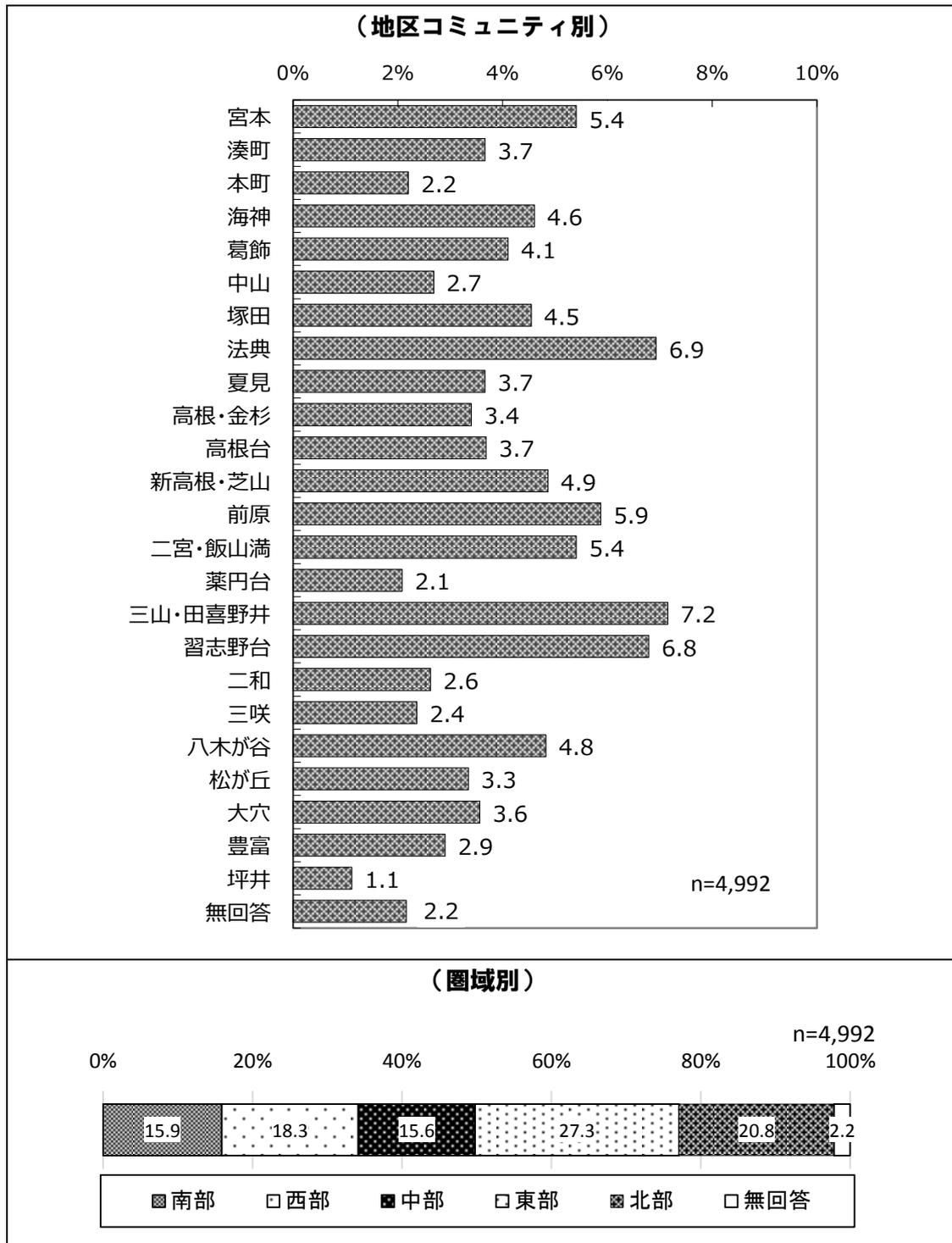
単位：%

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体 (n=4992)	14.0	27.7	48.5	6.4	1.7	1.8
要介護1 (n=1452)	13.0	26.2	51.3	6.5	1.7	1.2
要介護2 (n=1373)	13.8	27.7	49.8	6.1	1.9	0.7
要介護3 (n=838)	14.2	29.4	47.9	5.6	2.0	1.0
要介護4 (n=570)	15.4	27.5	45.8	9.1	1.4	0.7
要介護5 (n=452)	18.6	31.2	43.6	4.9	1.1	0.7

問2 お住まいの地域について

問2（1）あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に○をつけてください（○は1つ）

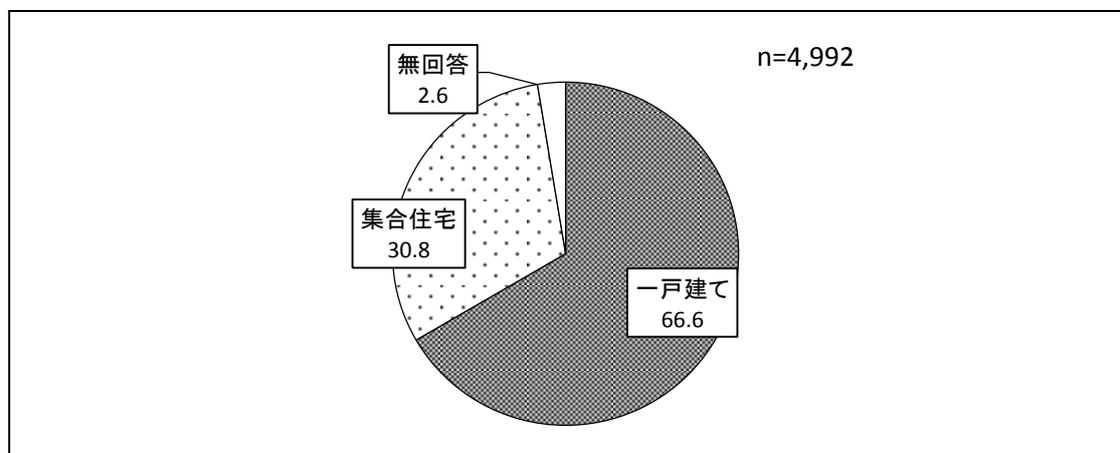
住まいについて、地区コミュニティ別では「三山・田喜野井」7.2%、「法典」6.9%、「習志野台」6.8%、「前原」5.9%、「宮本」「二宮・飯山満」がともに5.4%であった。最も多かったのは「三山・田喜野井」であった。圏域別では「東部」27.3%が最も多く、次いで「北部」20.8%、「西部」18.3%であった。



問3 住環境について

問3(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか (○は1つ)

住居については、「一戸建て」66.6%、「集合住宅」30.8%であった。



問3(2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (○は1つ)

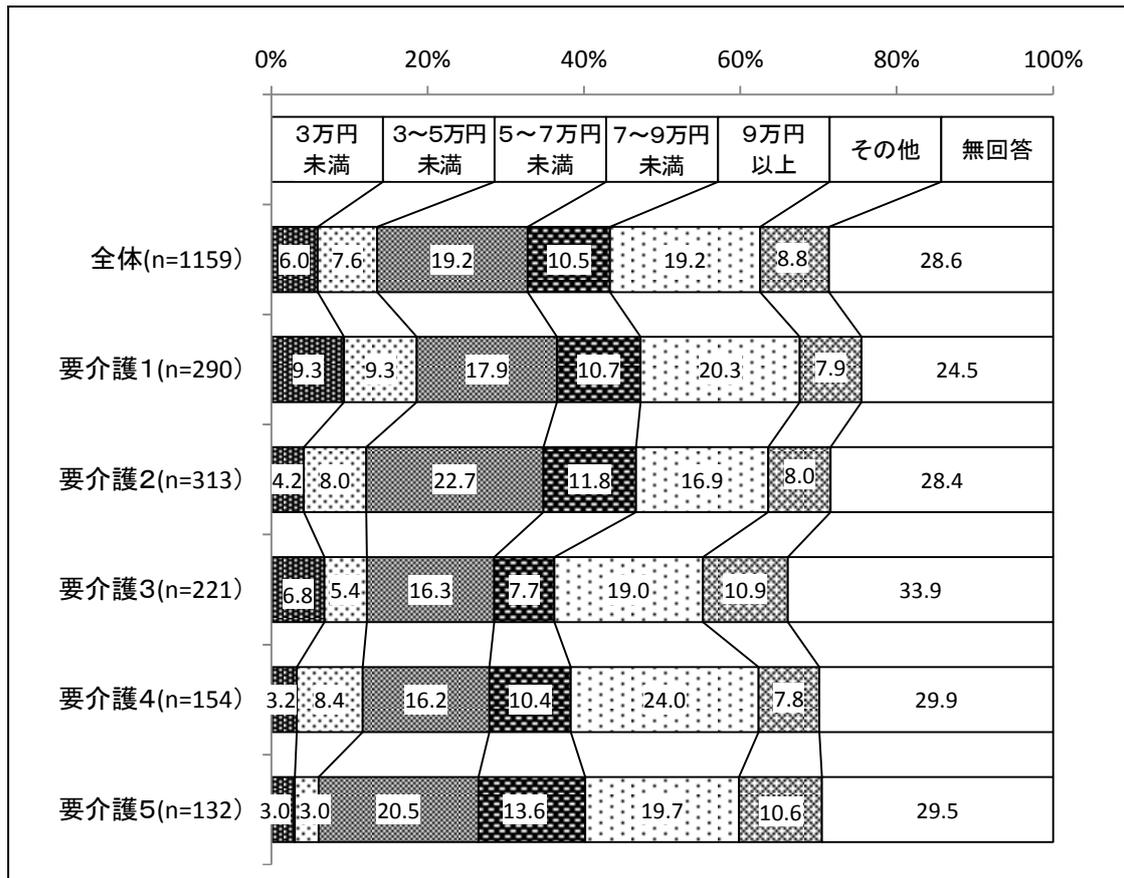
居住形態については、「持ち家」75.4%が最も多く、次いで「高齢者向け施設など」9.6%、「民間賃貸住宅」4.1%であった。大半の人が持ち家に住んでいる状況がうかがえた。

単位：%

	持ち家	民間賃貸住宅	UR賃貸住宅	公営住宅 (県営・市営)	高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など)	その他	無回答
全体 (n=4992)	75.4	4.1	3.8	1.4	9.6	4.3	1.4
要介護1 (n=1452)	78.4	3.7	3.4	2.0	7.7	3.2	1.6
要介護2 (n=1373)	76.3	4.7	4.7	0.8	8.0	4.6	0.9
要介護3 (n=838)	72.6	3.2	3.9	1.3	12.3	5.6	1.1
要介護4 (n=570)	71.4	4.9	3.2	0.7	14.6	3.7	1.6
要介護5 (n=452)	68.8	5.1	3.5	1.1	13.7	5.8	2.0

問3【(2)において「民間賃貸住宅」～「その他」と回答された方におたずねします】現在、あなたがお住まいの住宅の家賃（共益費を含む）は、次のどれにあたりますか（○は1つ）

家賃については、「5～7万円未満」「9万円以上」がともに19.2%で最も多く、次いで「7～9万円未満」10.5%、「3～5万円未満」7.6%であった。これを要介護度別にみると、「3万円未満」「3～5万円未満」では「要介護1」が最も多く、「要介護5」で最も少ない傾向が見られた。



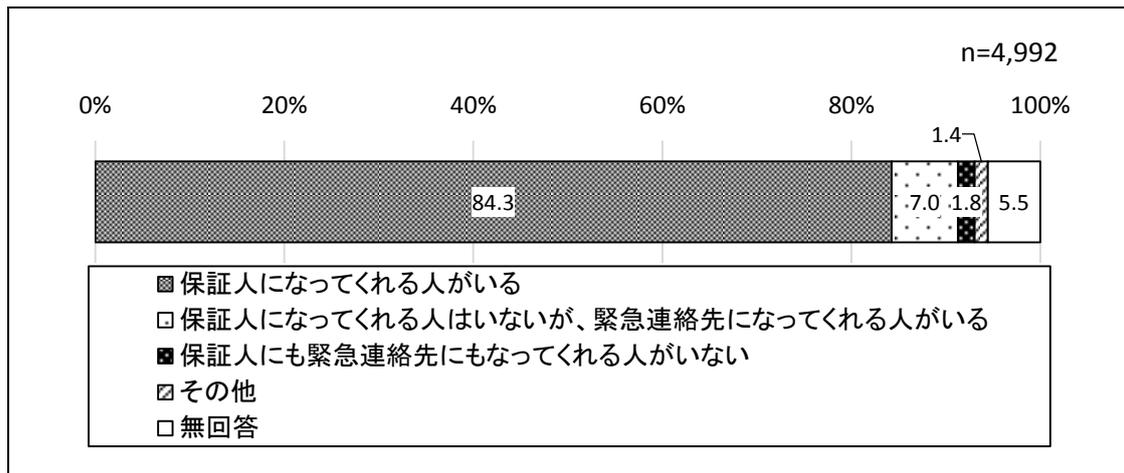
単位：%

	3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～9万円未満	9万円以上	その他	無回答
全体 (n=1159)	6.0	7.6	19.2	10.5	19.2	8.8	28.6
要介護1 (n=290)	9.3	9.3	17.9	10.7	20.3	7.9	24.5
要介護2 (n=313)	4.2	8.0	22.7	11.8	16.9	8.0	28.4
要介護3 (n=221)	6.8	5.4	16.3	7.7	19.0	10.9	33.9
要介護4 (n=154)	3.2	8.4	16.2	10.4	24.0	7.8	29.9
要介護5 (n=132)	3.0	3.0	20.5	13.6	19.7	10.6	29.5

問3（3）あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか（○は1つ）

入院、施設入所等が必要になった場合の保証人等については、「保証人になってくれる人がいる」84.3%が最も多く、次いで「保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる」7.0%、「保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない」1.8%であった。

保証人になってくれる人がいない割合は、全体の8.8%であった。



問3（4）あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか（○は1つ）

主に生活する部屋が2階以上にあるかについては、「いいえ」57.5%、「はい（2階、もしくは2階より上にある）」36.5%であった。これを要介護度別にみると、いずれの要介護度においても全体の40%程度の人が、2階以上に部屋がある状況であった。

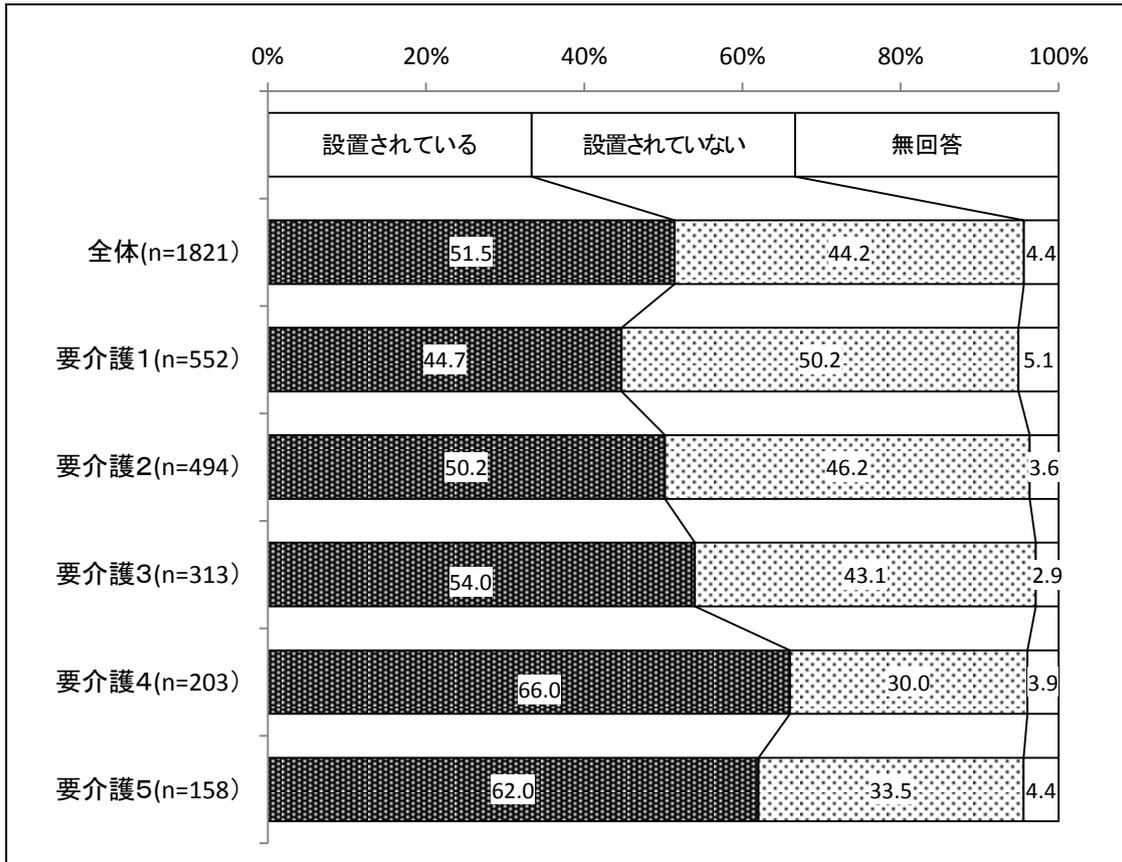
単位：%

	はい（2階、もしくは2階より上にある）	いいえ	無回答
全体（n=4992）	36.5	57.5	6.0
要介護1（n=1452）	38.0	55.7	6.3
要介護2（n=1373）	36.0	58.7	5.3
要介護3（n=838）	37.4	58.5	4.2
要介護4（n=570）	35.6	57.9	6.5
要介護5（n=452）	35.0	58.8	6.2

問3【(4)において「はい(2階、もしくは2階より上にある)」と回答された方におたずねします】

お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか(○は1つ)

住まいにエレベーターが設置されているかについては、「設置されている」51.5%、「設置されていない」44.2%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほどエレベーターが設置されている割合が大きくなる傾向が見られたが、「要介護5」でもエレベーターが設置されていない人の割合が33.5%と、一定の人数がいることがうかがえた。



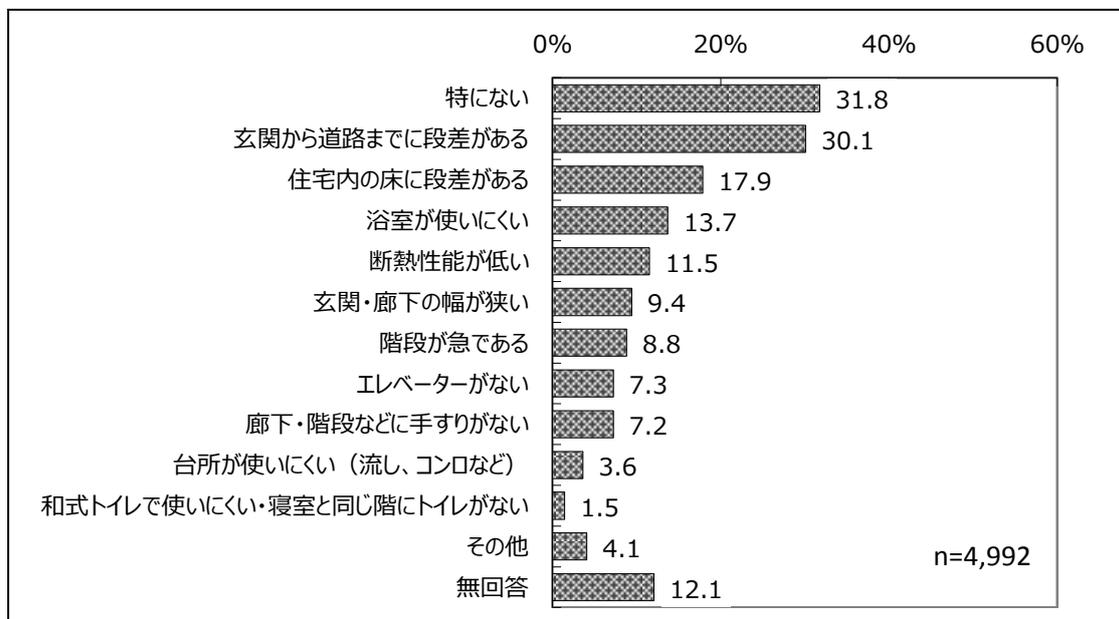
単位：%

	設置されている	設置されていない	無回答
全体 (n=1821)	51.5	44.2	4.4
要介護1 (n=552)	44.7	50.2	5.1
要介護2 (n=494)	50.2	46.2	3.6
要介護3 (n=313)	54.0	43.1	2.9
要介護4 (n=203)	66.0	30.0	3.9
要介護5 (n=158)	62.0	33.5	4.4

問3(5) あなたのお住まいの中で、不便なところはありますか(○は主なもの3つまで)

住まいに不便なところがあるかについては、「特にない」31.8%、「玄関から道路までに段差がある」30.1%、「住宅内の床に段差がある」17.9%、「浴室が使いにくい」13.7%、「耐熱性能が低い」11.5%であった。

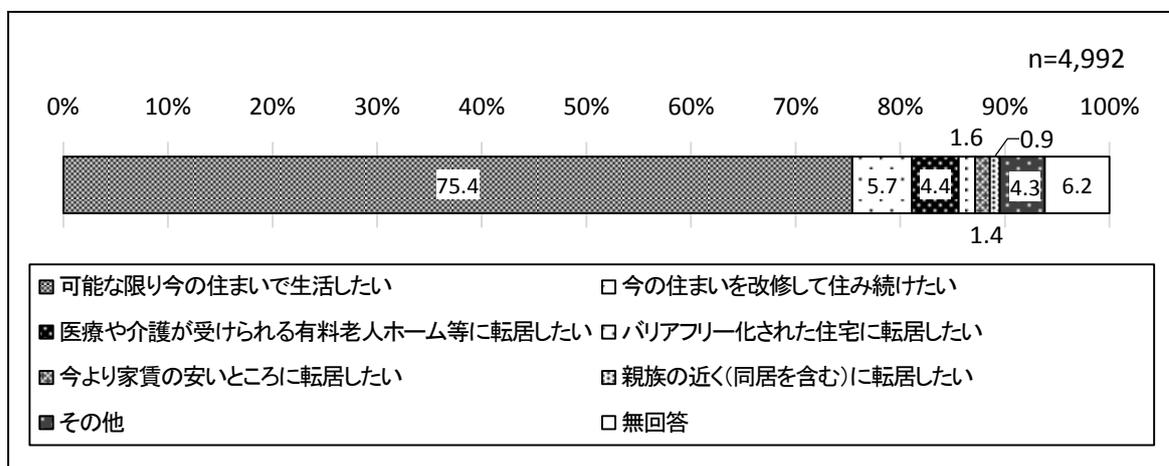
最も多かったのは「特にない」であったが、段差を課題に挙げる回答も多く見られた。



問3(6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか(○は1つ)

今後も現在の住まいで生活していきたいと思うかについては、「可能な限り今の住まいで生活したい」75.4%が最も多く、次いで「今の住まいを改修して住み続けたい」5.7%、「医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい」4.4%であった。

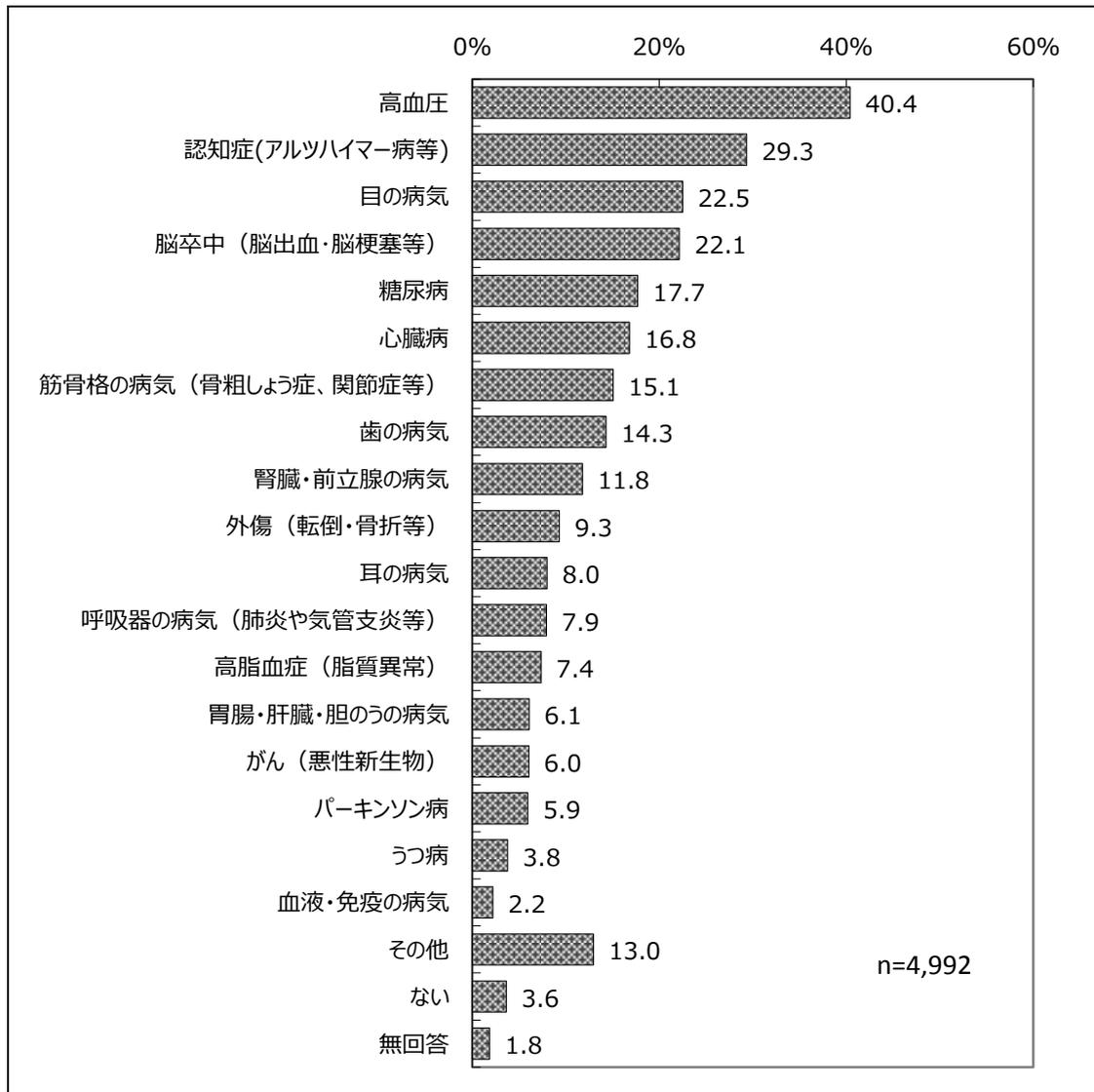
今の住まいに住み続けたいとする回答が大半で、転居したいとの意向がある方は全体の8.3%であった。



問4 健康について

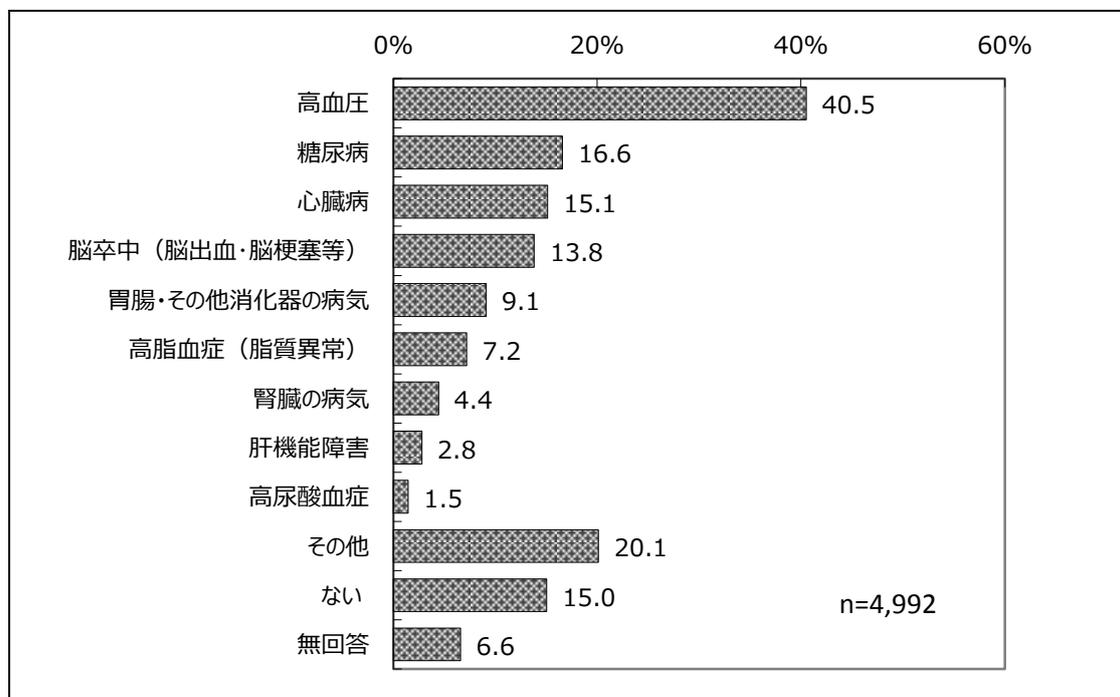
問4（1）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」40.4%、「認知症（アルツハイマー病等）」29.3%、「目の病気」22.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」22.1%、「糖尿病」17.7%であった。最も多かったのは「高血圧」であったが、その他にも様々な疾患が挙げられた。



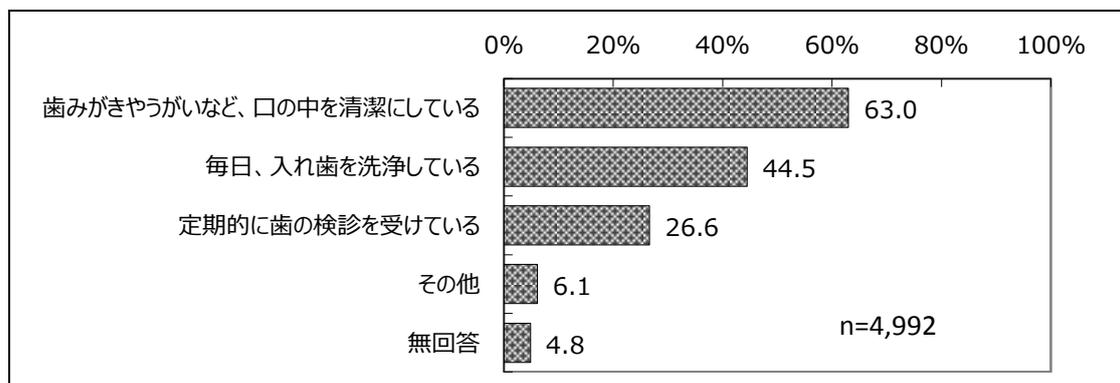
問4（2）あなたは、介護認定を受ける前に診断もしくは治療を受けていた病気はありますか（〇はいくつでも）

介護認定を受ける前の病気については、「高血圧」40.5%、「糖尿病」16.6%、「心臓病」15.1%、「ない」15.0%、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）13.8%であった。最も多かったのは「高血圧」であったが、その他にも様々な疾患が挙げられた。



問4（3）あなたは、現在、口腔ケア（歯やお口の手入れ）について行っていることはありますか（〇はいくつでも）

現在行っている口腔ケアについては、「歯みがきやうがいなど、口の中を清潔にしている」63.0%が最も多く、次いで「毎日、入れ歯を洗浄している」44.5%、「定期的に歯の検診を受けている」26.6%であった。これを要介護度別にみると、歯磨きやうがいなどを行っている人の割合は、要介護度が上がると若干下がる傾向が見られた。

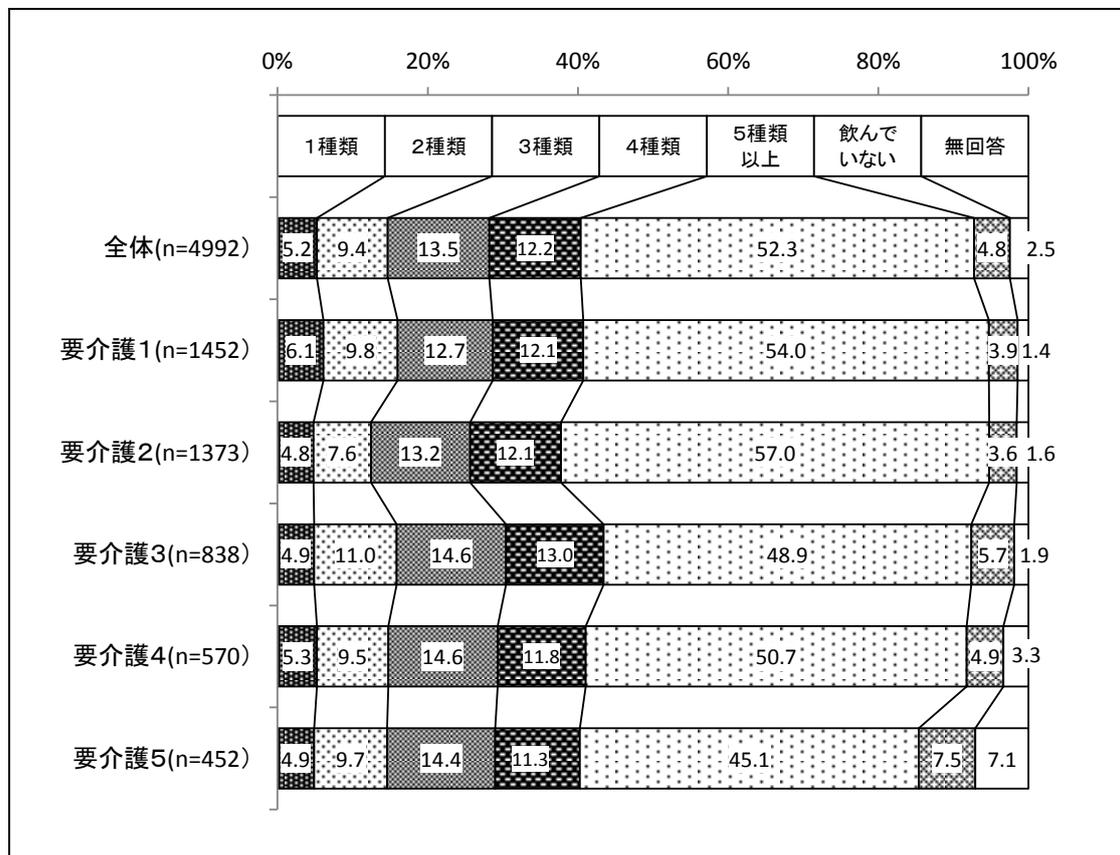


単位：%

	歯みがきやうがい など、口の中を 清潔にしている	毎日、入れ歯を 洗浄している	定期的に歯の 検診を受けている	その他	無回答
全体 (n=4992)	63.0	44.5	26.6	6.1	4.8
要介護1 (n=1452)	66.9	49.4	26.9	4.4	4.5
要介護2 (n=1373)	65.5	44.6	23.5	5.3	4.7
要介護3 (n=838)	58.8	43.1	25.9	6.9	5.6
要介護4 (n=570)	58.2	41.8	28.8	7.2	3.3
要介護5 (n=452)	56.6	33.6	35.0	11.7	5.1

問4 (4) あなたは、現在、医師の処方した薬を何種類飲んでますか (〇は1つ)

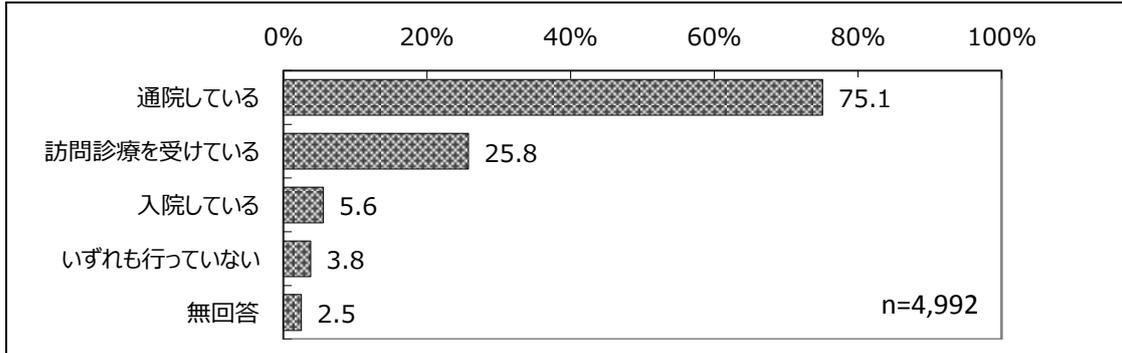
現在飲んでいる処方薬の種類については、「5種類以上」52.3%が最も多く、次いで「3種類以上」13.5%、「4種類以上」12.2%であった。いずれの要介護度でも、概ね半数以上の人々が5種類以上と多くの薬を服用している状況であった。



	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類以上	飲んでいない	無回答
全体 (n=4992)	5.2	9.4	13.5	12.2	52.3	4.8	2.5
要介護1 (n=1452)	6.1	9.8	12.7	12.1	54.0	3.9	1.4
要介護2 (n=1373)	4.8	7.6	13.2	12.1	57.0	3.6	1.6
要介護3 (n=838)	4.9	11.0	14.6	13.0	48.9	5.7	1.9
要介護4 (n=570)	5.3	9.5	14.6	11.8	50.7	4.9	3.3
要介護5 (n=452)	4.9	9.7	14.4	11.3	45.1	7.5	7.1

問4（5）あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか
（○は2つまで）

診療状況については、「通院している」75.1%が最も多く、次いで「訪問診療を受けている」25.8%、「入院している」5.6%であった。「いずれも行っていない」は3.8%であり、大半の人が何らかの形で医療を受けている状況であった。また、要介護度が上がるほど「訪問診療を受けている」「入院している」の割合が大きくなる傾向がみられ、要介護5では「訪問診療を受けている」が「通院している」を上回る状況であった。



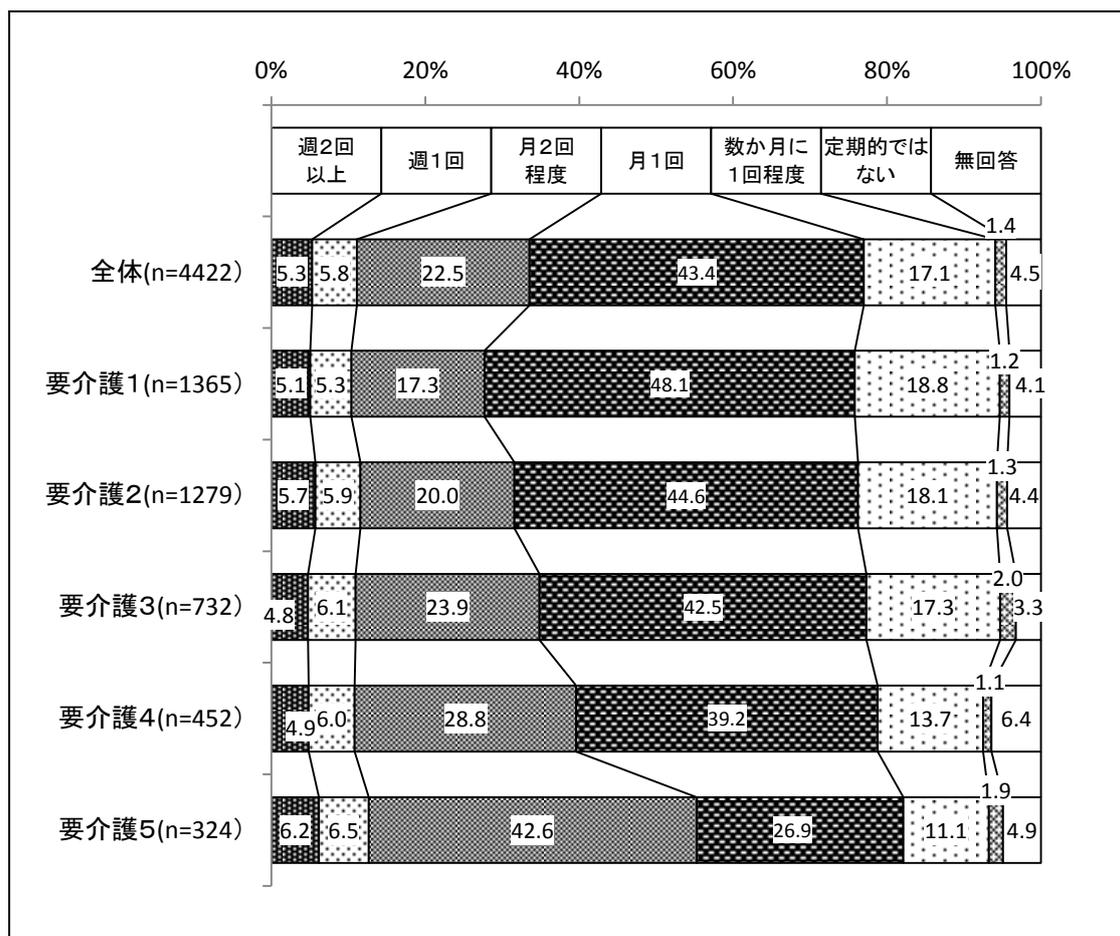
単位：%

	通院している	訪問診療を受けている	入院している	いずれも行っていない	無回答
全体 (n=4992)	75.1	25.8	5.6	3.8	2.5
要介護1 (n=1452)	89.4	14.2	1.5	3.1	1.7
要介護2 (n=1373)	84.4	21.6	2.5	3.1	1.7
要介護3 (n=838)	68.3	31.9	5.3	4.8	2.9
要介護4 (n=570)	53.9	41.8	12.3	5.4	3.7
要介護5 (n=452)	35.2	49.8	20.8	4.0	4.9

問4【(5)において「通院している」「訪問診療を受けている」と回答された方におたずねします】

①医療機関（病院・医院・診療所など）にはどのくらいの頻度で、通院や訪問診療を受けていますか（〇は1つ）

診療頻度については、「月1回」43.4%が最も多く、次いで「月2回程度」22.5%、「数か月に1回程度」17.1%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「月2回程度」の割合が大きくなり、「月1回」の割合が小さくなる傾向が見られた。



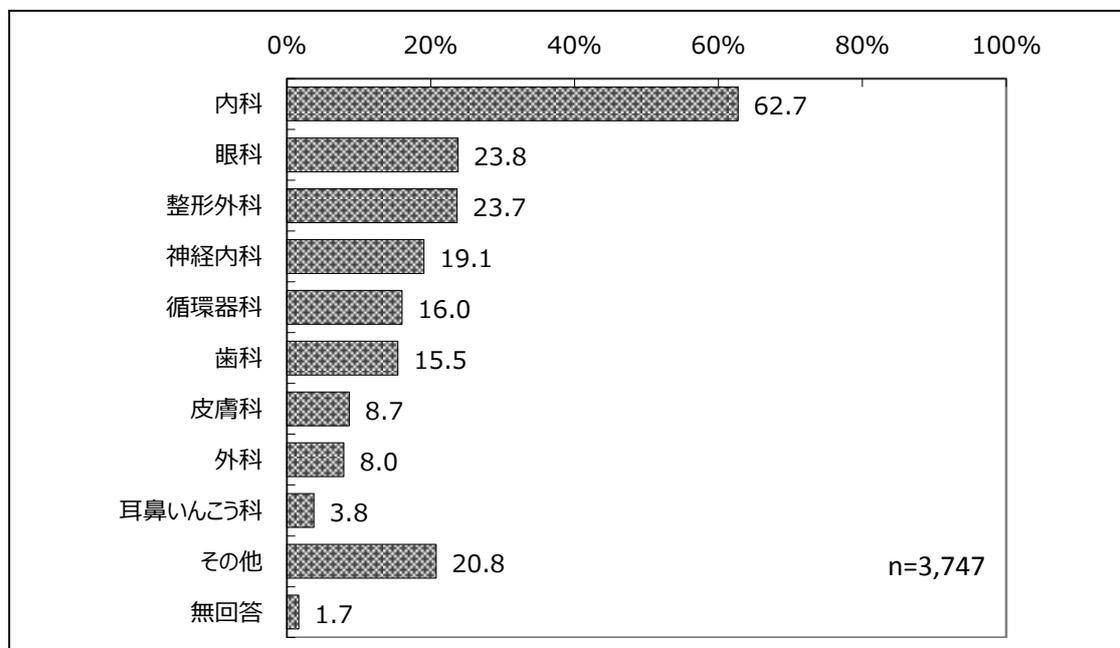
単位：%

	週2回以上	週1回	月2回程度	月1回	数か月に1回程度	定期的ではない	無回答
全体 (n=4422)	5.3	5.8	22.5	43.4	17.1	1.4	4.5
要介護1 (n=1365)	5.1	5.3	17.3	48.1	18.8	1.2	4.1
要介護2 (n=1279)	5.7	5.9	20.0	44.6	18.1	1.3	4.4
要介護3 (n=732)	4.8	6.1	23.9	42.5	17.3	2.0	3.3
要介護4 (n=452)	4.9	6.0	28.8	39.2	13.7	1.1	6.4
要介護5 (n=324)	6.2	6.5	42.6	26.9	11.1	1.9	4.9

問4【(5)において「通院している」と回答された方におたずねします】

②通院で受けている診療科目は何ですか（〇はいくつでも）

通院で受けている診療科目については、「内科」62.7%、「眼科」23.8%、「整形外科」23.7%、「神経内科」19.1%、「循環器科」16.0%であった。最も多かったのは「内科」であったが、その他にも様々な診療科を受診している状況がうかがえた。



問4【(5)において「通院している」と回答された方におたずねします】

③通院に介助が必要ですか（〇は1つ）

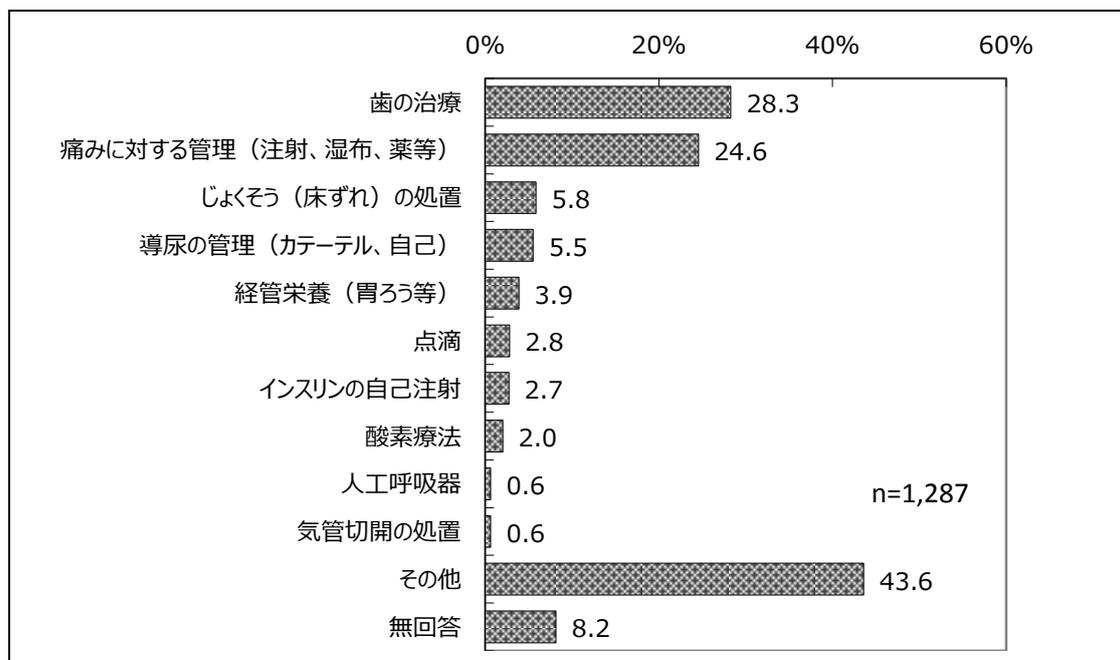
通院介助の必要性については、「はい（通院に介助が必要）」75.8%、「いいえ」21.1%であった。これを要介護度別にみると、要介護1では通院に介助が必要な人は64.2%であり、要介護2では81.4%、その他の要介護度では90%以上の人が通院に介助が必要な状況であった。

単位：%

	はい (通院に介助が必要)	いいえ	無回答
全体 (n=3747)	75.8	21.1	3.1
要介護1 (n=1298)	64.2	32.4	3.5
要介護2 (n=1159)	81.4	15.7	2.8
要介護3 (n=572)	92.0	6.8	1.2
要介護4 (n=307)	94.1	2.0	3.9
要介護5 (n=159)	92.5	5.0	2.5

問4【(5) において「訪問診療を受けている」と回答された方におたずねします】
④訪問診療で受けているものは、どのような内容ですか（〇はいくつでも）

訪問診療で受けている内容については、「歯の治療」28.3%が最も多く、次いで「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」24.6%、「じょくそう（床ずれ）の処置」5.8%であった。最も多かったのは「歯の治療」であったが、その他にも様々な治療・処置等がなされている状況がうかがえた。



問4（6）あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか（〇は1つ）

かかりつけ医の有無については、「「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている」45.8%が最も多く、「総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている」34.2%、「病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている」5.4%であった。要介護度が上がるほど、近所にかかりつけ医を持つ人、総合病院をかかりつけ医のように利用する人の割合が小さくなる傾向が見られた。

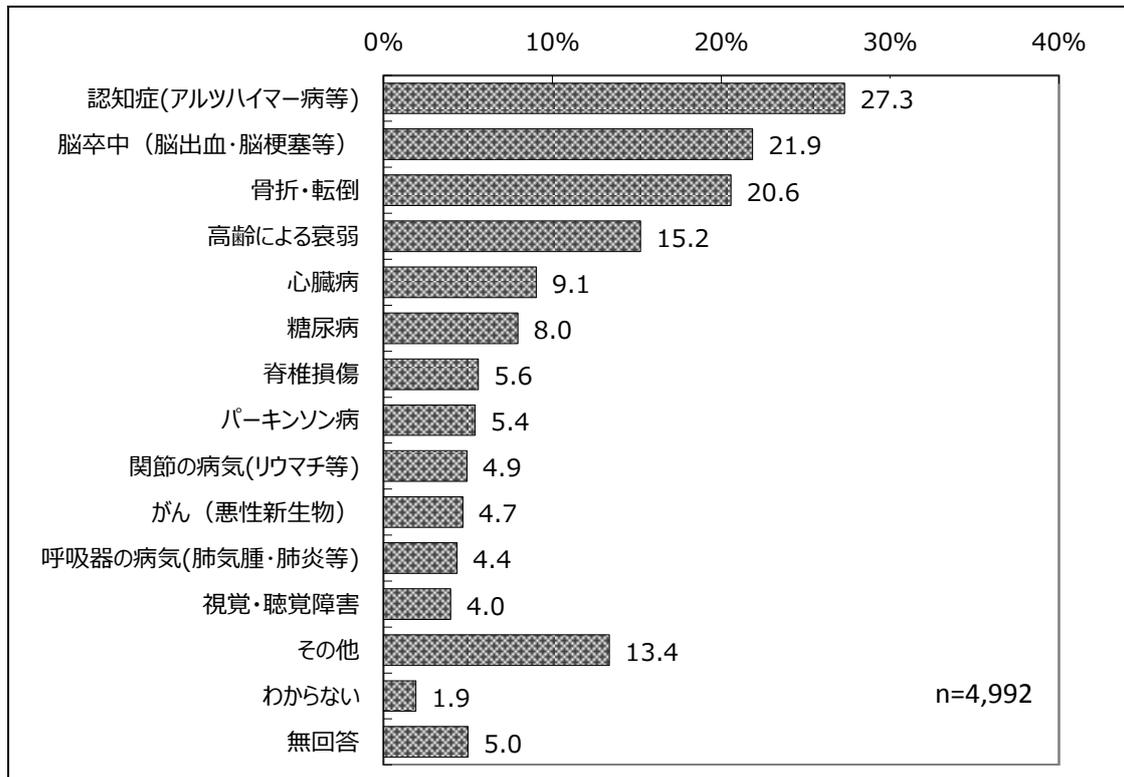
単位：%

	「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている	総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている	病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている	滅多に病気にならないので、よくわからない	その他	無回答
全体 (n=4992)	45.8	34.2	5.4	1.2	5.9	7.5
要介護1 (n=1452)	48.2	35.4	4.8	1.2	3.4	7.0
要介護2 (n=1373)	49.1	35.6	5.2	1.3	3.7	5.1
要介護3 (n=838)	43.2	34.7	6.7	1.2	6.2	8.0
要介護4 (n=570)	42.6	31.2	5.3	0.7	12.3	7.9
要介護5 (n=452)	36.1	31.2	4.6	0.2	15.0	12.8

問5 要介護認定・介護保険サービス等について

問5（1）要介護認定の申請が必要になった主な原因は何ですか（〇はいくつでも）

要介護認定の申請が必要になった主な原因については、「認知症（アルツハイマー病等）」27.3%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」21.9%、「骨折・転倒」20.6%、「高齢による衰弱」15.2%、「心臓病」9.1%であった。最も多かったのは「認知症（アルツハイマー病等）」であったが、その他にも様々な原因があることがうかがえた。



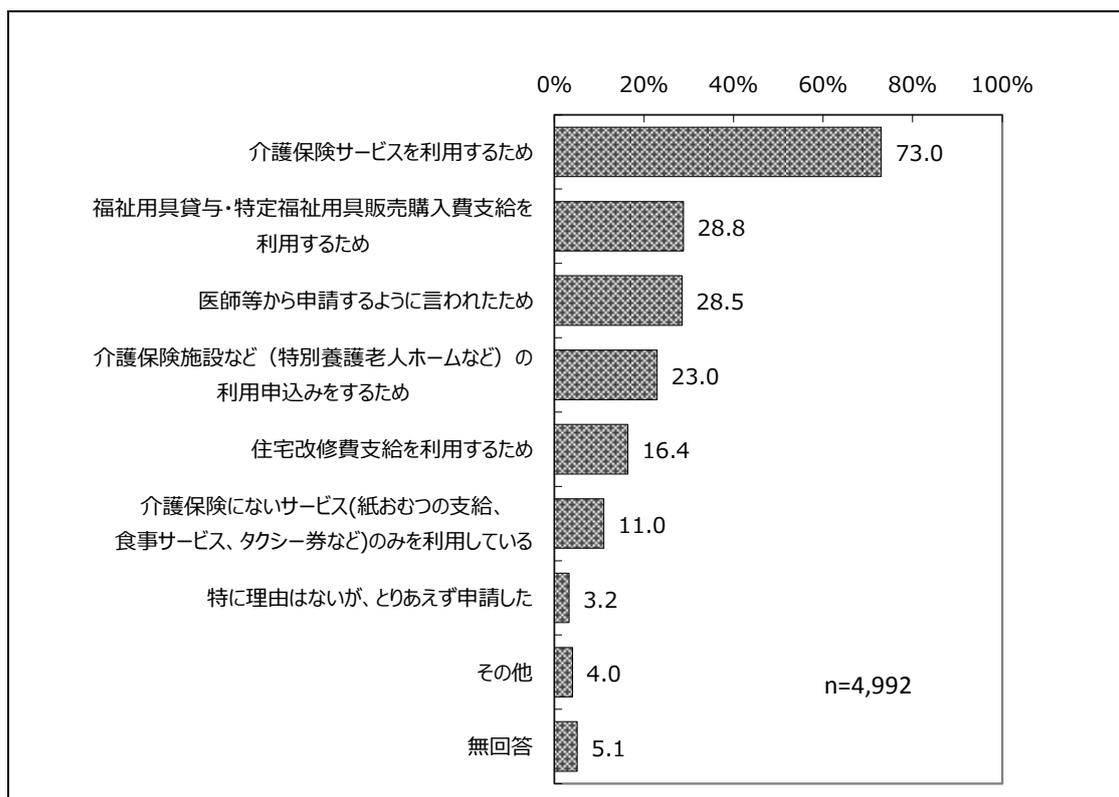
単位：%

	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性 新生物)	呼吸器の 病気 (肺気腫・ 肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツ ハイマー 病等)	パーキン ソン病	糖尿病
全体 (n=4992)	21.9	9.1	4.7	4.4	4.9	27.3	5.4	8.0
要介護1 (n=1452)	16.2	11.1	5.0	5.2	5.6	23.8	3.0	7.7
要介護2 (n=1373)	20.0	9.9	5.1	4.1	5.2	25.6	4.7	8.7
要介護3 (n=838)	25.2	7.9	4.4	3.8	4.9	35.7	7.4	9.4
要介護4 (n=570)	29.6	7.2	3.9	3.9	4.0	29.8	8.8	5.6
要介護5 (n=452)	36.5	4.9	3.8	4.4	2.9	36.7	9.7	7.3

	視覚・ 聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰 弱	その他	わからない	無回答
全体 (n=4992)	4.0	20.6	5.6	15.2	13.4	1.9	5.0
要介護1 (n=1452)	4.6	17.6	5.1	16.0	15.1	2.8	5.6
要介護2 (n=1373)	4.6	22.8	6.1	16.0	15.1	2.3	3.3
要介護3 (n=838)	3.8	19.3	5.5	16.7	10.7	1.8	2.3
要介護4 (n=570)	2.8	30.2	4.6	14.9	10.7	0.4	1.2
要介護5 (n=452)	3.1	13.9	5.5	12.6	12.6	0.9	3.3

問5（2）あなたが要介護認定を申請した理由はどれですか(○はいくつでも)

要介護認定を申請した理由については、「介護保険サービスを利用するため」73.0%、「福祉用具貸与・特定福祉用具販売購入費支給を利用するため」28.8%、「医師等から申請するよういわれたため」28.5%、「介護保険施設など（特別養護老人ホームなど）の利用申込みをするため」23.0%、「住宅改修費支給を利用するため」16.4%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほど介護保険サービスの利用、福祉用具貸与・購入、施設の申込など、多くの項目で割合が多くなる一方、「特に理由はないがとりあえず申請した」の割合が小さくなる傾向が見られた。

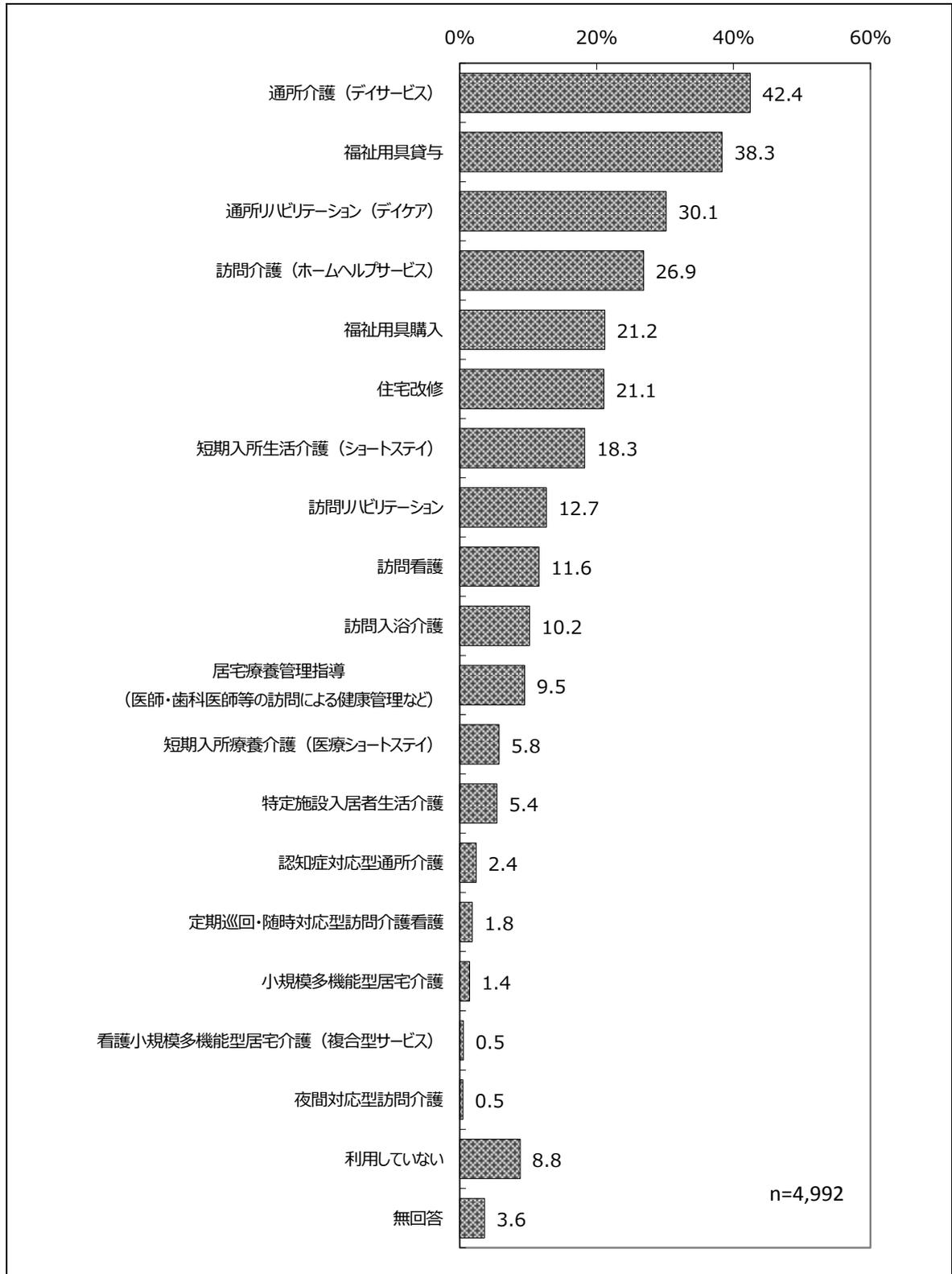


単位：%

	介護保険サービスを利用するため	介護保険施設など（特別養護老人ホームなど）の利用申込みをするため	住宅改修費支給を利用するため	福祉用具貸与・特定福祉用具販売購入費支給を利用するため	医師等から申請するよういわれたため	特に理由はないが、とりあえず申請した	介護保険にないサービス（紙おむつの支給、食事サービス、タクシー券など）のみを利用している	その他	無回答
全体 (n=4992)	73.0	23.0	16.4	28.8	28.5	3.2	11.0	4.0	5.1
要介護1 (n=1452)	69.2	16.3	12.9	19.8	26.9	5.7	6.9	4.5	5.1
要介護2 (n=1373)	77.0	18.7	16.5	28.8	30.0	3.1	9.6	4.2	2.6
要介護3 (n=838)	77.7	29.0	19.2	35.6	27.9	1.8	16.2	3.2	1.9
要介護4 (n=570)	78.1	38.8	21.8	39.8	32.8	0.7	14.6	3.7	2.5
要介護5 (n=452)	78.1	36.5	16.4	38.7	31.4	0.4	15.9	2.2	3.8

問5（3）あなたが、利用された介護保険サービスをお答えください（〇はいくつでも）

利用した介護保険サービスについては、「通所介護（デイサービス）」42.4%が最も多く、次いで「福祉用具貸与」38.3%、「通所リハビリテーション（デイケア）」30.1%であった。様々なサービスが利用されているが、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等、地域密着型サービスについては利用が多くない状況がうかがえた。

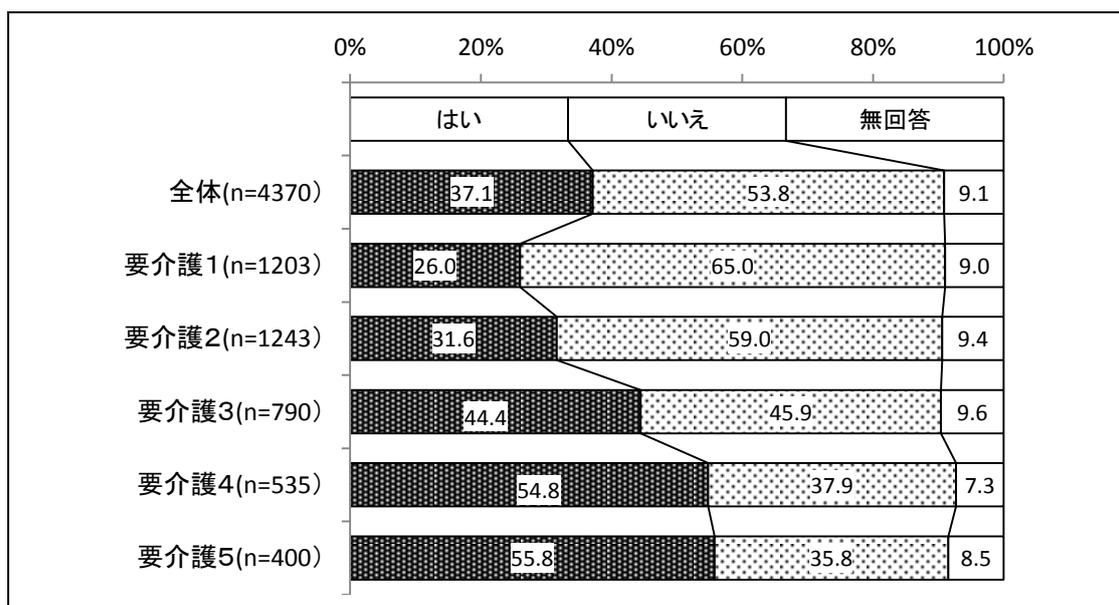


問5【(3)において「訪問介護(ホームヘルプサービス)」～「看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)」のいずれかのサービスを回答された方におたずねします】

①介護保険の在宅サービスを利用する際は、要介護状態区別に保険から給付される上限額(支給限度額)が決められています。

あなたは、介護保険サービスを上限額まで利用していますか(○は1つ)

介護保険サービスを上限額まで利用しているかについては、「いいえ」53.8%、「はい」37.1%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほど上限まで利用している人が多くなり、要介護4・5では「はい」が「いいえ」を上回る状況であった。



単位：%

	はい	いいえ	無回答
全体 (n=4370)	37.1	53.8	9.1
要介護1 (n=1203)	26.0	65.0	9.0
要介護2 (n=1243)	31.6	59.0	9.4
要介護3 (n=790)	44.4	45.9	9.6
要介護4 (n=535)	54.8	37.9	7.3
要介護5 (n=400)	55.8	35.8	8.5

問5【(3)①において「いいえ」と回答された方におたずねします】

②上限額まで介護サービスを利用していない理由は何ですか(○は1つ)

介護保険サービスを上限まで利用していない理由については、「家族が介護しているので、それほど多くサービスを利用しなくてもよいため」26.2%が最も多く、次いで「生活の中で、自分でできることは自分でやっているため」23.0%、「今利用しているサービスで十分であり、そもそも上限額までサービスを必要としていないため」22.3%であった。

経済的な負担を挙げる回答は7.7%であったほか、どのようなサービスを利用してよいか分からないとの回答も5.1%であった。

単位：%

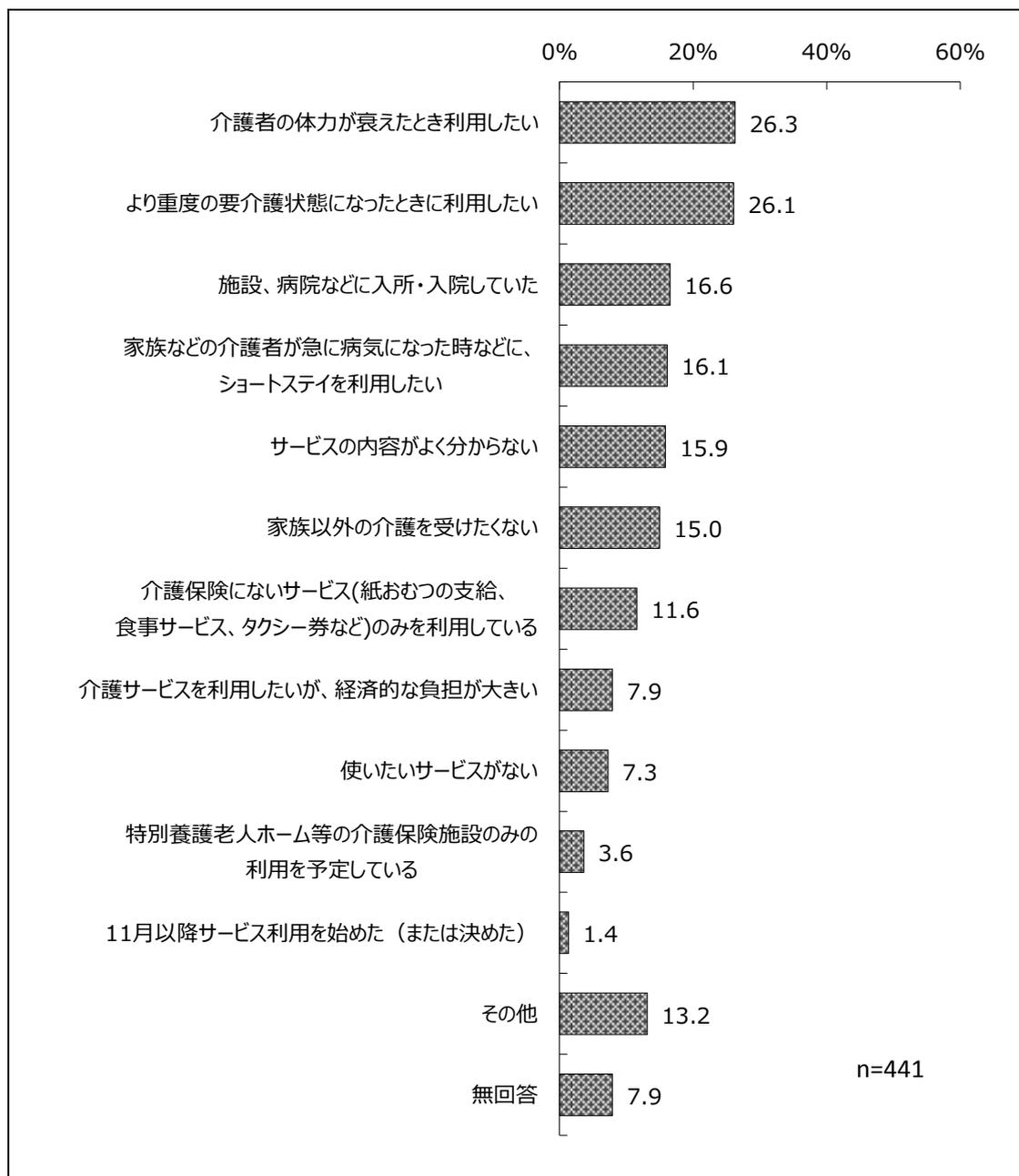
	今利用しているサービスで十分であり、そもそも上限額までサービスを必要としないため	生活の中で、自分でできることは自分でやっているため	家族が介護しているので、それほど多くサービスを利用しなくてもよいため	上限額までサービスを使うことを必要としているが、経済的な負担が大きい	現在利用しているサービス以外に、どのようなサービスを利用してよいか分からないため	利用したいサービスを提供する事業者がないため	その他	無回答
全体 (n=2349)	22.3	23.0	26.2	7.7	5.1	1.0	2.6	12.2
要介護1 (n=782)	26.5	32.5	19.1	5.1	3.7	1.0	2.2	10.0
要介護2 (n=733)	20.7	21.6	26.3	7.9	6.4	0.7	2.0	14.3
要介護3 (n=363)	18.7	11.8	38.3	9.1	4.7	0.8	3.6	12.9
要介護4 (n=203)	19.7	10.3	33.5	12.8	4.4	2.5	1.0	15.8
要介護5 (n=143)	17.5	5.6	35.7	13.3	9.1	0.7	7.7	10.5

問5【(3)において「利用していない」と回答された方におたずねします】

③介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由については、「介護者の体力が衰えたときに利用したい」26.3%が最も多く、次いで「より重度の要介護状態になったときに利用したい」26.1%、「施設、病院などに入所・入院していた」16.6%であった。

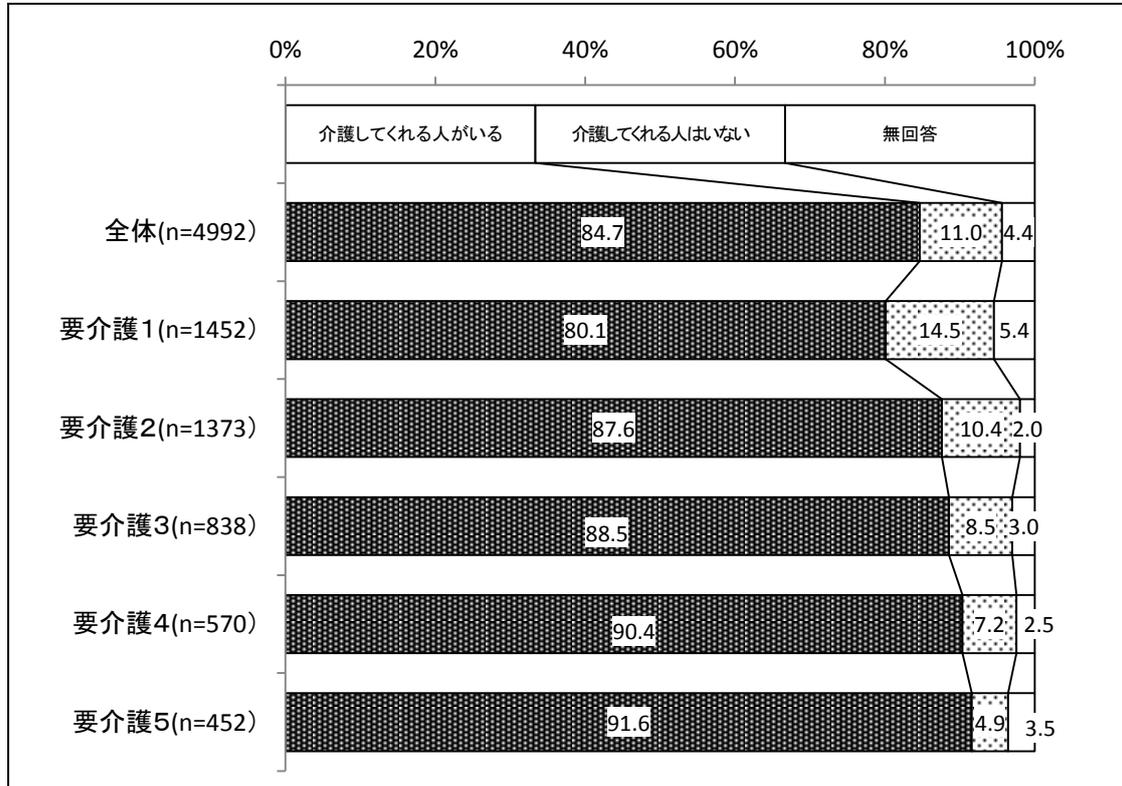
現在はサービスの必要性が高くなく、将来的な利用を想定する回答が多かった。



問6 介護者について

問6（1）現在、あなたを介護してくれる方はいますか（〇は1つ）

介護者の有無については、「介護してくれる人がいる」84.7%、「介護してくれる人はいない」11.0%であった。これを要介護度別にみると、要介護度1・2では「介護してくれる人はいない」の割合が10%を超えている状況であった。

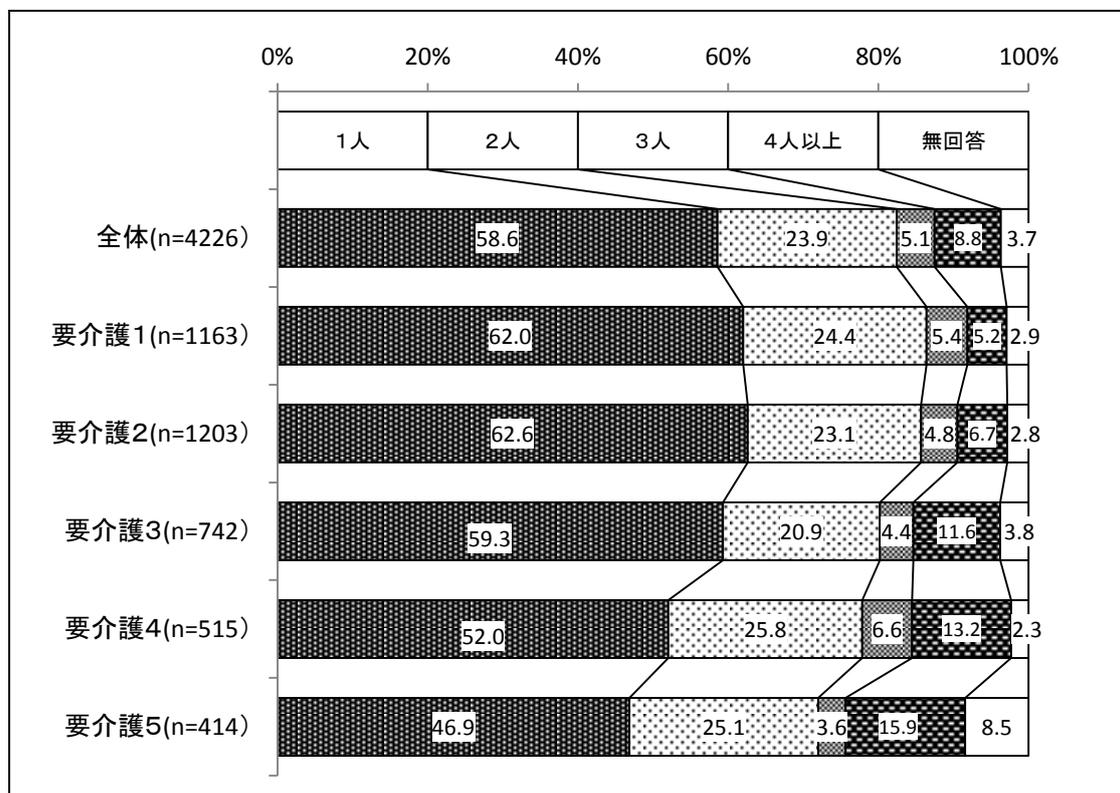


単位：%

	介護してくれる人がいる	介護してくれる人はいない	無回答
全体 (n=4992)	84.7	11.0	4.4
要介護1 (n=1452)	80.1	14.5	5.4
要介護2 (n=1373)	87.6	10.4	2.0
要介護3 (n=838)	88.5	8.5	3.0
要介護4 (n=570)	90.4	7.2	2.5
要介護5 (n=452)	91.6	4.9	3.5

**問6 【(1) において「介護してくれる人がある」と回答された方におたずねします】
あなたを介護している人は何人いますか**

介護をしている人数については、「1人」が最も多く58.6%、次いで「2人」23.9%、「4人以上」8.8%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「1人」の割合が小さくなり、「4人以上」の割合が大きくなる傾向が見られた。



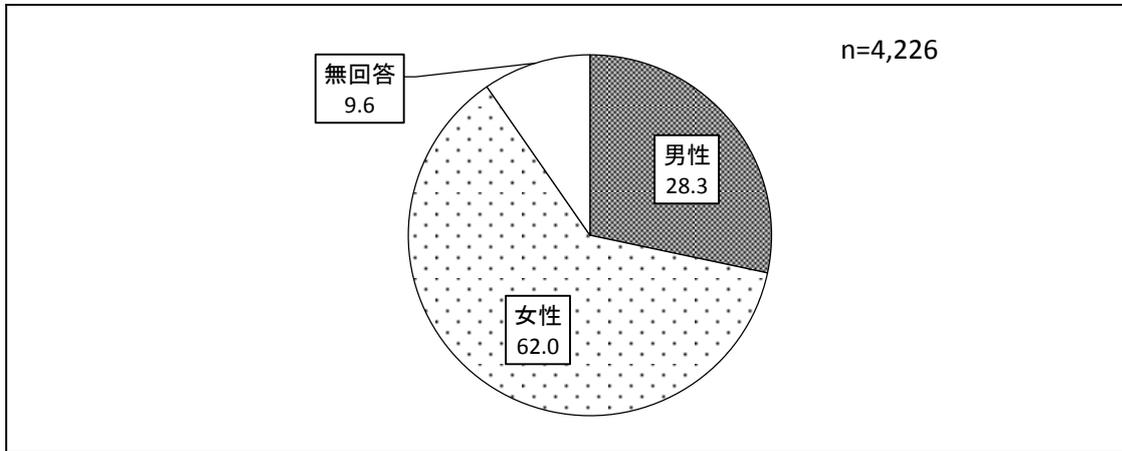
単位：%

	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体 (n=4226)	58.6	23.9	5.1	8.8	3.7
要介護 1 (n=1163)	62.0	24.4	5.4	5.2	2.9
要介護 2 (n=1203)	62.6	23.1	4.8	6.7	2.8
要介護 3 (n=742)	59.3	20.9	4.4	11.6	3.8
要介護 4 (n=515)	52.0	25.8	6.6	13.2	2.3
要介護 5 (n=414)	46.9	25.1	3.6	15.9	8.5

問6(2) あなた(主に介護をしている方)の性別・年齢・あて名ご本人との関係(続柄等)をお答えください(それぞれについて○は1つ)

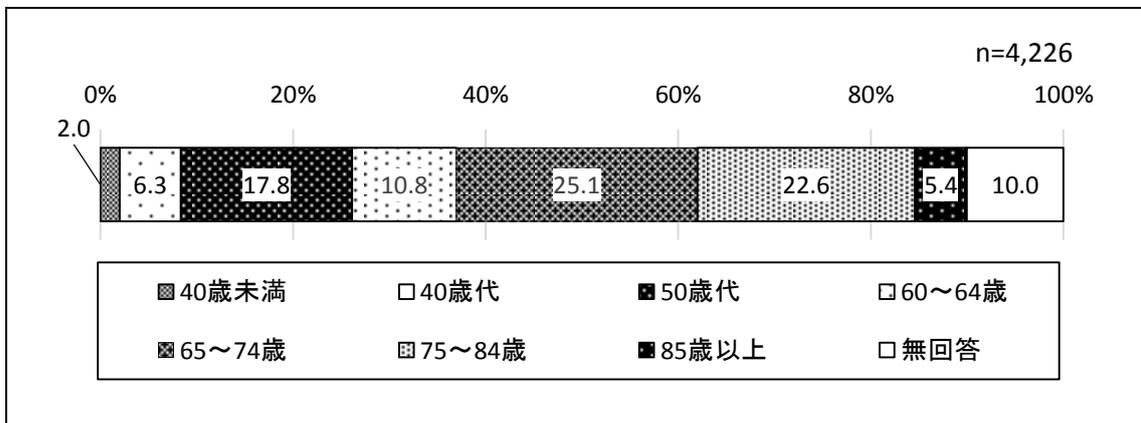
①(主に介護をしている方の)性別

調査対象者の介護を主にしている方の性別については、「女性」62.0%、「男性」28.3%であった。



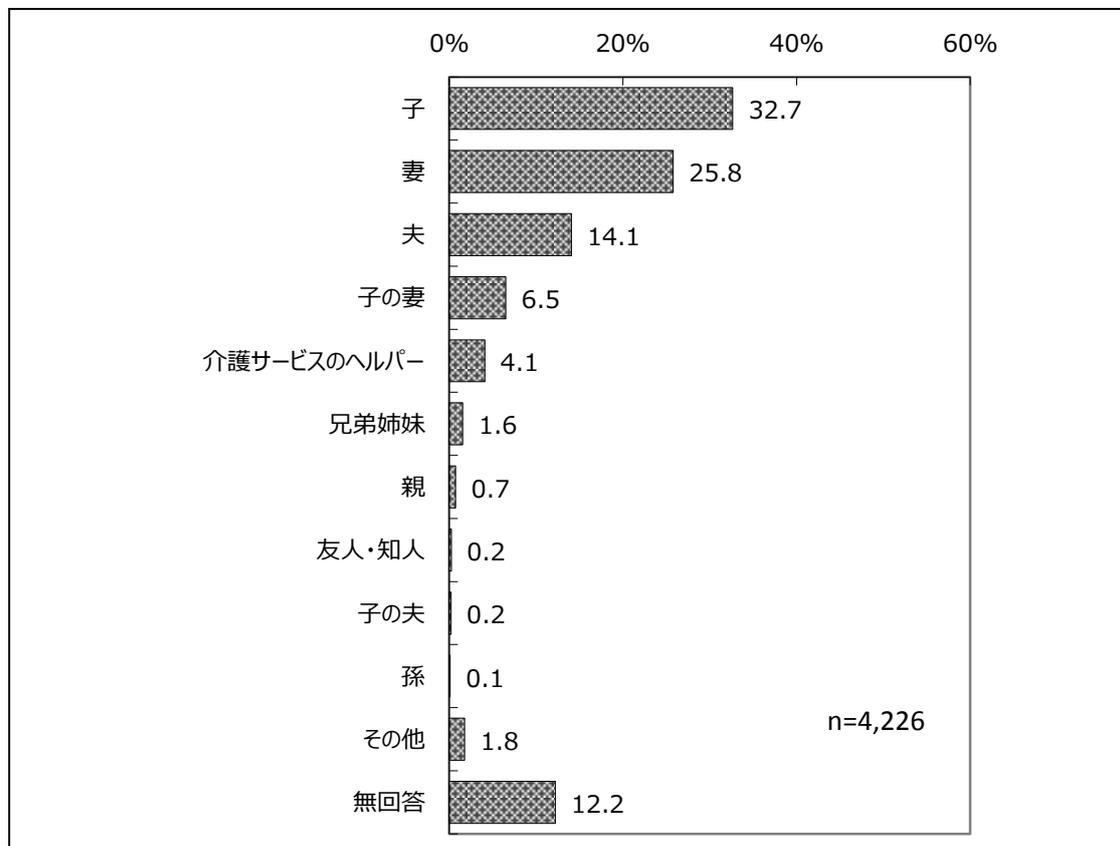
②(主に介護をしている方の)年齢

調査対象者の介護を主にしている方の年齢については、「65～74歳」25.1%が最も多く、次いで「75～84歳」22.6%、「50歳代」17.8%であった。



③（主に介護をしている方の）あて名ご本人との関係(続柄等)

調査対象者と主に介護をしている方との関係については、「子」32.7%、「妻」25.8%、「夫」14.1%、「子の妻」6.5%、「介護サービスのヘルパー」4.1%であった。いずれの要介護度においても、最も多かったのは「子」であった。



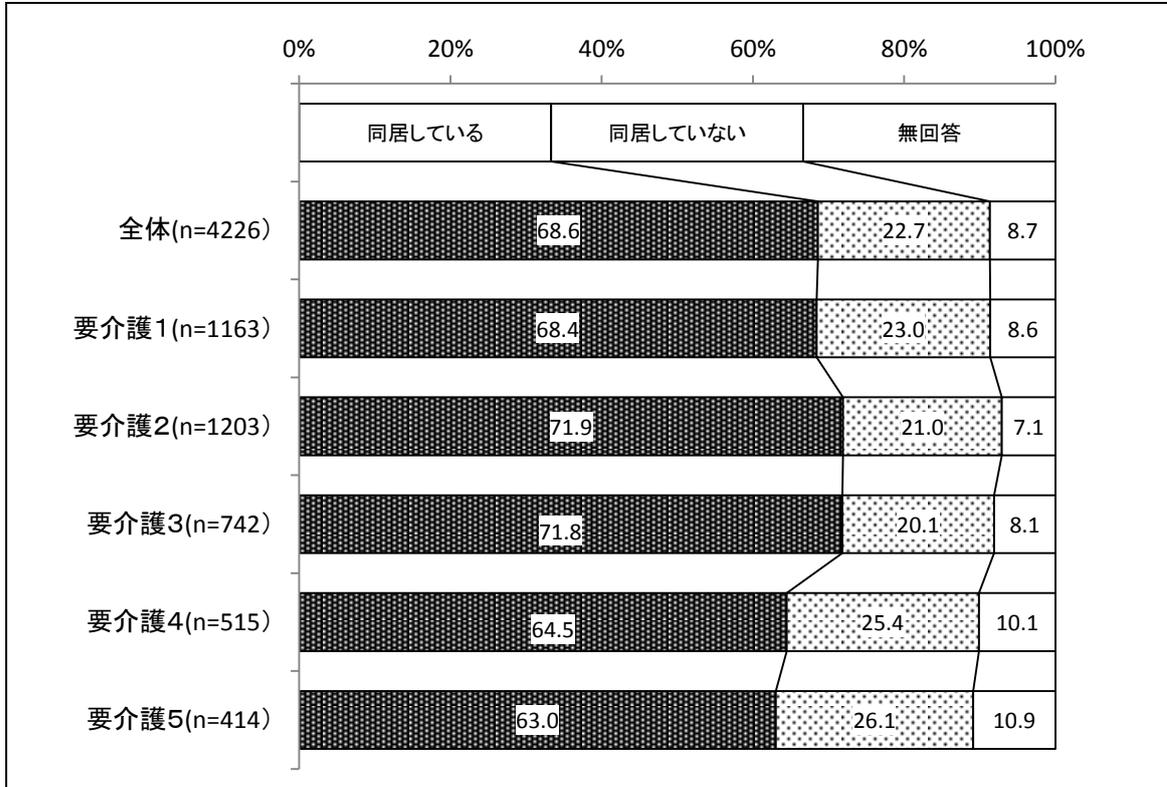
単位：%

	子	妻	夫	子の妻	介護サービスのヘルパー	兄弟姉妹
全体 (n=4226)	32.7	25.8	14.1	6.5	4.1	1.6
要介護 1 (n=1163)	29.6	25.6	15.7	6.9	4.1	2.1
要介護 2 (n=1203)	34.7	27.4	14.9	6.3	3.4	1.1
要介護 3 (n=742)	31.9	27.6	11.5	7.7	3.4	1.6
要介護 4 (n=515)	38.8	21.4	12.4	6.8	5.2	1.2
要介護 5 (n=414)	30.9	24.2	14.3	4.6	6.3	1.7

	親	友人・知人	子の夫	孫	その他	無回答
全体 (n=4226)	0.7	0.2	0.2	0.1	1.8	12.2
要介護 1 (n=1163)	1.0	0.3	0.3	0.2	1.2	12.9
要介護 2 (n=1203)	0.2	0.2	0.0	0.1	1.2	10.4
要介護 3 (n=742)	0.9	0.4	0.7	0.0	2.3	12.0
要介護 4 (n=515)	1.0	0.0	0.2	0.2	2.1	10.7
要介護 5 (n=414)	1.0	0.0	0.0	0.2	3.4	13.5

問6（3）本人と同居（二世帯住宅を含む）していますか（○は1つ）

調査対象者と主に介護をしている方が同居しているかについては、「同居している」68.6%、「同居していない」22.7%であった。「同居していない」が最も多かったのは「要介護度5」であった。

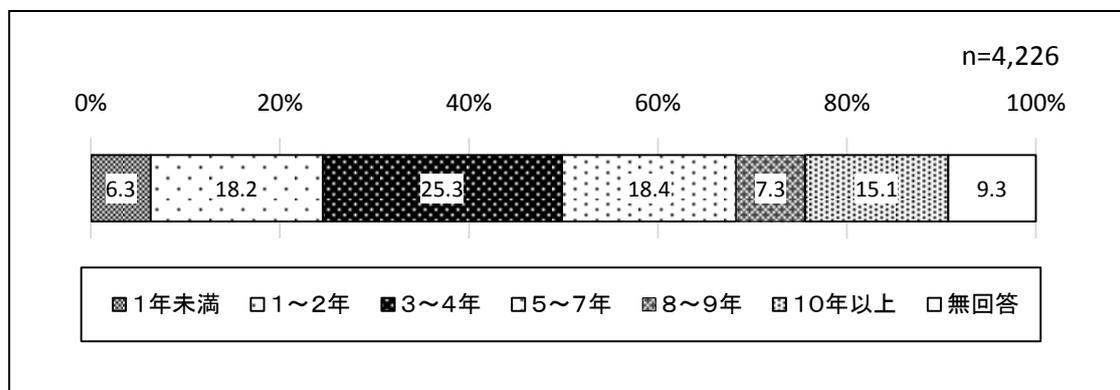


単位：%

	同居している	同居していない	無回答
全体 (n=4226)	68.6	22.7	8.7
要介護1 (n=1163)	68.4	23.0	8.6
要介護2 (n=1203)	71.9	21.0	7.1
要介護3 (n=742)	71.8	20.1	8.1
要介護4 (n=515)	64.5	25.4	10.1
要介護5 (n=414)	63.0	26.1	10.9

問6（4）本人の介護を始めて、どのくらいですか（〇は1つ）

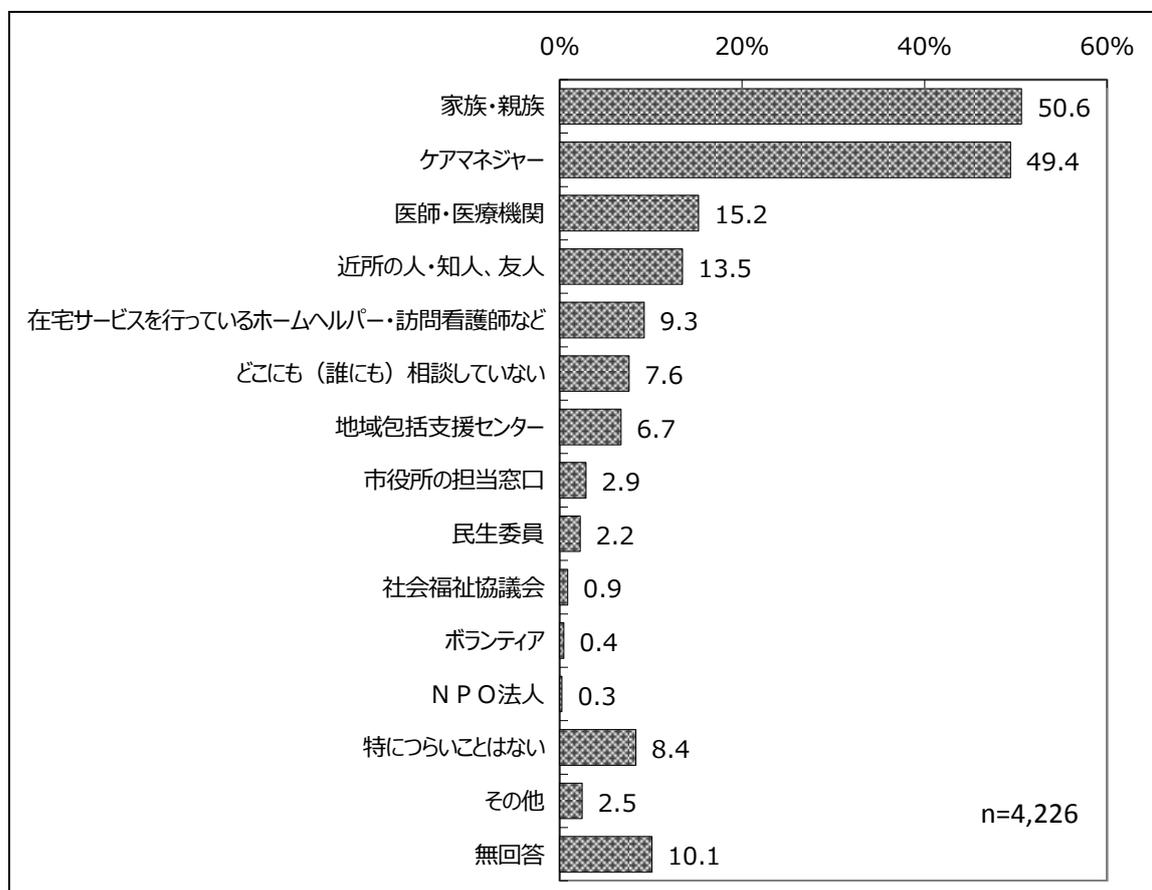
介護期間については、「3～4年」25.3%が最も多く、次いで「5～7年」18.4%、「1～2年」18.2%であった。「10年以上」介護している方は15.1%であった。



問6（5）介護をしていてつらいとき、どこ（だれ）に相談しましたか（〇はいくつでも）

介護をしていてつらいときの相談相手については、「家族・親族」50.6%、「ケアマネジャー」49.4%、「医師・医療機関」15.2%、「近所の人・知人、友人」13.5%、「在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など」9.3%であった。

最も多かったのは「家族・親族」であったが、ケアマネジャーも相談相手として高い割合が見られた。



問6（6）介護をしていて、困ったことや負担に感じたことは何ですか （〇はいくつでも）

介護をしていて困ったことや負担に感じたことについては、「精神的なストレスがたまっている」42.8%が最も多く、次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」34.9%、「現在の状況を理解してもらるのが難しい」28.6%であった。最も多かったのは「精神的なストレスがたまっている」であったが、介護者が困ること、負担と思うことには様々な理由があることがうかがえた。



単位：%

	精神的なストレスがたまっている	日中、家を空けるのを不安に感じる	現在の状況を理解してもらうのが難しい	本人の言動が理解できないことがある	身体的につらい（腰痛や肩こりなど）	自分の自由になる時間が持てない
全体 (n=4226)	42.8	34.9	28.6	28.4	27.9	27.4
要介護1 (n=1163)	34.7	30.7	24.3	19.8	18.1	18.0
要介護2 (n=1203)	44.5	35.6	29.1	26.8	27.0	26.4
要介護3 (n=742)	49.6	42.6	35.0	35.4	35.2	34.4
要介護4 (n=515)	51.1	35.9	32.0	39.4	39.2	36.5
要介護5 (n=414)	47.8	35.5	30.4	37.4	37.2	38.6

	自分の用事・都合をすませることができない	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	先々のことを考える余裕がない	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	経済的につらいと感じたときがある	症状への対応がわからない
全体 (n=4226)	25.4	23.8	18.2	17.7	16.6	12.2
要介護1 (n=1163)	15.6	18.7	12.5	8.3	10.5	9.8
要介護2 (n=1203)	25.1	22.4	18.2	14.3	17.5	13.8
要介護3 (n=742)	31.3	29.9	22.4	25.7	19.8	14.2
要介護4 (n=515)	35.1	27.4	20.4	28.3	20.8	12.0
要介護5 (n=414)	36.2	32.4	26.6	30.4	24.4	14.0

	来客にも気を遣う	適切な介護方法がわからない	仕事との両立ができない	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	本人に受診を勧めても同意してもらえない
全体 (n=4226)	11.9	11.2	9.7	8.7	8.4	5.6
要介護1 (n=1163)	8.9	8.3	6.4	8.1	6.0	6.6
要介護2 (n=1203)	11.6	11.2	10.1	8.1	8.6	5.4
要介護3 (n=742)	15.2	13.2	9.0	11.1	10.5	5.8
要介護4 (n=515)	14.0	15.7	15.7	8.5	8.3	4.7
要介護5 (n=414)	14.3	12.3	14.0	9.9	13.0	4.3

	介護を協力してもらえない	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	サービスを利用したら本人の状態が悪化した（ことがある）	徘徊するため目が離せない	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	介護することに対して、周囲の理解が得られない
全体 (n=4226)	5.3	5.2	4.0	3.7	2.9	2.0
要介護1 (n=1163)	2.1	5.0	2.5	1.6	2.1	1.5
要介護2 (n=1203)	6.0	4.6	2.2	2.5	2.6	2.3
要介護3 (n=742)	6.2	6.5	5.7	8.5	4.6	2.4
要介護4 (n=515)	6.8	4.9	7.2	4.9	2.5	1.9
要介護5 (n=414)	9.7	6.5	7.7	4.1	3.9	2.9

	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	サービス事業者との関係がうまくいかない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体 (n=4226)	1.7	1.4	5.3	13.1	17.4
要介護1 (n=1163)	0.7	0.7	5.1	19.0	21.1
要介護2 (n=1203)	1.6	1.6	5.4	13.6	16.0
要介護3 (n=742)	1.8	1.6	5.9	10.2	12.9
要介護4 (n=515)	2.5	1.0	5.4	7.2	15.0
要介護5 (n=414)	3.9	2.9	5.8	6.3	13.8

問7 介護保険についてのお考え・ご意見

問7(1) あなたは、今後どのような生活を続けたいと思いますか(○は1つ)

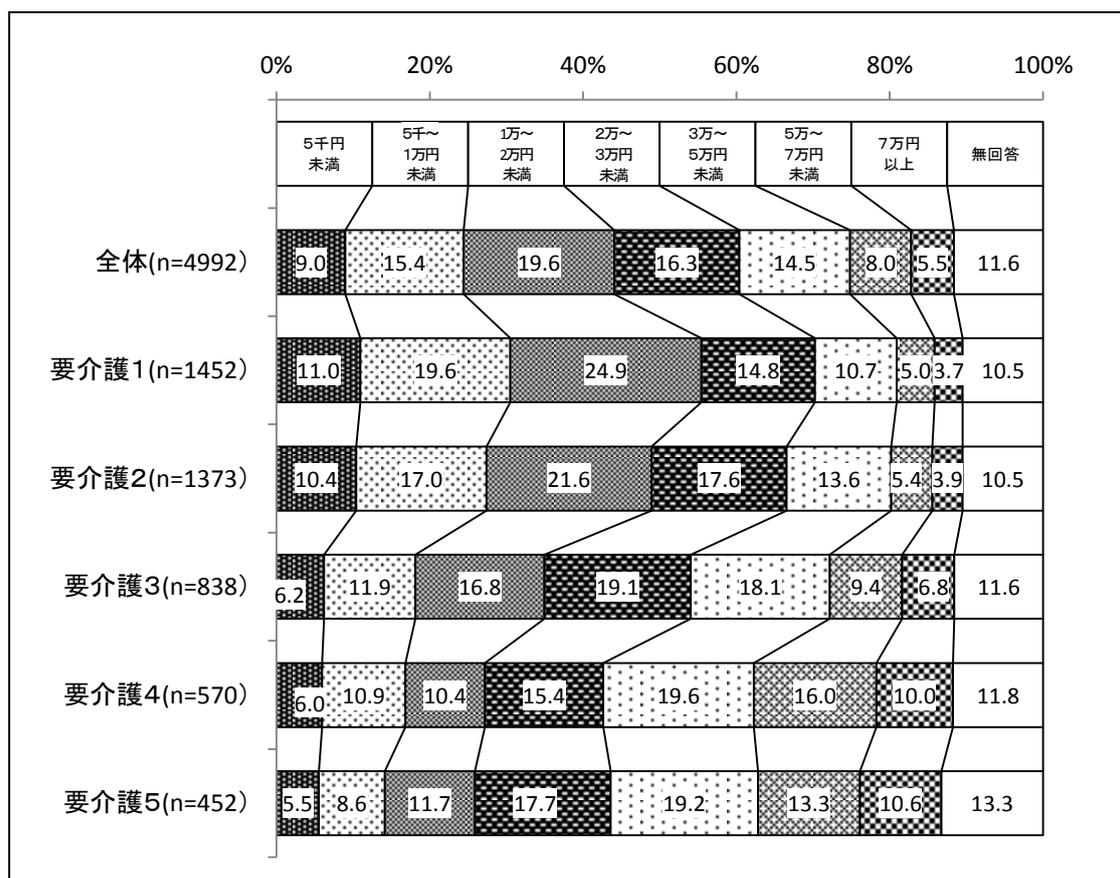
今後どのような生活を続けたいかについては、「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」34.2%が最も多く、次いで「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」26.4%、「介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい」13.7%であった。これを要介護度別にみると、要介護1では施設などに入所・入院したいとのニーズが9.6%、要介護5では21.9%と差が見られた。一方、有料老人ホームやケアハウス等の高齢者向け施設への住み替えについては、要介護度による大きな差は見られなかった。

単位：%

	家族の介護を受けながら、自宅で生活したい	介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい	高齢者向け施設など(有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など)に住み替えて、介護サービスを利用したい	介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい	その他	わからない	無回答
全体 (n=4992)	34.2	26.4	7.5	13.7	2.9	6.3	9.0
要介護1 (n=1452)	37.3	28.2	7.6	9.6	1.5	7.8	7.9
要介護2 (n=1373)	38.0	28.5	6.6	10.0	3.2	5.8	7.9
要介護3 (n=838)	31.9	24.2	8.5	18.9	2.6	4.1	9.9
要介護4 (n=570)	27.4	24.4	8.9	21.8	4.7	5.8	7.0
要介護5 (n=452)	28.3	22.8	6.2	21.9	5.5	6.4	8.8

問7(2) あなたがご自宅で介護保険のサービスを受けるにあたって、負担できる月額(介護を受けることに伴ってかかる費用であり、日常生活に係る費用は除きます)はどの程度まで可能ですか(〇は1つ)

自宅で介護保険サービスを受けるにあたっての可能な負担金額(月額)については、「1万～2万円未満」19.6%が最も多く、次いで「2万～3万円未満」16.3%、「5千～1万円未満」15.4%であった。これを要介護度別にみると、「要介護1」「要介護2」では「1万～2万円未満」が最も多かったが、「要介護4」「要介護5」では「3万～5万円未満」が最も多くなっており、要介護度が上がるほど可能な費用負担の額が上がる傾向が見られた。

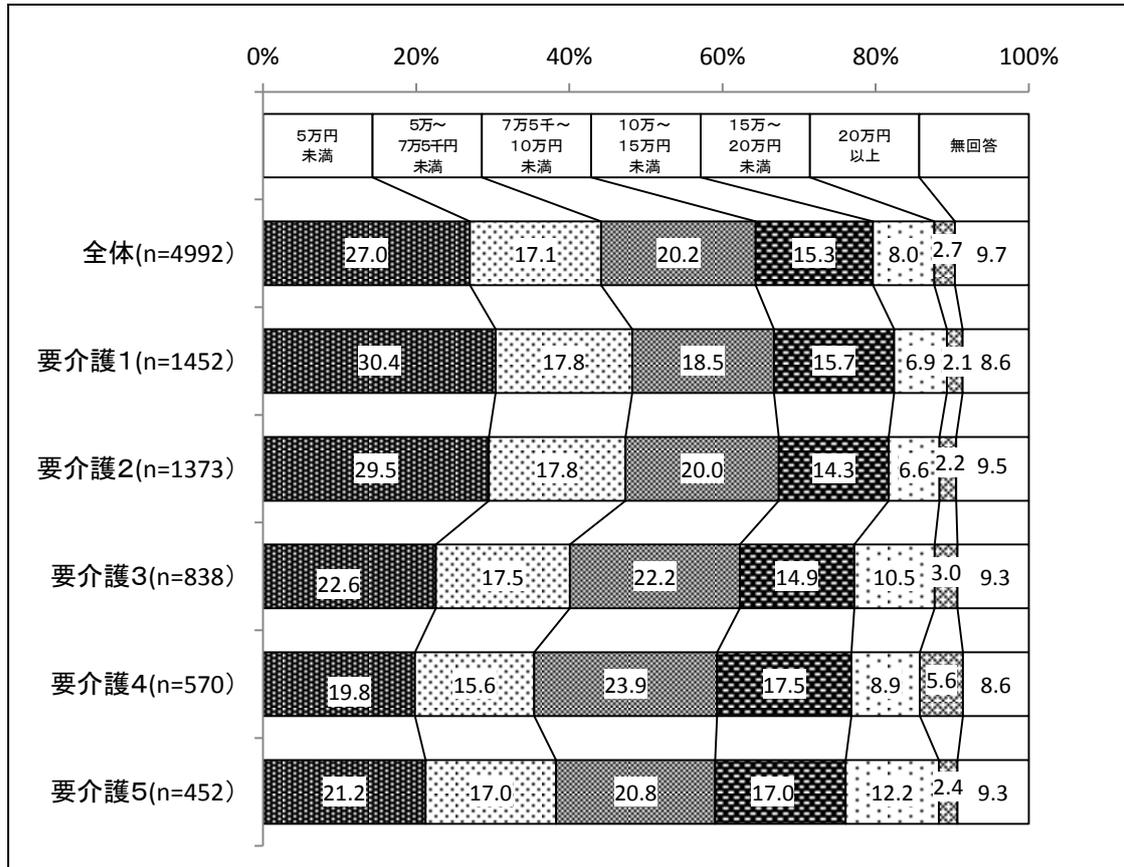


単位：%

	5千円未満	5千～1万円未満	1万～2万円未満	2万～3万円未満	3万～5万円未満	5万～7万円未満	7万円以上	無回答
全体 (n=4992)	9.0	15.4	19.6	16.3	14.5	8.0	5.5	11.6
要介護1 (n=1452)	11.0	19.6	24.9	14.8	10.7	5.0	3.7	10.5
要介護2 (n=1373)	10.4	17.0	21.6	17.6	13.6	5.4	3.9	10.5
要介護3 (n=838)	6.2	11.9	16.8	19.1	18.1	9.4	6.8	11.6
要介護4 (n=570)	6.0	10.9	10.4	15.4	19.6	16.0	10.0	11.8
要介護5 (n=452)	5.5	8.6	11.7	17.7	19.2	13.3	10.6	13.3

問7(3) 今後、もしあなたが施設に入所するとしたら、1か月間にかかる費用は総額でいくらまで負担できますか (〇は1つ)

施設に入所するにあたっての可能な負担金額(月額)については、「5万円未満」27.0%が最も多く、次いで「7万5千～10万円未満」20.2%、「5万～7万5千円未満」17.1%であった。これを要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「5万円未満」の割合が小さくなり、「15～20万円未満」の割合が大きくなる傾向が見られた。



単位：%

	5万円未満	5万～7万5千円未満	7万5千～10万円未満	10万～15万円未満	15万～20万円未満	20万円以上	無回答
全体 (n=4992)	27.0	17.1	20.2	15.3	8.0	2.7	9.7
要介護1 (n=1452)	30.4	17.8	18.5	15.7	6.9	2.1	8.6
要介護2 (n=1373)	29.5	17.8	20.0	14.3	6.6	2.2	9.5
要介護3 (n=838)	22.6	17.5	22.2	14.9	10.5	3.0	9.3
要介護4 (n=570)	19.8	15.6	23.9	17.5	8.9	5.6	8.6
要介護5 (n=452)	21.2	17.0	20.8	17.0	12.2	2.4	9.3

問7(4) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設※¹」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費※²は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください(○は1つ)

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

調査対象者の考えに近いものは、「たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ」31.3%が最も多く、次いで「介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ」23.5%、「介護保険料の上昇を必要最低限度に抑えられるよう、重度(要介護4・5)の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ」21.3%であった。

これを要介護度別にみると、要介護1～3では介護保険料が上昇しても希望者が入所できるように介護保険施設を整備すべきとの回答の割合が大きくなる傾向が見られた。

単位：%

	たとえ介護保険料が 上昇しても、施設入 所を希望する方が 入所できるように介 護保険施設を 整備すべきだ	介護保険料の上昇 を必要最低限度に 抑えられるよう、 重度(要介護4・ 5)の方や、身寄 りのない高齢者の方 に限って入所でき るように、介護保 険施設を整備 すべきだ	介護保険料がこれ 以上上昇しない よう、施設を整備 するよりも、在宅 サービスの充実に 力を注ぐべきだ	その他	無回答
全体 (n=4992)	31.3	21.3	23.5	4.6	19.3
要介護1 (n=1452)	31.3	15.6	28.0	5.1	19.9
要介護2 (n=1373)	33.3	16.9	25.1	4.4	20.4
要介護3 (n=838)	37.9	21.0	19.3	4.9	16.8
要介護4 (n=570)	27.5	35.1	16.8	4.2	16.3
要介護5 (n=452)	25.2	39.4	18.1	3.5	13.7

問7（5）超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか（○は1つ）。

今後の高齢者福祉サービスのあり方については、「現状の高齢者福祉サービスについて、必要性と内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく」32.5%が最も多く、次いで「福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく」31.1%、「地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく」10.2%であった。

これを要介護度別にみると、要介護度が低いほど身近な地域の支え合いを中心とした福祉の推進を挙げる割合が大きく、要介護度が高いほど現状の福祉サービスの再検討・効果的なサービスへの転換を挙げる割合が大きい傾向が見られた。

単位：%

	地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく	現状の高齢者福祉サービスについて、必要性と内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく	福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく	その他	わからない	無回答
全体 (n=4992)	10.2	32.5	31.1	2.3	14.7	9.3
要介護1 (n=1452)	12.1	28.7	30.1	2.6	17.2	9.3
要介護2 (n=1373)	9.8	32.3	32.2	2.3	14.2	9.1
要介護3 (n=838)	9.7	34.5	31.1	2.3	14.0	8.5
要介護4 (n=570)	9.1	37.4	31.2	1.6	12.5	8.2
要介護5 (n=452)	7.5	40.7	29.6	3.3	10.8	8.0

問7(6) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。
あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか（それぞれ○は1つ）

① 地域包括支援センター

地域包括支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」40.0%が最も多く、次いで「利用している・利用したことがある」32.4%、「知らない」18.9%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の72.4%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体 (n=4992)	32.4	40.0	18.9	8.7
要介護1 (n=1452)	35.5	36.4	18.7	9.4
要介護2 (n=1373)	32.2	40.4	19.2	8.2
要介護3 (n=838)	30.5	42.7	19.5	7.3
要介護4 (n=570)	31.2	44.2	17.9	6.7
要介護5 (n=452)	28.8	45.4	18.8	7.1

② 在宅介護支援センター

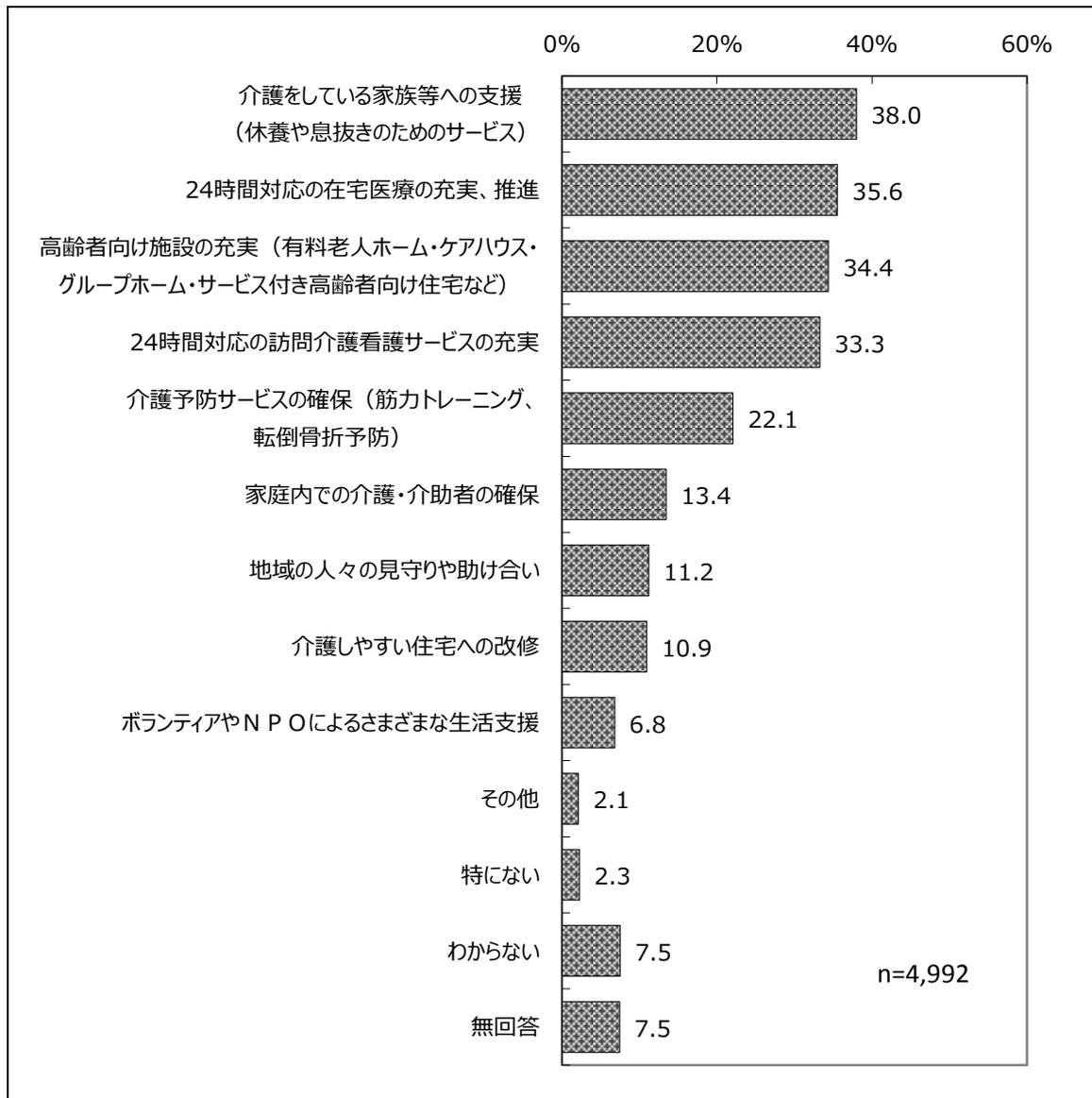
在宅介護支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」44.5%が最も多く、次いで「知らない」26.6%、「利用している・利用したことがある」16.1%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の60.6%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体 (n=4992)	16.1	44.5	26.6	12.9
要介護1 (n=1452)	16.0	42.9	27.5	13.6
要介護2 (n=1373)	15.7	44.0	28.0	12.4
要介護3 (n=838)	15.8	48.0	24.6	11.7
要介護4 (n=570)	19.1	44.9	26.0	10.0
要介護5 (n=452)	16.8	47.6	25.7	10.0

問7（7）可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために、あなたはどのようなサービスが必要だと思いますか（〇は3つまで）

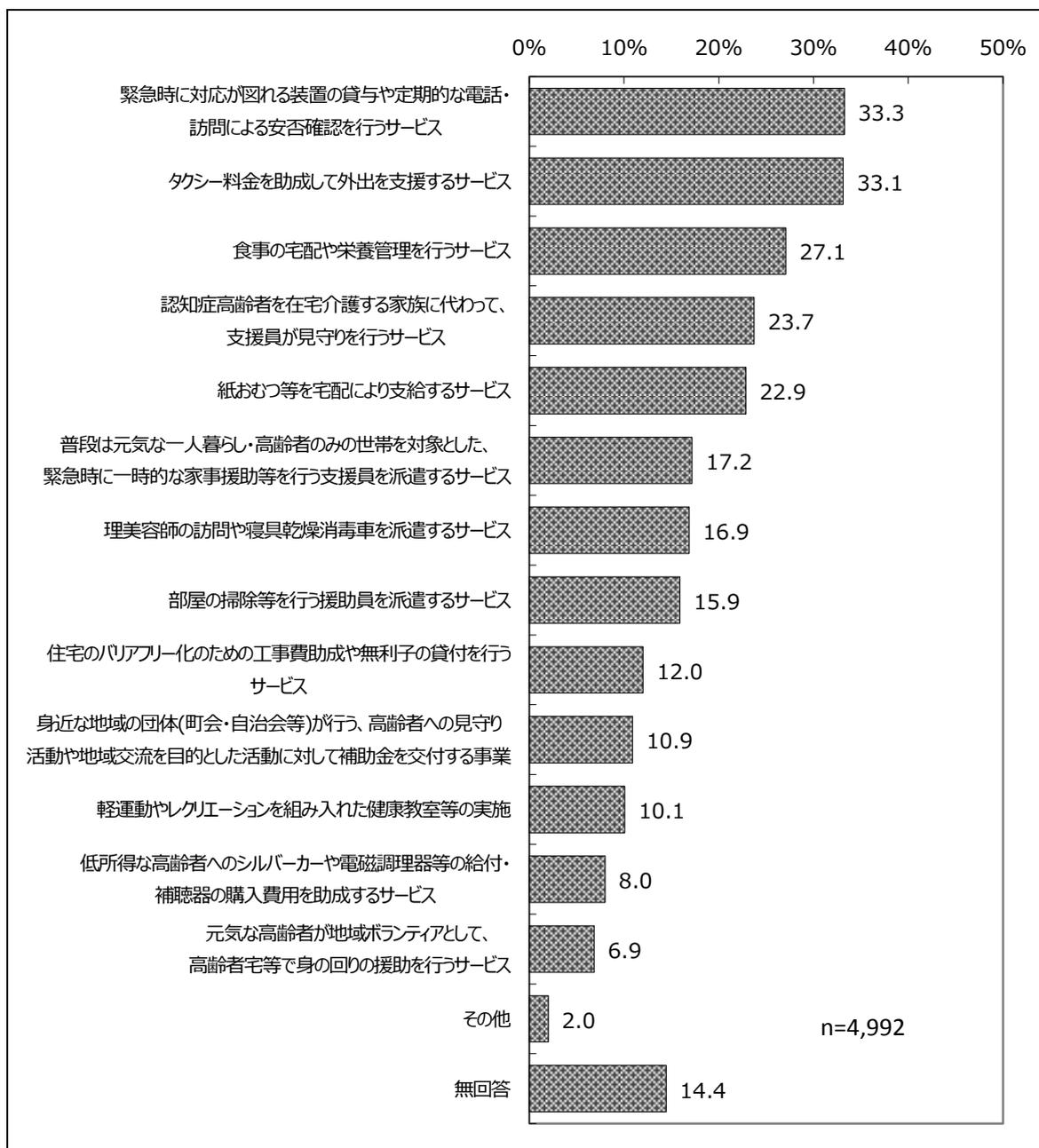
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要だと思うサービスについては、「介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス）」38.0%が最も多く、次いで「24時間対応の在宅医療の充実、推進」35.6%、「高齢者向け施設の充実（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など）」34.4%であった。最も多かったのは「介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス）」であり、その後も24時間対応サービスや施設の充実などを挙げる回答が多かった。



問7(8) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと思いますか（〇は3つまで）

今後充実すべき在宅高齢者福祉サービスについては、「緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス」33.3%が最も多く、次いで「タクシー料金を助成して外出を支援するサービス」33.1%、「食事の宅配や栄養管理を行うサービス」27.1%であった。

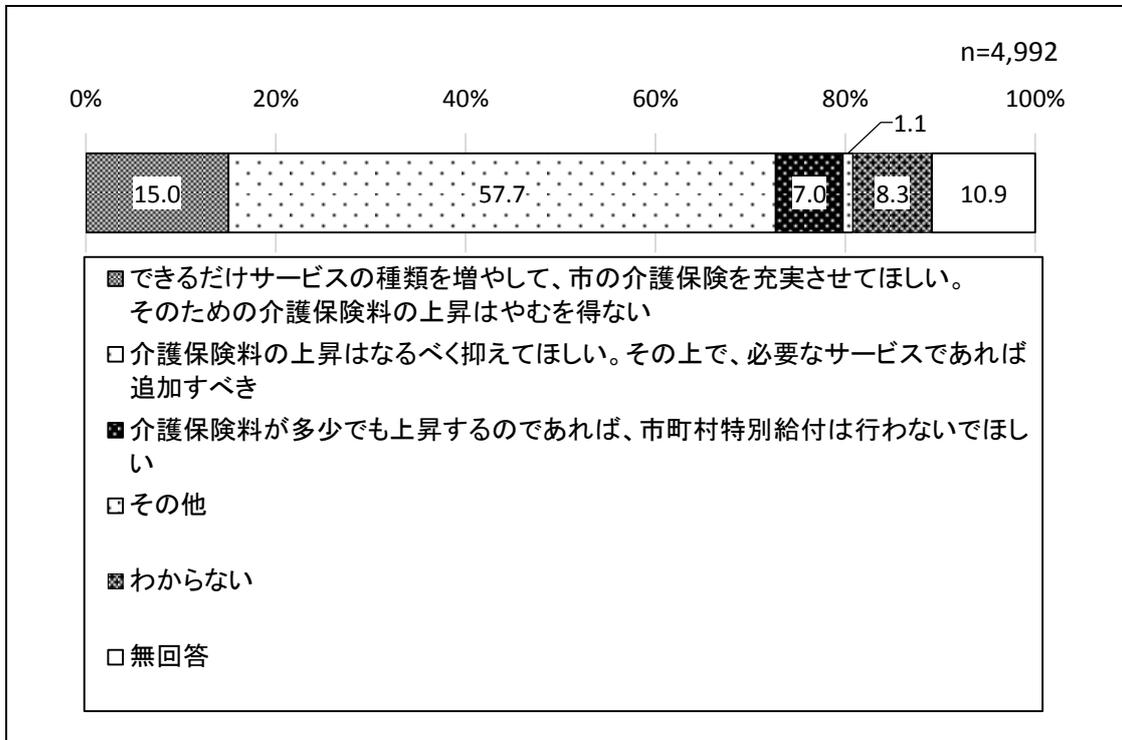
回答として多かったサービスは、緊急時対応や安否確認、外出支援、配食サービス等多岐にわたっており、特定のサービスのみを整備するだけでなく、生活を様々な面から総合的に支援することの重要性がうかがえた。



問7(9) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（〇は1つ）

市町村特別給付について調査対象者の考えに近いものは、「介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき」57.7%が最も多く、次いで「できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない」15.0%、「介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい」7.0%であった。

市町村特別給付については、必要なサービスであれば追加すべきとする意見が多く見られた。



問7 (10) 市では他の方の支援を受けられず、自らごみ収集ステーションにごみを出すことが困難な方に対し、市職員が戸別にごみ収集を行う事業の実施を検討しています。

このような事業を実施した場合、あなたは利用したいですか (○は1つ)

市職員が戸別にごみ収集を行う事業を実施した場合、利用したいかについては、「自身でごみ出しができており困っていない」33.3%が最も多く、次いで「支援を受けることができるため、利用するつもりはない」32.2%、「支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい」15.1%であった。

利用したいと考える人は、いずれの要介護度においても概ね同程度の割合であった。

単位：%

	支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい	自身でごみ出しができており困っていない	支援を受けることができるため、利用するつもりはない	無回答
全体 (n=4992)	15.1	33.3	32.2	19.4
要介護1 (n=1452)	14.3	40.4	28.4	17.0
要介護2 (n=1373)	16.4	32.5	32.3	18.8
要介護3 (n=838)	15.3	28.6	35.9	20.2
要介護4 (n=570)	17.2	21.1	40.9	20.9
要介護5 (n=452)	12.6	28.5	37.2	21.7

問7 (11) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

敬老記念品（購入券）の今後のあり方については、「現在のまま継続する」48.1%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」27.1%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」9.8%であった。いずれの要介護度においても、継続することが望ましいと考える人の割合が大きい状況であった。

単位：%

	現在のまま継続する	他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	その他	無回答
全体 (n=4992)	48.1	27.1	9.8	2.0	13.0
要介護1 (n=1452)	50.0	25.8	9.3	1.7	13.2
要介護2 (n=1373)	49.2	27.2	8.7	1.8	13.1
要介護3 (n=838)	47.6	27.8	11.2	2.4	11.0
要介護4 (n=570)	47.4	31.8	9.8	2.1	8.9
要介護5 (n=452)	43.8	30.3	11.9	2.4	11.5

② 敬老会を実施する町会・自治会等に対する敬老行事交付金

敬老行事交付金の今後のあり方については、「現在のまま継続する」46.6%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」27.7%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」10.8%であった。いずれの要介護度においても、継続することが望ましいと考える人の割合が大きい状況であった。

単位：%

	現在のまま継続する	他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする	その他	無回答
全体 (n=4992)	46.6	27.7	10.8	2.1	12.8
要介護1 (n=1452)	49.0	26.4	9.9	2.0	12.7
要介護2 (n=1373)	47.9	27.7	9.8	2.2	12.4
要介護3 (n=838)	45.3	28.8	12.2	2.0	11.7
要介護4 (n=570)	44.4	31.6	11.8	2.8	9.5
要介護5 (n=452)	43.1	30.8	12.4	1.8	11.9

第4章 ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

記入者については、「あて名のご本人が記入」88.3%、「ご家族が記入」2.8%であった。

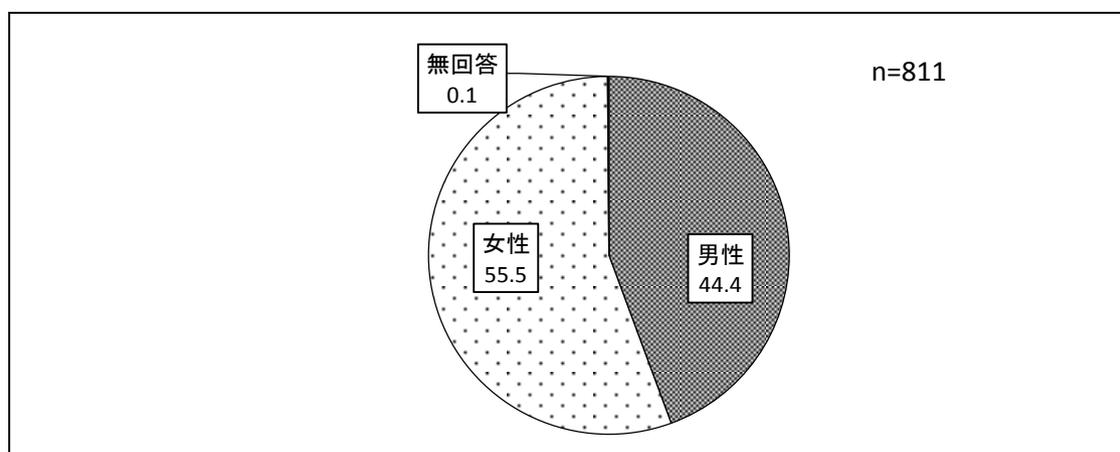
単位：%

	あて名のご本人が 記入	ご家族が記入	その他	無回答
全体(n=811)	88.3	2.8	2.5	6.4
65～69歳(n=189)	87.3	2.6	2.1	7.9
70～74歳(n=232)	88.8	3.0	1.7	6.5
75～79歳(n=213)	88.7	1.9	3.3	6.1
80～84歳(n=118)	88.1	4.2	1.7	5.9
85歳以上(n=56)	89.3	3.6	5.4	1.8

問1 あなたのご家族や生活状況について

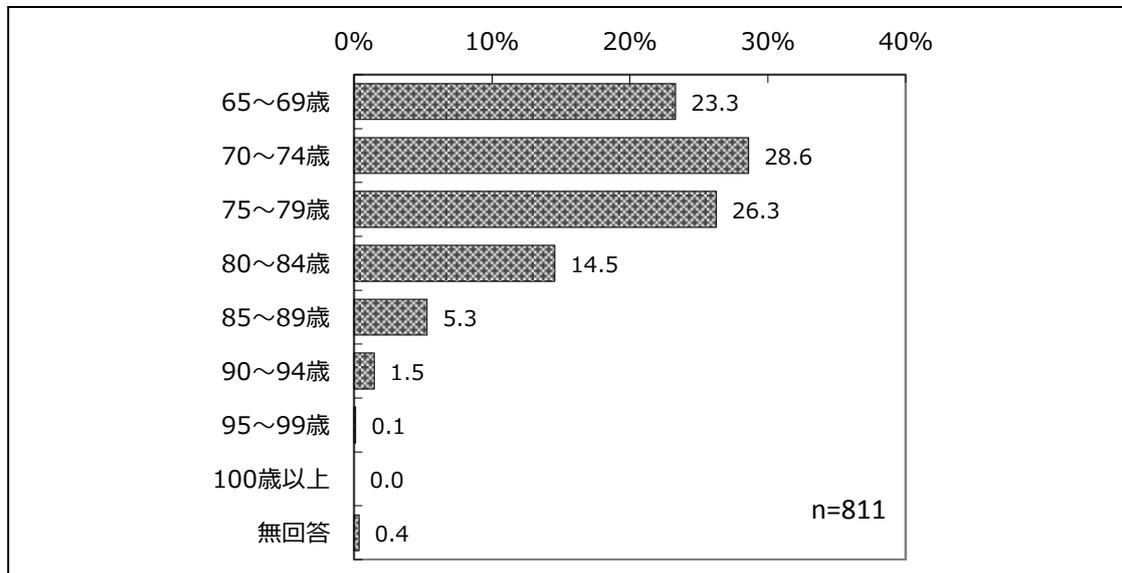
問1（1）あなたの性別をお教えてください（○は1つ）

性別については、「女性」55.5%、「男性」44.4%であり、若干女性が多かった。



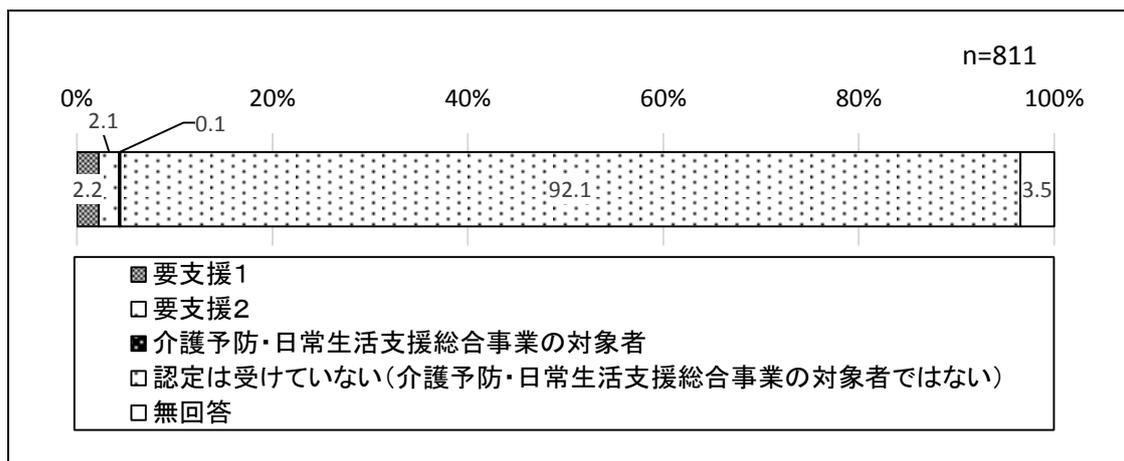
問1（2）あなたの年齢をお教えてください（〇は1つ）

年齢については、「70～74歳」28.6%が最も多く、次いで「75～79歳」26.3%、「65～69歳」23.3%であった。



問1（3）あなたの現在の要介護度等はどれですか（〇は1つ）

要介護度については、「認定は受けていない（介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ではない）」92.1%が最も多く、次いで「要支援1」が2.2%、「要支援2」が2.1%であった。



問1（4）家族構成をお教えてください（○は1つ）

家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」59.9%が最も多く、次いで「1人暮らし」22.9%、「息子・娘との2世帯」8.1%であった。これを年齢別にみると、「息子・娘との2世帯」では、年齢が上がるほど割合が大きくなる傾向が見られた。

単位：%

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との 2世帯	その他	無回答
全体(n=811)	22.9	59.9	2.6	8.1	6.0	0.4
65～69歳(n=189)	25.9	55.6	2.1	5.8	10.1	0.5
70～74歳(n=232)	19.8	69.8	1.3	5.6	3.4	0.0
75～79歳(n=213)	20.2	66.2	2.8	6.6	3.8	0.5
80～84歳(n=118)	26.3	54.2	2.5	10.2	5.9	0.8
85歳以上(n=56)	30.4	23.2	7.1	28.6	10.7	0.0

問1（5）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

普段の生活における介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」91.5%が最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」4.3%、「現在、何らかの介護を受けている」3.3%であった。これを年齢別にみると、65～69歳では介護・介助の必要がない人が大半であったが、85歳以上では20%程度の人何らかの介護・介助が必要な状況であった。

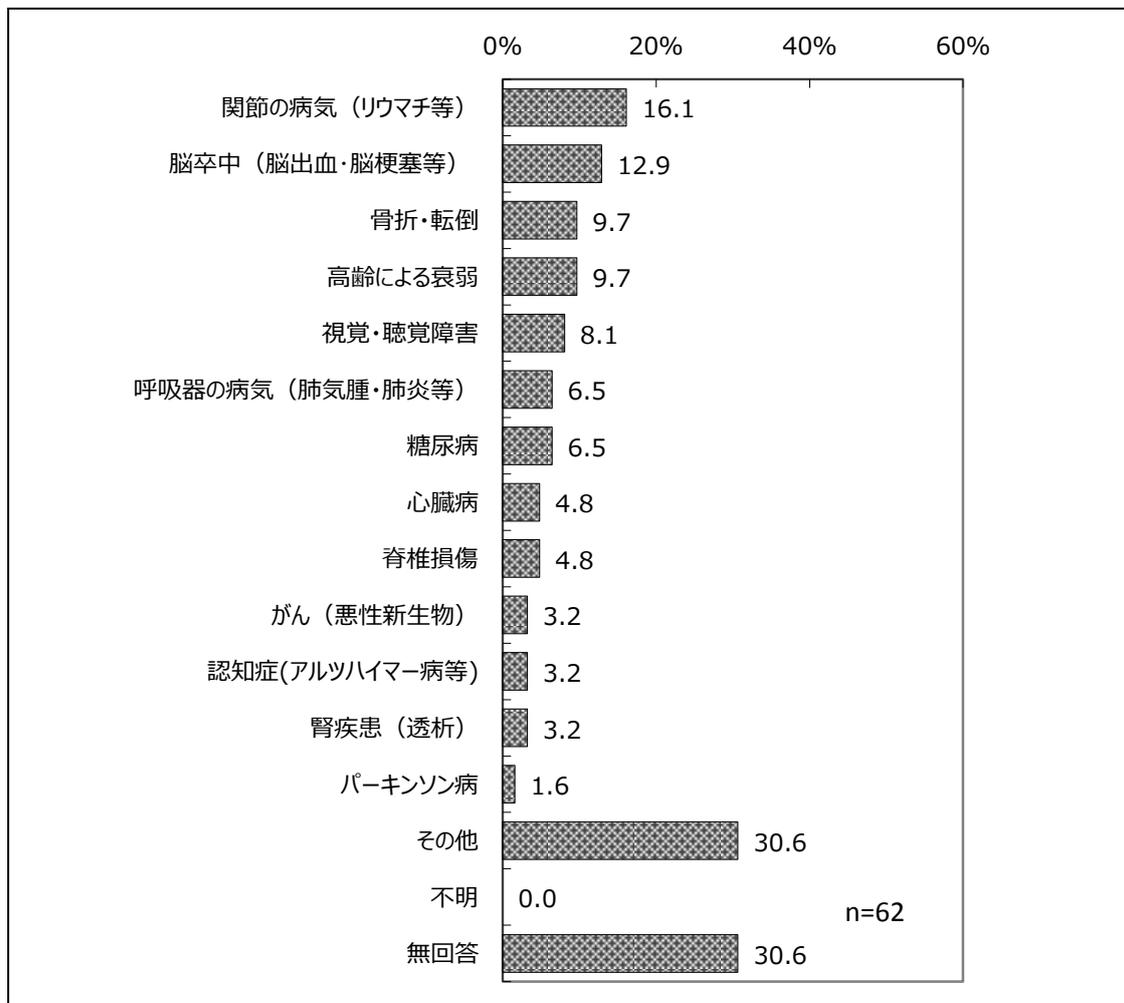
単位：%

	介護・介助は 必要ない	何らかの介護・ 介助は必要だが、 現在は受けて いない	現在、何らかの 介護を受けている	無回答
全体(n=811)	91.5	4.3	3.3	0.9
65～69歳(n=189)	94.2	2.1	2.1	1.6
70～74歳(n=232)	94.0	3.0	2.2	0.9
75～79歳(n=213)	95.3	1.9	2.3	0.5
80～84歳(n=118)	83.1	10.2	5.9	0.8
85歳以上(n=56)	76.8	12.5	10.7	0.0

問1 【(5) において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

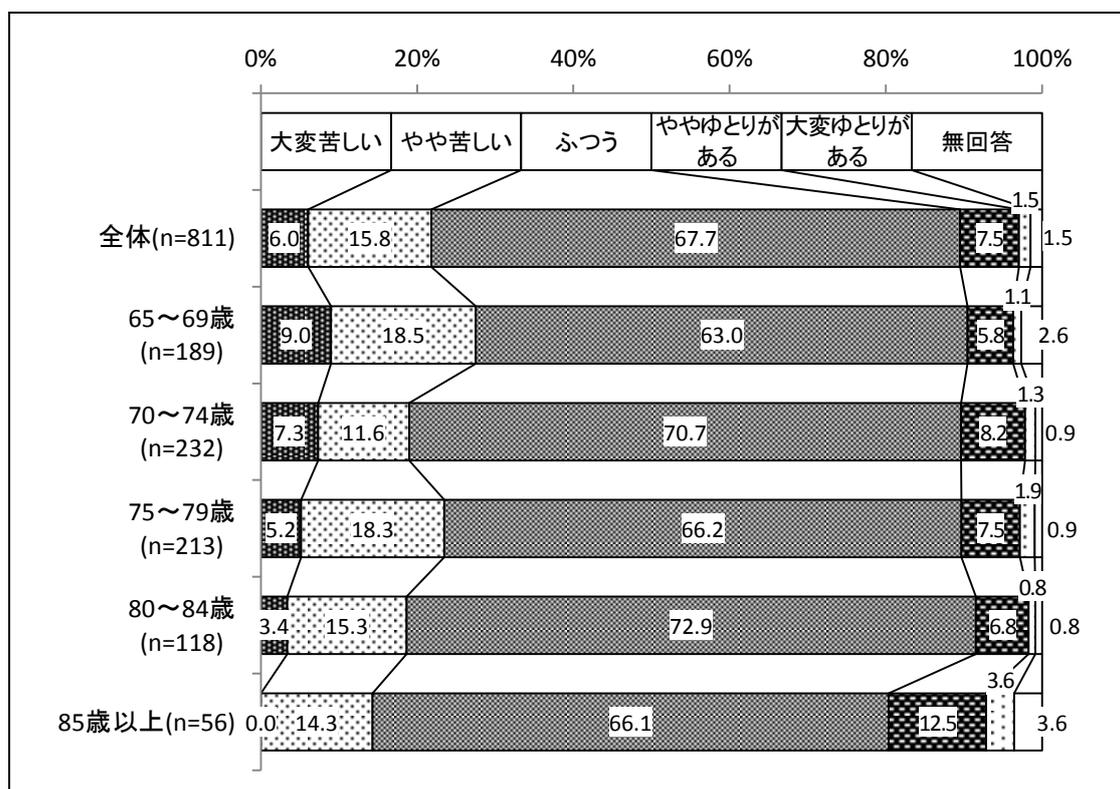
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（〇はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因については、「関節の病気（リウマチ等）」16.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」12.9%、「骨折・転倒」「高齢による衰弱」がともに9.7%であった。介護・介助が必要になった要因として、様々な疾患等がある状況がうかがえた。



問1 (6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」67.7%が最も多く、次いで「やや苦しい」15.8%、「ややゆとりがある」7.5%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「大変苦しい」「やや苦しい」の割合が小さくなる傾向が見られた。その他の割合は、年齢による大きな差異はみられなかった。

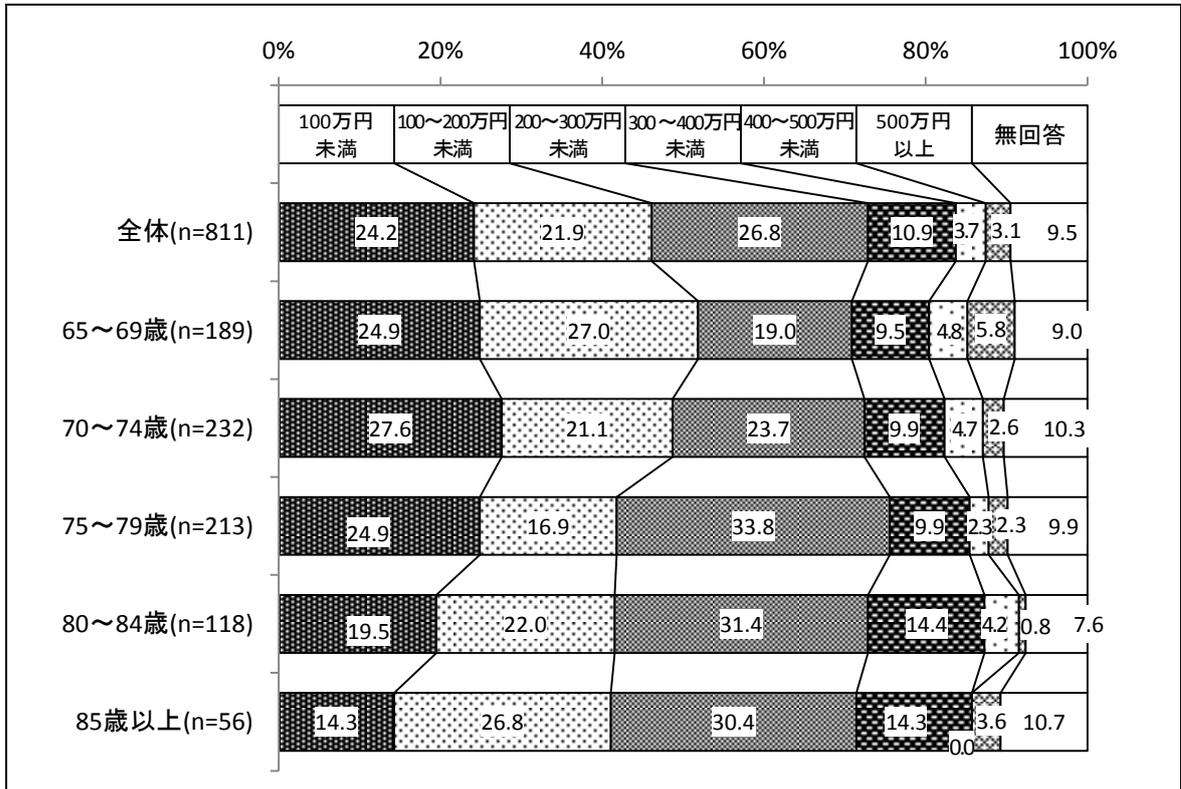


単位：%

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体(n=811)	6.0	15.8	67.7	7.5	1.5	1.5
65～69歳(n=189)	9.0	18.5	63.0	5.8	1.1	2.6
70～74歳(n=232)	7.3	11.6	70.7	8.2	1.3	0.9
75～79歳(n=213)	5.2	18.3	66.2	7.5	1.9	0.9
80～84歳(n=118)	3.4	15.3	72.9	6.8	0.8	0.8
85歳以上(n=56)	0.0	14.3	66.1	12.5	3.6	3.6

問1（7）あなたの年金を含めた1年間の収入は、次のどれにあたりますか
（○は1つ）

年金を含めた1年間の収入については、「200～300万円未満」26.8%が最も多く、次いで「100万円未満」24.2%、「100～200万円未満」21.9%であった。これを年齢別にみると、「100万円未満」が最も多かったのは70～74歳であり、「100～200万円未満」が最も多かったのは65～69歳であった。

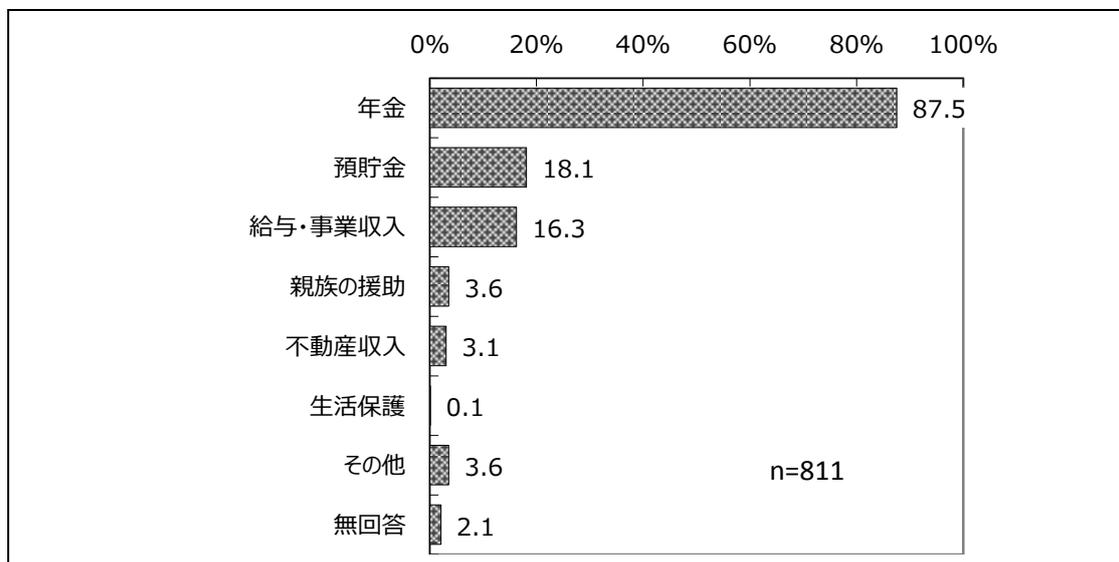


単位：%

	100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500万円以上	無回答
全体(n=811)	24.2	21.9	26.8	10.9	3.7	3.1	9.5
65～69歳(n=189)	24.9	27.0	19.0	9.5	4.8	5.8	9.0
70～74歳(n=232)	27.6	21.1	23.7	9.9	4.7	2.6	10.3
75～79歳(n=213)	24.9	16.9	33.8	9.9	2.3	2.3	9.9
80～84歳(n=118)	19.5	22.0	31.4	14.4	4.2	0.8	7.6
85歳以上(n=56)	14.3	26.8	30.4	14.3	0.0	3.6	10.7

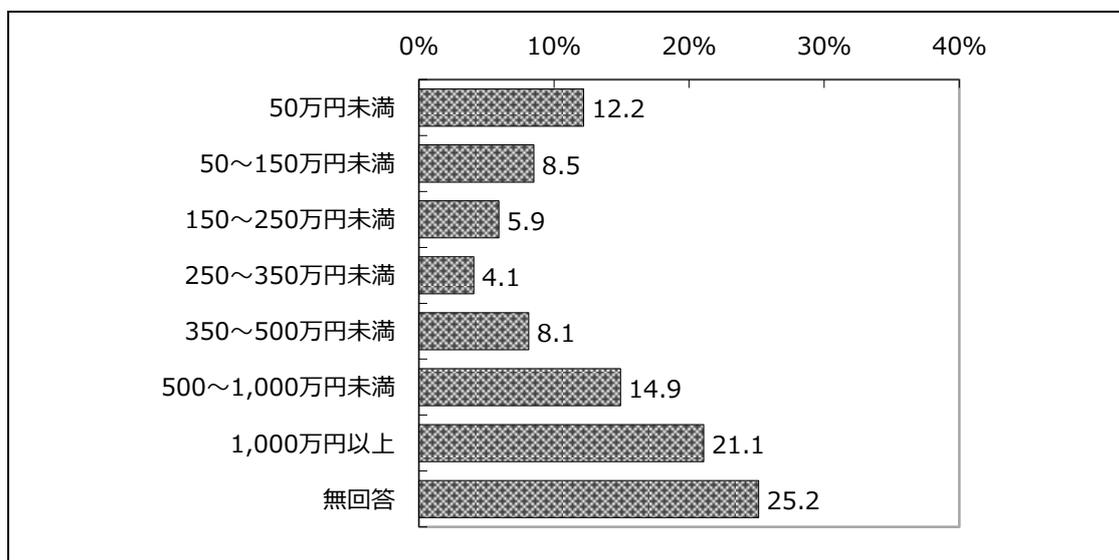
問1（8）あなたは、生活費をどこから捻出していますか（〇はいくつでも）

生活費の捻出については、「年金」87.5%が最も多く、次いで「預貯金」18.1%、「給与・事業収入」16.3%であった。



問1（9）あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか（〇は1つ）

預貯金額については、「1,000万円以上」21.1%が最も多く、次いで「500～1,000万円未満」14.9%であった。500万円以上の預貯金がある人が36.0%である一方、「50万円未満」の人も12.2%がいる状況であった。



問1 (10) あなたは、自動車*を日常的に運転していますか。(○は1つ)
 ※普通免許で運転が可能な「軽自動車、普通自動車」とします。

運転状況については、「運転免許証を取得したことがない」37.6%が最も多く、次いで「運転している」30.7%、「運転免許を取得していたが自主返納した」11.8%であった。これを年齢別にみると、65～74歳では「運転している」が最も多く、75歳以上では「運転免許証を取得したことがない」が最も多かった。圏域別にみると、北部では「運転している」が最も多く、それ以外の圏域では「運転免許証を取得したことがない」が最も多かった。

<年齢別>

単位：%

	運転している	時々運転することがある	運転免許証を取得しているが運転していない	運転免許証を取得していたが自主返納した	運転免許証を取得したことがない	無回答
全体(n=811)	30.7	5.5	11.6	11.8	37.6	2.7
65～69歳(n=189)	34.9	9.0	20.1	5.3	28.6	2.1
70～74歳(n=232)	38.4	3.4	9.5	13.4	32.8	2.6
75～79歳(n=213)	33.3	7.0	8.5	10.8	38.5	1.9
80～84歳(n=118)	11.9	3.4	11.9	20.3	46.6	5.9
85歳以上(n=56)	14.3	1.8	3.6	14.3	64.3	1.8

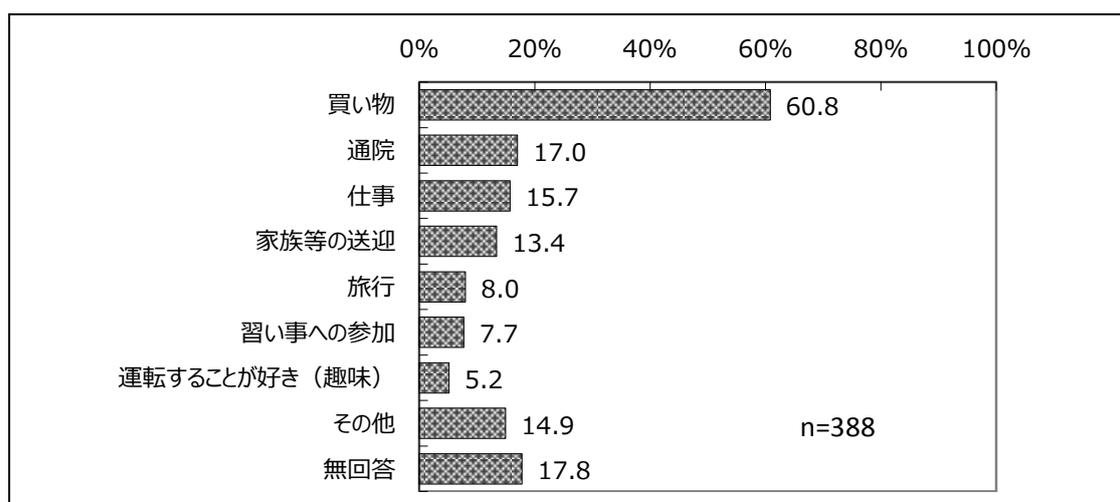
<圏域別>

単位：%

	運転している	時々運転することがある	運転免許証を取得しているが運転していない	運転免許証を取得していたが自主返納した	運転免許証を取得したことがない	無回答
全体(n=811)	30.7	5.5	11.6	11.8	37.6	2.7
南部(n=117)	23.1	6.8	10.3	15.4	40.2	4.3
西部(n=164)	31.1	3.0	14.0	14.0	36.0	1.8
中部(n=132)	25.8	6.8	18.9	9.1	38.6	0.8
東部(n=211)	30.3	6.6	8.5	11.8	39.8	2.8
北部(n=177)	40.1	4.5	7.9	9.6	35.0	2.8

問1 (11) 現在、運転している方に伺います。あなたが自動車を運転する目的は何ですか。(〇は主なもの2つまで)

自動車を運転する目的については、「買い物」60.8%が最も多く、次いで「通院」17.0%、「仕事」15.7%であった。買い物、通院、仕事等といった日常生活の中で必要な事項の回答が多く、旅行、習い事等は比較的少ない傾向であった。これを年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事」の割合が大きいほか、特に75歳以上で「通院」の割合が大きくなる傾向が見られた。



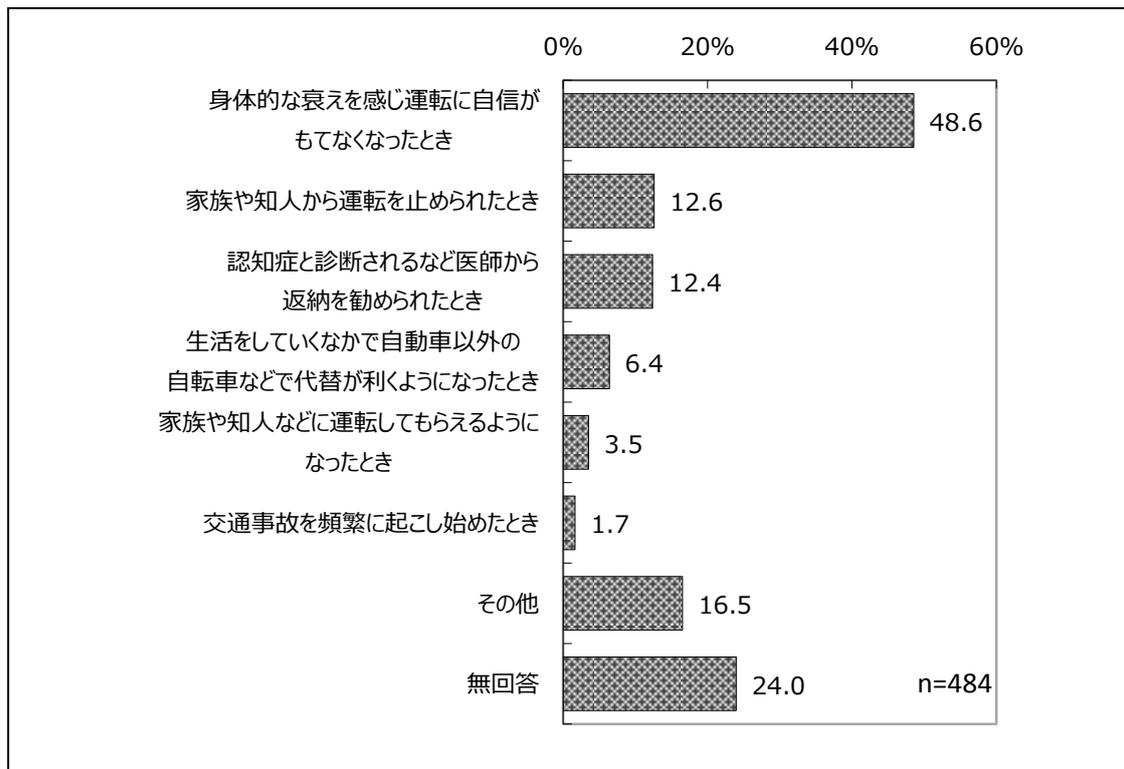
単位：%

	買い物	通院	仕事	旅行	習い事への参加	運転することが好き(趣味)	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=388)	60.8	17.0	15.7	8.0	7.7	5.2	13.4	14.9	17.8
65～69歳(n=121)	57.9	10.7	19.8	6.6	5.8	0.8	12.4	15.7	24.0
70～74歳(n=119)	63.9	15.1	17.6	12.6	10.1	5.0	15.1	13.4	13.4
75～79歳(n=104)	62.5	22.1	12.5	6.7	9.6	9.6	13.5	14.4	13.5
80～84歳(n=32)	53.1	28.1	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	18.8	28.1
85歳以上(n=11)	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0	18.2	27.3	18.2	9.1

問1 (12) 運転免許証を返納された方は、どのような時に返納を考え始めましたか。また現在お持ちの方は、あなたがどのような状況になった時にご自身の運転免許証の返納をすべきだと考えますか。(〇は主なもの2つまで)

運転免許証の返納をどのような時に考え始めるかについては、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」48.6%が最も多く、次いで「家族や知人から運転を止められたとき」12.6%、「認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき」12.4%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき」の割合が小さくなる傾向が見られた。

また、問1 (10) の回答内容をもとに、日常的に自動車を運転している人、時々運転することがある人が、どのような状況になった時に返納すべきと考えているかについては、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」が50~60%程度と多く、「生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき」は5%前後であった。一方、運転免許証を自主返納した人が返納を考え始めた時については、「身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき」は40%を下回る程度にとどまり、「生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき」が16.7%と多くなっていた。ここから、自動車の代替となる交通手段の充実が、運転免許証の自主返納につながるケースが多いことがうかがえた。



<年齢別>

単位：%

	身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき	認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき	家族や知人から運転を止められたとき	交通事故を頻繁に起こし始めたとき	家族や知人などに運転してもらえるようになったとき	生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき	その他	無回答
全体(n=484)	48.6	12.4	12.6	1.7	3.5	6.4	16.5	24.0
65～69歳(n=131)	49.6	13.7	13.0	0.0	1.5	6.9	11.5	30.5
70～74歳(n=150)	47.3	12.7	10.7	2.7	4.0	8.7	17.3	22.7
75～79歳(n=127)	47.2	15.0	11.8	1.6	3.9	5.5	15.7	26.0
80～84歳(n=56)	46.4	5.4	16.1	1.8	5.4	1.8	28.6	12.5
85歳以上(n=19)	68.4	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	15.8	5.3

<運転状況別>

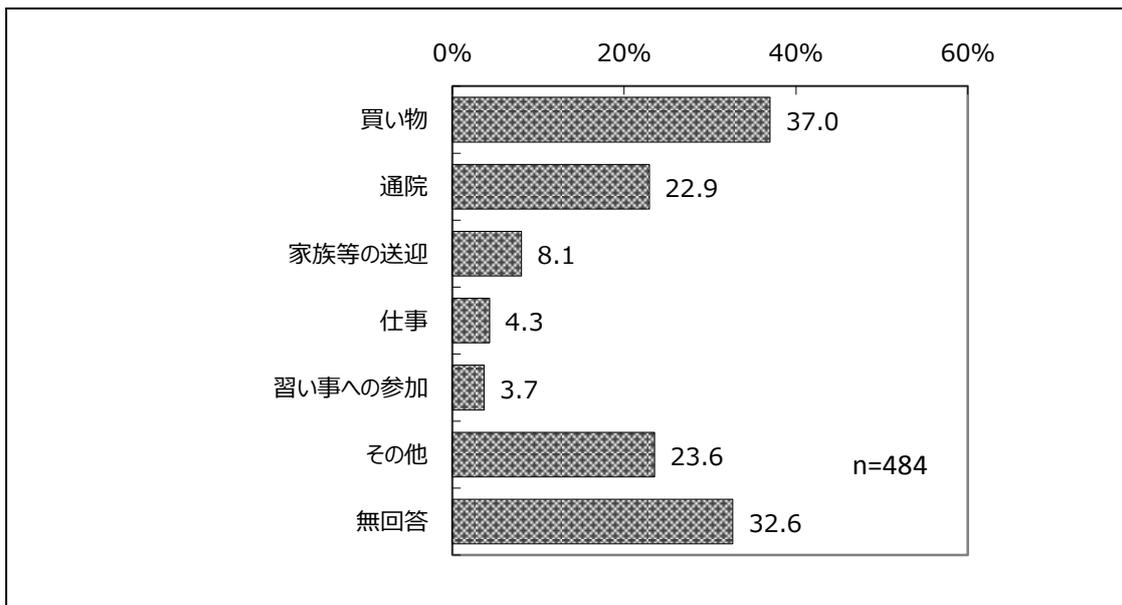
単位：%

	身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき	認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき	家族や知人から運転を止められたとき	交通事故を頻繁に起こし始めたとき	家族や知人などに運転してもらえるようになったとき	生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき	その他	無回答
全体(n=484)	48.6	12.4	12.6	1.7	3.5	6.4	16.5	24.0
運転している(n=249)	57.0	18.5	15.3	2.8	1.2	2.0	9.2	26.9
時々運転することがある(n=45)	53.3	28.9	6.7	2.2	2.2	6.7	4.4	33.3
運転免許証を取得しているが運転していない(n=94)	39.4	1.1	8.5	0.0	8.5	7.4	20.2	31.9
運転免許証を取得していたが自主返納した(n=96)	33.3	0.0	12.5	0.0	5.2	16.7	37.5	4.2

問1 (13) 運転免許証を返納された方は、返納により日常生活で困ったことは何ですか。また現在お持ちの方は、返納した場合に日常生活で困ると思うことは何ですか。(〇は主なもの2つまで)

運転免許証を返納することにより日常生活で困ることについては、「買い物」37.0%が最も多く、次いで「通院」22.9%、「家族等の送迎」8.1%であり、「問1 (11)」と同様、買い物、通院等といった日常生活の中で必要な事項の回答が多かった。これを年齢別にみると、年齢が若いほど「仕事」の割合が大きくなり、年齢が上がるほど「通院」の割合が大きくなる傾向が見られた。

また、問1 (10) の回答内容をもとに、日常的に自動車を運転している人、時々運転することがある人が、返納した場合に日常生活で困ると思うことをみると、「買物」「仕事」などの項目で、実際に自主返納した人よりも高い割合の回答が見られた。運転免許証を自主返納した人が実際に日常生活で困ったことについては、「買い物」「通院」が多かったが、「その他」も56.3%と他に比べて多い傾向が見られた。ここから、自主返納により日常生活で困ることは、本人の生活状況に応じて多岐にわたり存在することがうかがえた。



<年齢別>

単位：%

	買い物	通院	仕事	習い事への参加	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=484)	37.0	22.9	4.3	3.7	8.1	23.6	32.6
65～69歳(n=131)	36.6	22.9	6.1	3.8	6.9	16.0	38.9
70～74歳(n=150)	38.0	16.7	5.3	3.3	9.3	24.0	34.0
75～79歳(n=127)	37.8	22.8	3.1	5.5	4.7	22.0	36.2
80～84歳(n=56)	32.1	33.9	1.8	1.8	12.5	42.9	12.5
85歳以上(n=19)	42.1	42.1	0.0	0.0	15.8	26.3	10.5

<運転状況別>

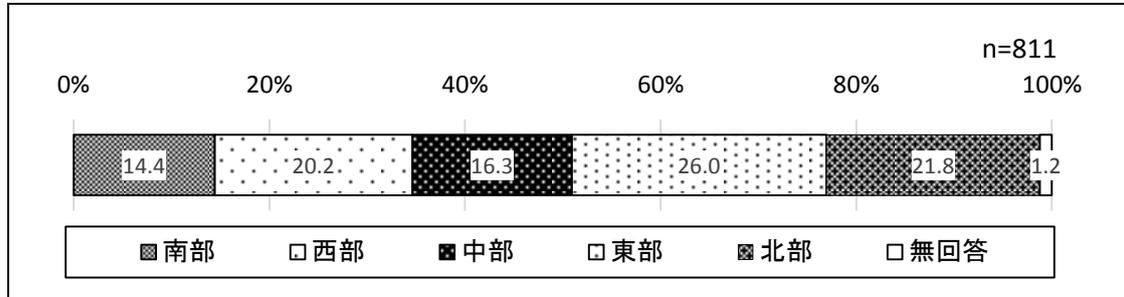
単位：%

	買い物	通院	仕事	習い事への参加	家族等の送迎	その他	無回答
全体(n=484)	37.0	22.9	4.3	3.7	8.1	23.6	32.6
運転している(n=249)	48.2	26.5	6.8	5.6	10.8	10.8	35.3
時々運転することがある(n=45)	44.4	28.9	4.4	4.4	4.4	6.7	40.0
運転免許証を取得しているが運転していない(n=94)	19.1	14.9	1.1	2.1	4.3	31.9	41.5
運転免許証を取得していたが自主返納した(n=96)	21.9	18.8	1.0	0.0	6.3	56.3	13.5

問2 お住まいの地域について

問2(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に○をつけてください(○は1つ)

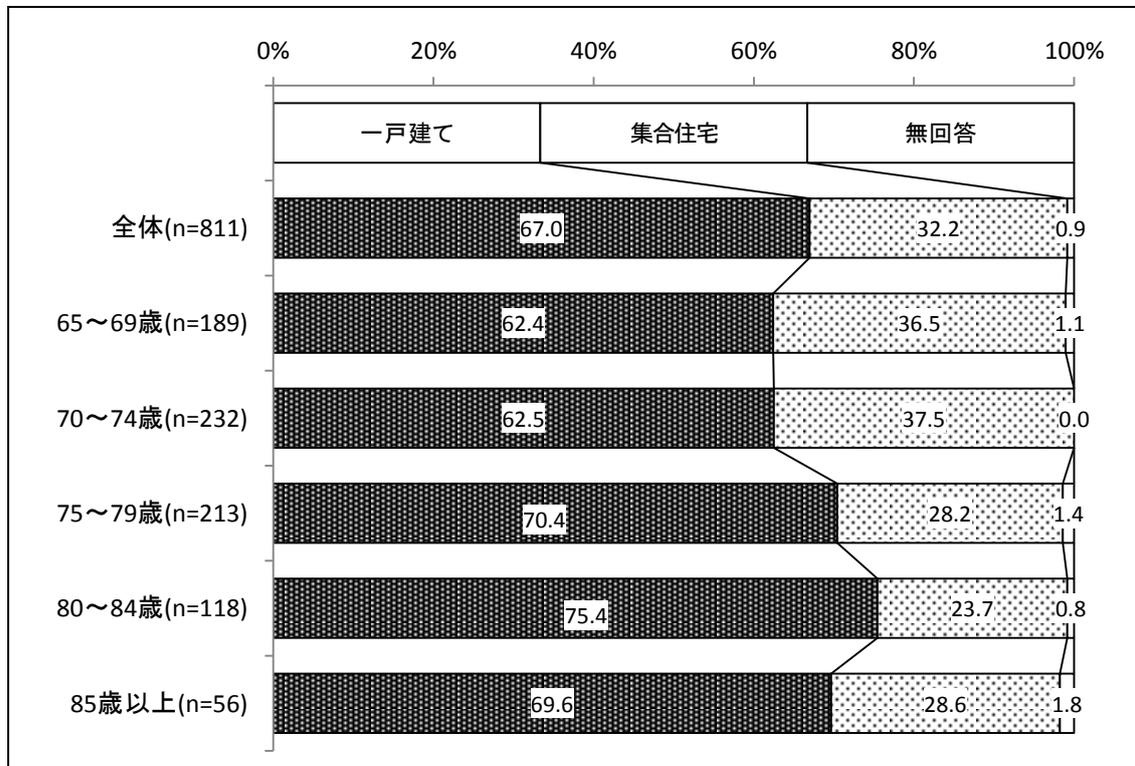
住まい(圏域別)については、「東部」26.0%が最も多く、次いで「北部」21.8%、「西部」20.2%であった。



問3 住環境について

問3(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか(○は1つ)

住居については、「一戸建て」67.0%、「集合住宅」32.2%であった。これを年齢別にみると、「一戸建て」は80~84歳で最も多く、「集合住宅」は70~74歳で最も多かった。また、圏域別にみると、いずれの圏域でも「一戸建て」の割合が多かったが、その割合は55.6%(南部)から87.0%(北部)までの広い幅が見られた。



<年齢別>

単位：％

	一戸建て	集合住宅	無回答
全体(n=811)	67.0	32.2	0.9
65～69歳(n=189)	62.4	36.5	1.1
70～74歳(n=232)	62.5	37.5	0.0
75～79歳(n=213)	70.4	28.2	1.4
80～84歳(n=118)	75.4	23.7	0.8
85歳以上(n=56)	69.6	28.6	1.8

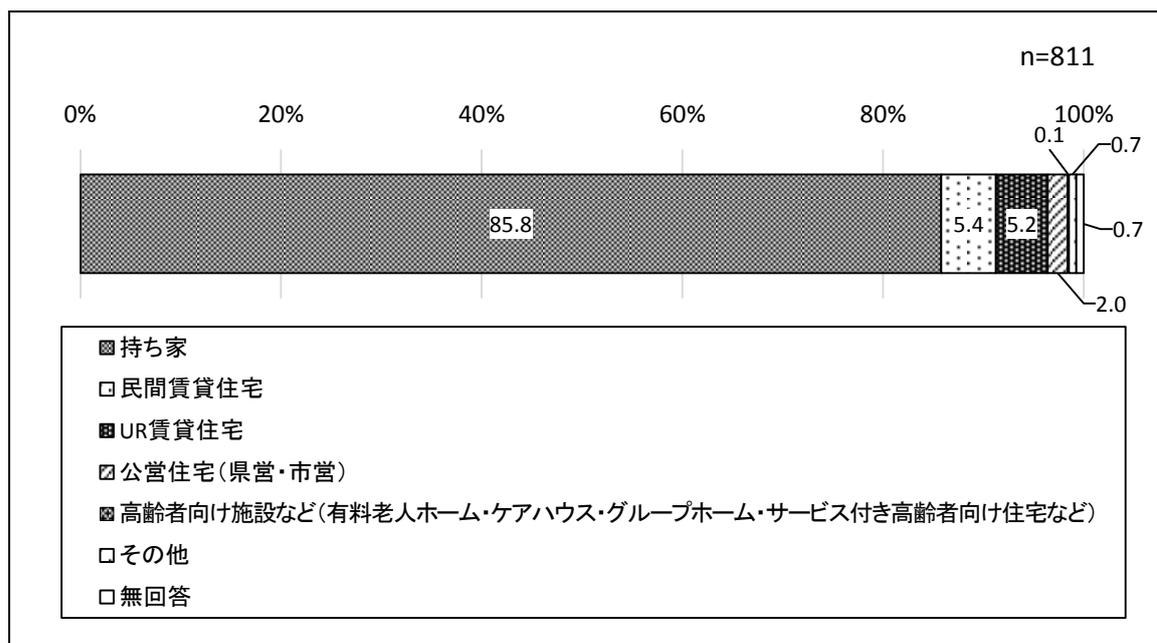
<圏域別>

単位：％

	一戸建て	集合住宅	無回答
全体(n=811)	67.0	32.2	0.9
南部(n=117)	55.6	44.4	0.0
西部(n=164)	61.6	37.8	0.6
中部(n=132)	56.8	43.2	0.0
東部(n=211)	67.8	31.8	0.5
北部(n=177)	87.0	13.0	0.0

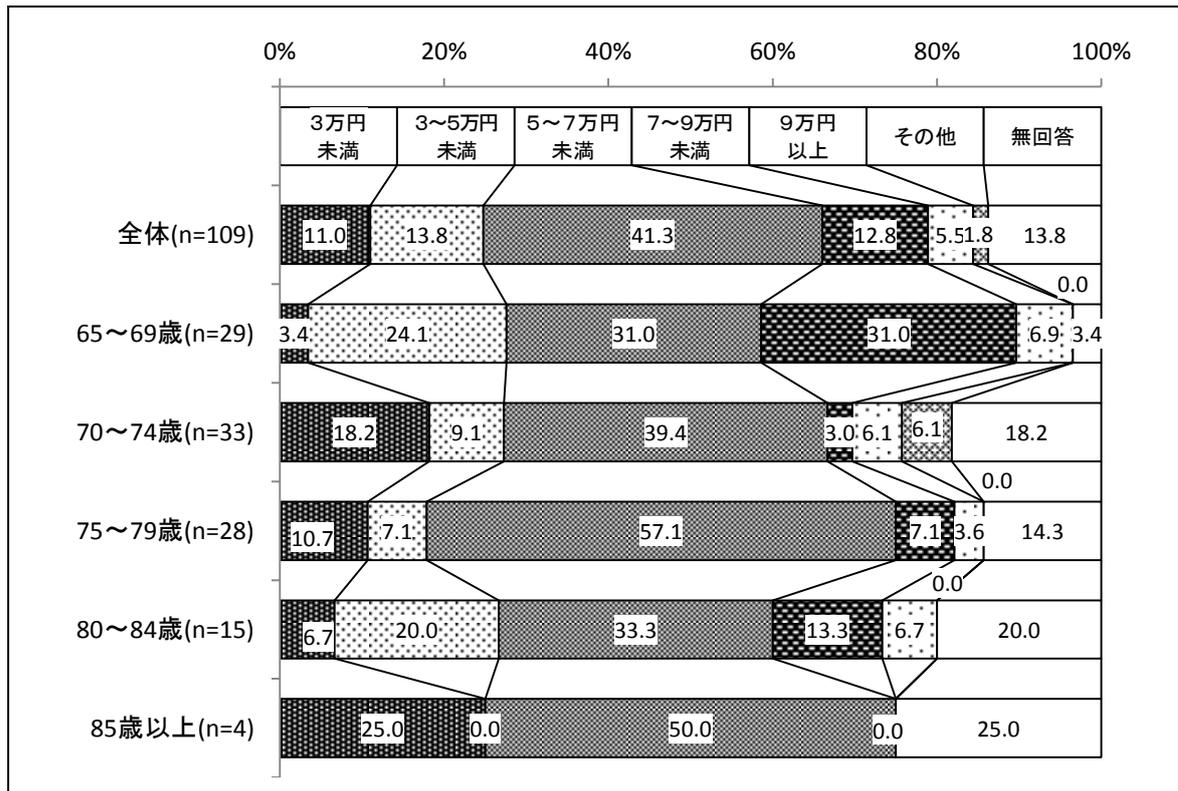
問3（2）あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか（○は1つ）

居住形態については、「持ち家」85.8%、「民間賃貸住宅」5.4%、「UR賃貸住宅」5.2%であった。大半の人が持ち家に住んでいる状況がうかがえた。



問3【(2)において「民間賃貸住宅」～「その他」と回答された方におたずねします】現在、あなたがお住まいの住宅の家賃（共益費を含む）は、次のどれにあたりますか（○は1つ）

家賃については、「5～7万円未満」41.3%が最も多く、次いで「3～5万円未満」13.8%、「7～9万円未満」12.8%であった。これを年齢別にみると、「3万円未満」は85歳以上で最も多く、次いで70～74歳未満で多かった（n数が小さいことに留意が必要）。



単位：%

	3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～9万円未満	9万円以上	その他	無回答
全体(n=109)	11.0	13.8	41.3	12.8	5.5	1.8	13.8
65～69歳(n=29)	3.4	24.1	31.0	31.0	6.9	0.0	3.4
70～74歳(n=33)	18.2	9.1	39.4	3.0	6.1	6.1	18.2
75～79歳(n=28)	10.7	7.1	57.1	7.1	3.6	0.0	14.3
80～84歳(n=15)	6.7	20.0	33.3	13.3	6.7	0.0	20.0
85歳以上(n=4)	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0

問3（3）あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか（○は1つ）

入院、施設入所等が必要になった場合の保証人等については、「保証人になってくれる人がいる」86.1%が最も多く、次いで「保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる」6.7%、「保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない」1.8%であった。

保証人になってくれる人がいない割合は、全体の8.5%であった。

単位：%

	保証人になってくれる人がいる	保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる	保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない	その他	無回答
全体(n=811)	86.1	6.7	1.8	2.2	3.2
65～69歳(n=189)	82.0	6.9	3.2	3.7	4.2
70～74歳(n=232)	86.2	7.3	1.7	1.3	3.4
75～79歳(n=213)	88.7	6.1	0.9	1.4	2.8
80～84歳(n=118)	88.1	5.9	1.7	2.5	1.7
85歳以上(n=56)	83.9	7.1	1.8	3.6	3.6

問3（4）あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか（○は1つ）

主に生活する部屋が2階以上にあるかについては、「はい（2階、もしくは2階より上にある）」が42.4%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど部屋が2階以上にある割合が小さくなる傾向が見られたが、85歳以上でも約40%が2階以上に部屋がある状況であった。圏域別にみると、南部では半数以上が2階以上に部屋がある一方、北部では3割に満たない割合であり、地域差が大きいことがうかがえた。

<年齢別>

単位：%

	はい（2階、 もしくは2階より 上にある）	いいえ	無回答
全体(n=811)	42.4	53.1	4.4
65～69歳(n=189)	47.1	47.6	5.3
70～74歳(n=232)	42.2	54.3	3.4
75～79歳(n=213)	42.7	52.1	5.2
80～84歳(n=118)	36.4	58.5	5.1
85歳以上(n=56)	39.3	58.9	1.8

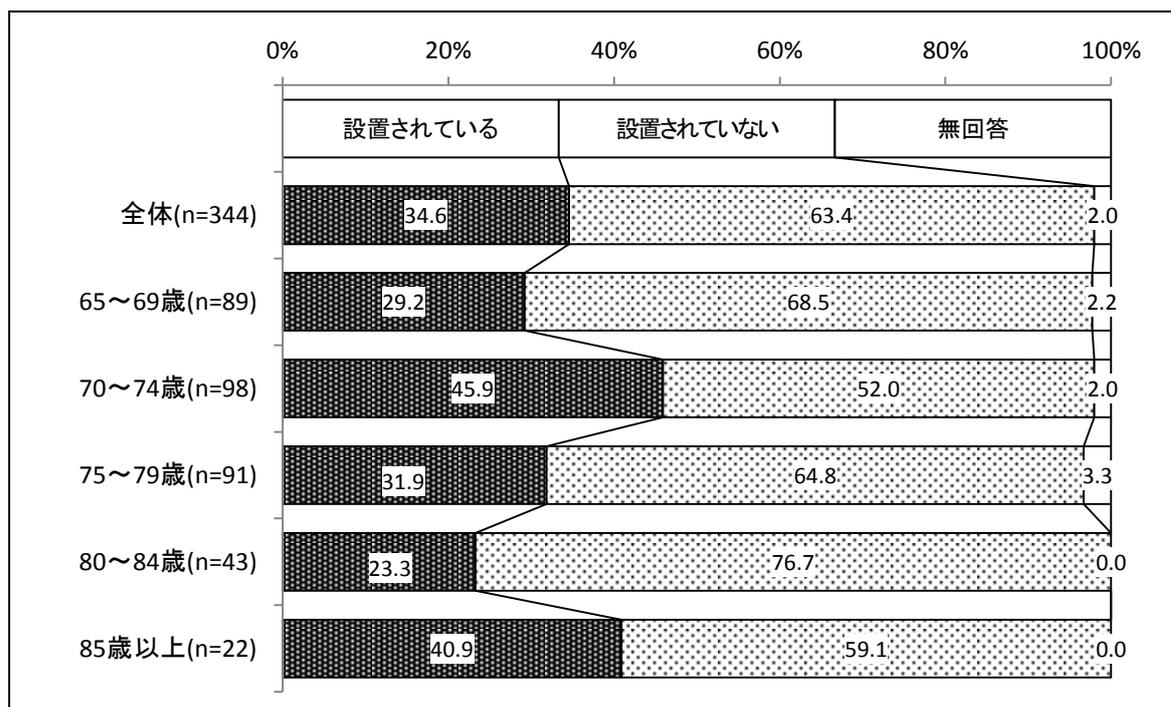
<圏域別>

単位：%

	はい（2階、 もしくは2階より 上にある）	いいえ	無回答
全体(n=811)	42.4	53.1	4.4
南部(n=117)	54.7	42.7	2.6
西部(n=164)	47.6	45.1	7.3
中部(n=132)	45.5	51.5	3.0
東部(n=211)	41.2	55.5	3.3
北部(n=177)	29.9	66.7	3.4

問3【(4)において「はい」と回答された方におたずねします】
お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか（〇は1つ）

住まいにエレベーターが設置されているかについては、「設置されていない」63.4%、「設置されている」34.6%であった。これを年齢別にみると、いずれの年齢層においても、2階以上に住んでいる人の50～80%程度が、外出にあたり階段昇降が必要な状況であった。また、圏域別にみると、「設置されている」の割合は南部の46.9%から北部の7.5%まで、地域差が大きいことがうかがえた。



<年齢別>

単位：%

	設置されている	設置されていない	無回答
全体(n=344)	34.6	63.4	2.0
65～69歳(n=89)	29.2	68.5	2.2
70～74歳(n=98)	45.9	52.0	2.0
75～79歳(n=91)	31.9	64.8	3.3
80～84歳(n=43)	23.3	76.7	0.0
85歳以上(n=22)	40.9	59.1	0.0

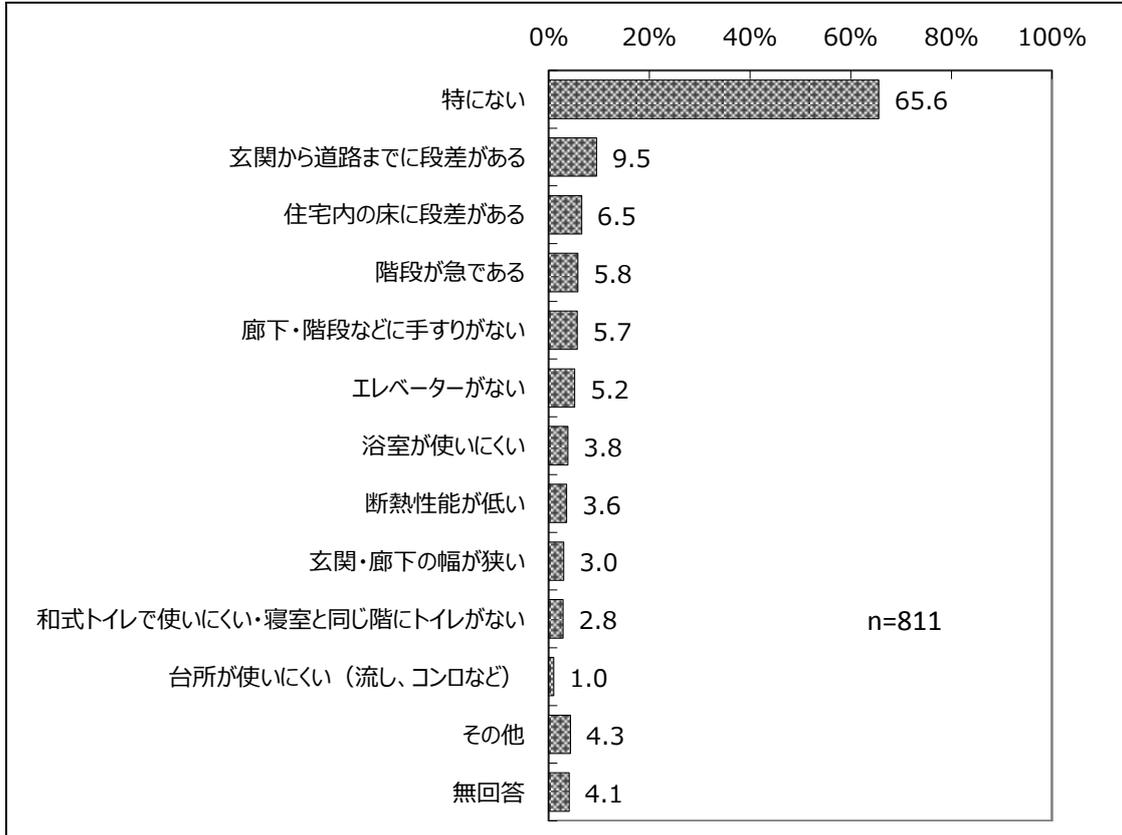
<圏域別>

単位：%

	設置されている	設置されていない	無回答
全体(n=344)	34.6	63.4	2.0
南部(n=64)	46.9	50.0	3.1
西部(n=78)	43.6	56.4	0.0
中部(n=60)	36.7	63.3	0.0
東部(n=87)	33.3	64.4	2.3
北部(n=53)	7.5	86.8	5.7

問3(5) あなたのお住まいの中で、不便なところはありますか(〇は主なもの3つまで)

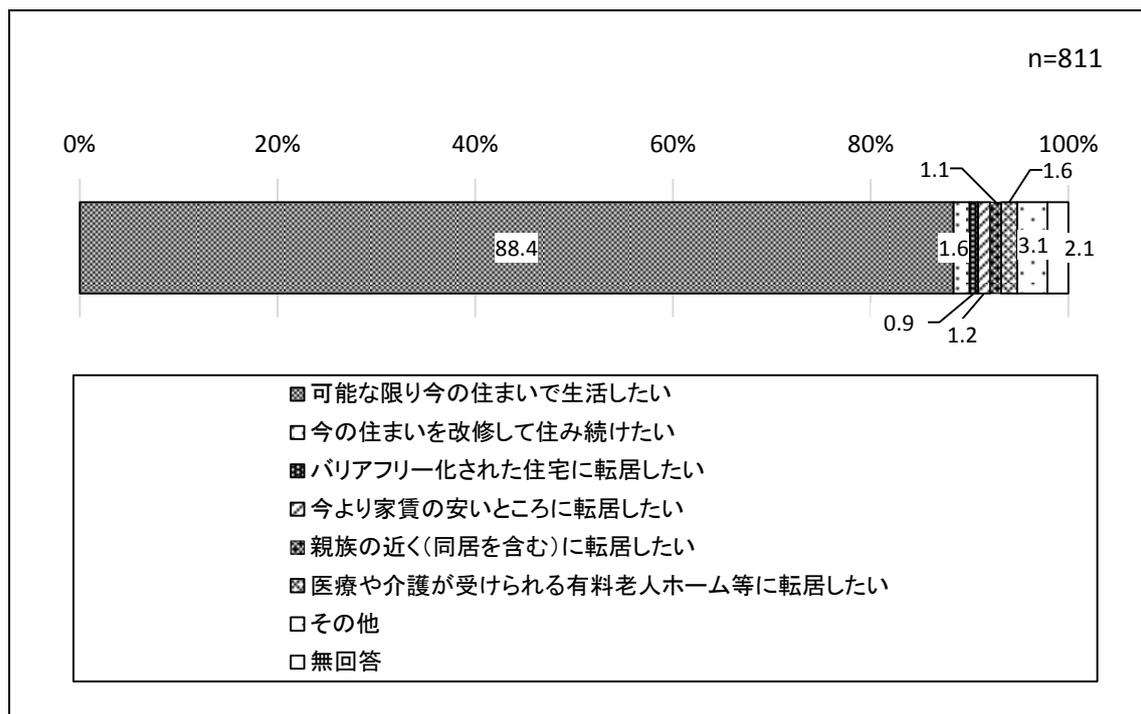
住まいに不便なところがあるかについては、「特にない」65.6%、「玄関から道路までに段差がある」9.5%、「住宅内の床に段差がある」6.5%、「階段が急である」5.8%、「廊下・階段などに手すりがない」5.7%、「エレベーターがない」5.2%であった。最も多かったのは「特にない」であったが、段差等を挙げる回答も見られた。



問3 (6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか
(○は1つ)

今後も現在の住まいで生活していきたいと思うかについては、「可能な限り今の住まいで生活したい」88.4%が最も多く、次いで「今の住まいを改修して住み続けたい」、「医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい」がともに1.6%、「今より家賃の安いところに転居したい」1.2%であった。

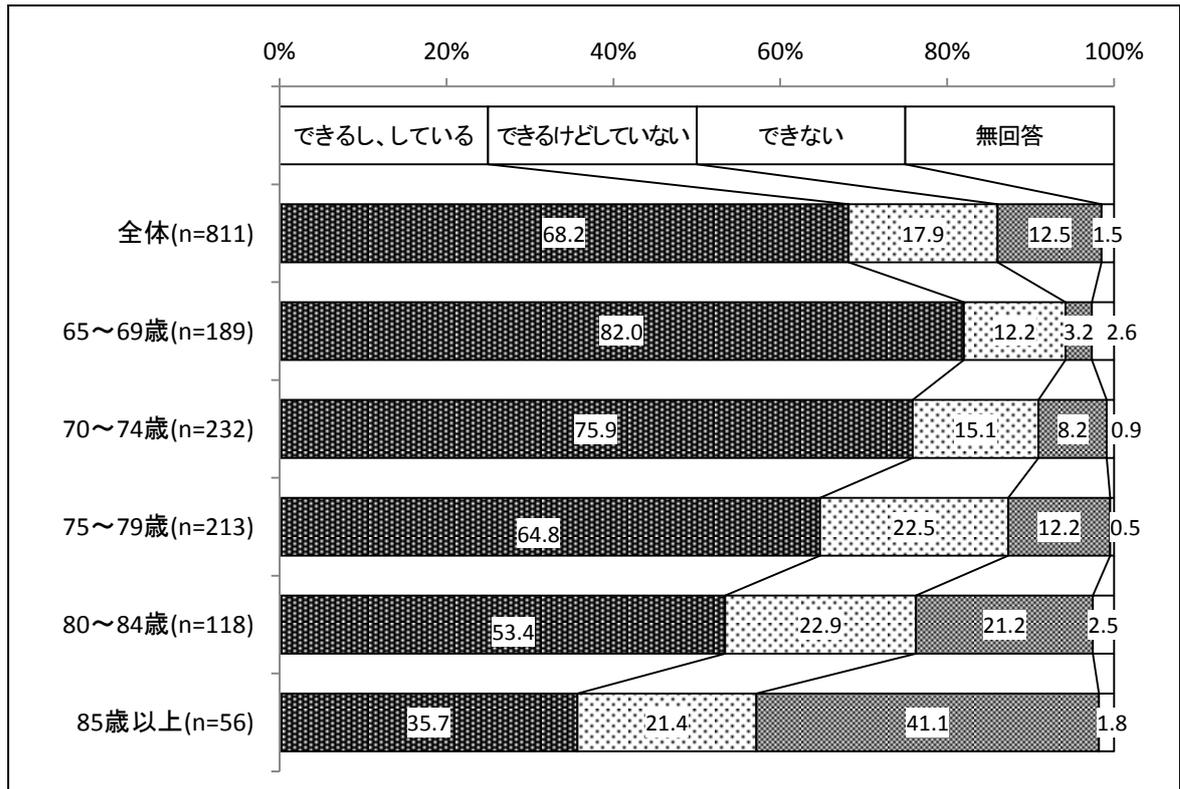
今の住まいに住み続けたいとする回答が大半で、転居したいとの意向がある人は全体の4.8%であった。



問4 からだを動かすことについて

問4（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（○は1つ）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」68.2%が最も多く、次いで「できるけどしていない」17.9%、「できない」12.5%であった。これを年齢別にみると、65歳から84歳までは「できるし、している」人が最も多かったが、85歳以上では「できない」の割合が「できるし、している」を上回る状況が見られた。

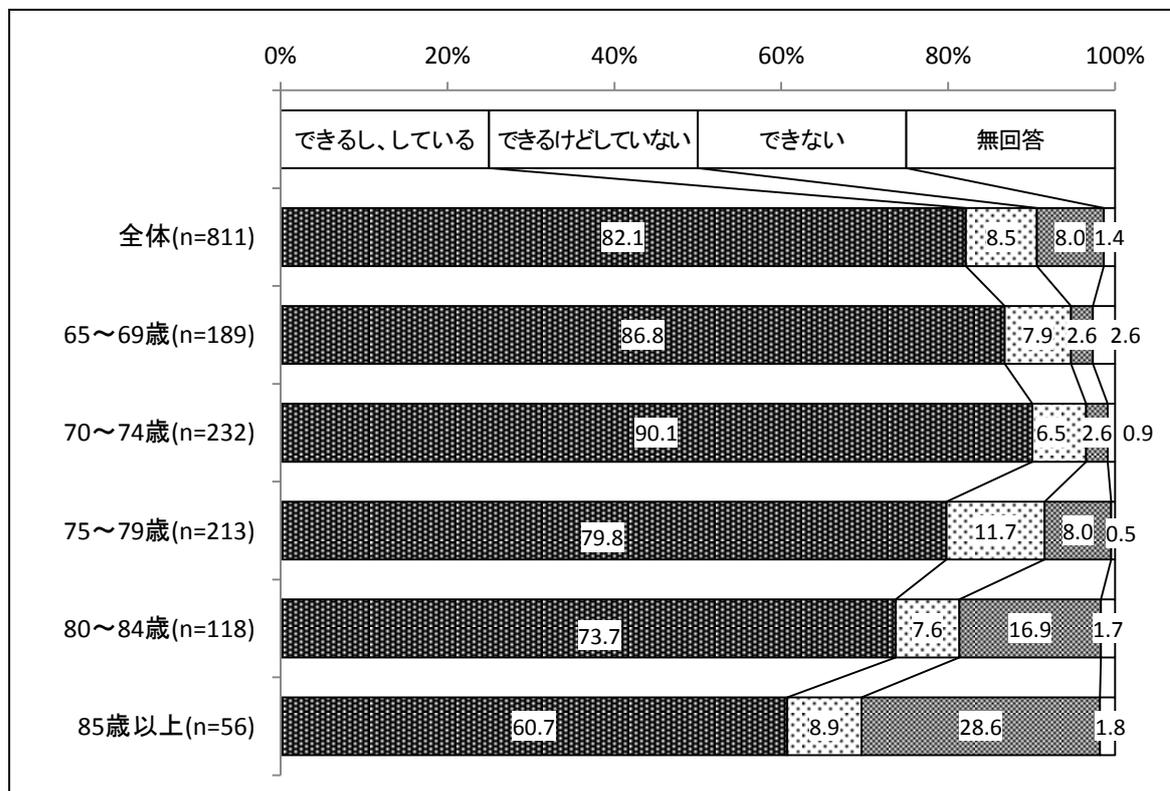


単位：%

	できるし、している	できるけど していない	できない	無回答
全体(n=811)	68.2	17.9	12.5	1.5
65～69歳(n=189)	82.0	12.2	3.2	2.6
70～74歳(n=232)	75.9	15.1	8.2	0.9
75～79歳(n=213)	64.8	22.5	12.2	0.5
80～84歳(n=118)	53.4	22.9	21.2	2.5
85歳以上(n=56)	35.7	21.4	41.1	1.8

問4(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○は1つ)

椅子から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」82.1%が最も多く、次いで「できるけどしていない」8.5%、「できない」8.0%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「できない」の割合が大きくなる傾向がみられ、85歳以上では「できない」と回答した人が30%程度であった。

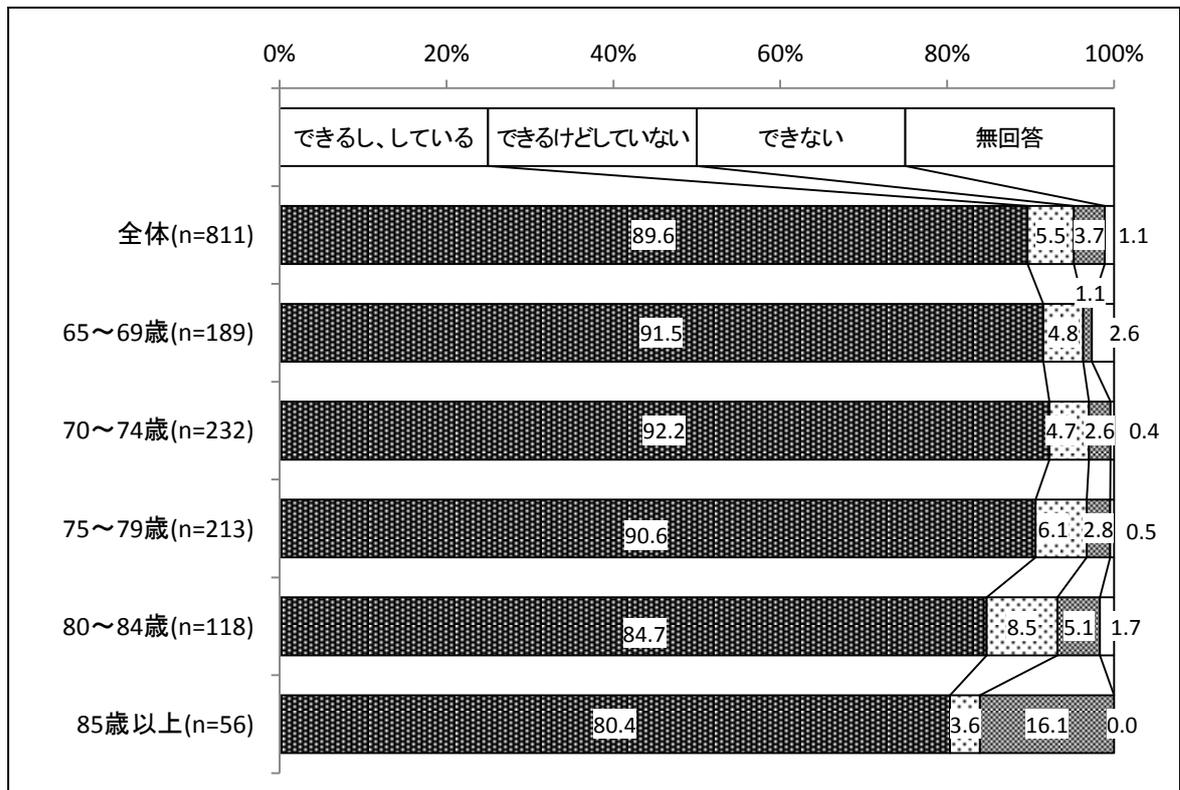


単位：%

	できるし、している	できるけど していない	できない	無回答
全体(n=811)	82.1	8.5	8.0	1.4
65～69歳(n=189)	86.8	7.9	2.6	2.6
70～74歳(n=232)	90.1	6.5	2.6	0.9
75～79歳(n=213)	79.8	11.7	8.0	0.5
80～84歳(n=118)	73.7	7.6	16.9	1.7
85歳以上(n=56)	60.7	8.9	28.6	1.8

問4 (3) 15分位続けて歩いていますか (〇は1つ)

15分程度の歩行については、「できるし、している」89.6%が最も多く、次いで「できるけどしていない」5.5%、「できない」3.7%であった。これを年齢別にみると、いずれの年齢層でも「できるし、している」と回答した人が80%を超えていたが、85歳以上では「できない」の割合が16.1%と大きくなっていった。また、「できるけどしていない」と回答した人は、高齢者基本調査の回答と比較して少ない傾向が見られた。

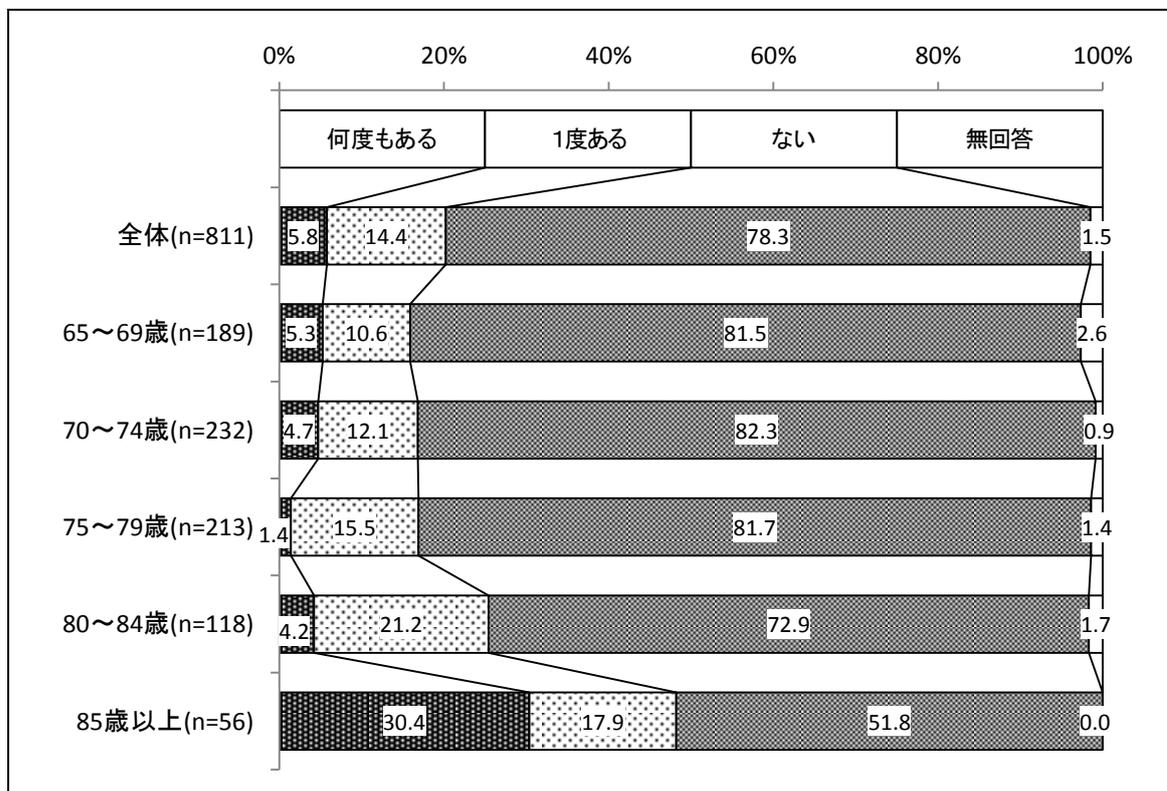


単位：%

	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体(n=811)	89.6	5.5	3.7	1.1
65~69歳(n=189)	91.5	4.8	1.1	2.6
70~74歳(n=232)	92.2	4.7	2.6	0.4
75~79歳(n=213)	90.6	6.1	2.8	0.5
80~84歳(n=118)	84.7	8.5	5.1	1.7
85歳以上(n=56)	80.4	3.6	16.1	0.0

問4（4）過去1年間に転んだ経験がありますか（〇は1つ）

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」78.3%が最も多く、次いで「1度ある」14.4%、「何度もある」5.8%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「1度ある」の割合が大きくなる傾向が見られた。また、85歳以上では、「何度もある」と回答した人が30.4%と高くなっていた。

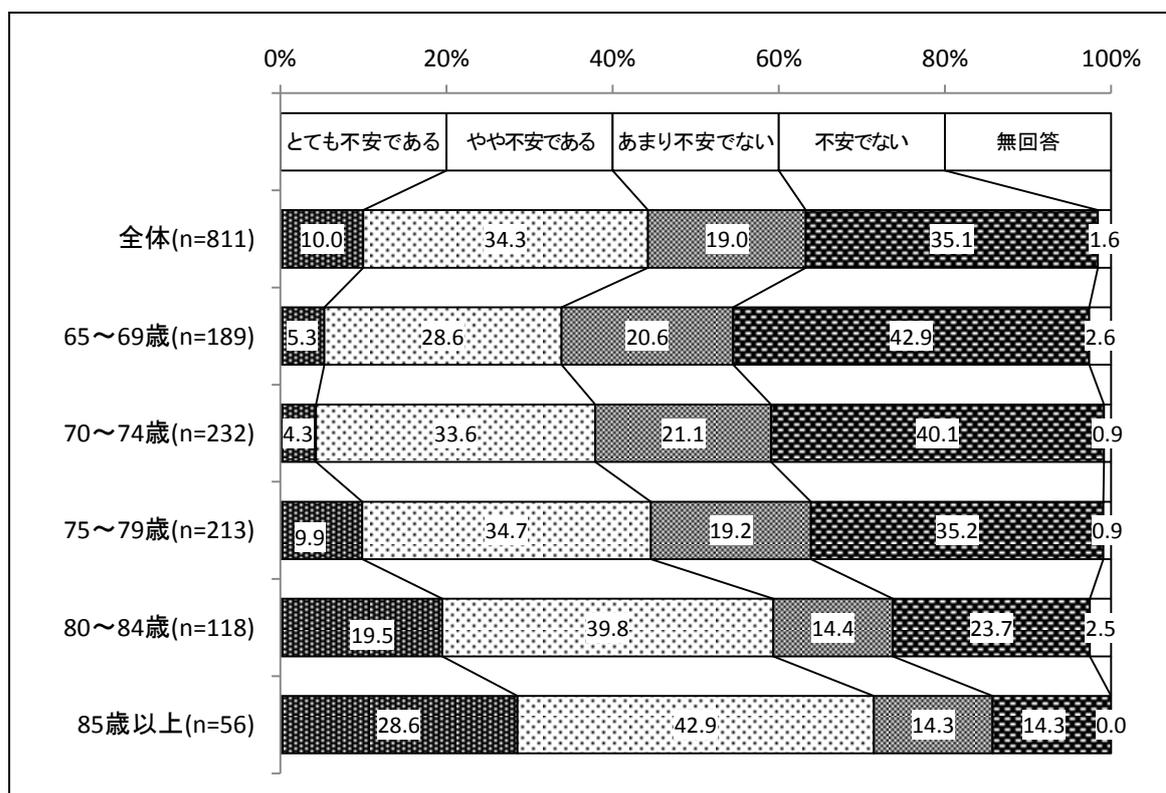


単位：%

	何度もある	1度ある	ない	無回答
全体(n=811)	5.8	14.4	78.3	1.5
65～69歳(n=189)	5.3	10.6	81.5	2.6
70～74歳(n=232)	4.7	12.1	82.3	0.9
75～79歳(n=213)	1.4	15.5	81.7	1.4
80～84歳(n=118)	4.2	21.2	72.9	1.7
85歳以上(n=56)	30.4	17.9	51.8	0.0

問4（5）転倒に対する不安は大きいですか（○は1つ）

転倒に対する不安については、「不安でない」35.1%が最も多く、次いで「やや不安である」34.3%、「あまり不安でない」19.0%であった。これを年齢別にみると、65～79歳では「不安でない」と回答した人が最も多かったが、80歳以上では「やや不安である」と回答した人が最も多い状況であった。

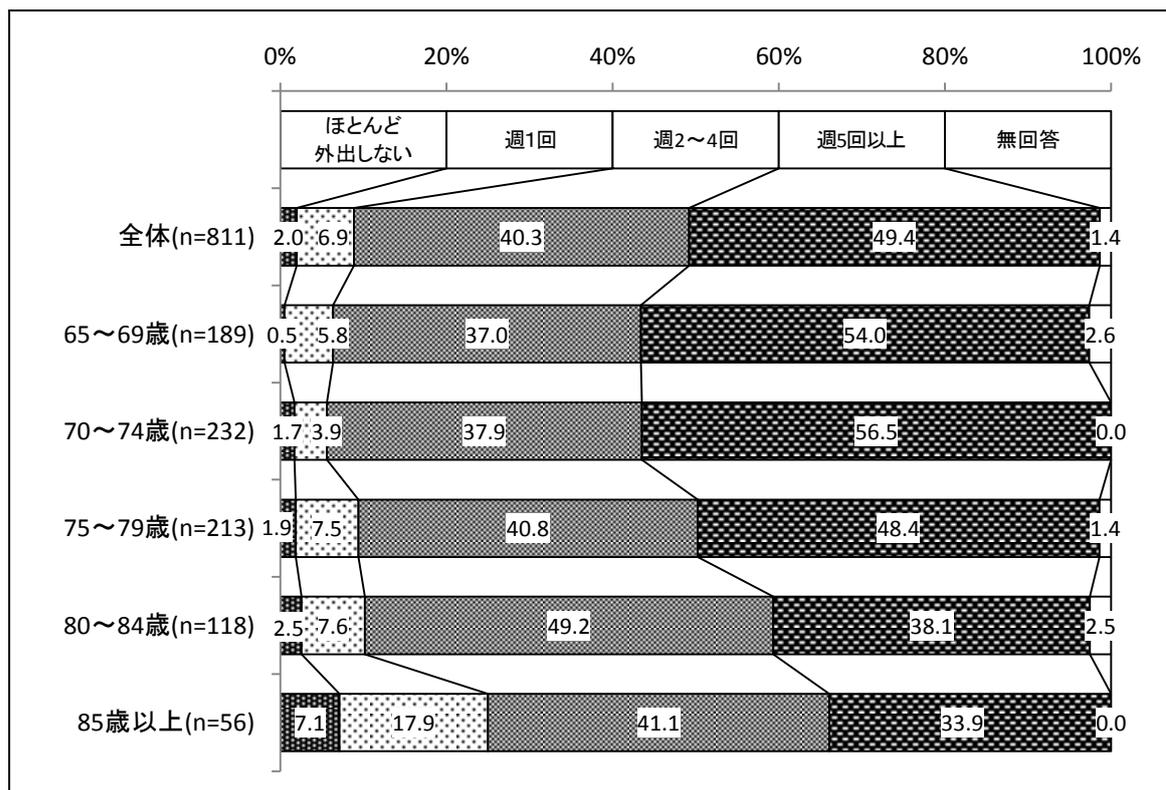


単位：%

	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体(n=811)	10.0	34.3	19.0	35.1	1.6
65～69歳(n=189)	5.3	28.6	20.6	42.9	2.6
70～74歳(n=232)	4.3	33.6	21.1	40.1	0.9
75～79歳(n=213)	9.9	34.7	19.2	35.2	0.9
80～84歳(n=118)	19.5	39.8	14.4	23.7	2.5
85歳以上(n=56)	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0

問4（6）週に1回以上は外出していますか（〇は1つ）

外出頻度については、「週5回以上」49.4%が最も多く、次いで「週2～4回」40.3%、「週1回」6.9%であった。これを年齢別にみると、65～79歳では「週5回以上」と回答した人が最も多かったが、80歳以上では「週2～4回」と回答した人が最も多かった。また、「週1回」「ほとんど外出しない」の割合も、年齢が上がるほど大きくなる傾向が見られた。

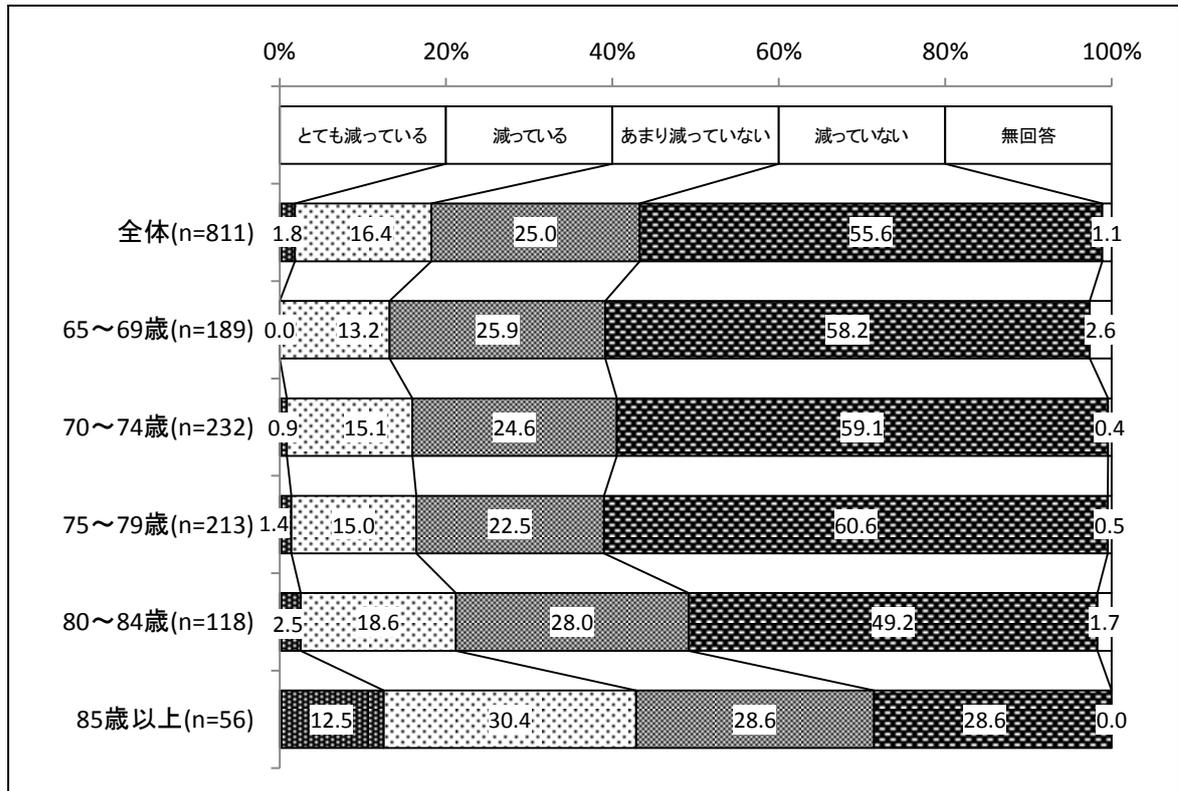


単位：%

	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体(n=811)	2.0	6.9	40.3	49.4	1.4
65～69歳(n=189)	0.5	5.8	37.0	54.0	2.6
70～74歳(n=232)	1.7	3.9	37.9	56.5	0.0
75～79歳(n=213)	1.9	7.5	40.8	48.4	1.4
80～84歳(n=118)	2.5	7.6	49.2	38.1	2.5
85歳以上(n=56)	7.1	17.9	41.1	33.9	0.0

問4（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか（〇は1つ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」55.6%が最も多く、次いで「あまり減っていない」25.0%、「減っている」16.4%であった。これを年齢別にみると、65～84歳では「減っていない」と回答した人が最も多かったのに対し、85歳以上では「減っている」が最も多い状況であった。また、年齢が上がるほど「とても減っている」「減っている」の割合が大きくなる傾向が見られた。



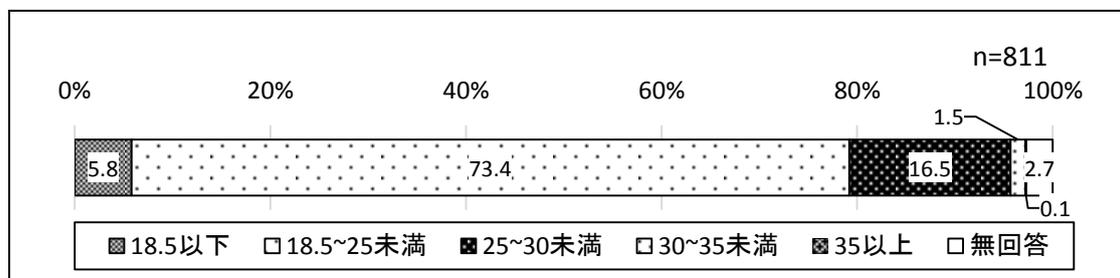
単位：%

	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体(n=811)	1.8	16.4	25.0	55.6	1.1
65～69歳(n=189)	0.0	13.2	25.9	58.2	2.6
70～74歳(n=232)	0.9	15.1	24.6	59.1	0.4
75～79歳(n=213)	1.4	15.0	22.5	60.6	0.5
80～84歳(n=118)	2.5	18.6	28.0	49.2	1.7
85歳以上(n=56)	12.5	30.4	28.6	28.6	0.0

問5 食べることについて

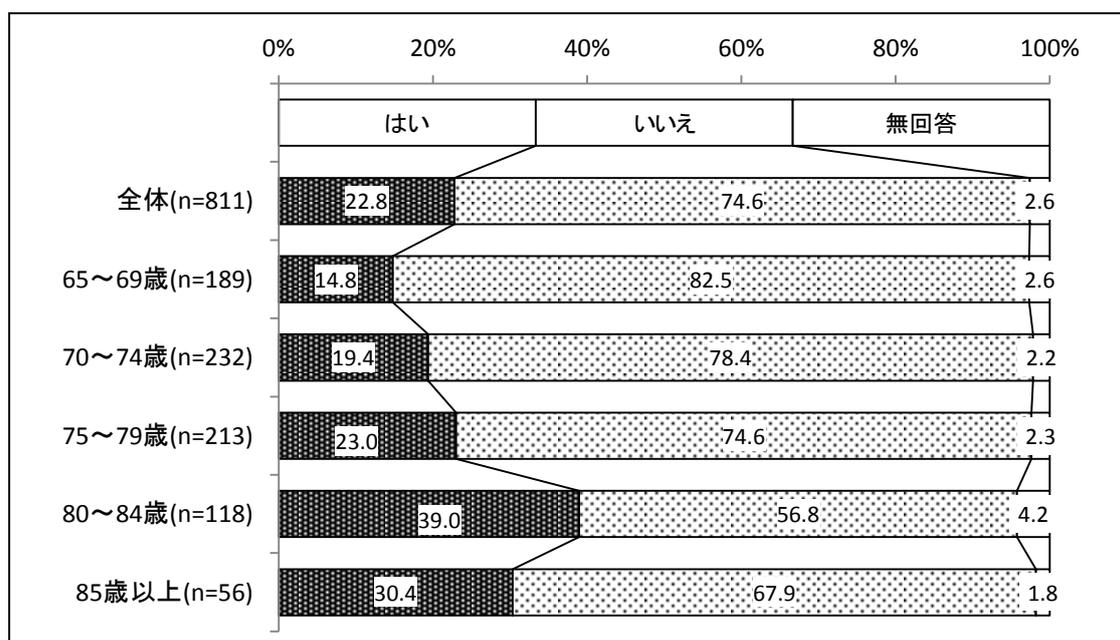
問5(1) 身長・体重

回答のあった身長・体重から BMI (Body Mass Index) を算出・集計した結果、最も多かったのは「18.5~25未満」73.4%であった。低栄養が疑われる「18.5以下」は5.8%であった。



問5(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」74.6%、「はい」22.8%であり、80~84歳が最も「はい」が多く39.0%であった。



単位：%

	はい	いいえ	無回答
全体(n=811)	22.8	74.6	2.6
65~69歳(n=189)	14.8	82.5	2.6
70~74歳(n=232)	19.4	78.4	2.2
75~79歳(n=213)	23.0	74.6	2.3
80~84歳(n=118)	39.0	56.8	4.2
85歳以上(n=56)	30.4	67.9	1.8

問5（3）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（○は1つ）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

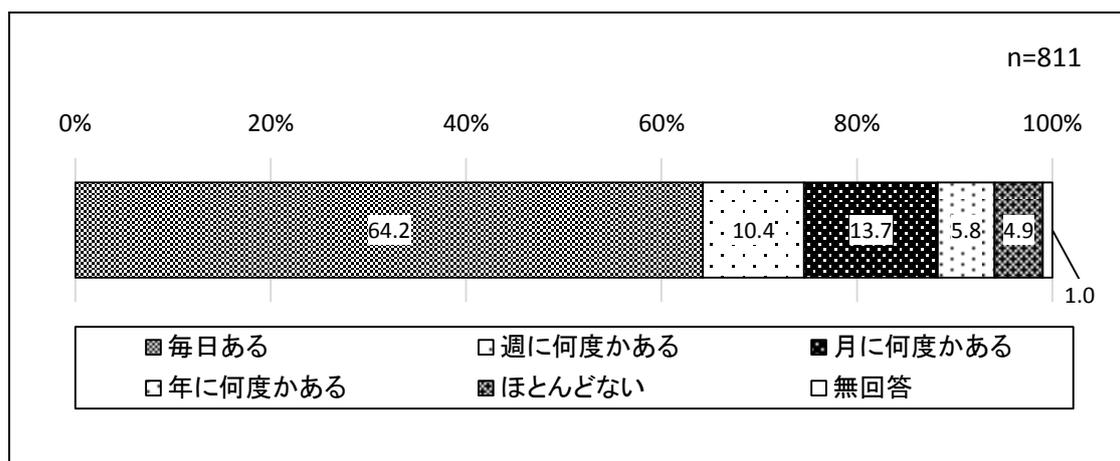
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」37.2%が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」33.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」18.7%であった。65～69歳でも、34.4%の人は自分の歯が19本以下という状況であった。

単位：%

	自分の歯は 20本以上、 かつ入れ歯を 利用	自分の歯は 20本以上、 入れ歯の 利用なし	自分の歯は 19本以下、 かつ入れ歯を 利用	自分の歯は 19本以下、 入れ歯の 利用なし	無回答
全体(n=811)	18.7	33.7	37.2	7.9	2.5
65～69歳(n=189)	19.0	43.4	27.0	7.4	3.2
70～74歳(n=232)	21.6	34.5	33.2	9.5	1.3
75～79歳(n=213)	17.8	32.9	40.8	7.0	1.4
80～84歳(n=118)	16.1	28.0	46.6	5.1	4.2
85歳以上(n=56)	16.1	12.5	57.1	10.7	3.6

問5（4）どなたかと食事をとにもする機会がありますか（○は1つ）

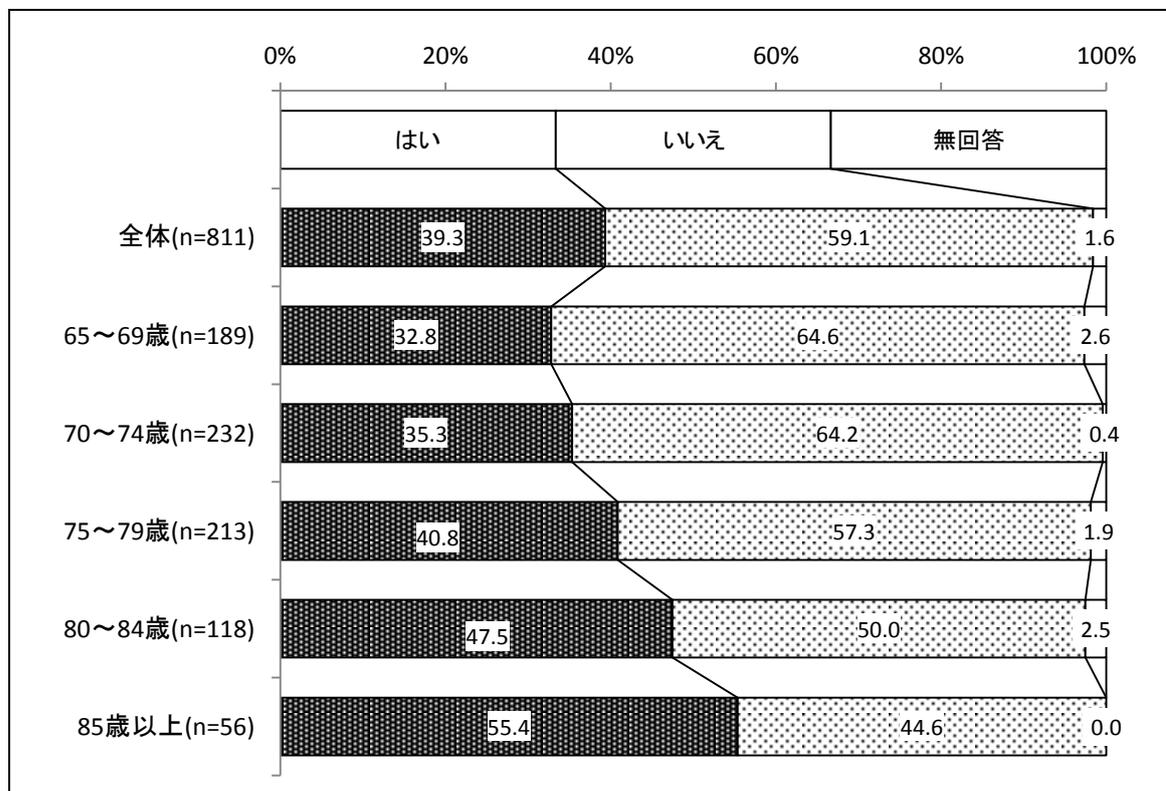
誰かと食事をとにもする機会については、「毎日ある」64.2%が最も多く、次いで「月に何度かある」13.7%、「週に何度かある」10.4%であった。「年に何度かある」「ほとんどない」と回答した人も計10.7%であった。



問6 毎日の生活について

問6（1）物忘れが多いと感じますか（〇は1つ）

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」59.1%、「はい」39.3%であった。
85歳以上では、半数以上の人物が忘れが多いと感じている状況であった。

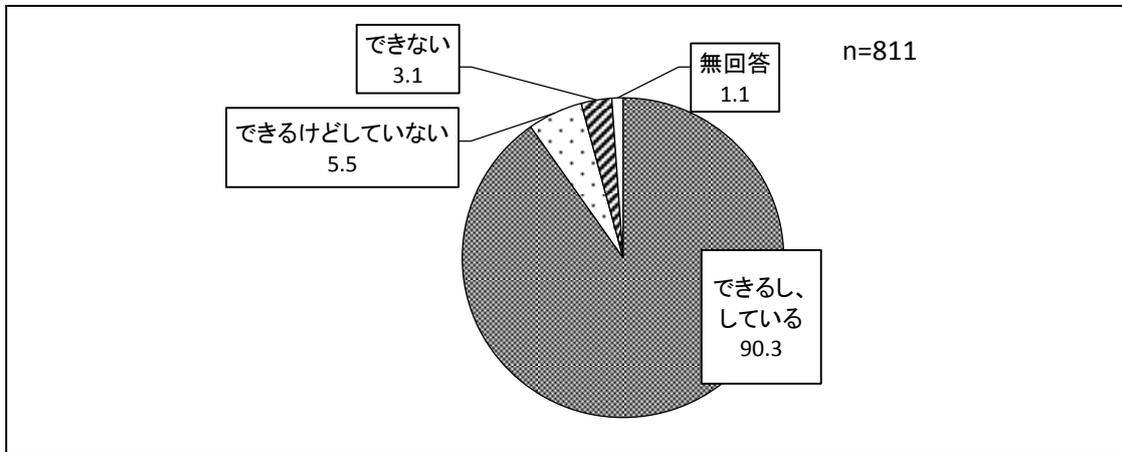


単位：%

	はい	いいえ	無回答
全体(n=811)	39.3	59.1	1.6
65～69歳(n=189)	32.8	64.6	2.6
70～74歳(n=232)	35.3	64.2	0.4
75～79歳(n=213)	40.8	57.3	1.9
80～84歳(n=118)	47.5	50.0	2.5
85歳以上(n=56)	55.4	44.6	0.0

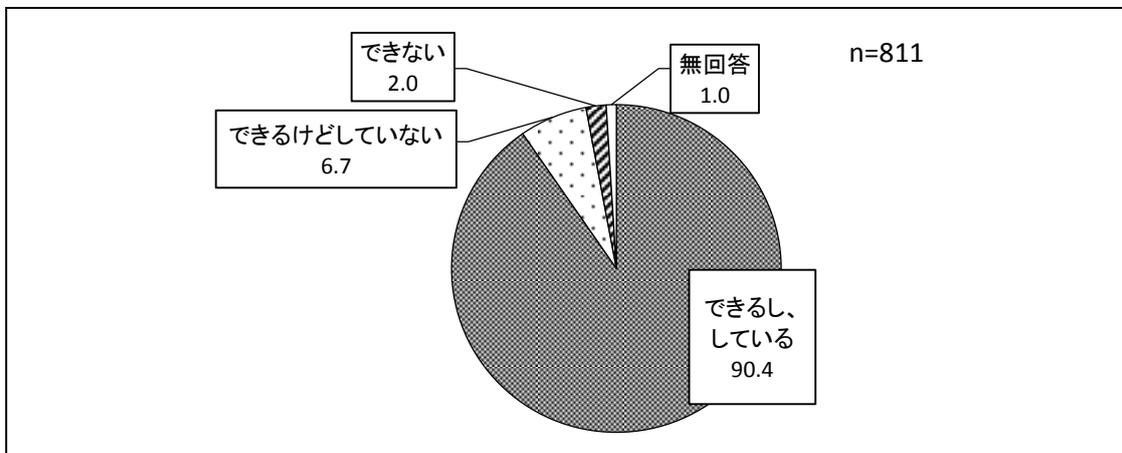
問6(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」90.3%が最も多く、次いで「できるけどしていない」5.5%であった。「できない」も3.1%であった。



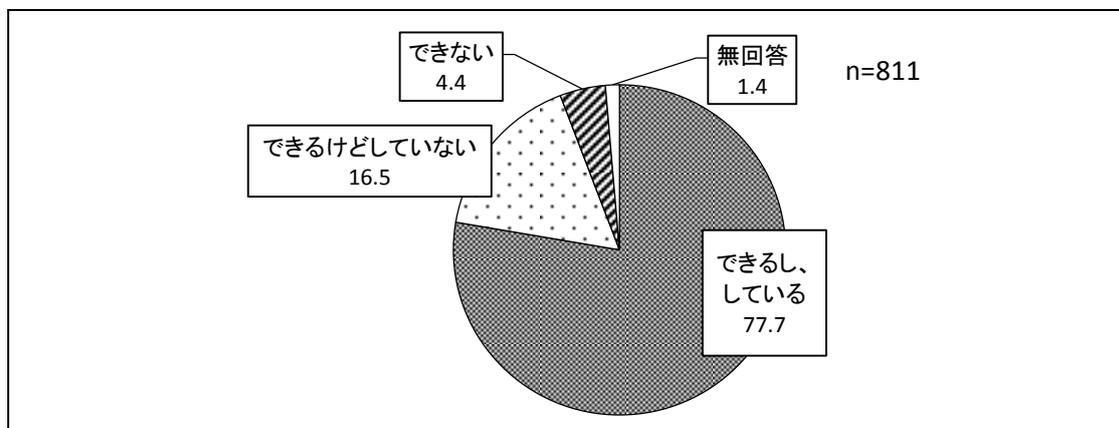
問6(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(○は1つ)

食品・日用品の買物については、「できるし、している」90.4%が最も多く、次いで「できるけどしていない」6.7%であった。「できない」も2.0%であった。



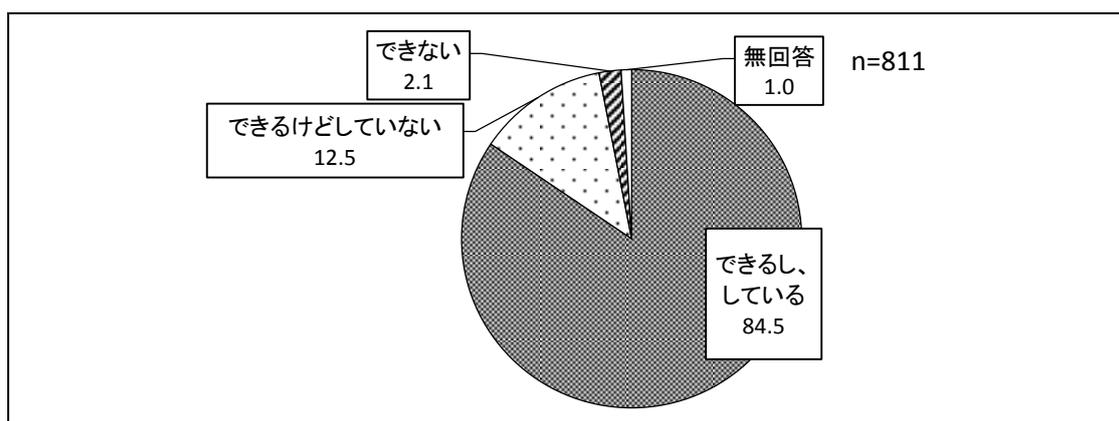
問6（4）自分で食事の用意をしていますか（○は1つ）

食事の用意については、「できるし、している」77.7%が最も多く、次いで「できるけどしていない」16.5%であった。「できない」も4.4%であった。



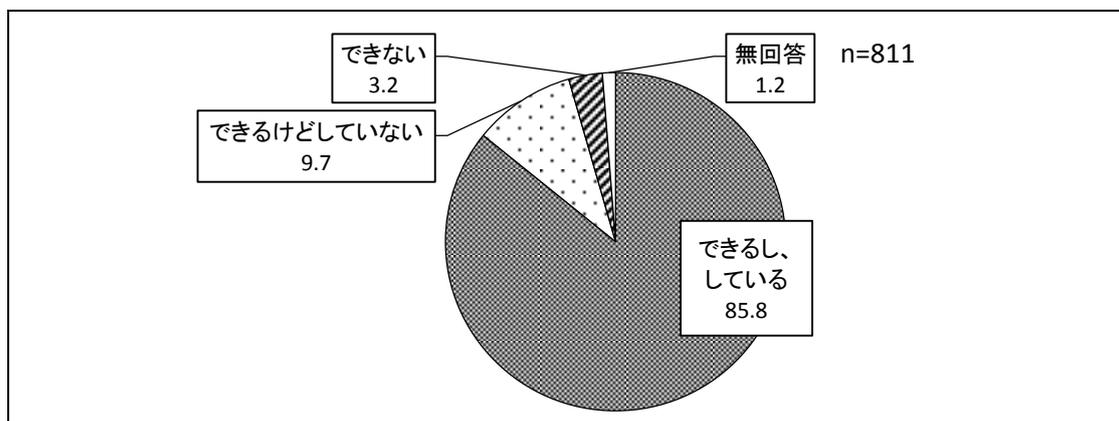
問6（5）自分で請求書の支払いをしていますか（○は1つ）

請求書の支払については、「できるし、している」84.5%が最も多く、次いで「できるけどしていない」12.5%であった。「できない」も2.1%であった。



問6（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか（○は1つ）

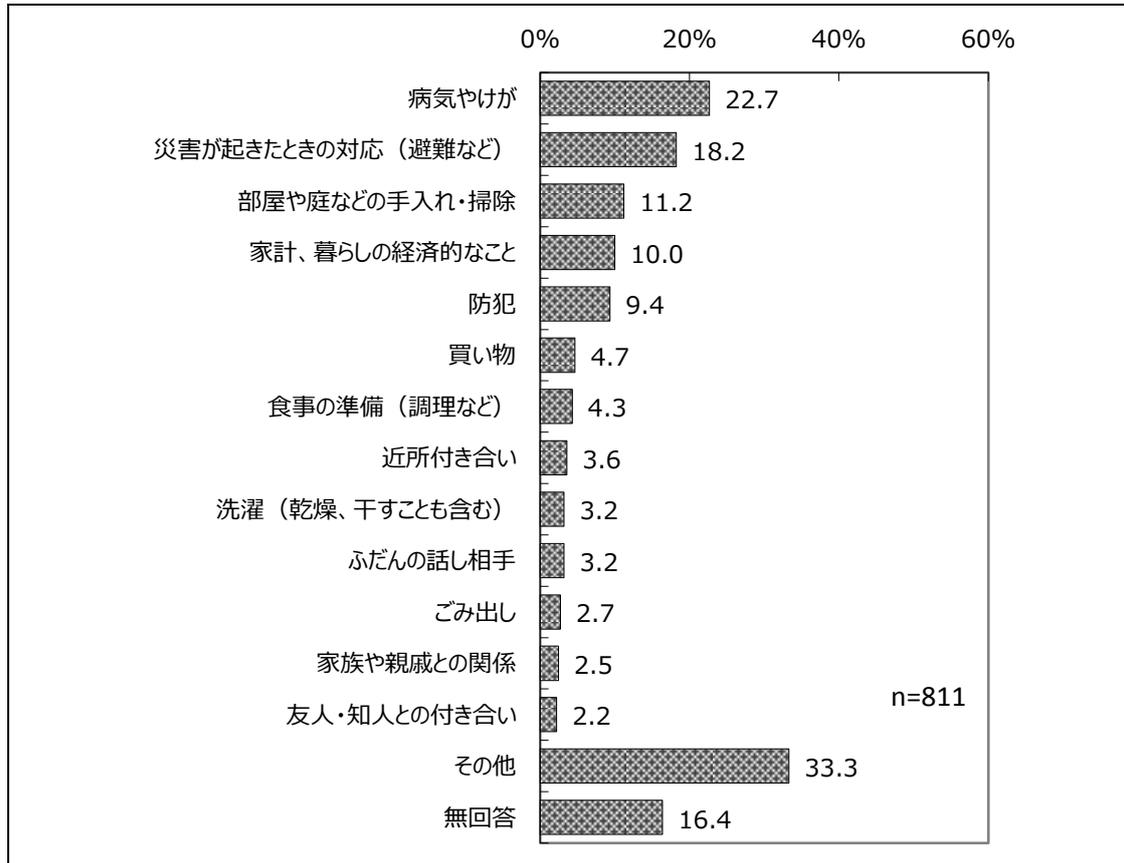
預貯金の出し入れについては、「できるし、している」85.8%が最も多く、次いで「できるけどしていない」9.7%であった。「できない」も3.2%であった。



問6（7）あなたがふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか（〇はいくつでも）

ふだんの生活で気になったり、困ったりしていることについては、「病気やけが」22.7%、「災害が起きたときの対応（避難など）」18.2%、「部屋や庭などの手入れ・掃除」11.2%、「家計、暮らしの経済的なこと」10.0%、「防犯」9.4%であった。

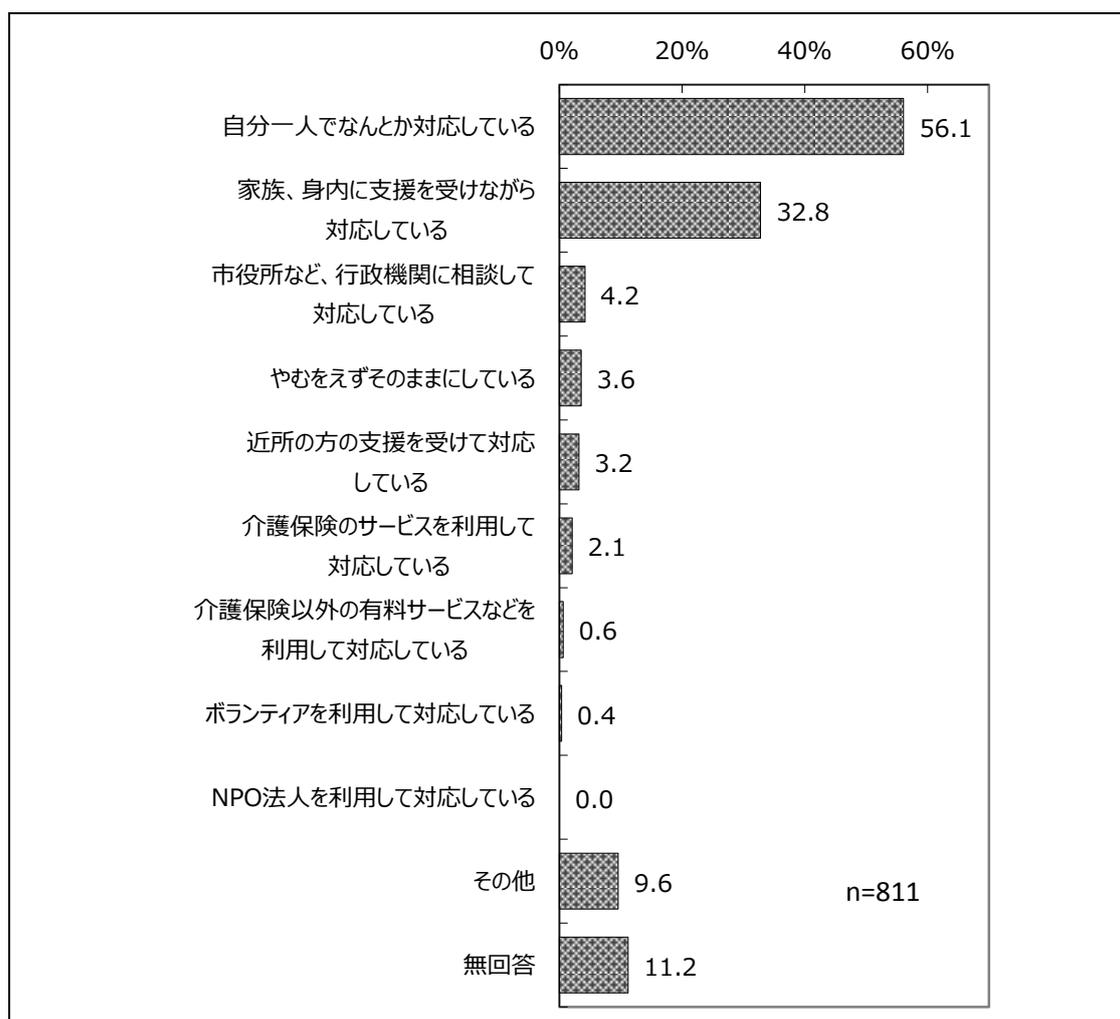
最も多かったのは「病気やけが」であり、次いで災害を心配する意見が多かった。



問6（8）あなたが気になったり、困ったりしていることに、どのように対応されていますか（〇はいくつでも）

気になったり、困ったりしていることに、どのように対応しているかについては、「自分一人でなんとか対応している」56.1%、「家族、身内に支援を受けながら対応している」32.8%、「市役所など、行政機関に相談して対応している」4.2%、「やむをえずそのままにしている」3.6%、「近所の方の支援を受けて対応している」3.2%であった。

最も多かったのは「自分一人でなんとか対応している」であり、次に家族、身内の支援を受けて対応しているケースが多かった。近所の方の支援など、他の支援を活用している割合は比較的少なかった。



問6（9）市では他の方の支援を受けられず、自らごみ収集ステーションにごみを出すことが困難な方に対し、市職員が戸別にごみ収集を行う事業の実施を検討しています。

このような事業を実施した場合、あなたは利用したいですか（○は1つ）

市職員が戸別にごみ収集を行う事業を実施した場合、利用したいかについては、「自身でごみ出しができており困っていない」81.5%が最も多く、次いで「支援を受けることができるため、利用するつもりはない」8.5%、「支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい」4.3%であった。

年齢が上がるほど、ごみ収集のサービスに対するニーズが高まる傾向がみられ、特に85歳以上では16.1%と、多くの人がサービスを希望する状況がうかがえた。

単位：%

	支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい	自身でごみ出しができており困っていない	支援を受けることができるため、利用するつもりはない	無回答
全体(n=811)	4.3	81.5	8.5	5.7
65～69歳(n=189)	2.1	88.4	2.6	6.9
70～74歳(n=232)	2.2	84.5	8.6	4.7
75～79歳(n=213)	3.8	82.2	8.9	5.2
80～84歳(n=118)	7.6	72.9	11.9	7.6
85歳以上(n=56)	16.1	62.5	17.9	3.6

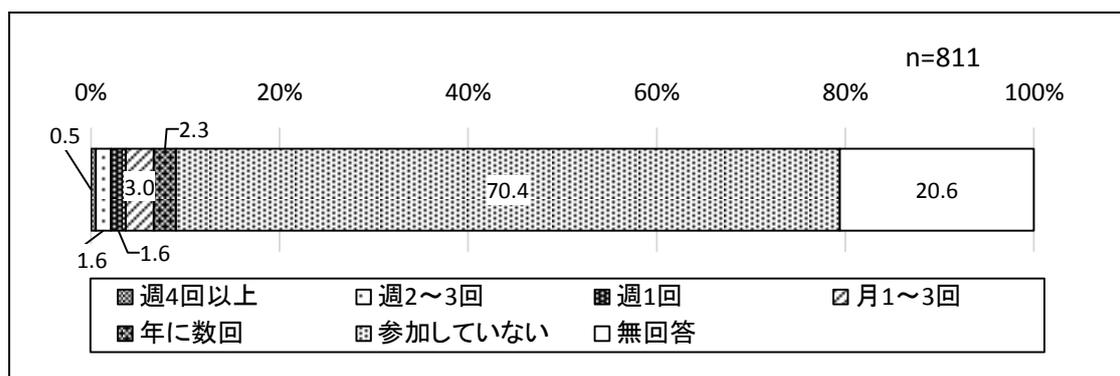
問7 地域での活動について

問7（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑦それぞれに回答してください

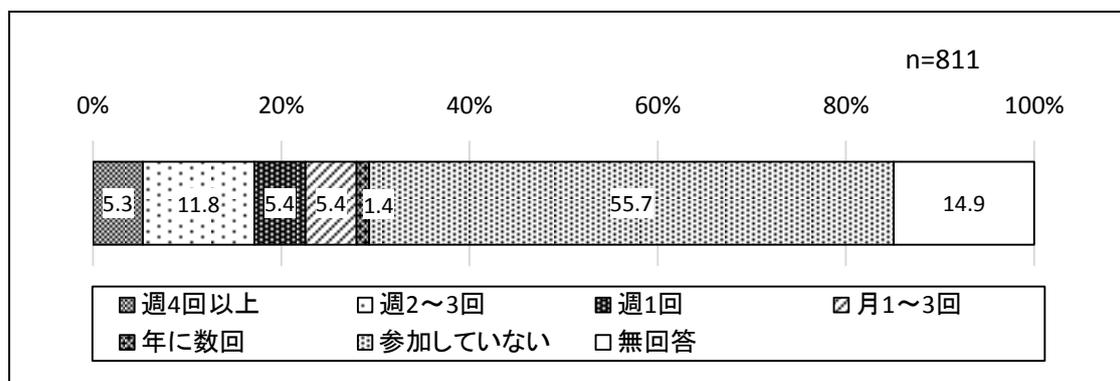
①ボランティアのグループ

「参加していない」70.4%が最も多く、次いで「月1～3回」3.0%、「年に数回」2.3%であった。年数回以上参加している人は全体の9.0%であった。



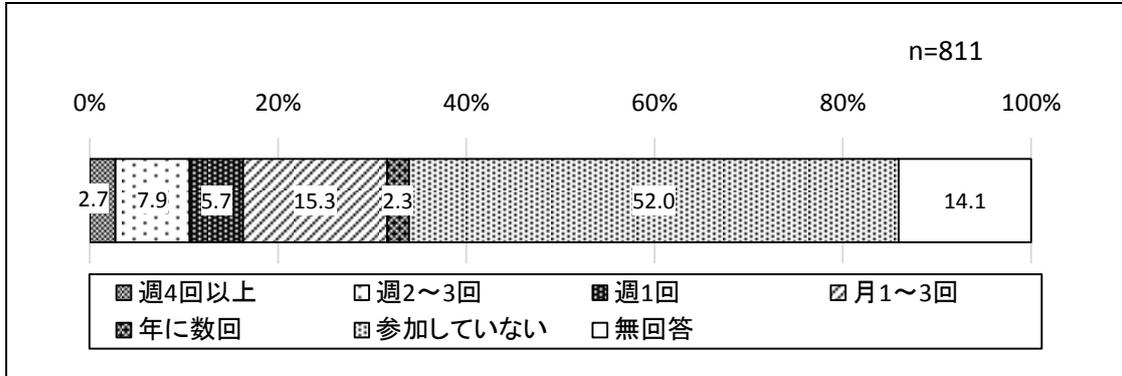
②スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」55.7%が最も多く、次いで「週2～3回」11.8%、「週1回」「月1～3回」がともに5.4%であった。年数回以上参加している人は全体の29.3%であった。



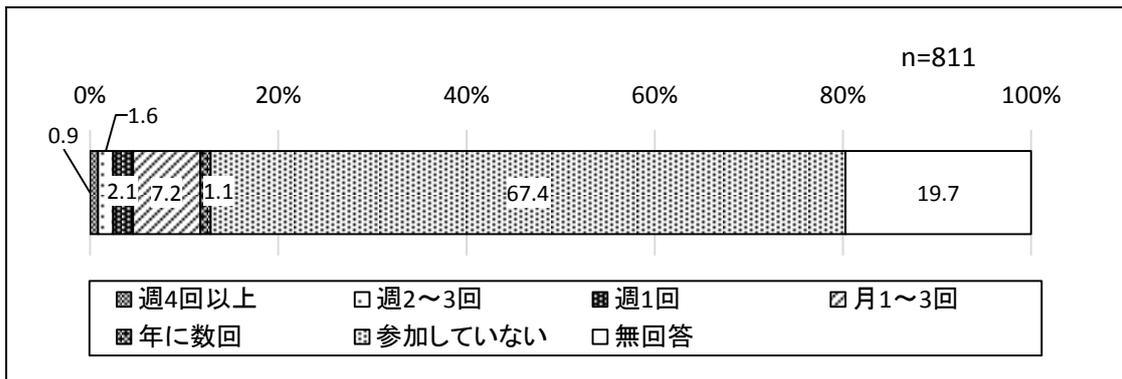
③趣味関係のグループ

「参加していない」52.0%が最も多く、次いで「月1～3回」15.3%、「週2～3回」7.9%であった。年数回以上参加している人は全体の33.9%であった。



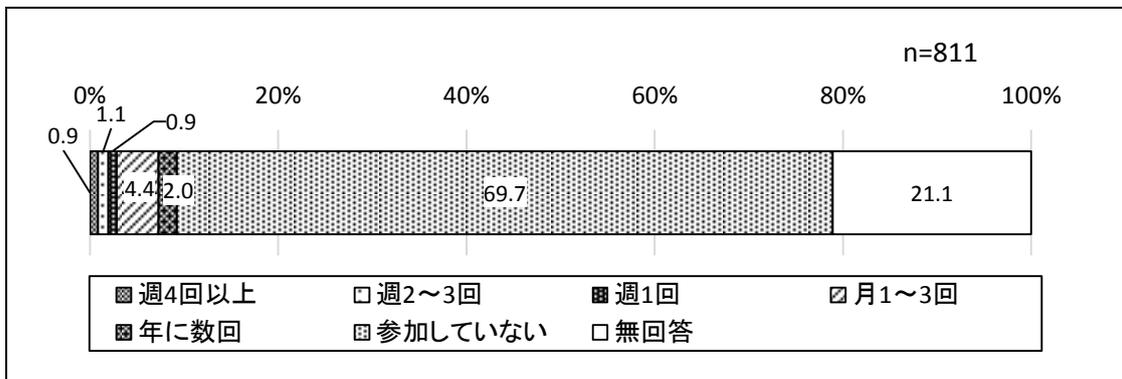
④学習・教養サークル

「参加していない」67.4%が最も多く、次いで「月1～3回」7.2%、「週1回」2.1%であった。年数回以上参加している人は全体の12.9%であった。



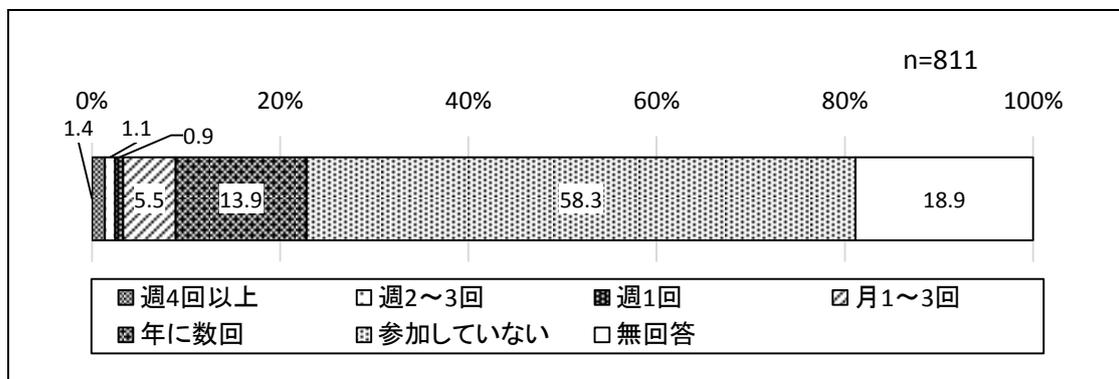
⑤老人クラブ

「参加していない」69.7%が最も多く、次いで「月1～3回」4.4%、「年に数回」2.0%であった。年数回以上参加している人は全体の9.3%であった。



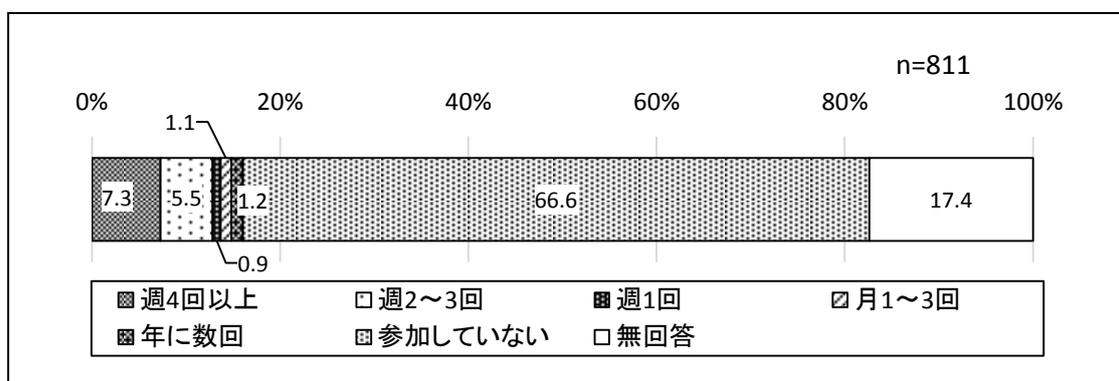
⑥町会・自治会

「参加していない」58.3%が最も多く、次いで「年に数回」13.9%、「月1～3回」5.5%であった。年数回以上参加している人は全体の22.8%であった。



⑦収入のある仕事

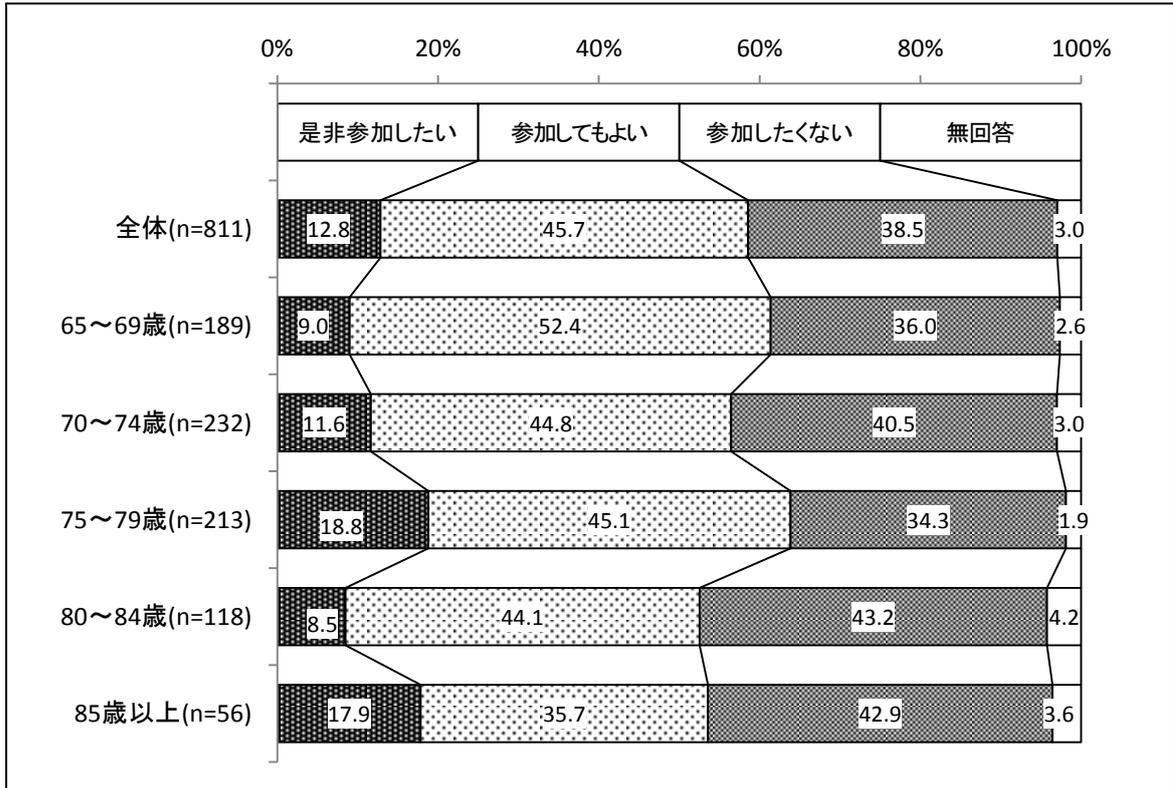
収入のある仕事への従事状況については、「参加していない」66.6%が最も多く、次いで「週4回以上」7.3%、「週2～3回」5.5%であった。年数回以上仕事に従事している人は全体の16.0%であった。



問7(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか(〇は1つ)

健康づくり活動等による地域づくりへの参加者としての参加意向については、「参加してもよい」45.7%が最も多く、次いで「参加したくない」38.5%、「是非参加したい」12.8%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた58.5%の人に、参加意向が見られた。



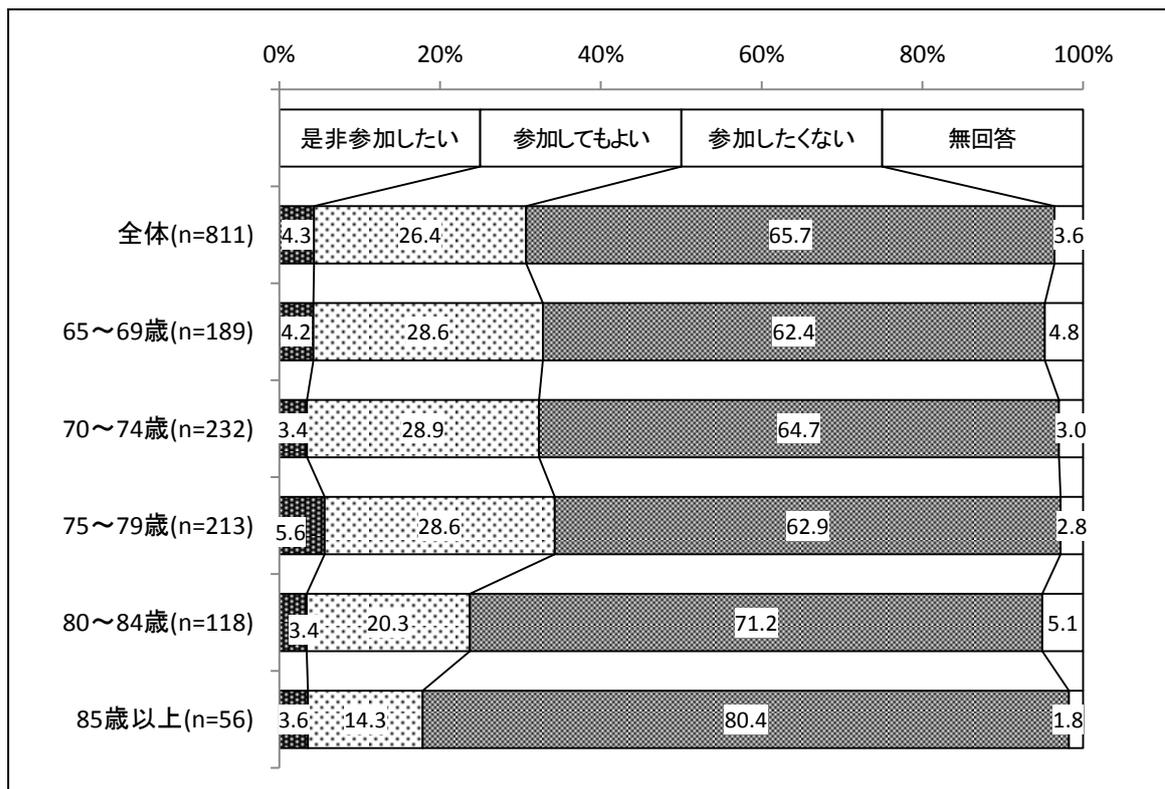
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=811)	12.8	45.7	38.5	3.0
65～69歳(n=189)	9.0	52.4	36.0	2.6
70～74歳(n=232)	11.6	44.8	40.5	3.0
75～79歳(n=213)	18.8	45.1	34.3	1.9
80～84歳(n=118)	8.5	44.1	43.2	4.2
85歳以上(n=56)	17.9	35.7	42.9	3.6

問7(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか(〇は1つ)

健康づくり活動等による地域づくりへの企画・運営側としての参加意向については、「参加したくない」65.7%が最も多く、次いで「参加してもよい」26.4%、「是非参加したい」4.3%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた30.7%の人に、お世話役としての参加意向が見られた。



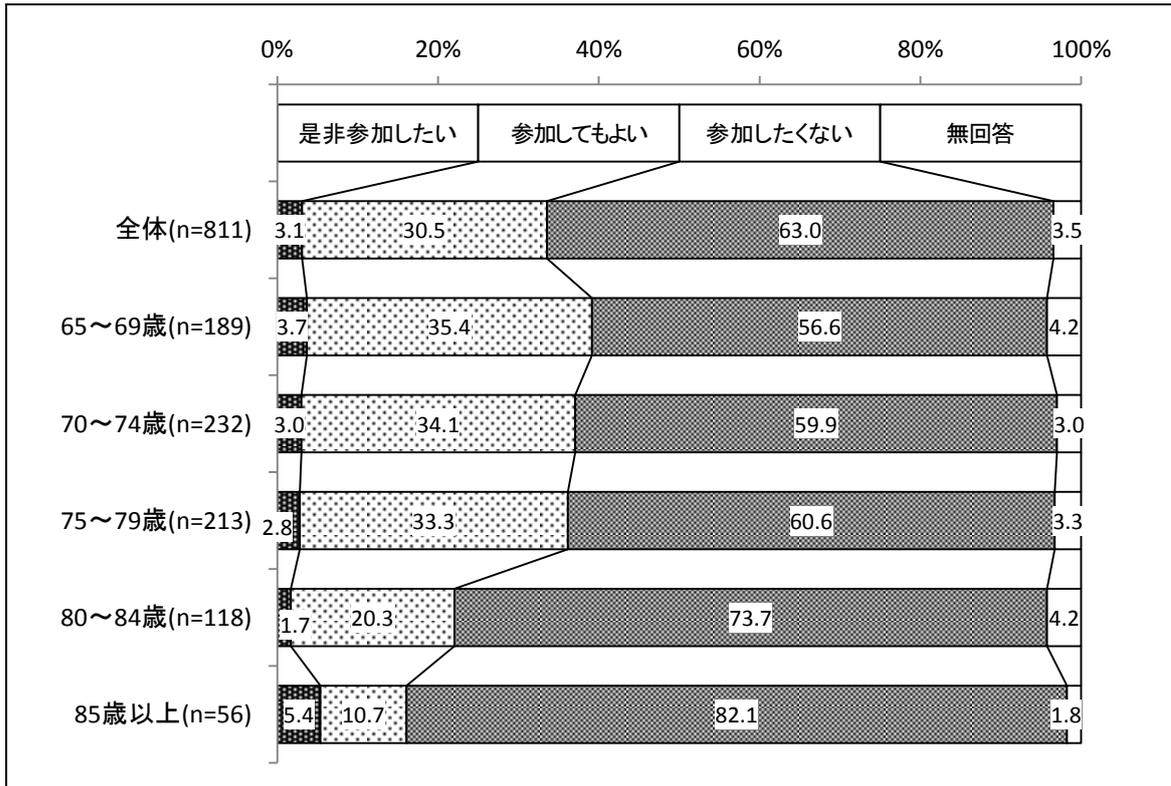
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=811)	4.3	26.4	65.7	3.6
65～69歳(n=189)	4.2	28.6	62.4	4.8
70～74歳(n=232)	3.4	28.9	64.7	3.0
75～79歳(n=213)	5.6	28.6	62.9	2.8
80～84歳(n=118)	3.4	20.3	71.2	5.1
85歳以上(n=56)	3.6	14.3	80.4	1.8

問7(4) 地域住民の有志によって、家事援助などのたすけあい活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいですか(〇は1つ)

家事援助などのたすけあい活動による地域づくりへのボランティアとしての参加意向については、「参加したくない」63.0%が最も多く、次いで「参加してもよい」30.5%、「是非参加したい」3.1%であった。

是非参加したい、参加してもよいを合わせた33.6%の人に、ボランティアとしての参加意向が見られた。



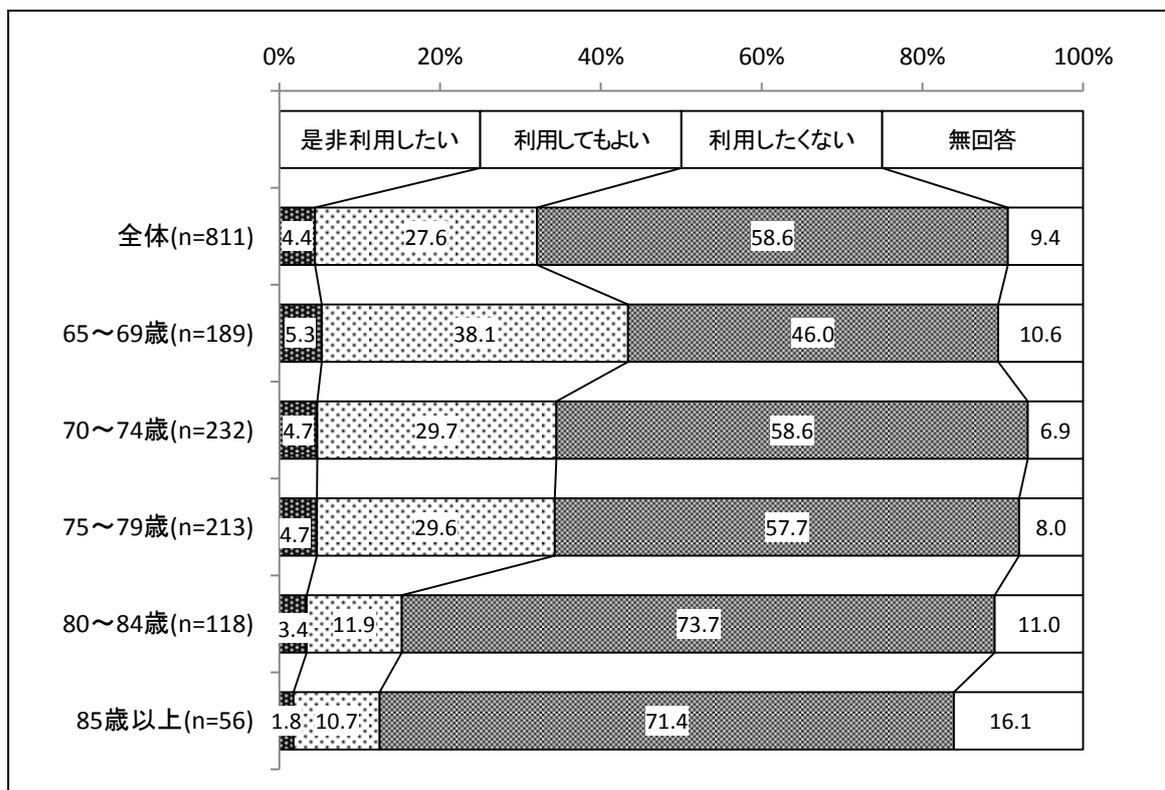
単位：%

	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体(n=811)	3.1	30.5	63.0	3.5
65～69歳(n=189)	3.7	35.4	56.6	4.2
70～74歳(n=232)	3.0	34.1	59.9	3.0
75～79歳(n=213)	2.8	33.3	60.6	3.3
80～84歳(n=118)	1.7	20.3	73.7	4.2
85歳以上(n=56)	5.4	10.7	82.1	1.8

問7(5) 上記「問7(4)」の活動をする、後日換金等ができるポイントがもらえる制度があったら、利用してみたいですか(○は1つ)

ボランティア活動をする、換金等ができるポイントがもらえる制度の利用意向については、「利用したくない」58.6%が最も多く、次いで「利用してもよい」27.6%、「是非利用したい」4.4%であった。

是非利用したい、利用してもよいを合わせた32.0%の人に、参加意向が見られた。

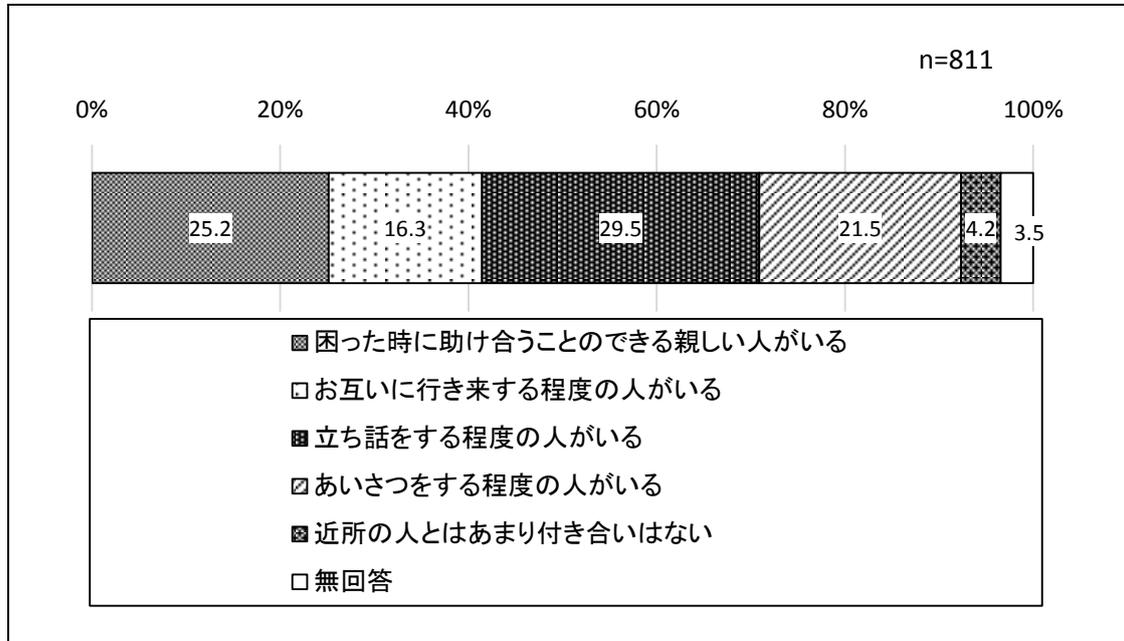


単位：%

	是非利用したい	利用してもよい	利用したくない	無回答
全体(n=811)	4.4	27.6	58.6	9.4
65～69歳(n=189)	5.3	38.1	46.0	10.6
70～74歳(n=232)	4.7	29.7	58.6	6.9
75～79歳(n=213)	4.7	29.6	57.7	8.0
80～84歳(n=118)	3.4	11.9	73.7	11.0
85歳以上(n=56)	1.8	10.7	71.4	16.1

問7（6）あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか（〇は1つ）

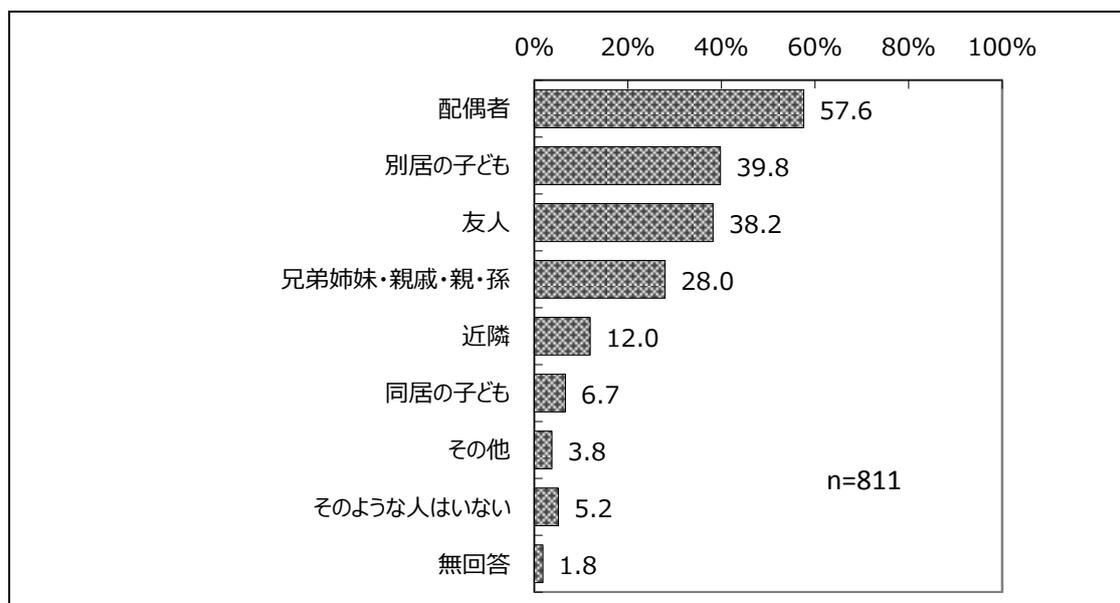
近所付き合いの状況については、「立ち話をする程度の人がある」29.5%が最も多く、次いで「困った時に助け合うことのできる親しい人がある」25.2%、「あいさつをする程度の人がある」21.5%であった。4人に1人程度は、困った時に助け合える人がある状況であった。



問8 たすけあいについて

問8(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる相手については、「配偶者」57.6%、「別居の子ども」39.8%、「友人」38.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」28.0%、「近隣」12.0%であった。年齢が若いほど「友人」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

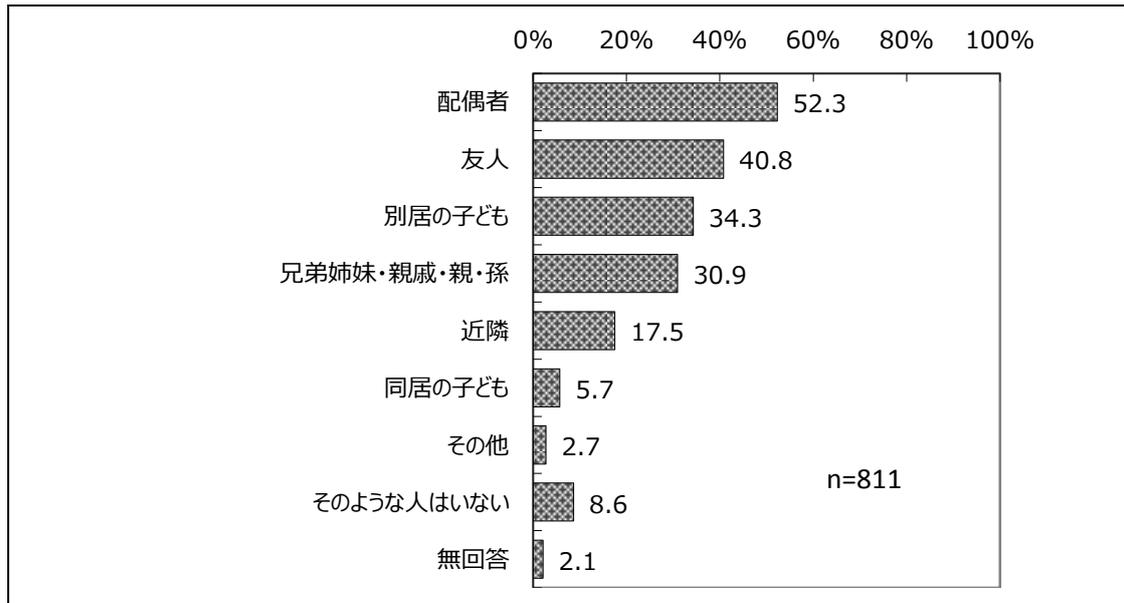


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=811)	57.6	6.7	39.8	28.0	12.0	38.2	3.8	5.2	1.8
65～69歳(n=189)	52.4	5.8	43.4	29.1	13.2	46.6	2.6	4.8	2.6
70～74歳(n=232)	66.4	2.6	35.3	32.3	11.6	44.0	3.4	3.0	0.9
75～79歳(n=213)	61.5	6.1	39.0	27.2	12.7	40.8	4.2	5.2	1.4
80～84歳(n=118)	54.2	10.2	44.9	22.0	8.5	16.9	5.1	8.5	3.4
85歳以上(n=56)	32.1	19.6	39.3	21.4	14.3	23.2	5.4	8.9	0.0

問8(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる相手については、「配偶者」52.3%、「友人」40.8%、「別居の子ども」34.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」30.9%、「近隣」17.5%であった。最も多かったのは「配偶者」であった。年齢が若いほど「配偶者」や「友人」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

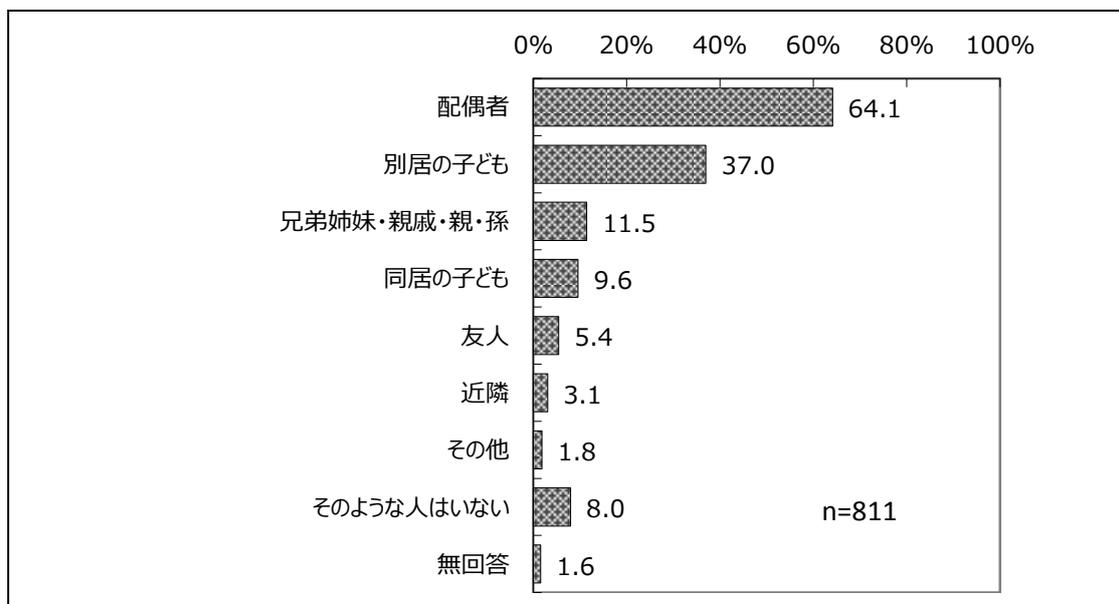


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=811)	52.3	5.7	34.3	30.9	17.5	40.8	2.7	8.6	2.1
65～69歳(n=189)	50.8	5.8	39.2	31.7	16.4	48.7	2.1	6.3	2.1
70～74歳(n=232)	59.9	1.7	34.9	32.8	18.5	46.1	2.6	6.5	0.9
75～79歳(n=213)	54.9	5.6	31.0	31.5	18.3	41.3	3.3	8.0	2.3
80～84歳(n=118)	44.9	6.8	37.3	27.1	15.3	25.4	2.5	13.6	5.1
85歳以上(n=56)	32.1	17.9	21.4	26.8	19.6	25.0	3.6	16.1	0.0

問8 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(〇はいくつでも)

病気で数日間寝込んだ時に看病や世話をしてくれる相手については、「配偶者」64.1%、「別居の子ども」37.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」11.5%、「同居の子ども」9.6%、「友人」5.4%であった。年齢が若いほど「友人」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。

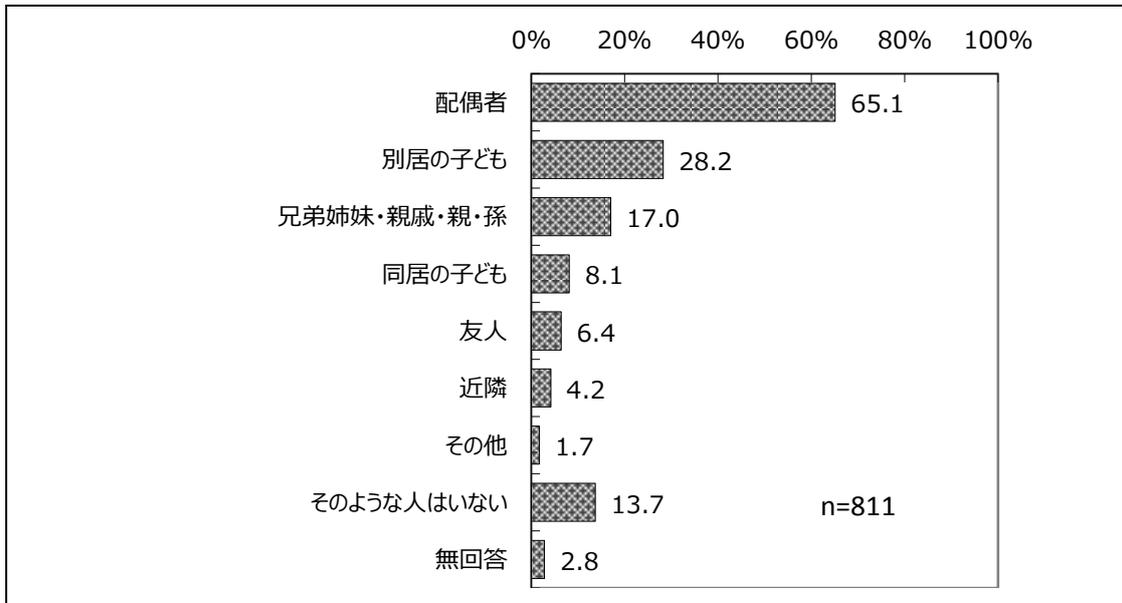


単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=811)	64.1	9.6	37.0	11.5	3.1	5.4	1.8	8.0	1.6
65～69歳(n=189)	61.9	7.9	34.4	15.3	2.1	8.5	0.5	10.1	2.6
70～74歳(n=232)	70.3	6.0	37.9	10.3	2.6	6.5	2.6	6.9	0.9
75～79歳(n=213)	70.4	8.0	40.8	9.9	3.8	4.7	1.4	5.6	0.9
80～84歳(n=118)	58.5	12.7	33.9	11.9	3.4	1.7	2.5	7.6	3.4
85歳以上(n=56)	33.9	28.6	33.9	8.9	5.4	1.8	3.6	16.1	0.0

問8（4）反対に、看病や世話をしあける人（〇はいくつでも）

看病や世話をしあける相手については、「配偶者」65.1%、「別居の子ども」28.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」17.0%、「そのような人はいない」13.7%、「同居の子ども」8.1%であった。年齢が若いほど「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」を挙げる割合が大きく、年齢が上がるほど「同居の子ども」を挙げる割合が大きくなる傾向が見られた。



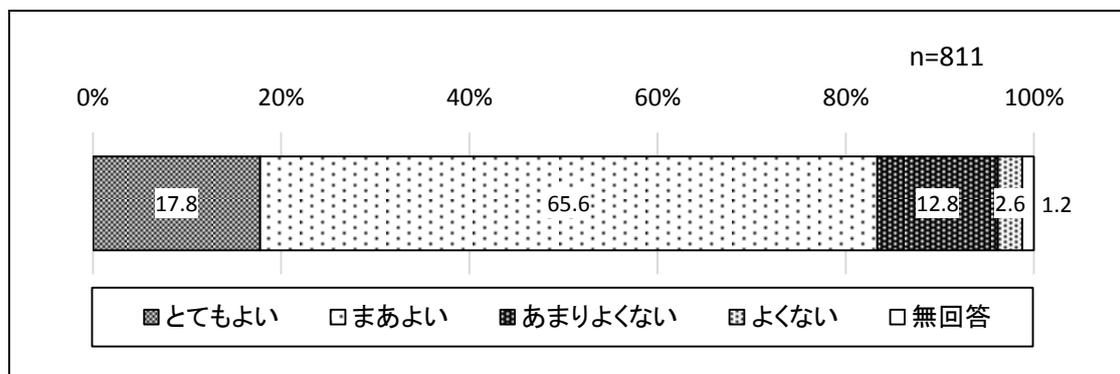
単位：%

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=811)	65.1	8.1	28.2	17.0	4.2	6.4	1.7	13.7	2.8
65～69歳(n=189)	61.9	7.4	33.3	21.7	2.6	6.3	1.1	13.2	2.6
70～74歳(n=232)	69.4	4.7	30.2	17.7	4.3	9.5	1.7	11.2	1.3
75～79歳(n=213)	73.2	6.6	32.9	16.0	7.0	7.5	1.4	10.3	2.3
80～84歳(n=118)	62.7	9.3	16.9	16.1	1.7	1.7	0.8	13.6	6.8
85歳以上(n=56)	33.9	26.8	10.7	5.4	3.6	0.0	7.1	37.5	3.6

問9 健康について

問9（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか（○は1つ）

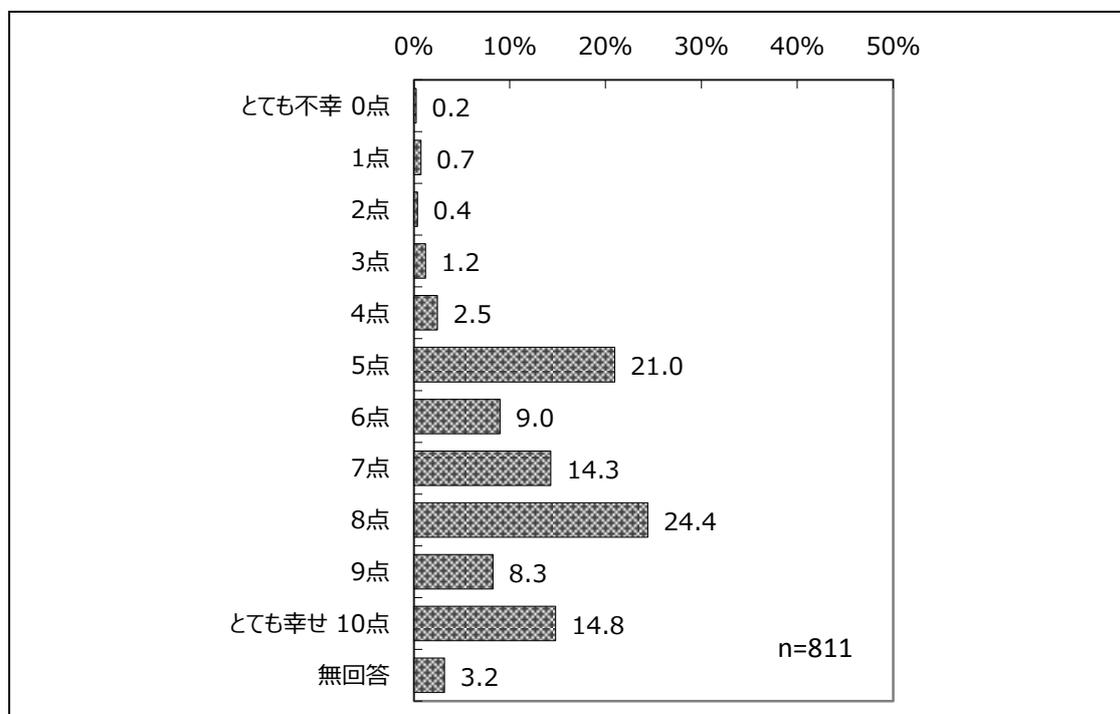
健康状態については、「まあよい」65.6%が最も多く、次いで「とてもよい」17.8%、「あまりよくない」12.8%であった。「あまりよくない」「よくない」を合わせると15.4%の回答があった。



問9（2）あなたは、現在どの程度幸せですか

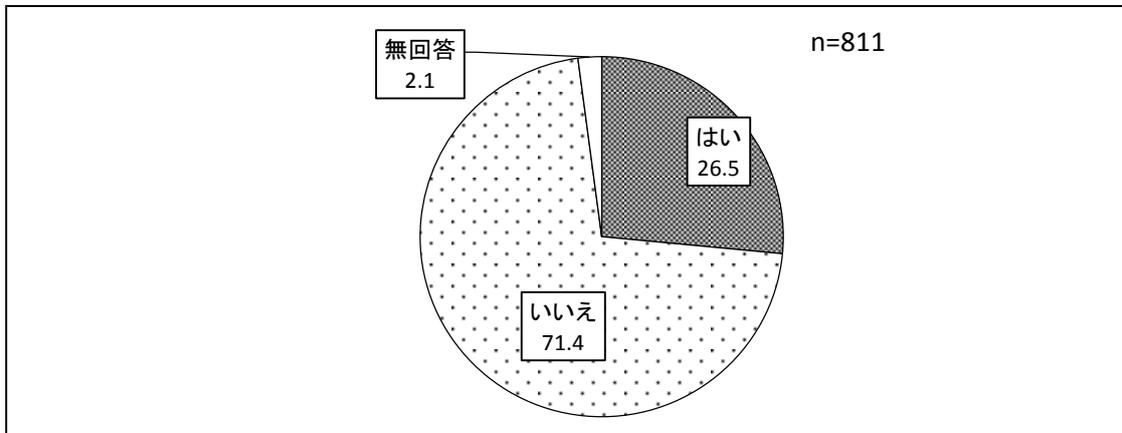
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○を1つ付けてください）

現在の幸福度については、「8点」が24.4%、「5点」21.0%、「10点とても幸せ」14.8%、「7点」14.3%、「6点」9.0%であった。最も多かったのは「8点」であり、平均値は7.1点、中央値は7点であった。



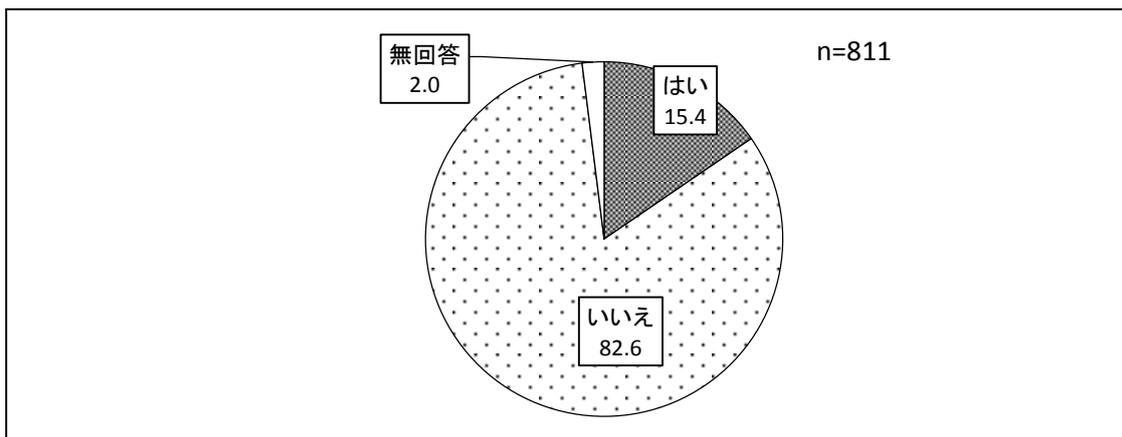
問9 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

「はい」と回答した人が 26.5%であった。



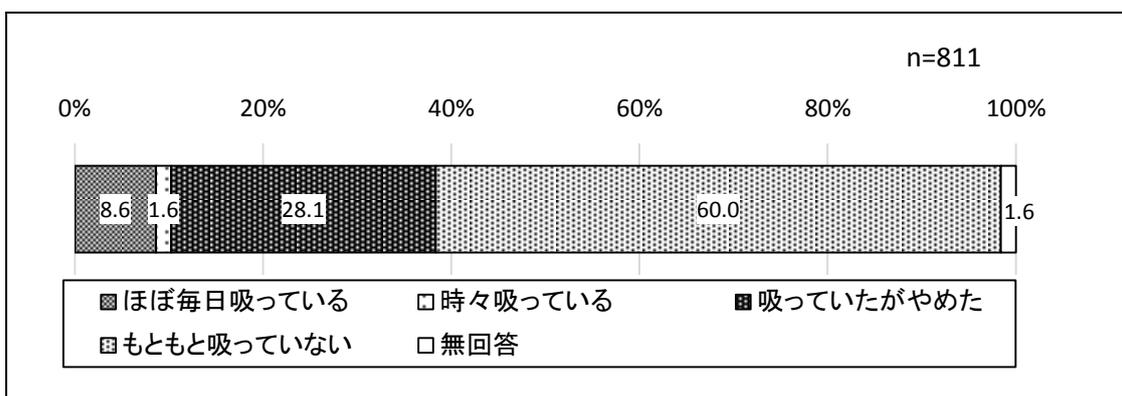
問9 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

「はい」と回答した人が 15.4%であった。



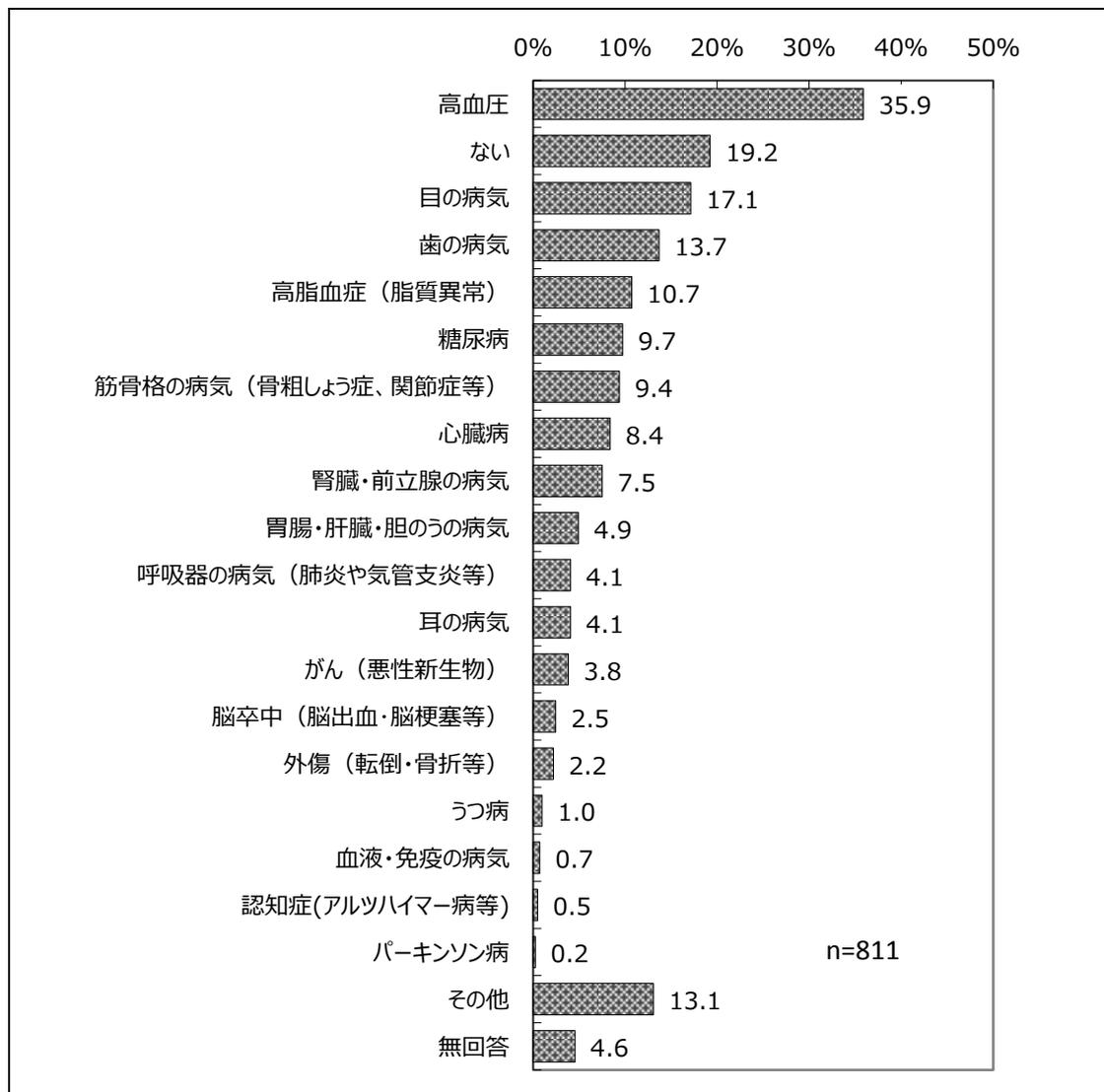
問9 (5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

喫煙習慣については、「もともと吸っていない」60.0%が最も多かったが、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」と回答した人が計 10.2%であった。



問9 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (〇はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」35.9%、「ない」19.2%、「目の病気」17.1%、「歯の病気」13.7%、「高脂血症 (脂質異常)」10.7%であった。最も多かったのは「高血圧」であったが、他にも様々な病気のある状況がうかがえた。



問9（7）あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか（○は1つ）

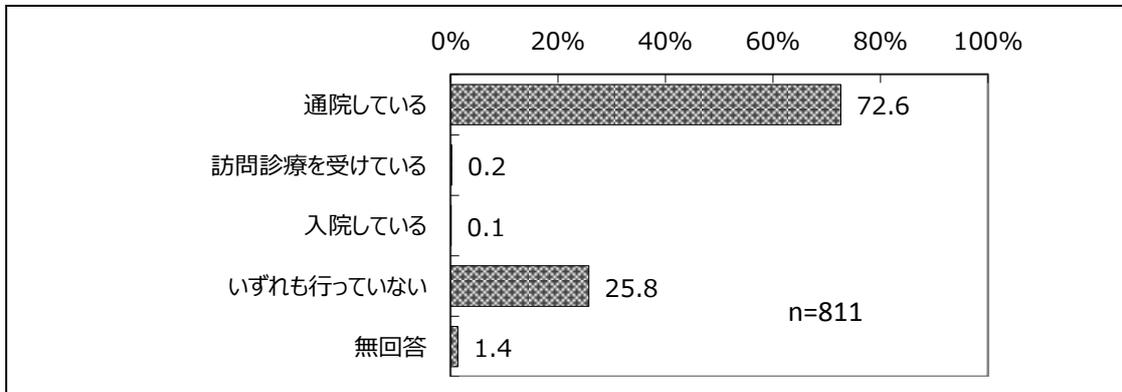
かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている」61.0%が最も多く、次いで「総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている」19.6%、「滅多に病気にならないので、よくわからない」7.6%であった。

単位：%

	「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている	総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている	病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんに見てもらっている	滅多に病気にならないので、よくわからない	その他	無回答
全体(n=811)	61.0	19.6	7.3	7.6	2.7	1.7
65～69歳(n=189)	54.0	15.3	14.8	11.1	3.2	1.6
70～74歳(n=232)	59.9	19.0	7.8	8.2	3.9	1.3
75～79歳(n=213)	64.3	23.0	3.3	6.6	0.9	1.9
80～84歳(n=118)	63.6	21.2	3.4	5.9	3.4	2.5
85歳以上(n=56)	73.2	19.6	3.6	1.8	1.8	0.0

問9（8）あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか（○は2つまで）

診療状況については、「通院している」72.6%が最も多く、次いで「いずれも行っていない」25.8%、「訪問診療を受けている」0.2%であった。何らかの形で医療を受けている人が70%を超える状況であった。

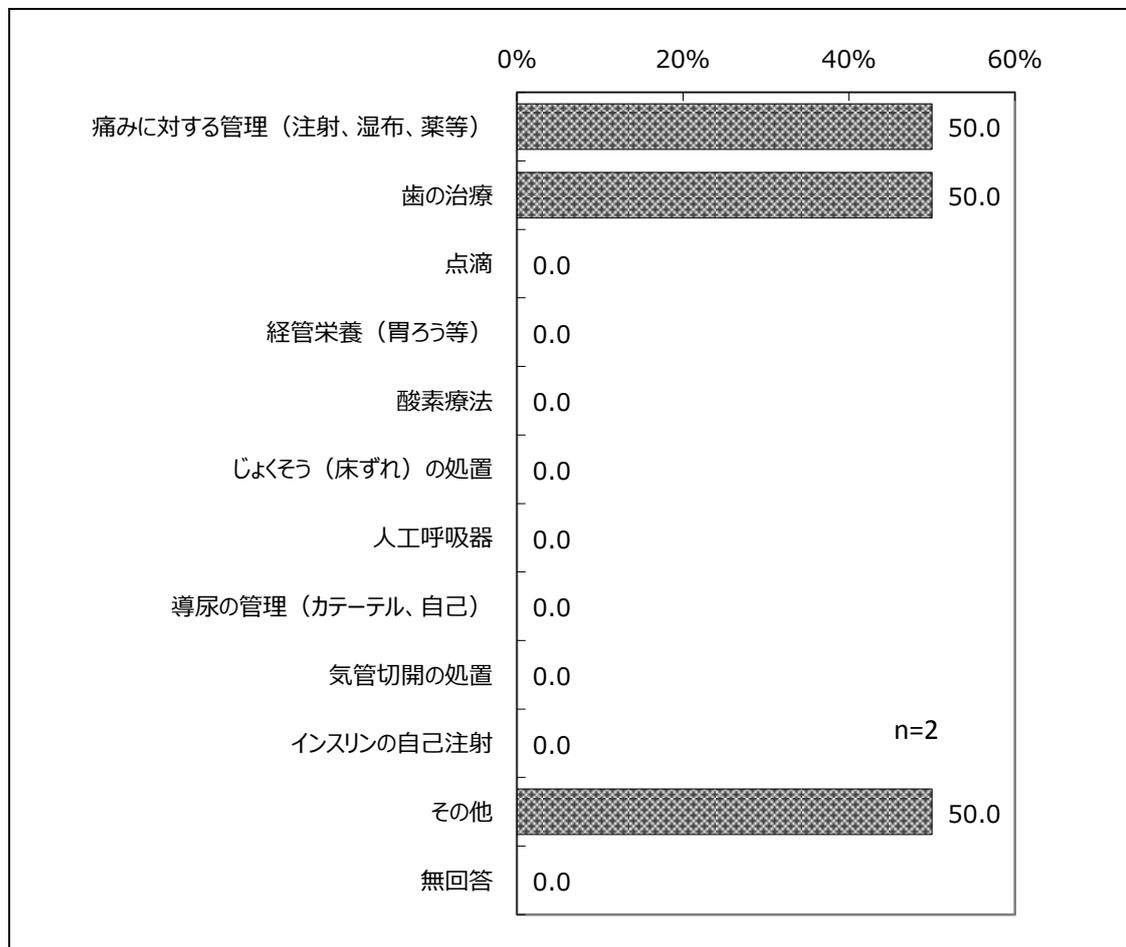


単位：%

	通院している	訪問診療を受けている	入院している	いずれも行っていない	無回答
全体(n=811)	72.6	0.2	0.1	25.8	1.4
65～69歳(n=189)	61.4	0.0	0.0	37.0	1.6
70～74歳(n=232)	71.6	0.4	0.4	26.7	1.3
75～79歳(n=213)	74.6	0.0	0.0	23.9	1.4
80～84歳(n=118)	80.5	0.0	0.0	17.8	1.7
85歳以上(n=56)	89.3	1.8	0.0	8.9	0.0

**問9 【(8)で「訪問診療を受けている」と回答された方へおたずねします】
訪問診療で受けているものは、どのような内容ですか（〇はいくつでも）**

訪問診療で受けている内容については、「痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）」
「歯の治療」がともに50.0%であった（n数が少ない点に留意が必要）。



問 10 介護予防・介護サービスの利用意向について

問 10（1）あなたは、ご自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（○は1つ）

介護が必要となったとき、どのような介護を受けたいかについては、「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」38.7%が最も多く、次いで「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」22.8%、「介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい」11.6%であった。

いずれの年代でも自宅で生活したいとの回答が50～60%程度と最も多かったが、85歳以上では介護保険サービスの利用意向が下がる傾向が見られた。

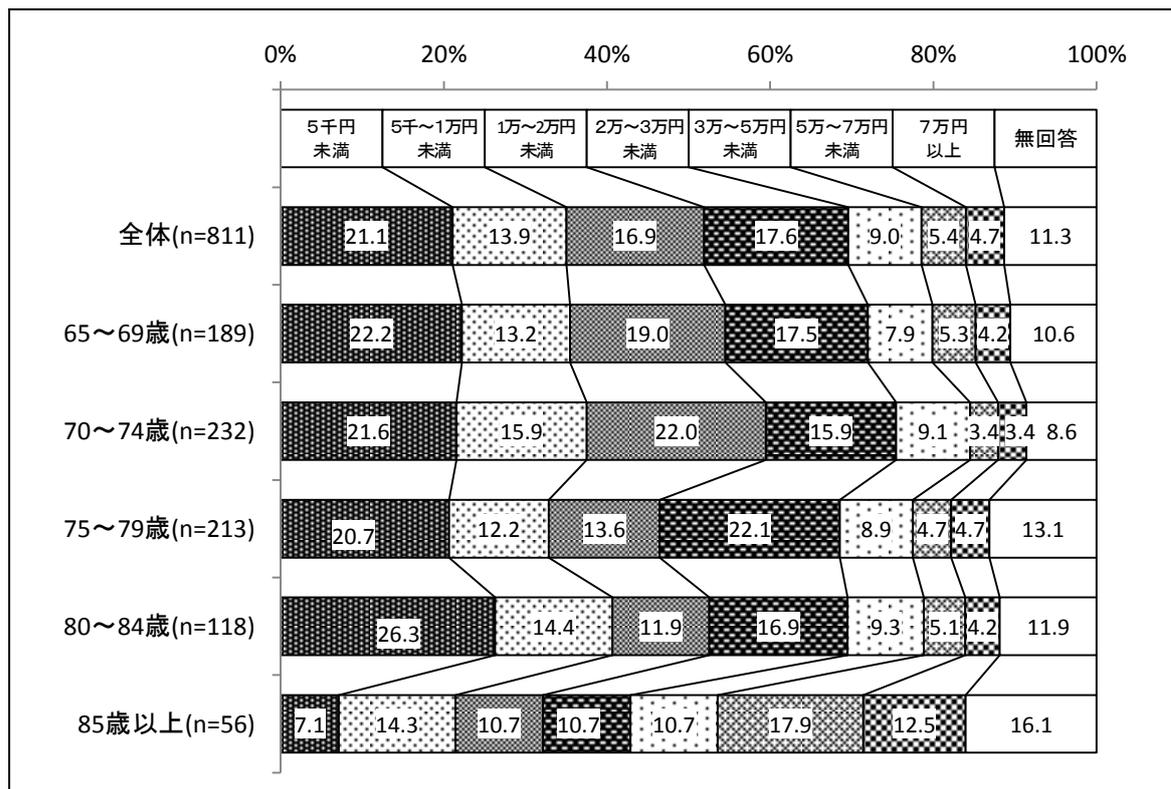
単位：%

	家族の介護を受けながら、自宅で生活したい	介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい	高齢者向け施設など（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など）に住み替えて、介護サービスを利用したい	介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい	その他	わからない	無回答
全体(n=811)	22.8	38.7	8.8	11.6	2.8	13.9	1.4
65～69歳(n=189)	16.9	38.1	10.6	12.2	1.6	18.5	2.1
70～74歳(n=232)	22.0	40.9	6.5	10.3	3.4	16.8	0.0
75～79歳(n=213)	25.8	38.5	9.4	11.7	2.8	10.3	1.4
80～84歳(n=118)	24.6	38.1	9.3	14.4	1.7	9.3	2.5
85歳以上(n=56)	32.1	32.1	8.9	8.9	5.4	10.7	1.8

問10(2) あなたがご自宅で介護保険のサービスを受けるにあたって、負担できる月額(介護を受けることに伴ってかかる費用であり、日常生活に係る費用は除きます)はどの程度まで可能ですか(○は1つ)

自宅で介護保険サービスを受けるにあたっての可能な負担金額(月額)については、「5千円未満」21.1%が最も多く、次いで「2万～3万円未満」17.6%、「1万～2万円未満」16.9%であった。

いずれの年齢層においても、5千円未満から7万円以上までの幅広い金額の回答が見られた。



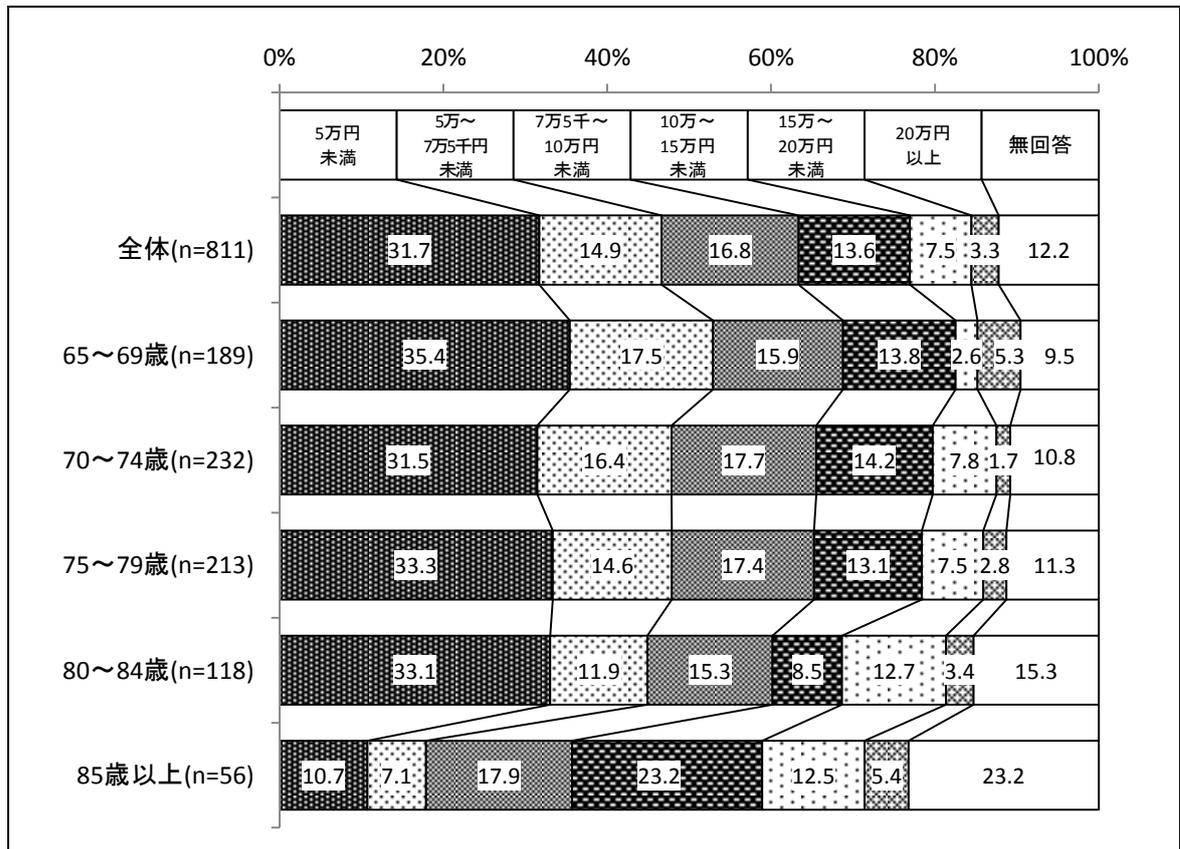
単位：%

	5千円未満	5千～1万円未満	1万～2万円未満	2万～3万円未満	3万～5万円未満	5万～7万円未満	7万円以上	無回答
全体(n=811)	21.1	13.9	16.9	17.6	9.0	5.4	4.7	11.3
65～69歳(n=189)	22.2	13.2	19.0	17.5	7.9	5.3	4.2	10.6
70～74歳(n=232)	21.6	15.9	22.0	15.9	9.1	3.4	3.4	8.6
75～79歳(n=213)	20.7	12.2	13.6	22.1	8.9	4.7	4.7	13.1
80～84歳(n=118)	26.3	14.4	11.9	16.9	9.3	5.1	4.2	11.9
85歳以上(n=56)	7.1	14.3	10.7	10.7	10.7	17.9	12.5	16.1

問 10 (3) 今後、もしあなたが施設に入所するとしたら、1 か月間にかかる費用は総額でいくらまで負担できますか (〇は1つ)

施設に入所するにあたっての可能な負担金額(月額)については、「5万円未満」31.7%が最も多く、次いで「7万5千～10万円未満」16.8%、「5万～7万5千円未満」が14.9%であった。

全体の63.4%が、負担可能な金額として10万円以下を回答していた。



単位：%

	5万円未満	5万～7万5千円未満	7万5千～10万円未満	10万～15万円未満	15万～20万円未満	20万円以上	無回答
全体(n=811)	31.7	14.9	16.8	13.6	7.5	3.3	12.2
65～69歳(n=189)	35.4	17.5	15.9	13.8	2.6	5.3	9.5
70～74歳(n=232)	31.5	16.4	17.7	14.2	7.8	1.7	10.8
75～79歳(n=213)	33.3	14.6	17.4	13.1	7.5	2.8	11.3
80～84歳(n=118)	33.1	11.9	15.3	8.5	12.7	3.4	15.3
85歳以上(n=56)	10.7	7.1	17.9	23.2	12.5	5.4	23.2

問 10 (4) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設※¹」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費※²は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください（○は1つ）

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

調査対象者の考えに近いものは、「介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ」30.6%が最も多く、次いで「介護保険料の上昇を必要最低限に抑えられるよう、重度（要介護4・5）の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ」27.7%であった。

75歳以上の人では、在宅サービスの充実に力を注ぐべきと考える人が多い傾向が見られた。

単位：%

	たとえ介護保険料が 上昇しても、施設 入所を希望する方が 入所できるように 介護保険施設を 整備すべきだ	介護保険料の上昇を 必要最低限度に 抑えられるよう、 重度（要介護4・5） の方や、身寄りのない 高齢者の方に限って 入所できるように、 介護保険施設を 整備すべきだ	介護保険料が これ以上上昇しない よう、施設を整備する よりも、在宅サービスの 充実に力を注ぐべきだ	その他	無回答
全体(n=811)	24.7	27.7	30.6	9.0	8.0
65～69歳(n=189)	23.3	31.7	28.6	9.0	7.4
70～74歳(n=232)	28.4	27.2	27.6	9.1	7.8
75～79歳(n=213)	22.1	27.7	35.2	8.5	6.6
80～84歳(n=118)	25.4	24.6	32.2	5.9	11.9
85歳以上(n=56)	21.4	25.0	28.6	16.1	8.9

問 11 高齢者福祉サービスの充実について

問 11 (1) 超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと思いますか (○は1つ)

今後の高齢者福祉サービスのあり方については、「福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく」32.1%が最も多く、次いで「現状の高齢者福祉サービスについて、必要性と内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく」30.0%、「地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく」12.7%であった。

年齢が若い人ではサービスの必要性・内容の再検討を挙げる意見が多く、80歳以上の人では行政による福祉サービスの提供・拡大を求める意見が多い傾向が見られた。

単位：%

	地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく	現状の高齢者福祉サービスについて、必要性と内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく	福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく	その他	わからない	無回答
全体(n=811)	12.7	30.0	32.1	2.5	19.5	3.3
65～69歳(n=189)	14.8	34.9	27.0	2.6	18.0	2.6
70～74歳(n=232)	14.2	29.3	28.4	2.6	21.6	3.9
75～79歳(n=213)	10.3	35.2	33.8	1.4	17.4	1.9
80～84歳(n=118)	11.0	18.6	39.8	3.4	21.2	5.9
85歳以上(n=56)	12.5	21.4	41.1	1.8	19.6	3.6

問 11 (2) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。
あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか（それぞれ○は1つ）

① 地域包括支援センター

地域包括支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」52.5%が最も多く、次いで「知らない」36.7%、「利用している・利用したことがある」9.4%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の61.9%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことは ないが、名前だけは 知っている	知らない	無回答
全体(n=811)	9.4	52.5	36.7	1.4
65～69歳(n=189)	6.3	46.0	46.6	1.1
70～74歳(n=232)	9.5	55.6	32.8	2.2
75～79歳(n=213)	6.6	55.9	37.1	0.5
80～84歳(n=118)	12.7	55.9	28.8	2.5
85歳以上(n=56)	23.2	42.9	33.9	0.0

② 在宅介護支援センター

在宅介護支援センターの利用・認識状況については、「利用したことはないが、名前だけは知っている」49.9%が最も多く、次いで「知らない」45.7%、「利用している・利用したことがある」2.6%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の52.5%であった。

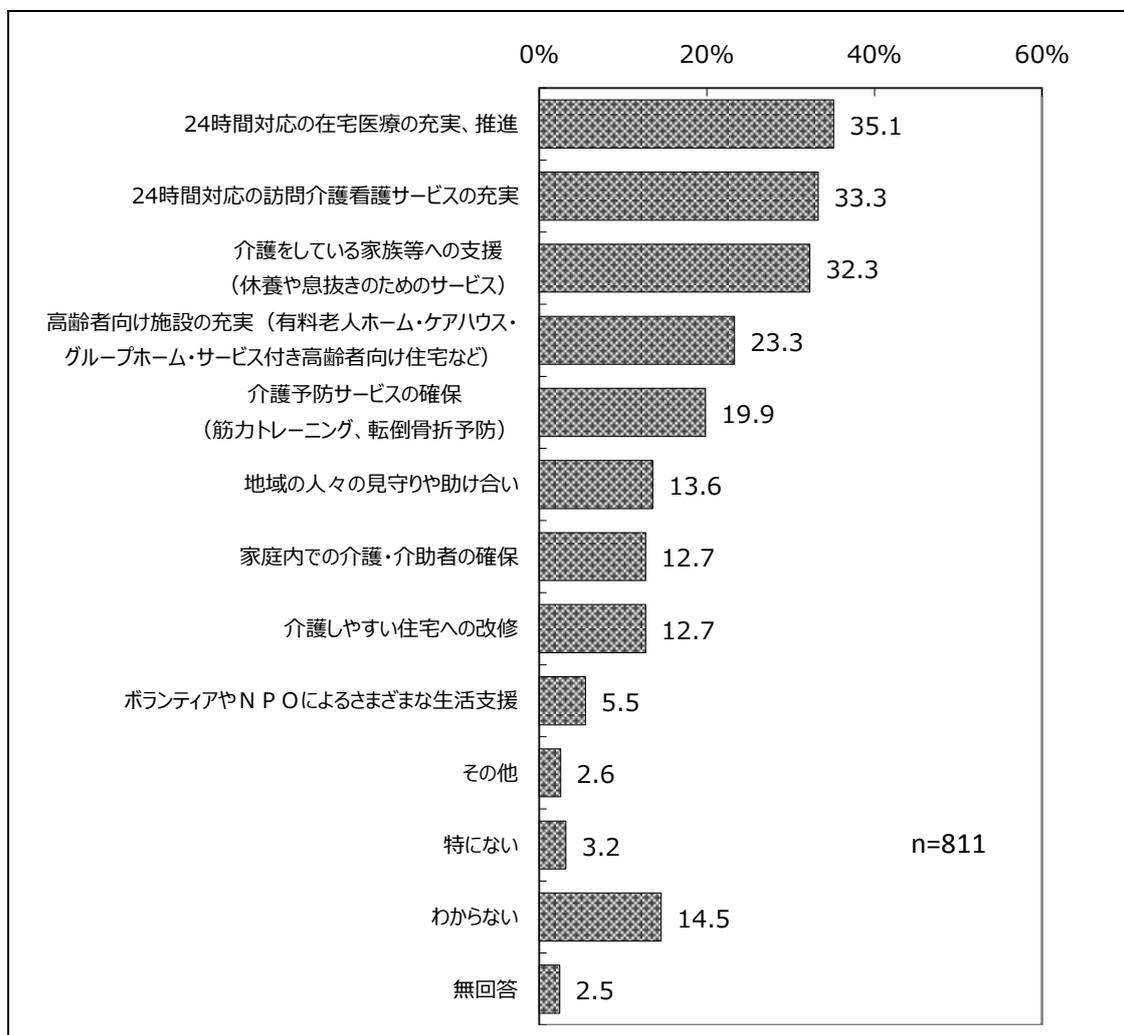
単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことは ないが、名前だけは 知っている	知らない	無回答
全体(n=811)	2.6	49.9	45.7	1.7
65～69歳(n=189)	1.6	49.7	47.1	1.6
70～74歳(n=232)	3.0	51.3	43.5	2.2
75～79歳(n=213)	1.9	49.8	47.4	0.9
80～84歳(n=118)	4.2	54.2	39.0	2.5
85歳以上(n=56)	3.6	39.3	55.4	1.8

問 11 (3) 可能なかぎり住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために、あなたはどのようなサービスが必要だと思いますか (〇は3つまで)

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要だと思うサービスについては、「24時間対応の在宅医療の充実、推進」35.1%、「24時間対応の訪問介護看護サービスの充実」33.3%、「介護をしている家族等への支援(休養や息抜きのためのサービス)」32.3%、「高齢者向け施設の充実(有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など)」23.3%であった。

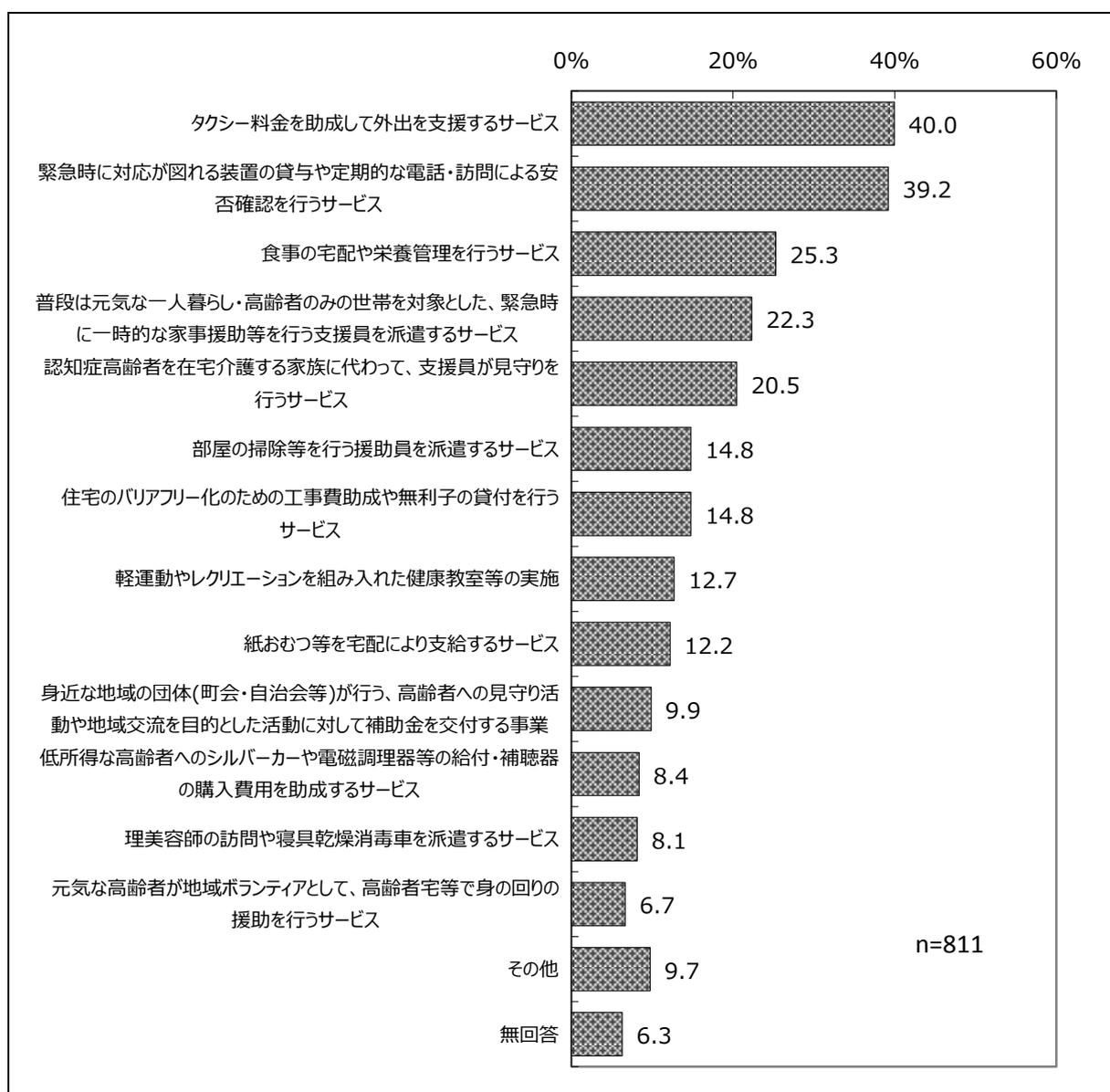
24時間対応のサービスを挙げる回答が多い一方、「介護予防サービスの確保」は19.9%、「地域の人々の見守りや助け合い」は13.6%と、介護が必要な人以外にも関わりの深い項目については比較的割合が小さい傾向が見られた。



問 11 (4) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと考えますか (〇は3つまで)

今後充実すべき在宅高齢者福祉サービスについては、「タクシー料金を助成して外出を支援するサービス」40.0%、「緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス」39.2%、「食事の宅配や栄養管理を行うサービス」25.3%、「普段は元気な一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象とした、緊急時に一時的な家事援助等を行う支援員を派遣するサービス」22.3%であった。

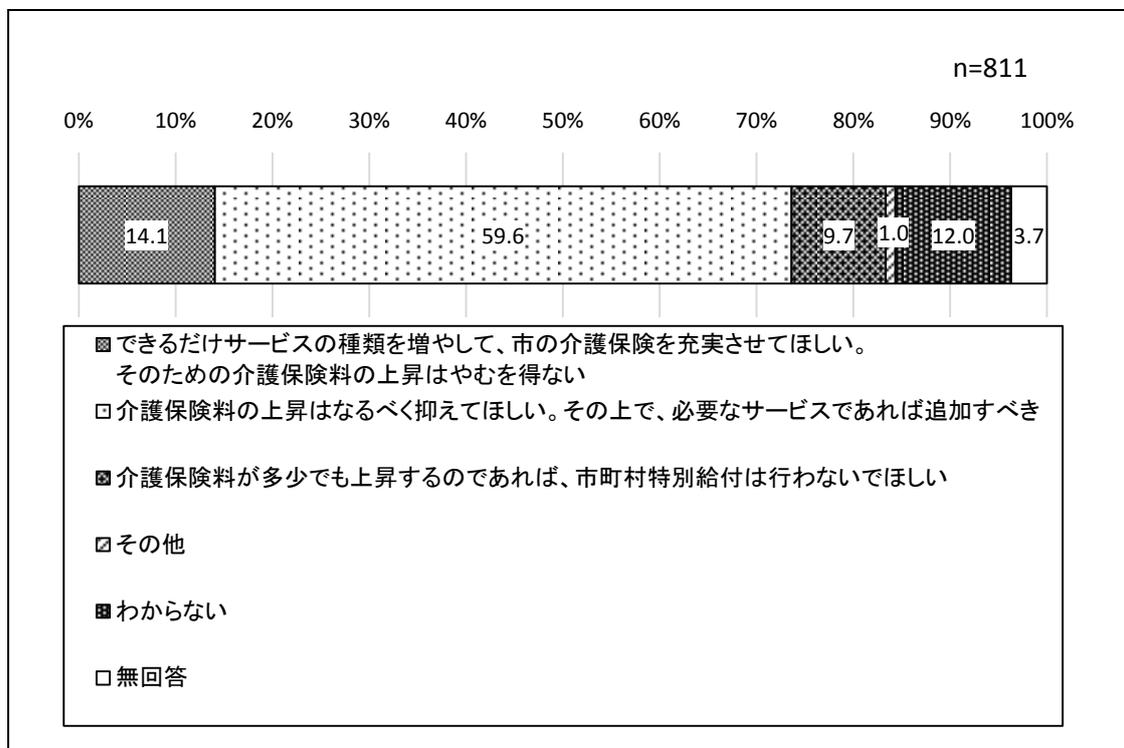
回答として多かったサービスは、外出支援、緊急時対応や安否確認、配食サービス等多岐にわたっており、特定のサービスのみを整備するだけでなく、生活を様々な面から総合的に支援することの重要性がうかがえた。



問 11 (5) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか(○は1つ)

市町村特別給付について調査対象者の考えに近いものは、「介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき」59.6%が最も多く、次いで「できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない」14.1%、「介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい」9.7%であった。

市町村特別給付については、必要なサービスであれば追加すべきとする意見が多く見られた。



問 11 (6) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

敬老記念品（購入券）の今後のあり方については、「現在のまま継続する」52.7%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」28.0%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」10.1%であった。これを年齢別にみると、65～69歳では、事業継続が42.3%、事業の縮小・見直しが37.0%と割合に近い傾向が見られたが、その他の年齢層では事業継続を挙げる意見が多かった。

単位：%

	現在のまま 継続する	他の高齢者福祉 事業の充実の ため、事業の 縮小や廃止等の 見直しをする	高齢者福祉事業 に限定せず、 他の事業の充実の ため、事業の 縮小や廃止等の 見直しをする	その他	無回答
全体(n=811)	52.7	28.0	10.1	3.8	5.4
65～69歳(n=189)	42.3	37.0	12.2	3.2	5.3
70～74歳(n=232)	48.3	30.6	12.1	3.4	5.6
75～79歳(n=213)	57.3	23.0	9.9	3.8	6.1
80～84歳(n=118)	58.5	24.6	6.8	5.1	5.1
85歳以上(n=56)	78.6	14.3	3.6	1.8	1.8

② 敬老会を実施する町会・自治会等に対する敬老行事交付金

敬老行事交付金の今後のあり方については、「現在のまま継続する」51.2%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」30.2%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」8.9%であった。いずれの年齢層でも事業継続を挙げる意見が多かった。

単位：%

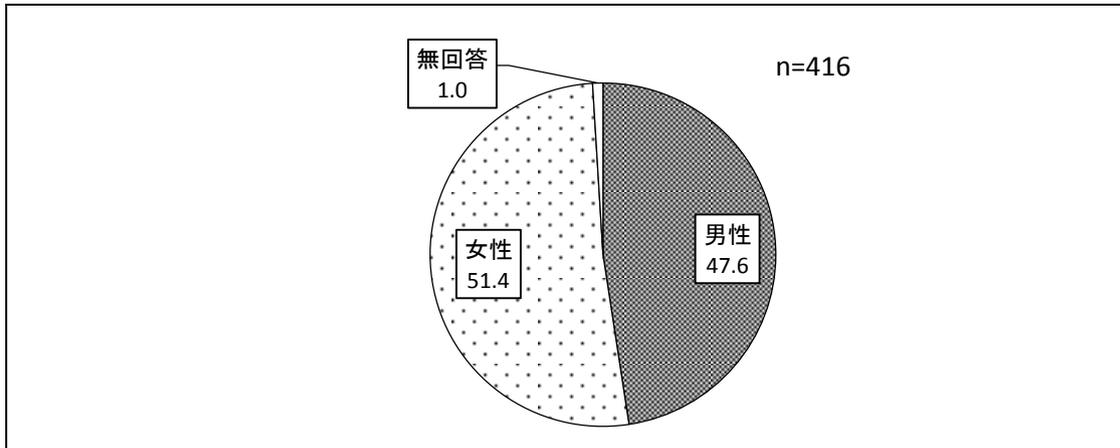
	現在のまま 継続する	他の高齢者福祉 事業の充実の ため、事業の 縮小や廃止等の 見直しをする	高齢者福祉事業 に限定せず、 他の事業の充実の ため、事業の 縮小や廃止等の 見直しをする	その他	無回答
全体(n=811)	51.2	30.2	8.9	3.9	5.8
65～69歳(n=189)	45.5	36.0	7.9	3.7	6.9
70～74歳(n=232)	49.1	34.5	10.3	1.7	4.3
75～79歳(n=213)	51.2	27.2	11.3	4.2	6.1
80～84歳(n=118)	56.8	25.4	5.1	5.9	6.8
85歳以上(n=56)	69.6	16.1	5.4	5.4	3.6

第5章 若年調査

問1 あなたのご家族や生活状況について

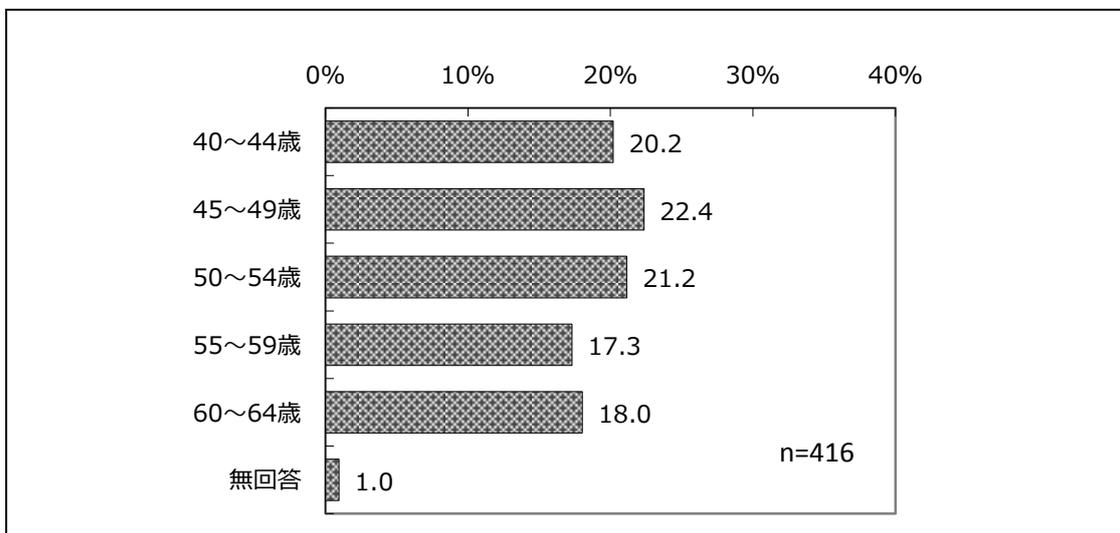
問1（1）あなたの性別をお教えてください（○は1つ）

性別については、「女性」51.4%、「男性」47.6%であった。



問1（2）あなたの年齢をお教えてください（○は1つ）

年齢については、「45～49歳」22.4%が最も多く、次いで「50～54歳」21.2%、「40～44歳」20.2%であった。



問1(3) あなたの家族構成は次のどれですか(○は1つ)

家族構成については、「夫婦2人と未婚の子(1世帯)」46.9%が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」15.1%、「親と(自身を含む)夫婦2人と未婚の子」7.9%であった。これを年齢別にみると、年齢が上がるほど「夫婦2人と未婚の子(1世帯)」の割合が小さくなる傾向が見られた。

単位：%

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	親と(自身を含む)夫婦2人	親と(自身を含む)夫婦2人と未婚の子	夫婦2人と未婚の子(1世帯)	その他	無回答
全体(n=416)	7.7	3.1	15.1	2.2	2.4	7.9	46.9	13.9	0.7
40~44歳(n=84)	3.6	0.0	11.9	2.4	2.4	13.1	52.4	14.3	0.0
45~49歳(n=93)	8.6	0.0	17.2	1.1	1.1	7.5	51.6	12.9	0.0
50~54歳(n=88)	5.7	3.4	9.1	2.3	2.3	6.8	51.1	19.3	0.0
55~59歳(n=72)	8.3	1.4	20.8	2.8	2.8	9.7	43.1	11.1	0.0
60~64歳(n=75)	13.3	12.0	18.7	2.7	4.0	2.7	34.7	12.0	0.0

問1(4) あなたは現在、仕事をしていますか。また、どのくらいの頻度ですか(○は1つ)

仕事の有無・頻度については、「ほぼ毎日仕事についている」62.5%が最も多く、次いで「仕事はしていない」18.3%、「週に2~3日仕事についている」14.9%であった。年齢が上がるほど「ほぼ毎日仕事についている」の割合が小さくなる傾向が見られた。

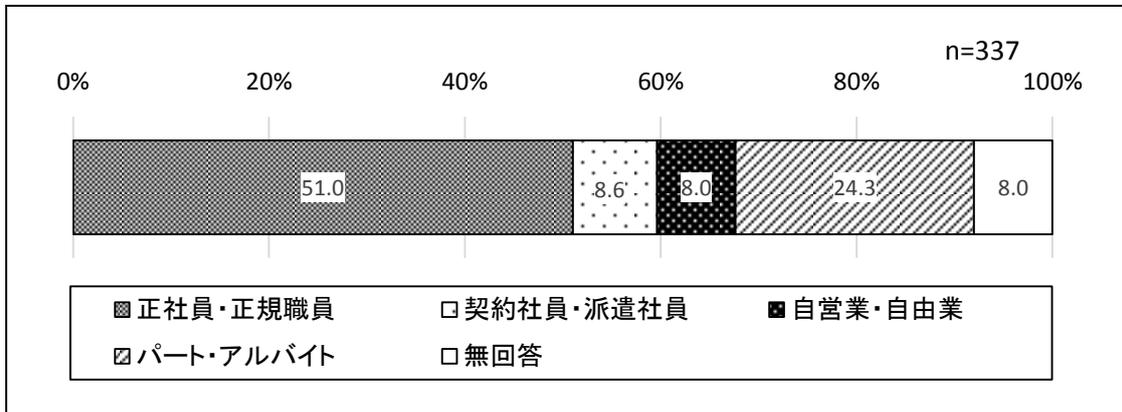
単位：%

	ほぼ毎日仕事についている	週に2~3日仕事についている	月に数日仕事についている	決まっていない	仕事はしていない	無回答
全体(n=416)	62.5	14.9	2.9	0.7	18.3	0.7
40~44歳(n=84)	71.4	14.3	2.4	0.0	11.9	0.0
45~49歳(n=93)	72.0	16.1	2.2	0.0	9.7	0.0
50~54歳(n=88)	61.4	17.0	2.3	0.0	19.3	0.0
55~59歳(n=72)	59.7	16.7	4.2	1.4	18.1	0.0
60~64歳(n=75)	48.0	9.3	4.0	2.7	36.0	0.0

問1【(4)において「ほぼ毎日仕事についている」～「決まっていない」と回答された方におたずねします】

①どのような働き方をされていますか(○は1つ)

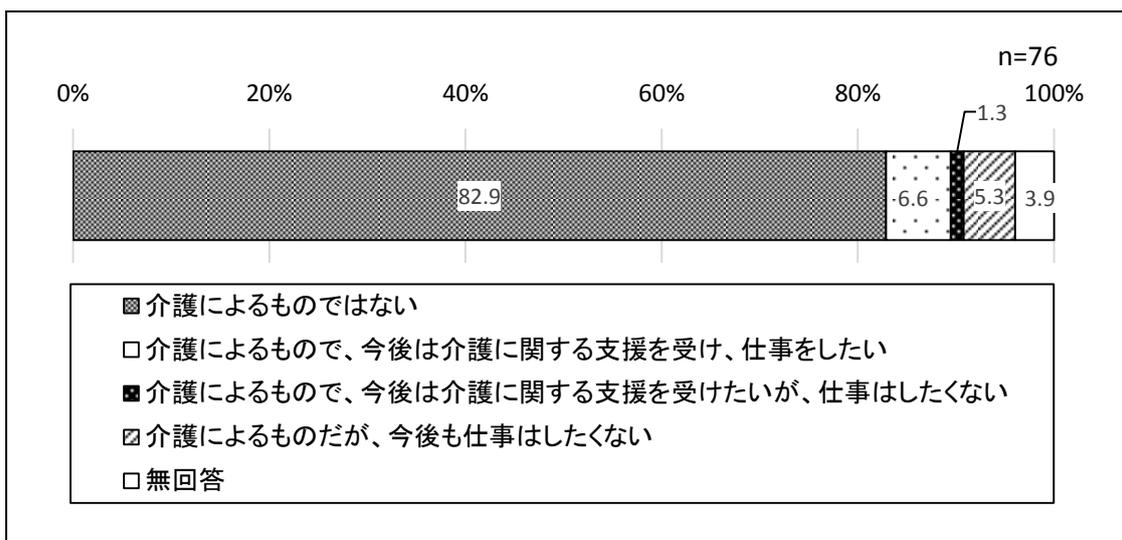
働き方については、「正社員・正規職員」51.0%が最も多く、次いで「パート・アルバイト」24.3%、「契約社員・派遣社員」8.6%であった。



問1【(4)において「仕事はしていない」と回答された方におたずねします】

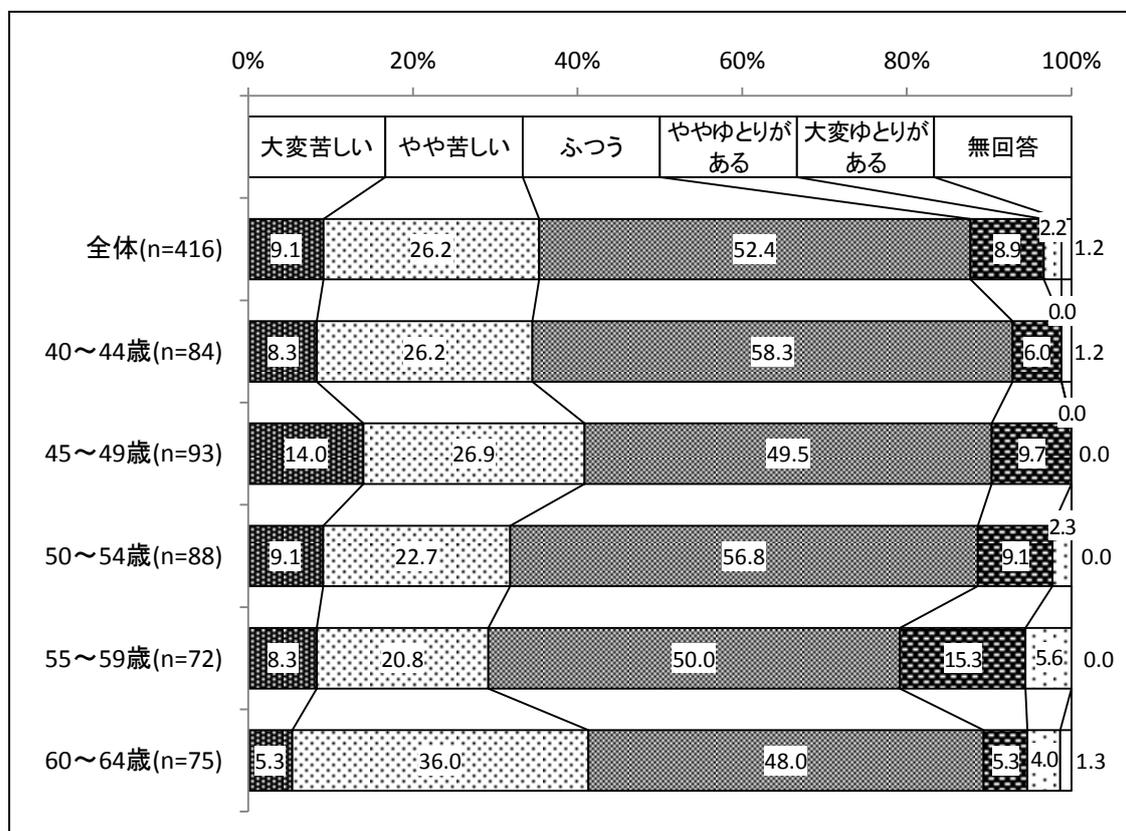
②仕事をしていない理由はご家族等の介護をするためですか。また、今後の意向について教えてください(○は1つ)

仕事をしていない理由が家族等の介護によるものかについては、「介護によるものではない」82.9%が最も多く、次いで「介護によるもので、今後は介護に関する支援を受け、仕事をしたい」6.6%、「介護によるもので、今後は介護に関する支援を受けたいが、仕事はしたくない」5.3%であった。介護のために職を離れているが就労意向のある人が6.6%いる状況であった。



問1 (5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」52.4%が最も多く、次いで「やや苦しい」26.2%、「大変苦しい」9.1%であった。これを年齢別にみると、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた割合が、各年代とも30~40%程度であった。



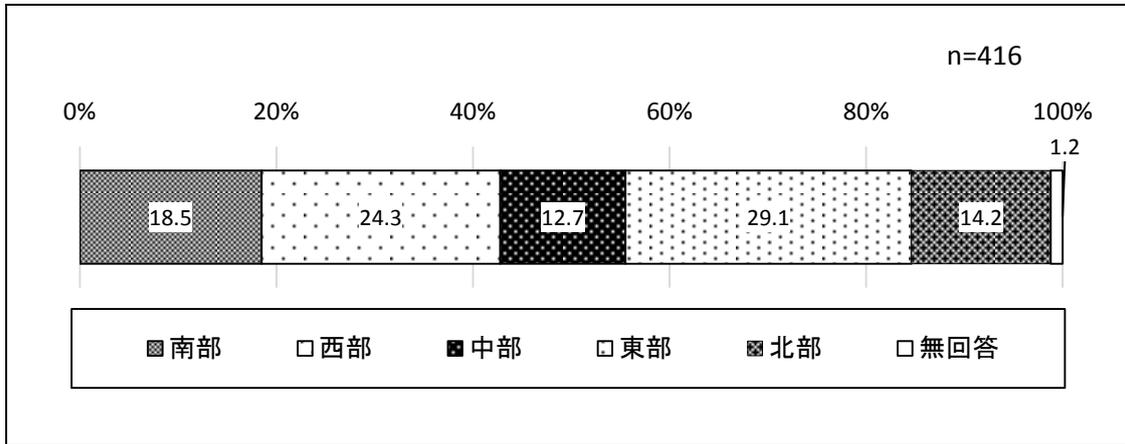
単位：%

	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体(n=416)	9.1	26.2	52.4	8.9	2.2	1.2
40~44歳(n=84)	8.3	26.2	58.3	6.0	0.0	1.2
45~49歳(n=93)	14.0	26.9	49.5	9.7	0.0	0.0
50~54歳(n=88)	9.1	22.7	56.8	9.1	2.3	0.0
55~59歳(n=72)	8.3	20.8	50.0	15.3	5.6	0.0
60~64歳(n=75)	5.3	36.0	48.0	5.3	4.0	1.3

問2 お住まいの地域について

問2(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に○をつけてください(○は1つ)

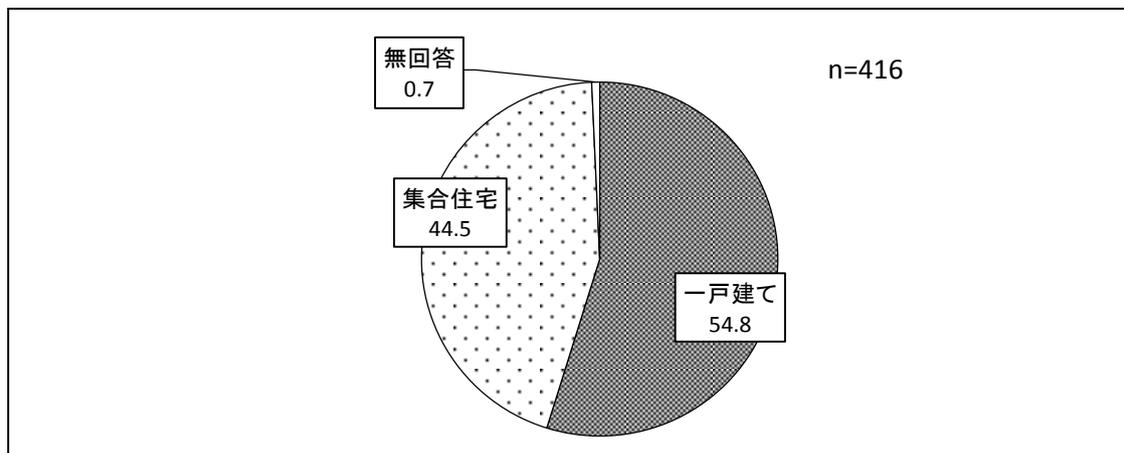
住まいについて、圏域別では「東部」29.1%が最も多く、次いで「西部」24.3%、「南部」18.5%であった。



問3 住環境について

問3(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか(○は1つ)

住居については、「一戸建て」54.8%、「集合住宅」44.5%であった。他の調査と比較して、集合住宅の割合が大きい傾向が見られた。



問3 (2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

居住形態については、「持ち家」82.2%、「民間賃貸住宅」10.3%、「UR賃貸住宅」2.9%であった。大半の人が持ち家に住んでいる状況がうかがえた。

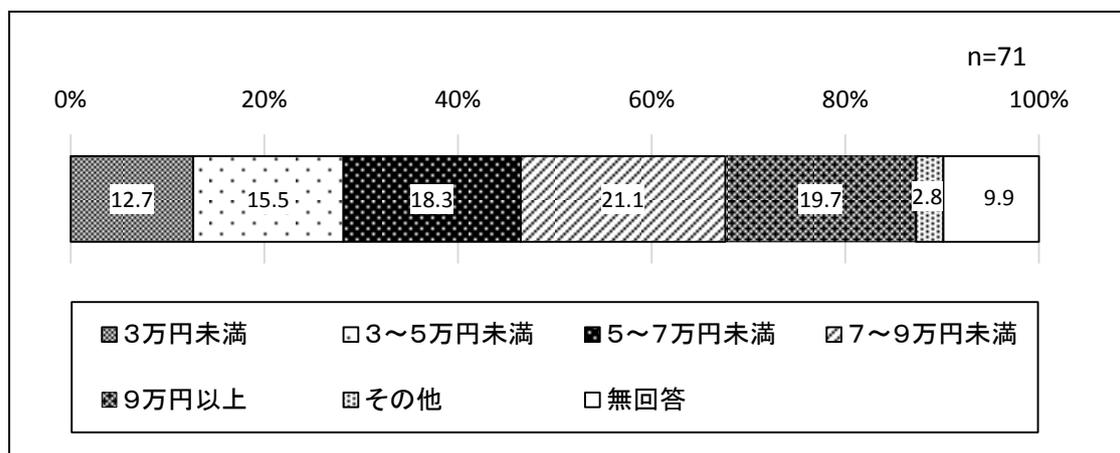
単位：%

	持ち家	民間賃貸住宅	UR賃貸住宅	公営住宅 (県営・市営)	高齢者向け施設など(有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅など)	その他	無回答
全体(n=416)	82.2	10.3	2.9	0.2	0.0	3.6	0.7
40~44歳(n=84)	79.8	10.7	1.2	0.0	0.0	7.1	1.2
45~49歳(n=93)	76.3	16.1	3.2	1.1	0.0	3.2	0.0
50~54歳(n=88)	88.6	4.5	2.3	0.0	0.0	4.5	0.0
55~59歳(n=72)	86.1	11.1	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4
60~64歳(n=75)	81.3	8.0	6.7	0.0	0.0	2.7	1.3

問3 [(2) において「民間賃貸住宅」～「その他」と回答された方におたずねします]

現在、あなたがお住まいの住宅の家賃(共益費を含む)は、次のどれにあたりますか(〇は1つ)

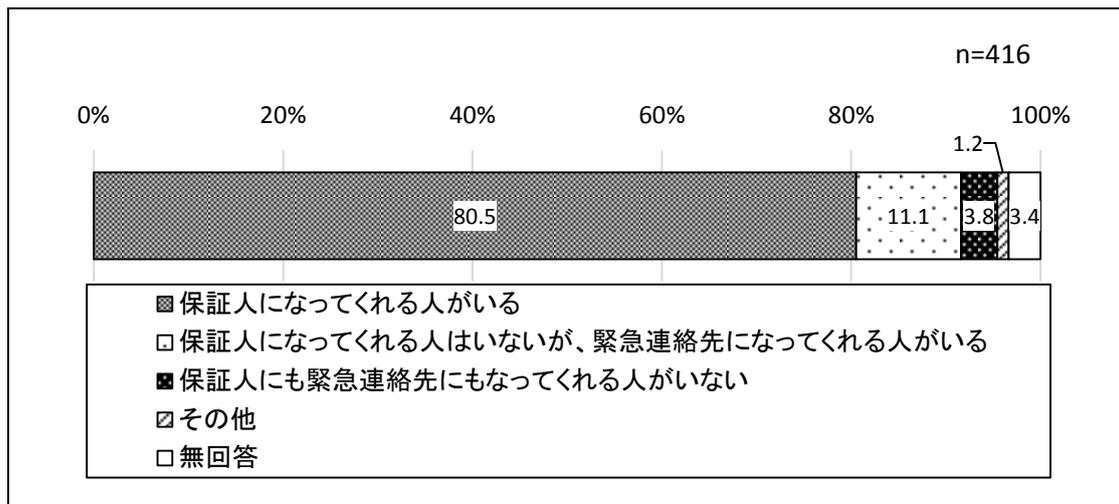
家賃については、「7～9万円未満」21.1%が最も多く、次いで「9万円以上」19.7%、「5～7万円未満」18.3%であった。



問3（3）あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか（○は1つ）

入院、施設入所等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいるかについては、「保証人になってくれる人がいる」80.5%が最も多く、次いで「保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる」11.1%、「保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない」3.8%であった。

保証人になってくれる人がいない割合は、全体の14.9%であった。



問3（4）あなたのお住まい（主に生活する部屋）は2階、もしくは2階より上にありますか（○は1つ）

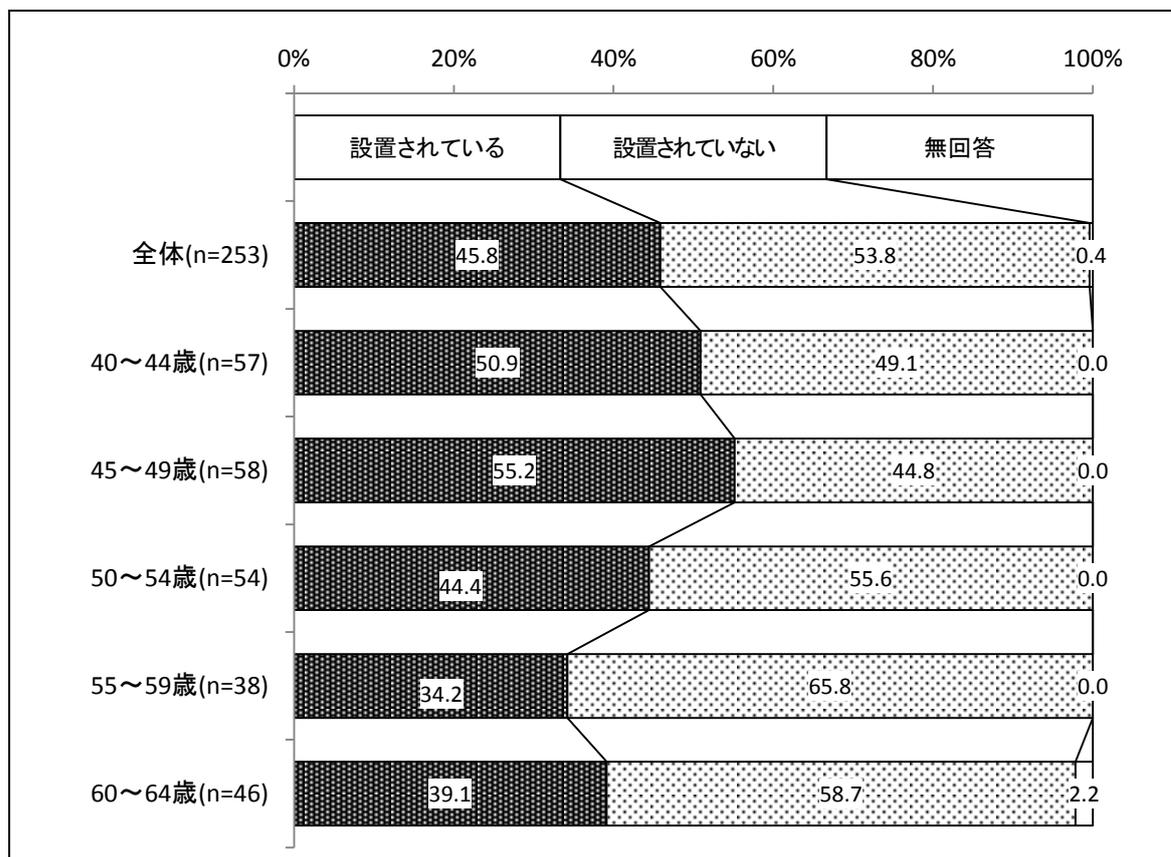
主に生活する部屋が2階以上にあるかについては、「はい（2階、もしくは2階より上にある）」が60.8%、「いいえ」36.8%であり、半数以上が2階以上に生活する部屋を有している状況であった。

単位：%

	はい（2階、もしくは2階より上にある）	いいえ	無回答
全体(n=416)	60.8	36.8	2.4
40～44歳(n=84)	67.9	31.0	1.2
45～49歳(n=93)	62.4	35.5	2.2
50～54歳(n=88)	61.4	37.5	1.1
55～59歳(n=72)	52.8	43.1	4.2
60～64歳(n=75)	61.3	34.7	4.0

**問3【(4)において「はい」と回答された方におたずねします】
お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか（〇は1つ）**

住まいにエレベーターが設置されているかについては、「設置されていない」53.8%、「設置されている」45.8%であった。これを年齢別にみると、「設置されていない」の割合は55～59歳では65.8%、60～64歳では58.7%であり、今後10年以内に65歳以上となる人の6割程度が、外出にあたり階段昇降が必要な住環境となっていた。

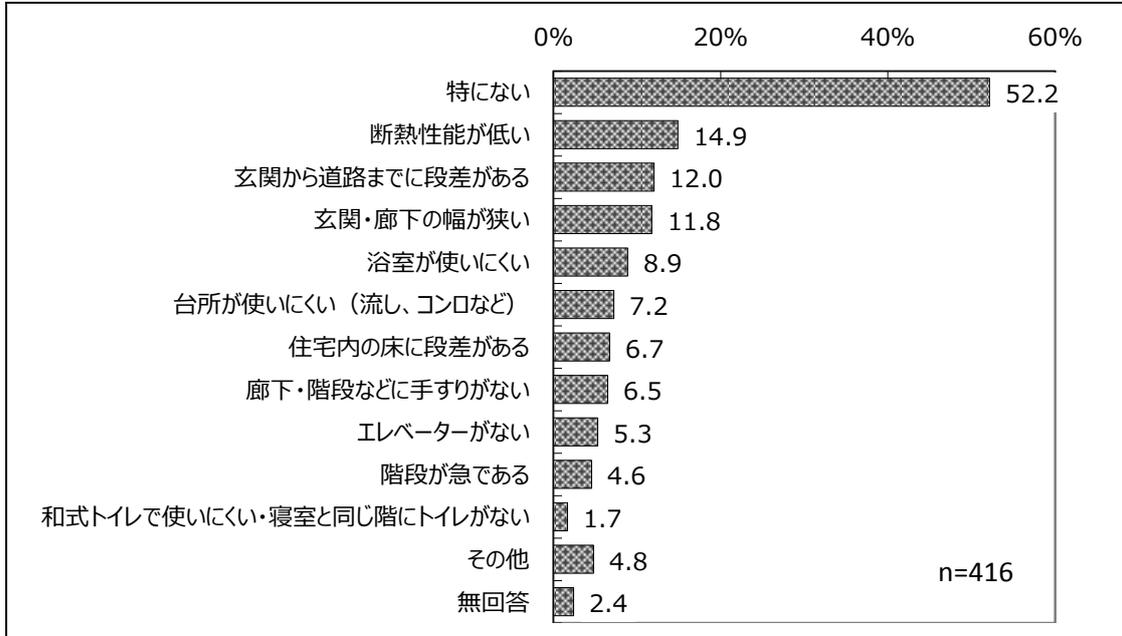


単位：%

	設置されている	設置されていない	無回答
全体(n=253)	45.8	53.8	0.4
40～44歳(n=57)	50.9	49.1	0.0
45～49歳(n=58)	55.2	44.8	0.0
50～54歳(n=54)	44.4	55.6	0.0
55～59歳(n=38)	34.2	65.8	0.0
60～64歳(n=46)	39.1	58.7	2.2

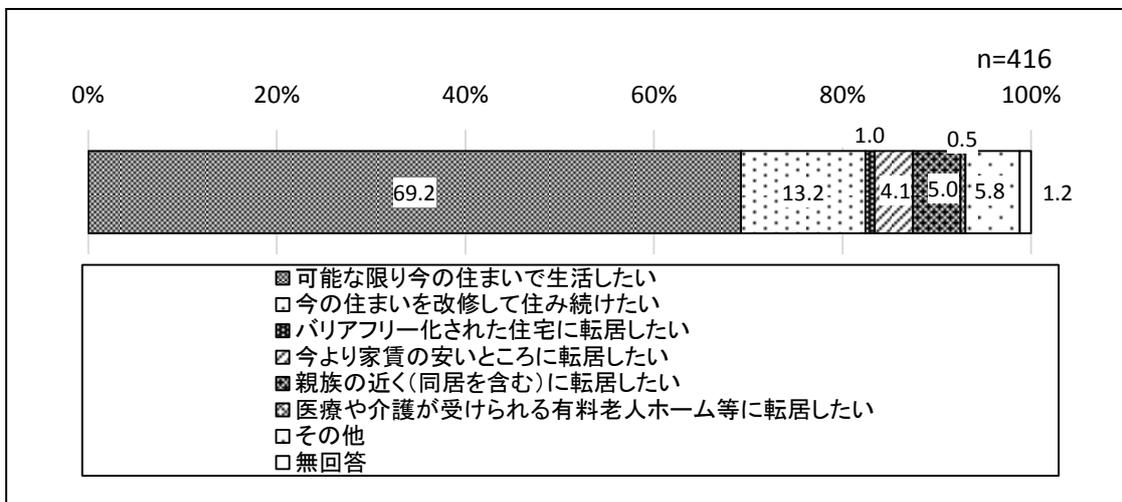
問3 (5) あなたのお住まいの中で、不便なところはありますか (○は主なもの3つまで)

住まいに不便なところがあるかについては、「特にない」52.2%、「断熱性能が低い」14.9%、「玄関から道路までに段差がある」12.0%、「玄関・廊下の幅が狭い」11.8%、「浴室が使いにくい」8.9%であった。最も多かったのは「特にない」であったが、住まいの中で不便なところを挙げる回答も一定数が見られた。



問3 (6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか (○は1つ)

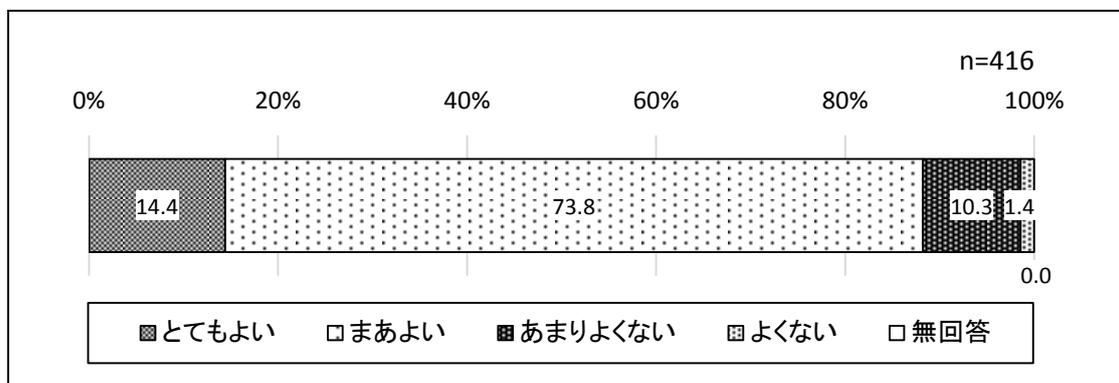
今後も現在の住まいで生活していきたいと思うかについては、「可能な限り今の住まいで生活したい」69.2%が最も多く、次いで「今の住まいを改修して住み続けたい」13.2%、「親族の近く (同居含む) に転居したい」5.0%であった。今の住まいに住み続けたいとする回答が大半で、転居したいとの意向がある方は全体の 10.6%であった。



問4 健康について

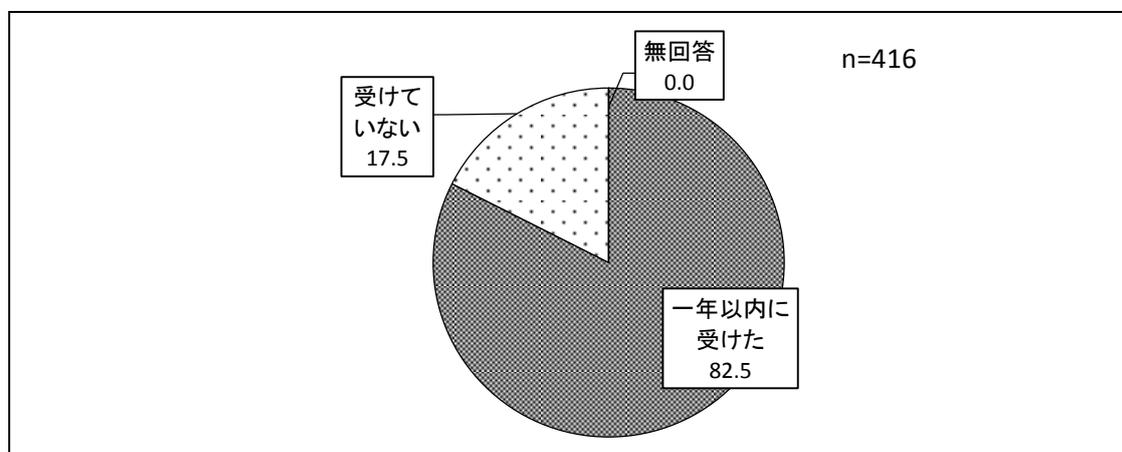
問4（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか（〇は1つ）

健康状態については、「まあよい」73.8%が最も多く、次いで「とてもよい」14.4%、「あまりよくない」10.3%であった。「あまりよくない」「よくない」を合わせると11.7%の回答があった。



問4（2）あなたは、一年以内に健康診断を受けましたか（〇は1つ）

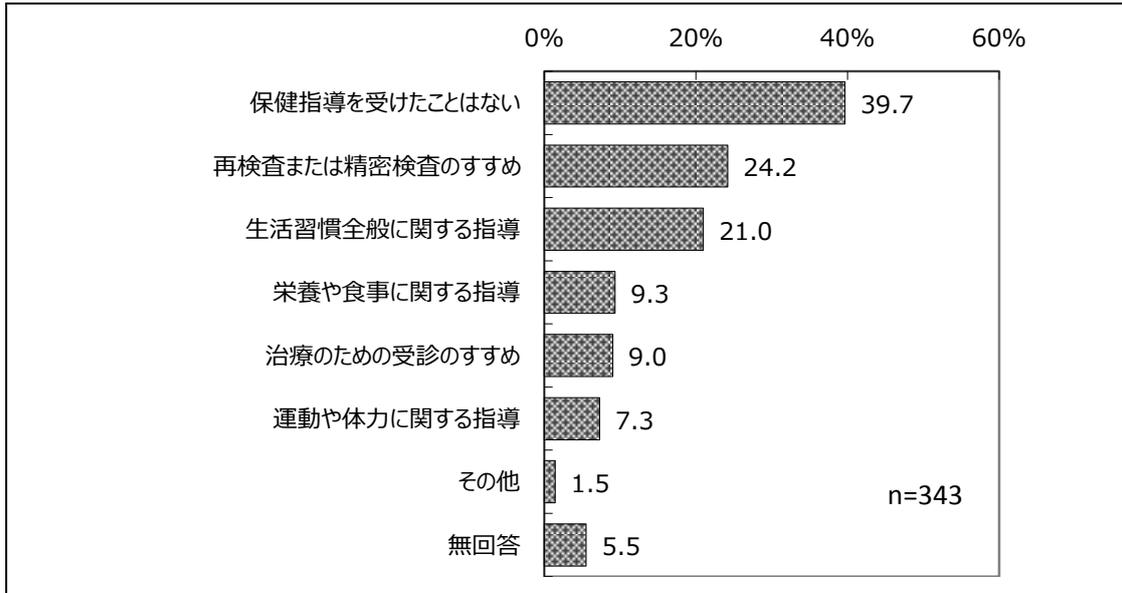
一年以内に健康診断を受けたかについては、「一年以内に受けた」82.5%、「受けていない」17.5%であった。



問4 【(2) において「一年以内に受けた」と回答された方におたずねします】

あなたは、この1年間に健康診断の結果、医師や保健師等から次のような保健指導を受けたことがありますか（〇はいくつでも）

保健指導を受けたことがあるかについては、「保健指導を受けたことはない」39.7%が最も多く、次いで「再検査または精密検査のすすめ」24.2%、「生活習慣全般に関する指導」21.0%であった。55～59歳以外の年齢層では、健康診断の結果何らかの保健指導を受けたと思われる人が半数以上いる状況であった。

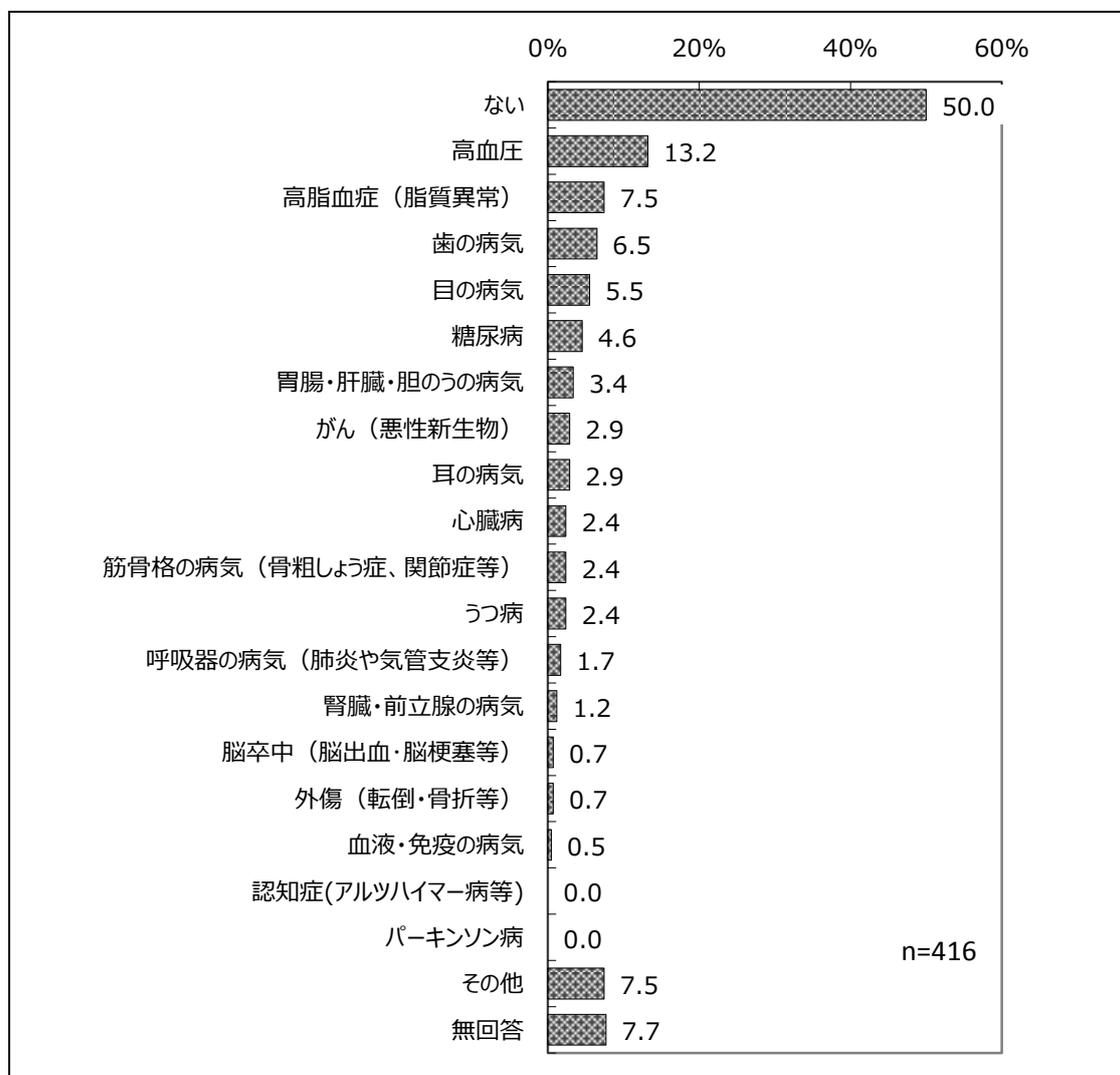


単位：%

	生活習慣全般に関する指導	再検査または精密検査のすすめ	栄養や食事に関する指導	運動や体力に関する指導	治療のための受診のすすめ	その他	保健指導を受けたことはない	無回答
全体(n=343)	21.0	24.2	9.3	7.3	9.0	1.5	39.7	5.5
40～44歳(n=72)	18.1	23.6	11.1	4.2	6.9	0.0	47.2	2.8
45～49歳(n=82)	24.4	31.7	11.0	9.8	8.5	1.2	35.4	3.7
50～54歳(n=65)	15.4	27.7	7.7	9.2	13.8	3.1	36.9	7.7
55～59歳(n=60)	20.0	20.0	3.3	6.7	1.7	1.7	53.3	5.0
60～64歳(n=60)	28.3	15.0	13.3	6.7	13.3	1.7	26.7	8.3

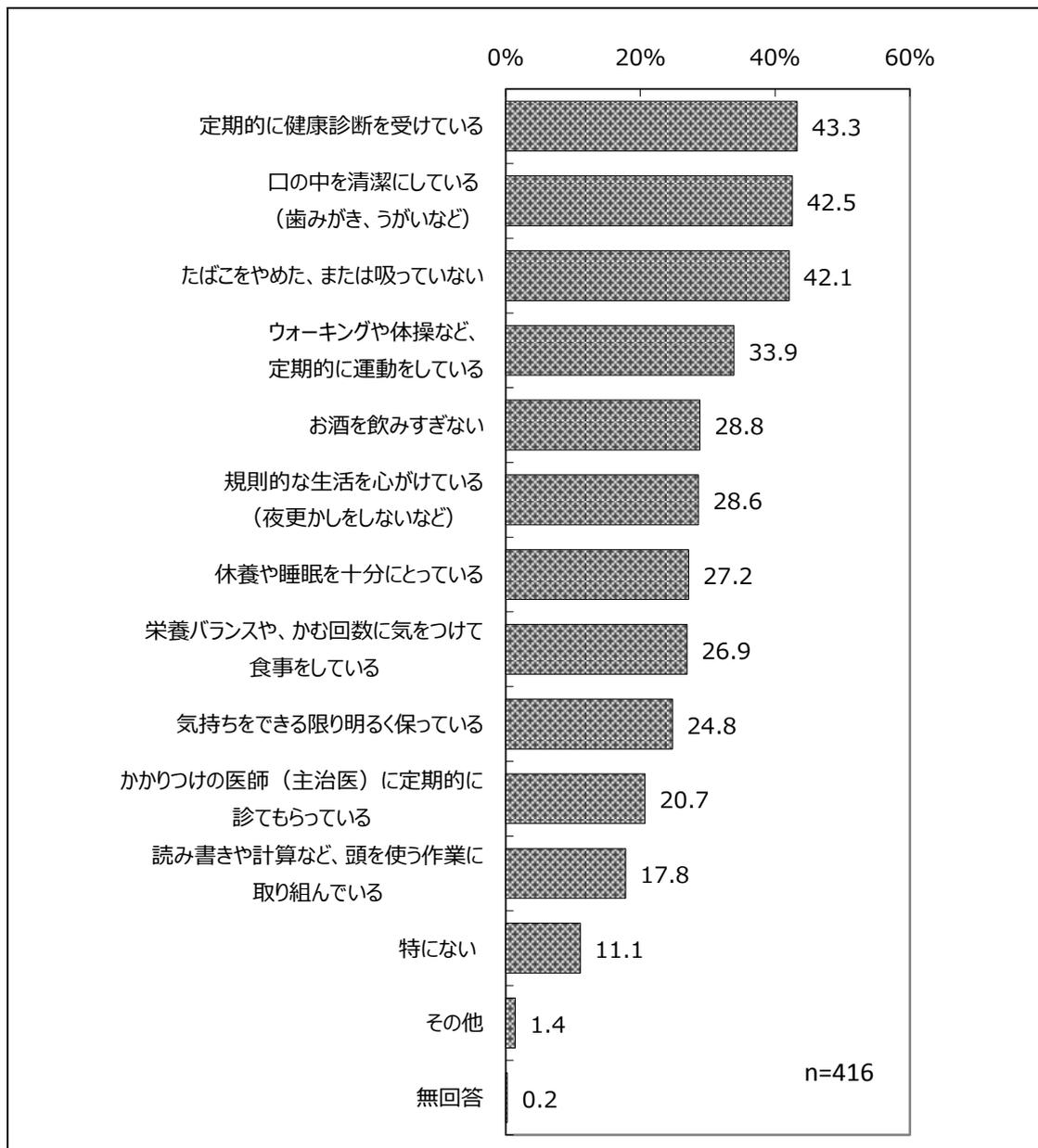
問4（3）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「ない」50.0%が最も多く、次いで「高血圧」13.2%、「高脂血症（脂質異常）」7.5%であった。最も多かったのは「ない」であったが、それ以外の人についてみると、現在治療中、または後遺症のある病気は様々である状況がうかがえた。



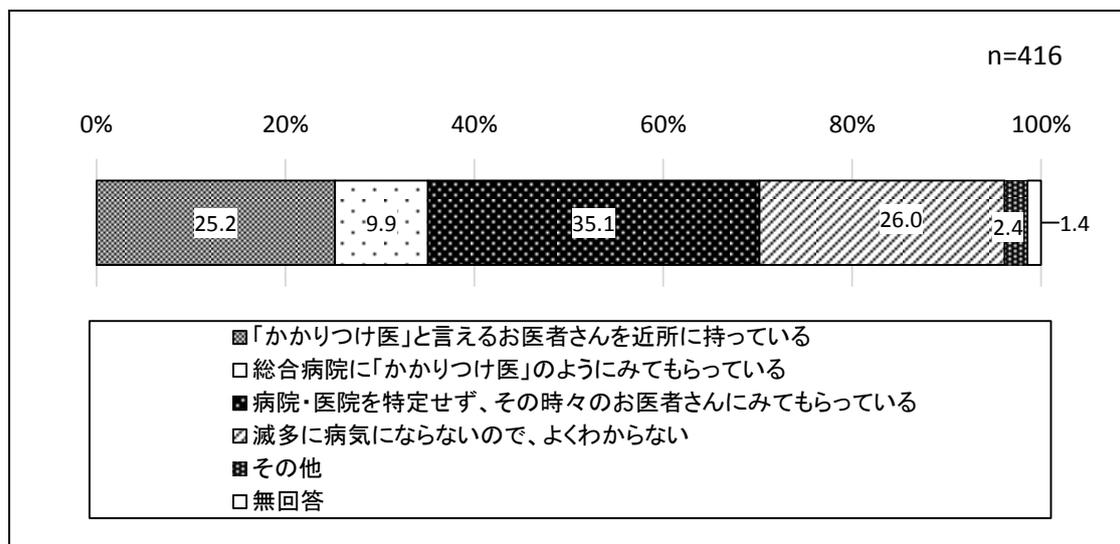
問4（4）あなたは、ふだんから健康や介護予防のために気をつけていることはありますか（〇はいくつでも）

健康や介護予防のため気をつけていることについては、「定期的に健康診断を受けている」43.3%が最も多く、次いで「口の中を清潔にしている（歯みがき、うがいなど）」42.5%、「たばこをやめた、または吸っていない」42.1%であった。何らかの行動をとっている人が多い一方、「特にない」と回答した人も11.1%であった。



問4 (5) あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか (〇は1つ)

かかりつけ医の有無については、「病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんに見てもらっている」35.1%が最も多く、次いで「滅多に病気にならないので、よくわからない」26.0%、「「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている」25.2%であった。近隣にかかりつけ医を持つ人は25.2%であった。



問5 地域での活動について

問5 (1) あなたは、現在、ボランティア活動をしていますか (〇は1つ)

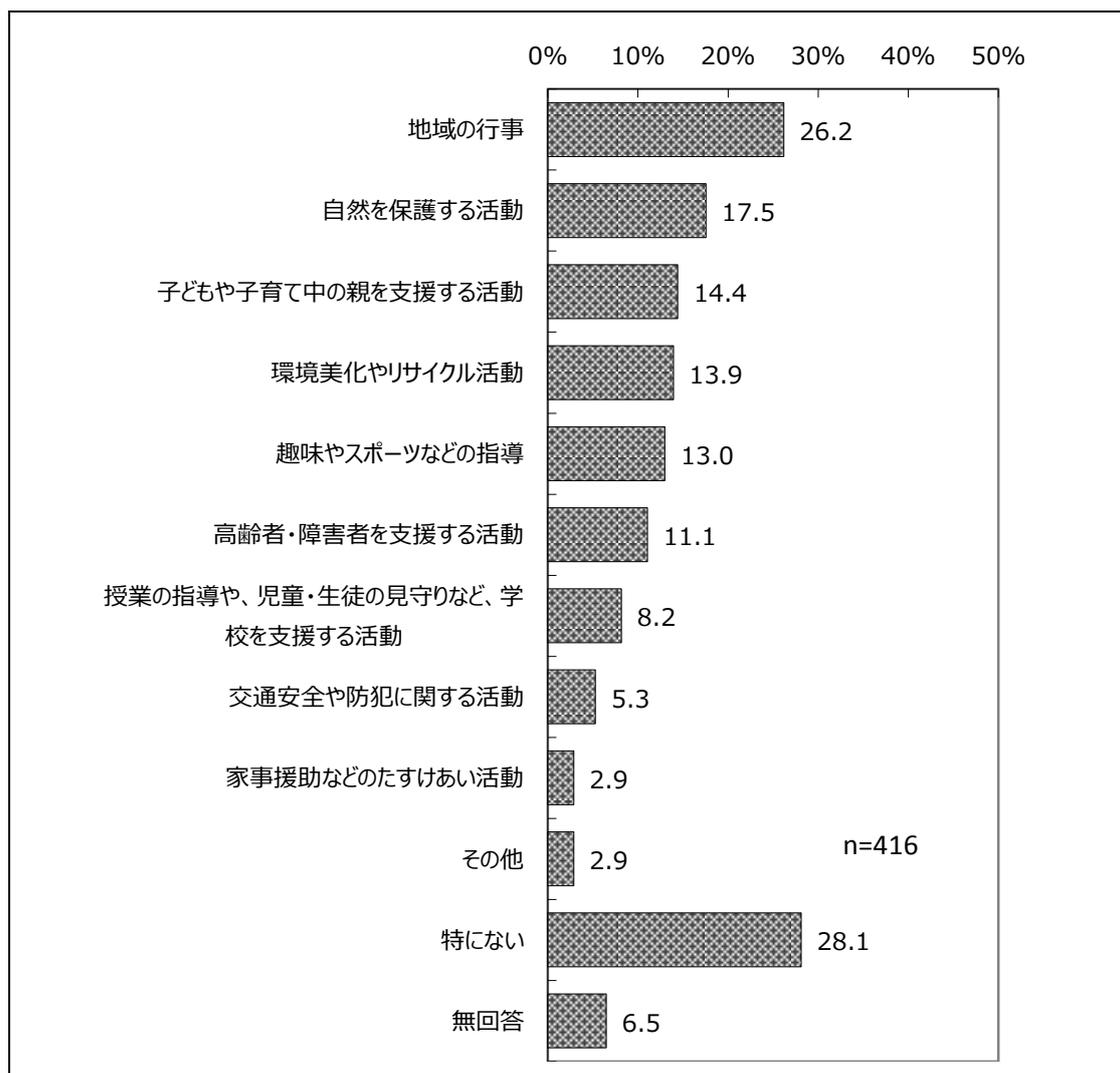
ボランティア活動の参加の有無については、「していないし、今後もやるつもりはない」49.8%が最も多く、次いで「していないが、今後はやりたい」42.1%、「ボランティア活動をしている」7.5%であった。これを年齢別にみると、55歳以上の人では「していないが、今後はやりたい」と考える人の割合が大きい傾向が見られた。

単位：%

	ボランティア活動をしている	していないが、今後はやりたい	していないし、今後もやるつもりはない	無回答
全体(n=416)	7.5	42.1	49.8	0.7
40～44歳(n=84)	6.0	39.3	54.8	0.0
45～49歳(n=93)	8.6	36.6	54.8	0.0
50～54歳(n=88)	4.5	36.4	58.0	1.1
55～59歳(n=72)	8.3	55.6	36.1	0.0
60～64歳(n=75)	10.7	45.3	42.7	1.3

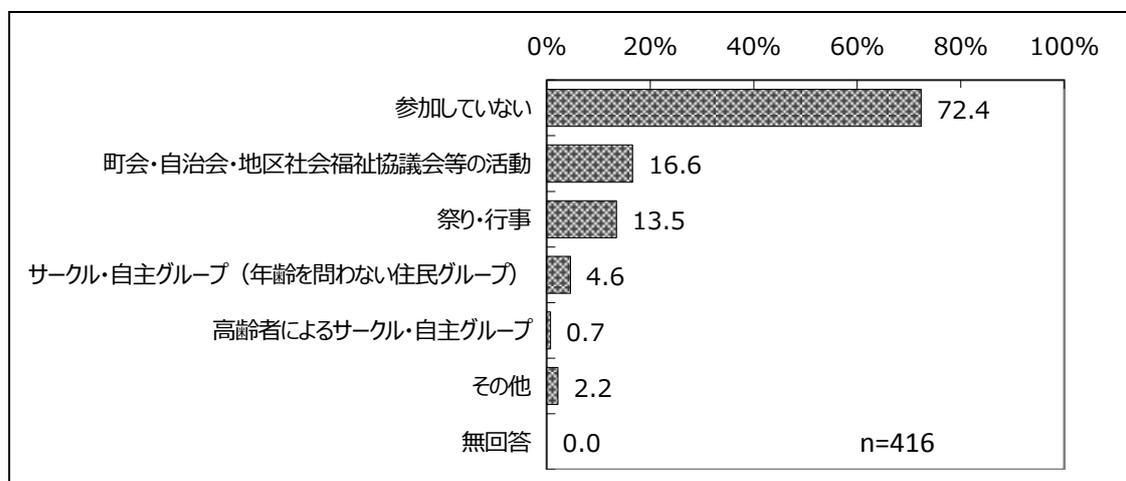
問5（2）あなたが今後参加するとしたら（すでに参加している場合は続けるとしたら）どのようなボランティアが考えられますか（〇はいくつでも）

今後参加するとしたら考えられるボランティアについては、「地域の行事」26.2%、「自然を保護する活動」17.5%、「子どもや子育て中の親を支援する活動」14.4%、「環境美化やリサイクル活動」13.9%、「趣味やスポーツなどの指導」13.0%であった。最も多かったのは「地域の行事」であったが、その他にも様々な活動に関する意向が見られた。



問5（3）あなたは、ふだん地域の活動などに参加されていますか（〇はいくつでも）

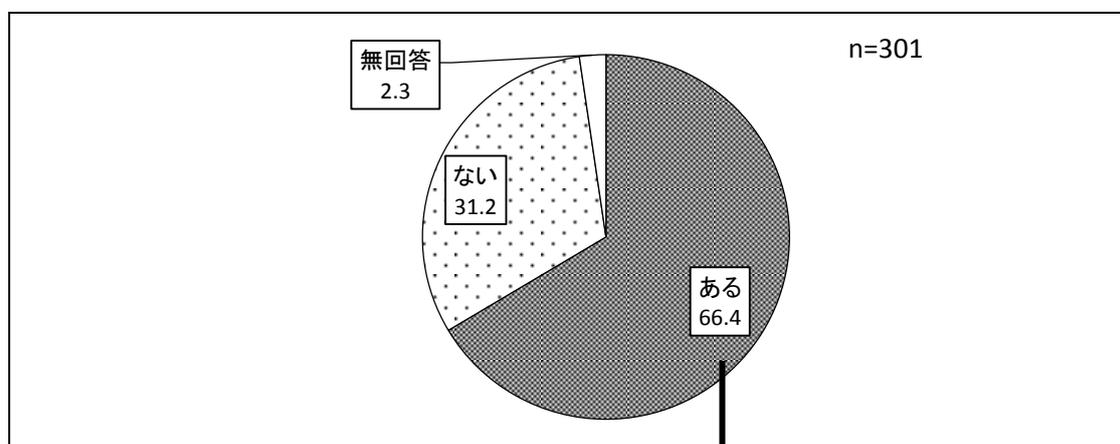
地域活動への参加状況については、「参加していない」72.4%が最も多く、次いで「町会・自治会・地区社会福祉協議会等の活動」16.6%、「祭り・行事」13.5%であった。



問5【（3）において「参加していない」と回答された方におたずねします】

地域の活動に参加する上での支障はありますか。ある場合、何が変われば参加できるようになりますか（〇は1つ）

地域の活動に参加する上での支障の有無については、「ある」66.4%、「ない」31.2%であり、多くの人が何らかの支障があると考えていることがうかがえた。

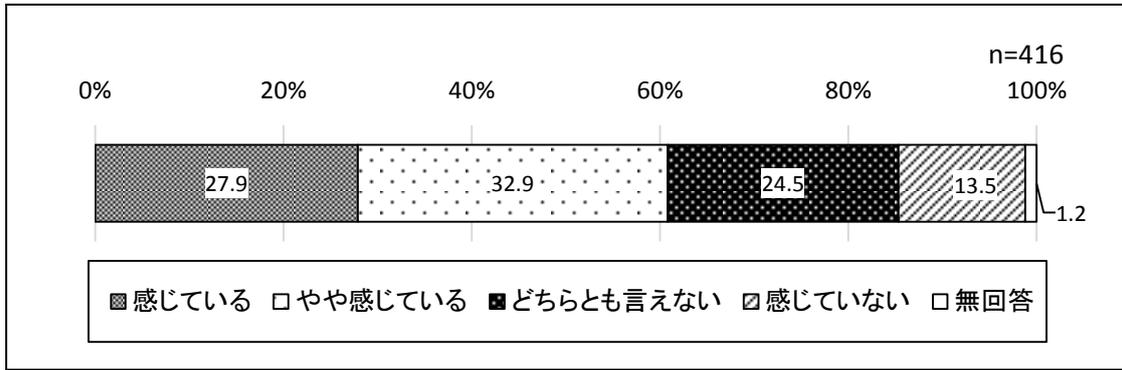


支障が「ある」場合の主な回答内容

- ・仕事をしているので、時間がない。
- ・退職すれば可能。
- ・母の介護。
- ・土日に留守をすることが多い。
- ・案内が来ない。
- ・近所に知り合いがいない。
- ・どのようなグループがどのような活動をしているか分からない。
- ・乳児がいるので、保育園の行事や保護者会に出るだけで精一杯である。

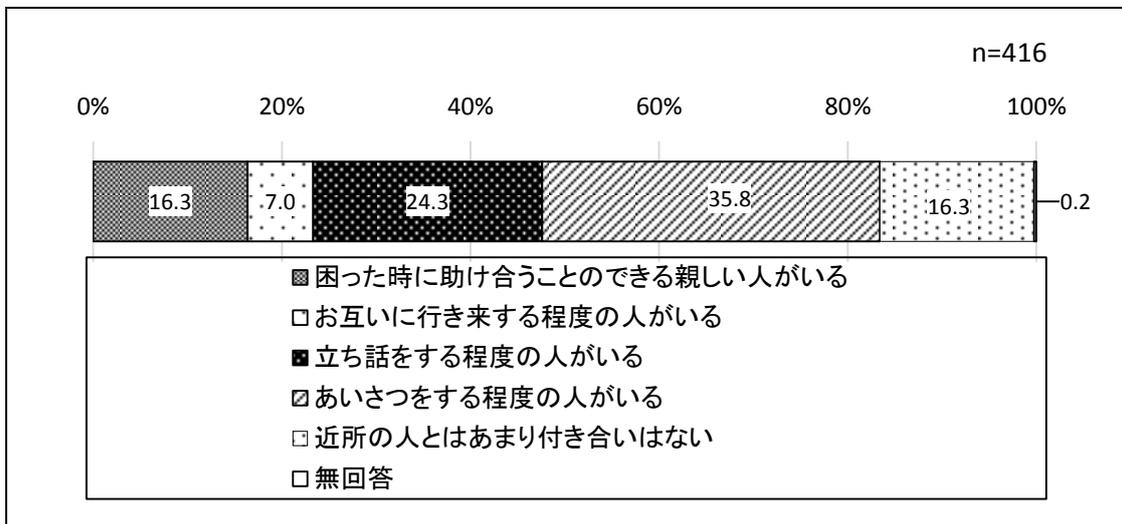
問5（4）仕事や地域の活動などを通じて、社会とかかわる活動の場があると感じていますか（〇は1つ）

社会とかかわる活動の場があると感じているかについては、「やや感じている」32.9%が最も多く、次いで「感じている」27.9%、「どちらとも言えない」24.5%であった。「感じている」「やや感じている」の合計は60.8%であり、半数以上の人が何らかの機会を通じて社会と関わっている状況がうかがえた。



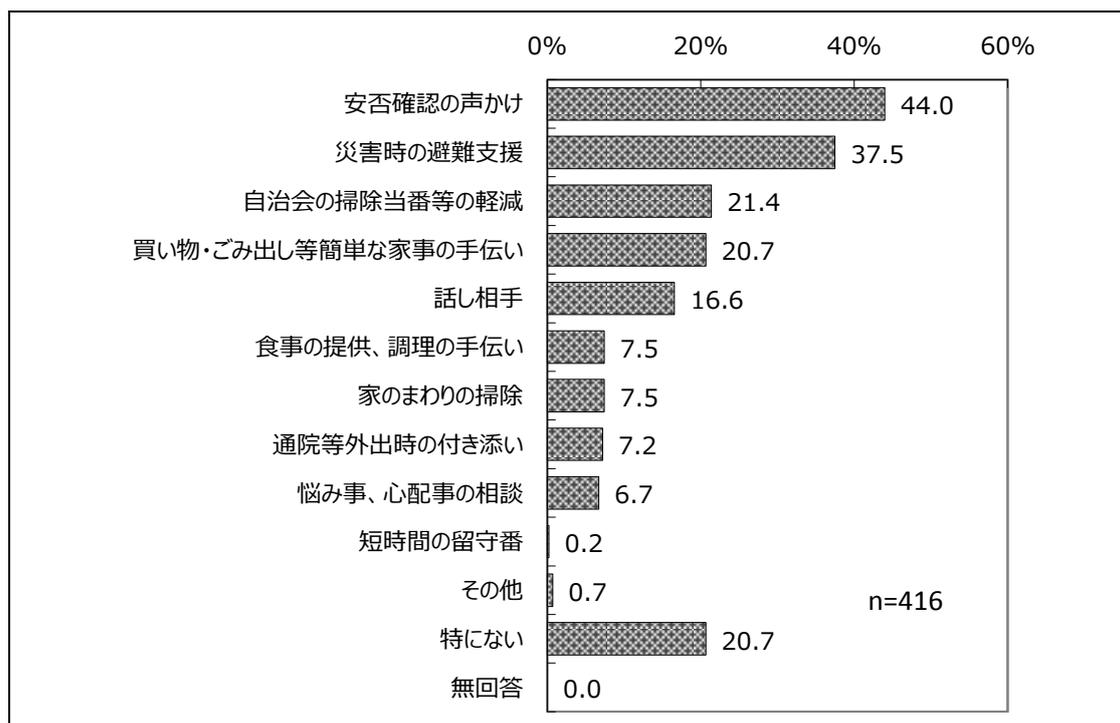
問5（5）あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか（〇は1つ）

近所付き合いの状況については、「あいさつをする程度の人がいる」35.8%が最も多く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」24.3%、「困った時に助け合うことのできる親しい人がある」、「近所の人とはあまり付き合いはない」がともに16.3%であった。



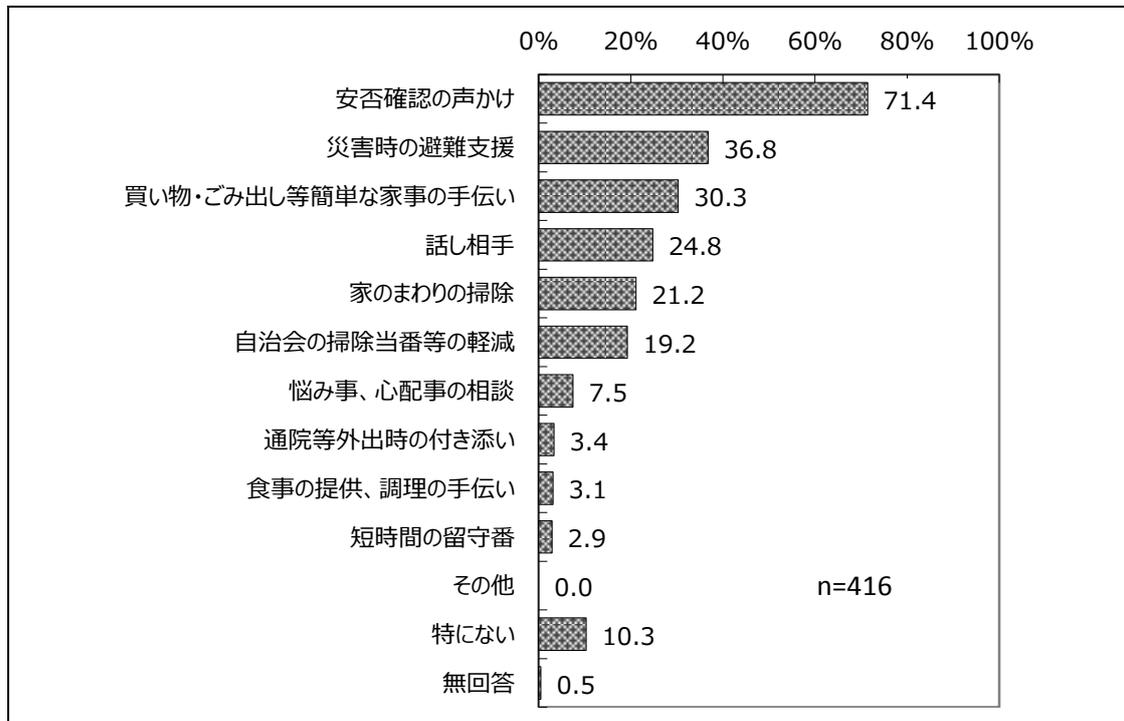
問5（6）もし、あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったら、近所の人に手助けをしてほしいことはどのようなことですか（〇は3つまで）

近所の人に手助けしてほしいことについては、「安否確認の声かけ」44.0%、「災害時の避難支援」37.5%、「自治会の掃除当番等の軽減」21.4%、「買い物・ごみ出し等簡単な家事の手伝い」20.7%、「話し相手」16.6%であった（「特にない」は除く）。安否確認の声かけや災害時の避難支援といった、安全の確保に関する支援を求める意見が多く見られた。



問5（7）もし、あなたの近所に日常生活が不自由で困っている高齢者の方がいたら、あなたにできる手助けはどのようなことですか（〇は3つまで）

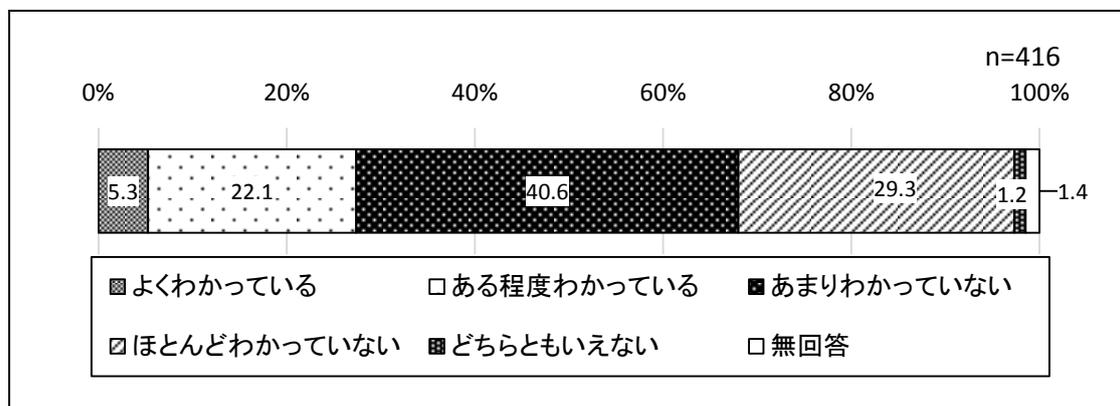
できる手助けについては、「安否確認の声かけ」71.4%、「災害時の避難支援」36.8%、「買い物・ごみ出し等簡単な家事の手伝い」30.3%、「話し相手」24.8%、「家のまわりの掃除」21.2%であった（「特にない」は除く）。自分が手助けをしてほしいこと（問5（6））と概ね同様の項目の回答が多かった。



問6 介護や高齢者施策などについて

問6（1）あなたは、介護保険制度についてどの程度ご存じですか（〇は1つ）

介護保険制度の理解については、「あまりわかっていない」40.6%が最も多く、次いで「ほとんどわかっていない」29.3%、「ある程度わかっている」22.1%であった。年齢が若いほど「ほとんどわかっていない」の割合が大きい傾向が見られた。



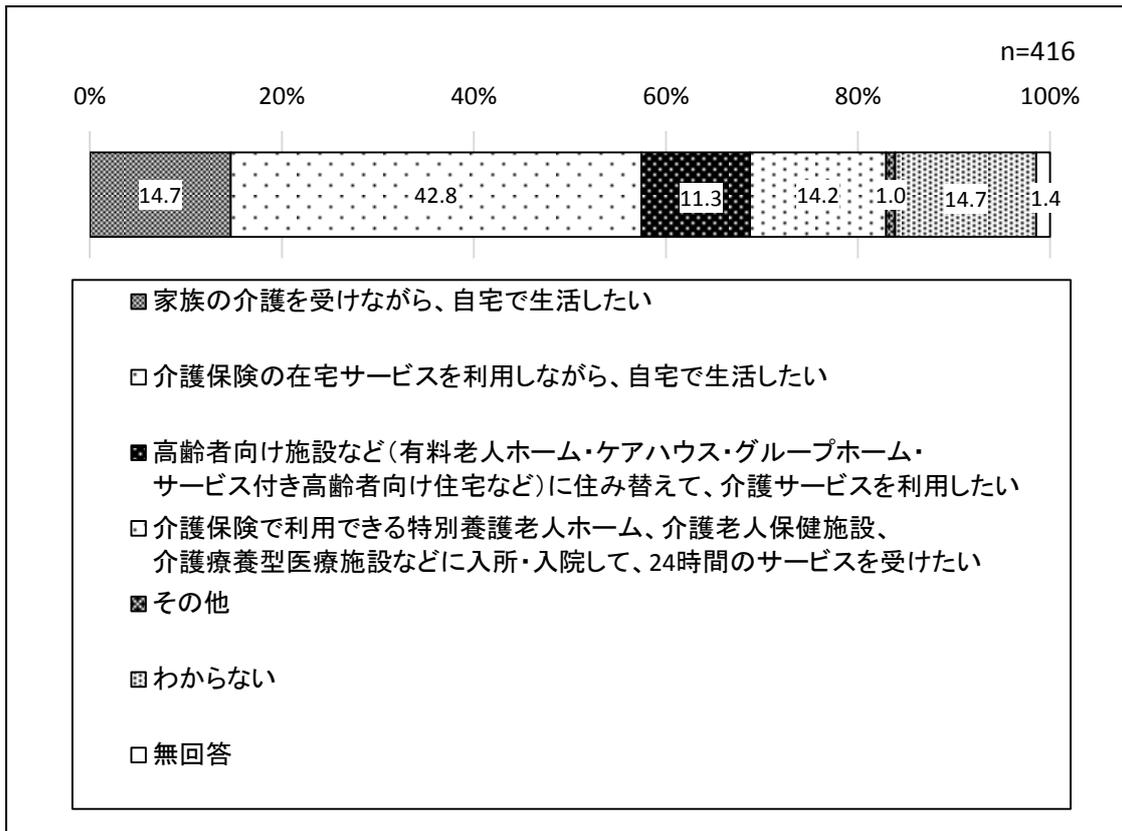
単位：%

	よくわかっている	ある程度わかっている	あまりわかっていない	ほとんどわかっていない	どちらともいえない	無回答
全体(n=416)	5.3	22.1	40.6	29.3	1.2	1.4
40～44歳(n=84)	3.6	11.9	42.9	38.1	1.2	2.4
45～49歳(n=93)	7.5	12.9	44.1	33.3	1.1	1.1
50～54歳(n=88)	2.3	25.0	38.6	30.7	3.4	0.0
55～59歳(n=72)	6.9	36.1	33.3	20.8	0.0	2.8
60～64歳(n=75)	6.7	29.3	42.7	20.0	0.0	1.3

問6（2）あなたは、ご自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（○は1つ）

介護が必要となったとき、どのような介護を受けたいかについては、「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」42.8%が最も多く、次いで「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」14.7%、「介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい」14.2%であった。

60%程度の方が、自宅で生活したいとの意向を有していた。

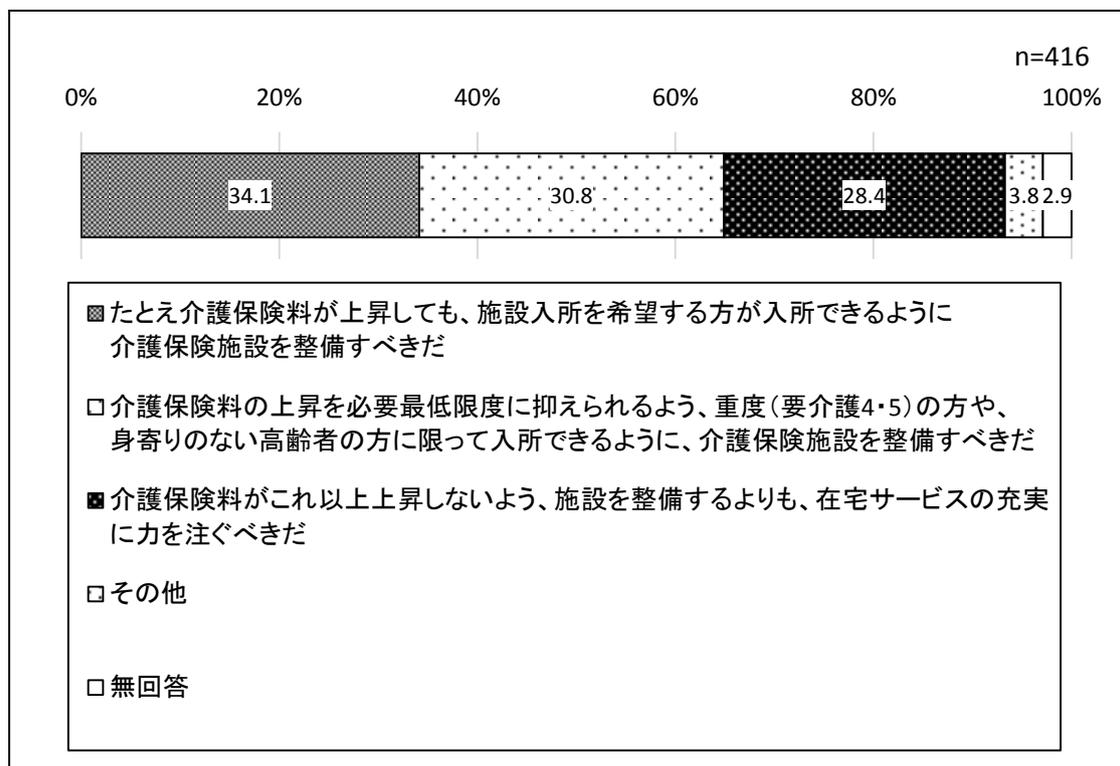


問6 (3) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設^{※1}」というニーズが多くあります。現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費^{※2}は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください（○は1つ）

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

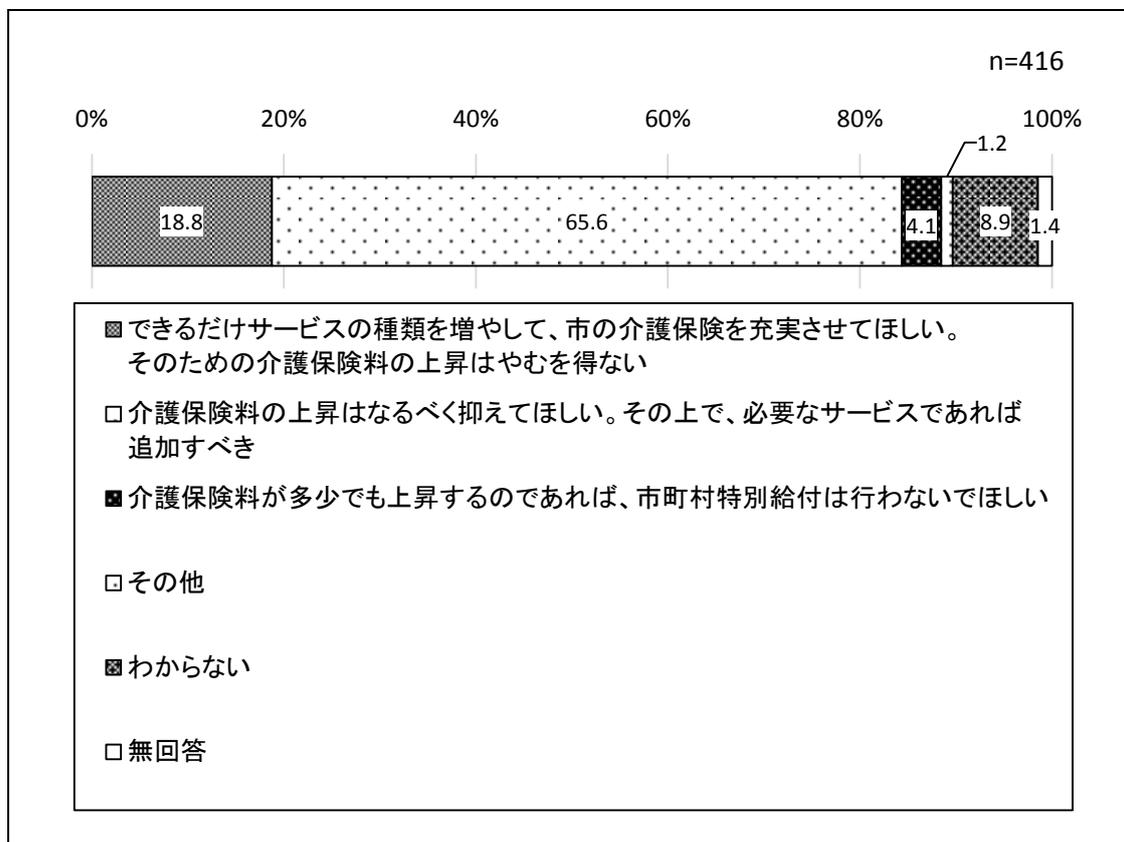
調査対象者の考えに近いものは、「たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ」34.1%が最も多く、次いで「介護保険料の上昇を必要最低限に抑えられるよう、重度（要介護4・5）の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ」30.8%であった。



問6（4）介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

市町村特別給付について調査対象者の考えに近いものは、「介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき」65.6%が最も多く、次いで「できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない」18.8%、「介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい」4.1%であった。

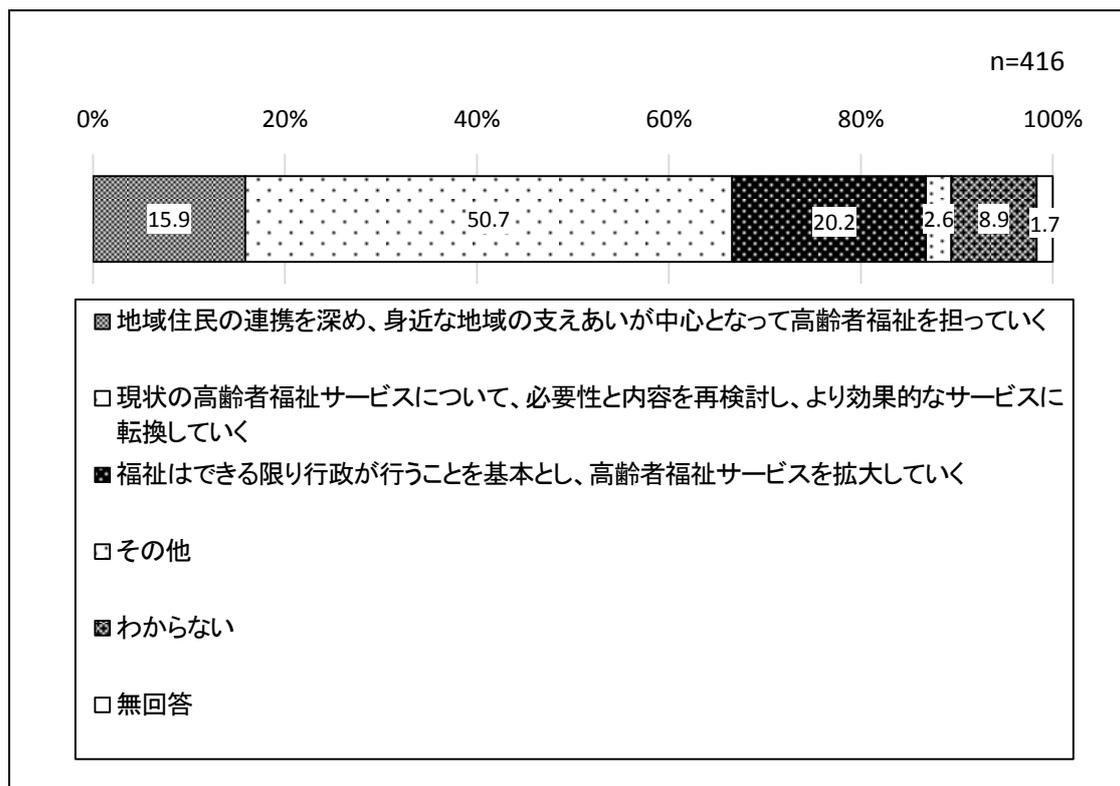
市町村特別給付については、必要なサービスであれば追加すべきとする意見が多く見られた。



問6（5）超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか（〇は1つ）

今後の高齢者福祉サービスのあり方については、「現状の高齢者福祉サービスについて、必要性と内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく」50.7%が最も多く、次いで「福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく」20.2%、「地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく」15.9%であった。

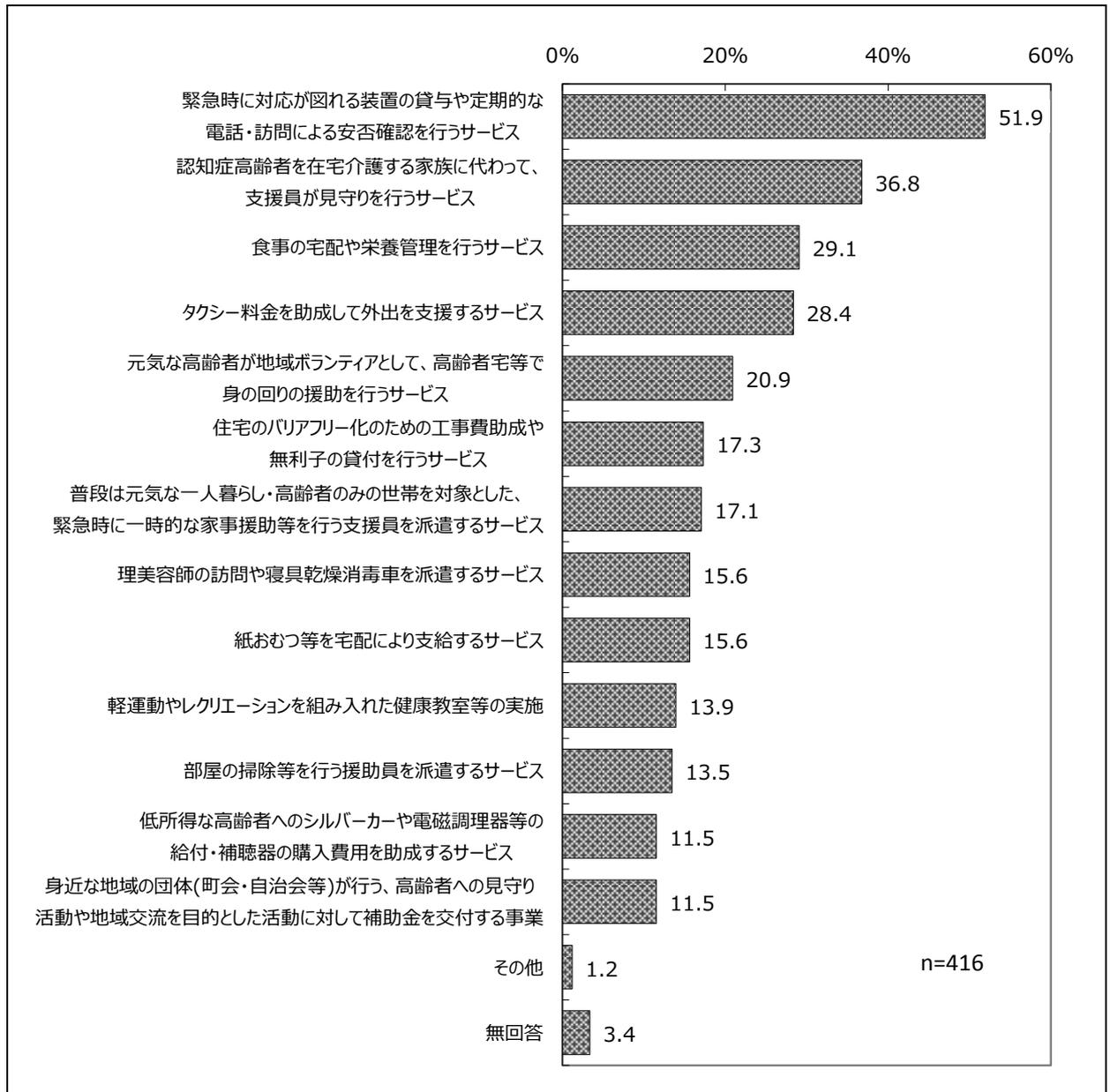
サービスの必要性・内容の再検討を挙げる意見が多く見られた。



問6（6）船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと思いますか（〇は3つまで）

今後充実すべき在宅高齢者福祉サービスについては、「緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス」51.9%が最も多く、次いで「認知症高齢者を在宅介護する家族に代わって、支援員が見守りを行うサービス」36.8%、「食事の宅配や栄養管理を行うサービス」29.1%であった。

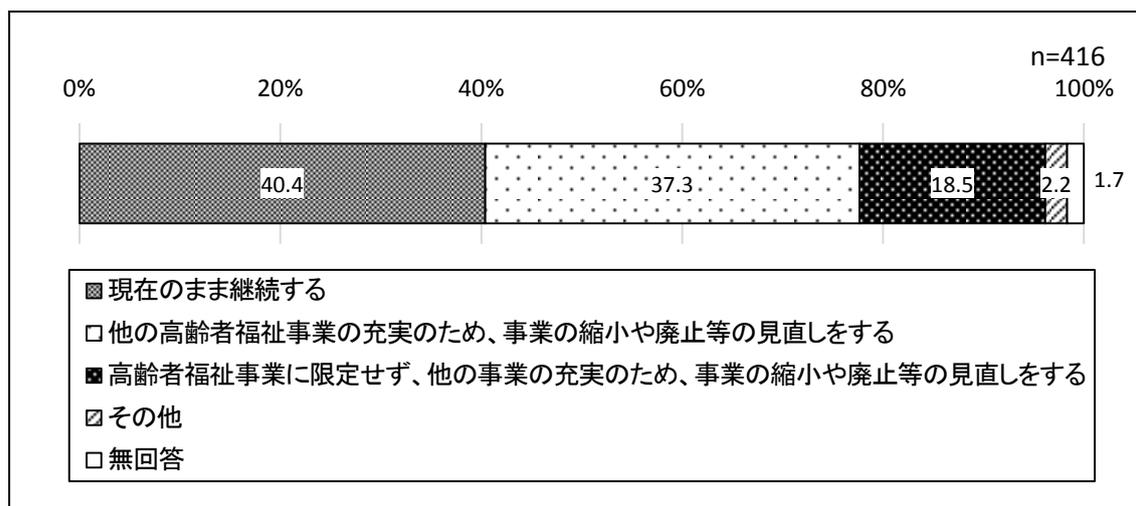
回答として多かったサービスは、安否確認、見守りや配食サービス等多岐にわたっており、特定のサービスのみを整備するだけでなく、生活を様々な面から総合的に支援することの重要性がうかがえた。



問6 (7) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

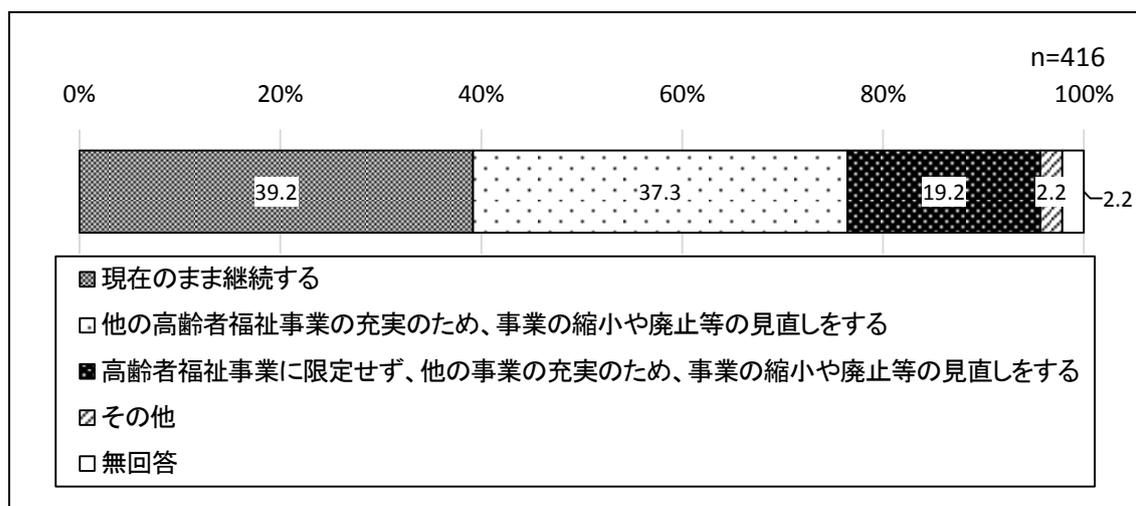
① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

敬老記念品（購入券）の今後のあり方については、「現在のまま継続する」40.4%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」37.3%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」18.5%であり、事業継続を挙げる意見が若干多く見られた。



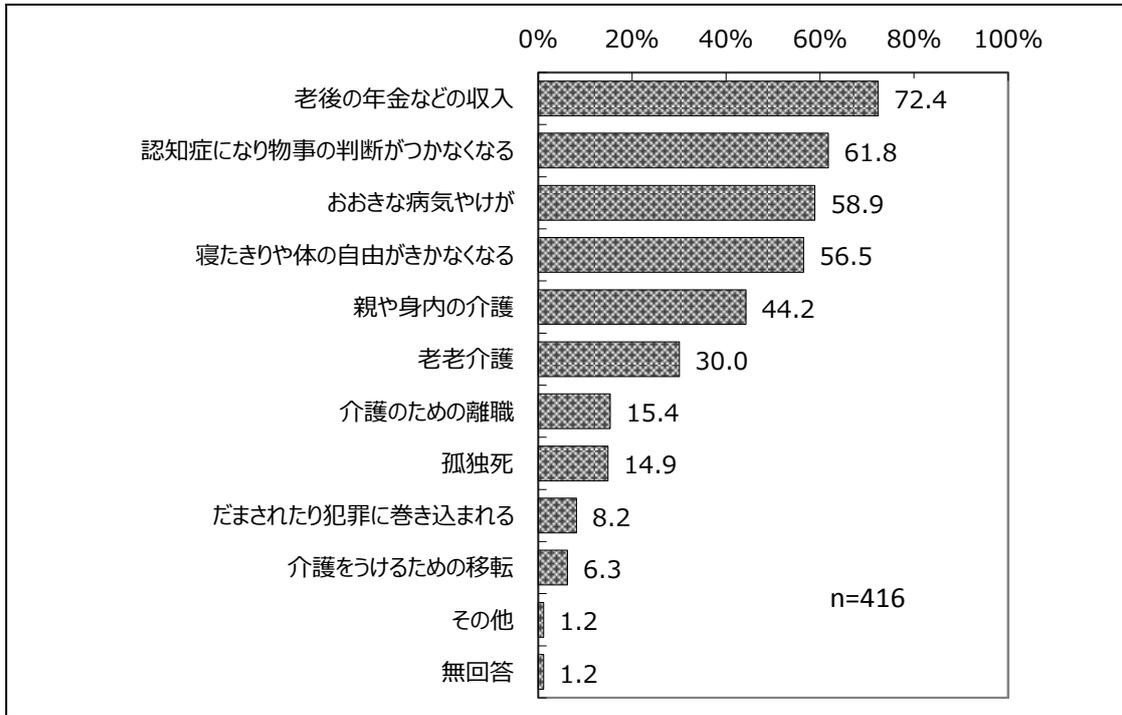
② 敬老会を実施する町会・自治会等に対する敬老行事交付金

敬老行事交付金の今後のあり方については、「現在のまま継続する」39.2%が最も多く、次いで「他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」37.3%、「高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする」19.2%であり、上記の敬老記念品同様、事業継続を挙げる意見が若干多く見られた。



問6（8）あなたは、将来の生活についてどのような不安がありますか
（〇はいくつでも）

将来の生活の不安については、「老後の年金などの収入」72.4%が最も多く、次いで「認知症になり物事の判断がつかなくなる」61.8%、「おおきな病気やけが」58.9%であった。これを年齢別にみると、年齢が若いほど老後の収入、親や身内の介護等を挙げる意見が多い傾向が見られた。



単位：%

	老後の年金 などの収入	だまされたり 犯罪に巻き 込まれる	おおきな病気 やけが	寝たきりや 体の自由が きかなくなる	孤独死	認知症になり 物事の判断が つかなくなる
全体(n=416)	72.4	8.2	58.9	56.5	14.9	61.8
40～44歳(n=84)	84.5	10.7	60.7	45.2	9.5	51.2
45～49歳(n=93)	86.0	10.8	59.1	55.9	17.2	64.5
50～54歳(n=88)	72.7	10.2	58.0	63.6	14.8	65.9
55～59歳(n=72)	56.9	5.6	51.4	54.2	15.3	69.4
60～64歳(n=75)	54.7	2.7	65.3	62.7	17.3	58.7
	親や身内の 介護	老老介護	介護をうける ための移転	介護のための 離職	その他	無回答
全体(n=416)	44.2	30.0	6.3	15.4	1.2	1.2
40～44歳(n=84)	57.1	32.1	8.3	21.4	0.0	0.0
45～49歳(n=93)	60.2	30.1	6.5	23.7	0.0	2.2
50～54歳(n=88)	50.0	26.1	4.5	19.3	1.1	0.0
55～59歳(n=72)	29.2	31.9	6.9	6.9	1.4	1.4
60～64歳(n=75)	18.7	29.3	5.3	1.3	4.0	2.7

問6(9) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。

あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか（それぞれ○は1つ）

①地域包括支援センター

地域包括支援センターの利用・認識状況については、「知らない」60.1%が最も多く、次いで「利用したことはないが、名前だけは知っている」29.6%、「利用している・利用したことがある」6.7%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の36.3%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体(n=416)	6.7	29.6	60.1	3.6
40～44歳(n=84)	9.5	27.4	63.1	0.0
45～49歳(n=93)	5.4	25.8	64.5	4.3
50～54歳(n=88)	4.5	29.5	63.6	2.3
55～59歳(n=72)	6.9	37.5	55.6	0.0
60～64歳(n=75)	8.0	29.3	52.0	10.7

②在宅介護支援センター

在宅介護支援センターの利用・認識状況については、「知らない」61.1%が最も多く、次いで「利用したことはないが、名前だけは知っている」31.3%、「利用している・利用したことがある」4.1%であった。利用している・したことがある人と名前だけは知っている人の合計は、全体の35.4%であった。

単位：%

	利用している・ 利用したことがある	利用したことはないが、 名前だけは知っている	知らない	無回答
全体(n=416)	4.1	31.3	61.1	3.6
40～44歳(n=84)	2.4	35.7	61.9	0.0
45～49歳(n=93)	3.2	25.8	66.7	4.3
50～54歳(n=88)	2.3	30.7	64.8	2.3
55～59歳(n=72)	6.9	30.6	62.5	0.0
60～64歳(n=75)	6.7	34.7	48.0	10.7

第6章 調査結果の総括

本調査で得られた結果をもとに、地域包括ケアシステムの5つの要素である「住まい」「予防」「生活支援」「介護」「医療」の視点から、改めて本市における実態を把握するとともに、今後の課題と方向性の整理を行った。

1. 住まい

<実態>

住まいへの意向に関しては「可能な限り今の住まいで生活したい」人が多く、「今の住まいを改修して住み続けたい」と合わせると、いずれの調査でも8割を超える状況であった（高齢者基本調査・問3(6)等）。住まいの状況については、高齢者を対象とした調査では一戸建てが最も多く、集合住宅は2割～3割程度であるが、若年調査では一戸建てが54.8%、集合住宅が44.5%であった（高齢者基本調査・問3(1)等）。

住まい（主に生活する部屋）が2階もしくは2階より上にあるかについては、高齢者基本調査において「いいえ」が49.7%、「はい（2階、もしくは2階より上にある）」が43.2%であり、ひとり暮らし高齢者等調査においても概ね同様の傾向であった。また、主に生活する部屋が2階以上である場合のエレベーターの設置状況は、高齢者基本調査において「設置されていない」65.6%、「設置されている」31.8%であり、外出に階段昇降が必須となる住まいが一定数あることがうかがえた（高齢者基本調査・問3(4)等）。

住まいの中で不便なところについては、高齢者基本調査では「特になし」との回答が概ね5割程度であるが、要介護高齢者調査では約3割となっており、要介護状態である高齢者の多くが何らかの不便を抱えていることがうかがえた。具体的な内容としては、住宅内外の段差や浴室の使いづらさ、断熱性能の低さを挙げる回答が多かった（高齢者基本調査・問3(5)等）。



<課題と方向性>

施策の方向性としては、今の住まいで長く住み続けられることを目指すことが、多くの市民ニーズに沿うことと考えられる。具体的には、住まいの中で不便なところがあると回答した高齢者も多く存在することから、予防の観点を含めた住宅のバリアフリー化の重要性を周知し、住宅改修を促進することが考えられる。

しかし、エレベーターが設置されていない建物などの場合は、住宅改修も大規模になり、物理的理由・経済的理由により困難なことも想定される。このため、住宅改修等による住環境の改善のみならず、希望があれば住み替えなども検討できるよう、居住支援のための施策を進めるとともに、今後も検討を重ねていく。なお、施策検討に当たっては、船橋市高齢者居住安定確保計画など他の計画との調和を図りながら、適切な住まいの確保を図ることが重要である。

2. 予防

<実態>

介護予防サービスのニーズに関しては、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要と思うサービスとして、「介護をしている家族等への支援」46.4%、「24時間対応の在宅医療の充実、推進」37.5%など、要介護状態となってから受けるサービスを挙げる回答が多かった。一方、「介護予防サービスの確保」は19.8%にとどまっており、要介護状態になる前の支援・サービスへの認識はまだ大きくないことがうかがえた（高齢者基本調査・問11(3)等）。

また、40～64歳の若年者における介護予防等の意識についてみると、普段から健康や介護予防のために気をつけていることについては、特に気をつけていない人が11.1%存在した（若年調査・問4(4)）ほか、健康状態については、「あまりよくない」「よくない」との回答を合わせると高齢者基本調査においても16.8%となっており、体調が良くない高齢者が一定割合いることがうかがえた（高齢者基本調査・問9(1)等）。

また、健康状態の把握に関して、回答のあった身長・体重からBMI（Body Mass Index）を算出した結果、「18.5～25未満」（標準）である調査対象者が最も多かったが、低栄養が疑われる「18.5以下」は高齢者基本調査で6.8%、ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯調査（以下「ひとり暮らし高齢者等調査」）で5.8%と、いずれにおいても一定数が見られる状況であった（高齢者基本調査・問5(1)等）。



<課題と方向性>

住み慣れた地域で暮らし続けるために市民が必要と考えるサービスは、介護者への支援や、要介護者への公的な介護・看護等サービスが多く挙げられていたが、要介護状態の予防や重度化の防止において重要な「介護予防サービス」を必要と感じる人は19.8%と、比較的少ない状況にある。また、自身の健康状態を「あまりよくない」「よくない」と回答している人が16.8%、健康や介護予防に特に気をつけていない人が11.1%いることから、介護予防や健康の維持に対する意識づけ、きっかけづくりの啓発活動を強化することが重要である。元気なうちから介護予防に取り組み、健康で自立した生活が継続できる高齢者が増えるよう、介護予防等に関する普及啓発の強化を行うことや、地域活動・ボランティア活動などの住民主体の活動を通じた自立支援、介護予防が推進されるよう、住民主体の活動を支援することの強化・充実が求められる。

また、低栄養が疑われる高齢者に関して、その割合は高くはないものの、世帯類型によらず一定数が存在する。このため、個別の高齢者支援において口腔機能向上や低栄養防止に関する活動を行うことも必要である。

3. 生活支援

<実態>

普段の生活で気になったり、困ったりしていることについては、「病気やけが」「災害が起きたときの対応」「家計、暮らしの経済的なこと」の回答が多かった（高齢者基本調査・問6(7)等）。また、気になったり、困ったりしていることへの対応は、「自分一人でなんとか対応している」が半数程度で、近所の方からの支援、行政機関への相談、ボランティア・NPO等の支援は1~3%程度と少ない状況である（高齢者基本調査・問6(8)等）。

介護保険以外のサービスで充実させるべき事項は「緊急時の安否確認」「タクシー料金助成による外出支援」「食事の宅配や栄養管理」の回答が多かった（高齢者基本調査・問11(4)等）。

地域での活動について、「ボランティア」「スポーツ関係」「趣味関係」「学習・教養サークル」「老人クラブ」「町会・自治会」「収入のある仕事」のうち年に数回以上参加している活動を集約すると、最も参加割合が高いものは「趣味関係」のグループ（高齢者基本調査：29.2%、ひとり暮らし高齢者等調査：33.9%）であった。しかし参加している割合は、いずれの活動においても4割に満たない状況であった（高齢者基本調査・問7(1)①~⑦等）。また、地域活動等への参加者、担い手、ボランティアとしての参加意向についてみると、地域活動に参加者として是非参加したい、参加してもよいと回答した人は6割程度と高い傾向が見られた（高齢者基本調査：65.8%、ひとり暮らし高齢者等調査：58.5%）（高齢者基本調査・問7(2)等）。

担い手として地域活動に是非参加したい、参加してもよいと回答した人や、家事援助といったたすけあい活動にボランティアとして是非参加したい、参加してもよいと回答した人も3~4割程度であり、担い手・ボランティアとしての参加意向を有する人も一定程度いることがうかがえた（高齢者基本調査・問7(3)(4)等）。



<課題と方向性>

高齢者が生活で困っていることには様々なものがあるが、自分一人で対応している市民が多く、近所の方やNPOなどの支援はほとんど見られない現状である。一方、地域活動やボランティアについては、3~4割程度の市民が「参加したい」「参加してもよい」と回答していることから、地域活動やボランティア等の情報を積極的に市民に周知することや、ボランティアを受けたいと思っている市民のニーズとボランティアを行う側の市民の意向とをマッチングさせる取組は効果が高いものと考えられる。

具体的には、現在（社）船橋市社会福祉協議会に委託して実施している「船橋市生活支援コーディネーター」が、この点において大きな役割を有する職であることから、24地区コミュニティへの配置を引き続き積極的に進めることが必要である。同時に、これまでの活動における実績、効果、課題等を確認し、評価することで、より円滑かつ効果的な取組に結び付けられるような検討を行うことも有用と考えられる。こうした取組により、地域住民や地域の多様な主体が我が事として地域活動等に参加し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をつくっていく「地域共生社会」の実現を目指すことが求められる。

4. 介護

<実態>

要介護認定を受けていない高齢者が、自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思うかについては、「介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい」「家族の介護を受けながら、自宅で生活したい」の回答が多い。現時点で要介護認定を受けている高齢者においてもこの傾向は同様であり、市民の多くに在宅志向がうかがわれた（高齢者基本調査・問10(1)等）。

一方、実際の介護の状況について、介護者が本人の介護を始めてからの期間をみると、「3～4年」が25.3%と最も多かったが、「10年以上」も15.1%となっており、長期間介護を続けている人も多い状況であった（要介護高齢者調査・問6(4)）。また、介護をしていて困ったことや負担に感じたことについては「精神的なストレスがたまっている」42.8%、「日中、家を空けるのを不安に感じる」34.9%など、精神的負担・不安を挙げる回答が多かった（要介護高齢者調査・問6(6)）。このように介護でつらいとき、だれに相談しているかについては、「家族・親族」「ケアマネジャー」が約半数ずつと多かった（要介護高齢者調査・問6(5)）。

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために必要と思うサービスとしては、「介護をしている家族等への支援」「24時間対応の在宅医療の充実、推進」「24時間対応の訪問介護看護サービスの充実」「高齢者向け施設の充実」などが、高齢者基本調査・要介護高齢者調査ともに多く挙げられた（高齢者基本調査・問11(3)等）。

物忘れが多いと感じるかについては、4割程度が「はい」と回答しており（高齢者基本調査：40.1%、ひとり暮らし高齢者等調査：39.3%）、認知面の低下がみられる高齢者が相当数いることがうかがえた（高齢者基本調査・問6(1)等）。

また、地域包括支援センター、在宅介護支援センターの2つの相談窓口を知っているかについて、高齢者基本調査の回答をみると、どちらの相談窓口についても「知らない」との回答が4割程度であった（高齢者基本調査・問11(2)等）。



<課題と方向性>

介護が必要になった際の生活場所としては自宅を希望する市民が多いが、介護の期間が長期間に及ぶことや、介護者の精神的負担・不安が多くみられることから、介護者が自身の生活を大事にしながら介護できるような支援を進める必要がある。具体的には、市民が必要なサービスとして考えている「介護をしている家族等への支援」「24時間対応の在宅医療の充実、推進」「24時間対応の訪問介護看護サービスの充実」などに取り組むことが重要と考えられるが、こうした観点からは、現在の介護保険サービスの一つである定期巡回・随時対応型訪問介護看護や小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスの提供量の増加等も検討が必要と思われる。

さらに、認知機能の低下がみられる高齢者が市内に相当数いることがうかがえたが、認知症の早期発見・早期対応や、外来・在宅医療・入院治療の適切な提供など、その時の状態に応じて最もふさわしい場所（自宅、病院、施設等）で適切なサービスを受けられる仕組みの構築を進めていく必要がある。そのためには、認知症初期集中支援チームを広く市民へ周知するとともに、認知症地域支援推進員の活動促進を図ることなどが考えられる。

介護でつらいときの相談相手として、「家族・親族」が多く挙げられているが、夫婦2人暮らしの世帯も4割程度を占め、老老介護の状況であることが想定され、このような場合には、ケアマネジャーに相談することとなる（実際に、ケアマネジャーを相談相手として挙げる回答も多くみられる）。ケアマネジャーは、介護者等の身近な相談相手となると同時に適切なアセスメントやケアマネジメントを実施することが求められるが、このためにはケアマネジャーの資質向上、およびケアマネジャーの支援を役割とする地域包括支援センターがより積極的な支援活動に取り組むことが求められる。

5. 医療

<実態>

現在治療中や後遺症のある病気については、「高血圧」「目の病気」「歯の病気」が多い状況であった。（高齢者基本調査・問9(6)等）。

かかりつけ医を近所に持つ高齢者は5～6割程度となっていた（高齢者基本調査・問9(7)等）。また、通院や訪問診療の状況をみると、高齢者基本調査では訪問診療を受けている人は少ないが、要介護高齢者調査では、訪問診療を受けている人が25.8%と、約4人に1人が訪問診療を受けている状況であった。また、訪問診療の内容については、歯の治療が28.3%、痛みに対する管理（注射、湿布、薬等）が24.6%などとなっていた（要介護高齢者調査・問4(5)）。

要介護認定を受けている高齢者に関して、医師の処方した薬を何種類服用しているかについては、5種類以上服用する割合が高い状況であった（要介護高齢者調査・問4(4)）。

このほか、市民の意識面についてみると、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要と思うサービスとして、高齢者基本調査では「介護をしている家族等への支援」46.4%に次いで「24時間対応の在宅医療の充実、推進」37.5%、「24時間対応の訪問介護看護サービスの充実」36.1%を挙げる意見が多く見られた。これは要介護高齢者調査でも同様であり、在宅生活の継続にあたって医療・介護サービスを重要視する市民が多い傾向があった（高齢者基本調査・問11(3)等）。



<課題と方向性>

かかりつけ医を近所に持つ高齢者は5～6割程度であるが、在宅医療の推進の観点からも、身近な地域での日常的な医療提供、複数医療機関の受診状況や服薬状況などを一元的・継続的に管理する存在であるかかりつけ医を持つことに加えて、かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師についても、健康寿命の延伸という観点から、その必要性をさらに広めていくべきである。

訪問診療については、現状、要介護認定を受けている高齢者のうち約4人に1人と、一定の人数が受けており、診療内容は「歯の治療」や「痛みの管理」が多くを占めている。市内医療機関の在宅医療提供体制を把握しておくとともに、通院ができなくなった人も、訪問診療などのサービスを受けながら、引き続き在宅での生活を送れることについても、周知していく必要がある。

また、在宅生活の継続にあたり、医療・介護サービスの必要性を挙げる回答が多かったが、これは医療・介護双方のニーズが在宅療養生活に存在することが背景にあると考えられる。このことから急性期の医療から在宅医療、介護に至るまでの一連のサービスが切れ目なく提供できる体制を構築していくことが必要である。

資料編

調査票別の調査項目一覧

	高齢者・高齢者のみ世帯調査	高齢者基本調査/ひとり暮らし 要介護高齢者調査	若年調査
調査票回答者	○	○	—
あなたのご家族や生活状況について			
性別、年齢	○	○	○
現在の要介護度等	○	○	—
家族構成	○	○	○
介護・介助の必要性、介護・介助が必要になった主な原因	○	—	—
仕事の状況、働き方、仕事をしていない場合の理由が家族等の介護をするためか	—	—	○
現在の暮らしの状況	○	○	○
経済状況（収入、預貯金額）、生活費の資金源	○	○	—
自動車運転の有無、自動車運転の目的	○	—	—
運転免許証の返納の主な要因、返納したことによる不便な点	○	—	—
お住まいの地域について			
居住地	○	○	○
住環境について			
住まいの種別、住居形態、家賃	○	○	○
入院、施設入所、転居時の保証人や緊急連絡先の有無	○	○	○
住まいが2階以上にあるか、エレベーター設置有無、住居の不便な点、今後の居住意向	○	○	○
からだを動かすことについて			
階段昇降、椅子からの立ち上がり、15分の歩行、転倒経験、転倒への不安、外出頻度、外出回数減少	○	—	—
食べることについて			
身長、体重	○	—	—
半年前と比較した固いものの食べやすさ、歯の数と入れ歯の利用状況	○	—	—
他者と食事をする機会	○	—	—
毎日の生活について			
物忘れの多さ、1人での外出、食品等の買い物、食事の用意、請求書の支払、預貯金の出し入れ	○	—	—
ふだんの生活で気になったり、困ったりしていること	○	—	—
気になったり、困ったりしていることへの対応方法	○	—	—
市職員が個別にごみ収集を行う事業の利用意向	○	—	—

	高齢者基本調査/ひとり暮らし 高齢者・高齢者のみ世帯調査	要介護高齢者調査	若年調査
地域での活動について			
ボランティアグループへの参加頻度、スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度	○	—	—
趣味関係のグループへの参加頻度、学習・教養サークルへの参加頻度	○	—	—
老人クラブへの参加頻度、町内会・自治会への参加頻度	○	—	—
収入のある仕事への参加頻度	○	—	—
ボランティア活動の有無、今後参加することが考えられるボランティア活動	—	—	○
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向	○	—	—
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向	○	—	—
家事援助などのたすけあい活動へのボランティアとしての参加意向	○	—	—
家事援助などのたすけあい活動に関するポイント制度の利用意向	○	—	—
地域活動の参加状況、近所づきあいの状況	○	—	○
仕事や地域活動を通じて社会とかかわる活動の場があると感じているか	—	—	○
たすけあいについて			
心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人	○	—	—
日常生活が不自由になった時に近所の人に手助けをしてほしいこと	—	—	○
日常生活が不自由な高齢者の方が近所にいる時に手助けできること	—	—	○
健康について			
健康状態	○	—	○
現在どの程度幸せか	○	—	—
1か月間にゆううつな気持ちになったか、物事に対して興味がわかない感じがあったか	○	—	—
喫煙の有無	○	—	—
現在治療中、または後遺症のある病気	○	○	○
介護認定を受ける前に診断もしくは治療を受けていた病気	—	○	—
口腔ケアの取り組み、服用中の処方薬の種類	—	○	—
かかりつけ医の有無	○	○	○
健康診断の受診の有無、保健指導の有無、介護予防のため気をつけていること	—	—	○
通院や訪問診療での治療の有無、訪問診療で受けている内容	○	○	—
通院や訪問診療の頻度、診療科目、通院介助の必要性	—	○	—
要介護認定・介護保険サービス等について			
要介護認定を申請した主な原因、要介護認定を申請した理由	—	○	—
利用した介護保険サービスの種類、介護保険サービスを利用しない理由	—	○	—

	高齢者・高齢者のみ世帯調査	高齢者基本調査/ひとり暮らし	要介護高齢者調査	若年調査
介護保険サービスの支給限度額までの利用の有無、利用していない場合はその理由	—	—	○	—
介護者について				
介護者の有無、人数、主介護者の性別・年齢・続柄、同居状況	—	—	○	—
介護年数、介護時の相談先、介護時に困ったことや負担に感じたこと	—	—	○	—
介護予防・介護サービスの利用意向について				
介護を必要とする状態になった時に受けたいと思う介護（続けたいと思う生活）	○	○	○	○
介護保険サービス利用時の負担可能月額、施設入所時の負担可能月額	○	○	○	—
介護保険施設整備についての考え	○	○	○	○
介護保険制度の認知	—	—	—	○
高齢者福祉サービスの充実について				
高齢者福祉サービスがどうあるべきと考えるか	○	○	○	○
地域包括／在宅介護支援センター利用・認知状況	○	○	○	○
自分らしい暮らしを続けるために必要なサービス	○	○	○	—
充実すべき福祉サービス	○	○	○	○
市町村特別給付への考え方	○	○	○	○
市のごみ収集事業を利用したいか	—	○	○	—
敬老に関する事業への考え方	○	○	○	○
将来の生活についての不安	—	—	—	○

船橋市高齢者生活実態調査 調査票

市民の皆様におかれましては、平素より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

船橋市では、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を平成30年3月の策定に向け、作業を進めているところです。

このたび65歳以上の市民の方のうち、10,000人の方を無作為に選び、「船橋市高齢者生活実態調査」としてアンケートを実施することといたしました。

調査結果は、今後の高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいります。

ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年11月

船橋市長 松戸 徹

《この調査票のご記入に当たって》

- ご回答は、11月1日現在の状況でお答えください。
- この調査票では、あて名ご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある(○は1つ)(○は2つまで)(○はいくつでも)等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで()内になるべく具体的にその内容も記入してください。
- 調査は無記名です(お名前を記入いただく必要はありません)。また、お寄せいただいた回答は統計的に処理し、他の目的には使用しません。また、個人が特定される形で公表されることはございませんので、率直なご意見等ご記入ください。
- ご記入いただいたこの調査票は三つ折りにして、**12月21日(水)まで**に、**同封の返信用封筒(切手不要)によりポストに投函してください。**

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

- 調査票の再発送や回答の書き方に関すること(調査の趣旨以外のお問い合わせ先)
みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部(船橋市から委託されています。)
TEL 0120-453-344 [平日 9:30~17:30]
※12月29日(木)~1月4日(水)は不通となります。
(平成29年1月13日(金)以降のお問合せ:0120-145-277 [平日 9:30~17:30])
FAX 03-5281-5443
- 調査の趣旨等に関すること
船橋市役所健康福祉局 健康・高齢部 介護保険課 総務係
船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-3306(直通)(平日 9:00~17:00)
※12月29日(木)~1月3日(火)は不通となります。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入
(あて名のご本人からみた続柄)
3. その他

ご回答いただいた事項の取り扱いについて

ご回答いただいた事項の管理方法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、船橋市高齢者保健福祉計画ならびに船橋市介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、船橋市が適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- 上記にご同意いただけましたら、調査票へのご記入とご返送をお願いいたします。

問 1 あなたのご家族や生活状況について**(1) あなたの性別をお教えてください (○は1つ)**

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢をお教えてください (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 | 3. 75～79 歳 |
| 4. 80～84 歳 | 5. 85～89 歳 | 6. 90～94 歳 |
| 7. 95～99 歳 | 8. 100 歳以上 | |

(3) あなたの現在の要介護度等はどれですか (○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 要支援 1 |
| 2. 要支援 2 |
| 3. 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者* |
| 4. 認定は受けていない (介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ではない) |

※介護予防・日常生活支援総合事業の対象者とは、地域包括支援センター等で「基本チェックリスト」により要支援相当と判定を受けた方です。

(4) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 1 人暮らし | 2. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との 2 世帯 |
| 5. その他 () | |

(5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

【(5) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそつちゆう のうしゅつけつ・のうこうそく</small>	2. 心臓病	3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) <small>はいきしゅ</small>	5. 関節の病気 (リウマチ等)	
6. 認知症 (アルツハイマー病等) <small>にんちしょう</small>	7. パーキンソン病	8. 糖尿病 <small>とうにようびょう</small>
9. 腎疾患 (透析)	10. 視覚・聴覚障害 <small>しかく ちようかくしやうがい</small>	11. 骨折・転倒 <small>こっせつ てんとう</small>
12. 脊椎損傷 <small>せきついそんしやう</small>	13. 高齢による衰弱 <small>すいじやく</small>	14. その他
15. 不明		()

(6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(7) あなたの年金を含めた1年間の収入は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

1. 100万円未満	2. 100～200万円未満	3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満	5. 400～500万円未満	6. 500万円以上

(8) あなたは、生活費をどこから捻出していますか (○はいくつでも)

1. 年金	2. 預貯金	3. 給与・事業収入
4. 不動産収入	5. 親族の援助	6. 生活保護
7. その他 ()		

(9) あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

1. 50万円未満	2. 50～150万円未満	3. 150～250万円未満
4. 250～350万円未満	5. 350～500万円未満	6. 500～1,000万円未満
7. 1,000万円以上		

(10) あなたは、自動車^{*}を日常的に運転していますか。(○は1つ)

※普通免許で運転が可能な「軽自動車、普通自動車」とします。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 運転している | 2. 時々運転することがある |
| 3. 運転免許証を取得しているが運転していない | 4. 運転免許証を取得していたが自主返納した |
| 5. 運転免許証を取得したことがない | |



- | | |
|-------------------|-------------------|
| 「1.」「2.」「3.」を選んだ方 | → (11)・(12)・(13)へ |
| 「4.」を選んだ方 | → (12)・(13)へ |
| 「5.」を選んだ方 | → 次ページ問2へ |

(11) 現在、運転している方に伺います。あなたが自動車を運転する目的は何ですか。

(○は主なもの2つまで)

- | | | |
|-----------|------------|------------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 仕事 |
| 4. 旅行 | 5. 習い事への参加 | 6. 運転することが好き(趣味) |
| 7. 家族等の送迎 | 8. その他 () | |

(12) 運転免許証を返納された方は、どのような時に返納を考え始めましたか。

また現在お持ちの方は、あなたがどのような状況になった時にご自身の運転免許証の返納をすべきだと考えますか。(○は主なもの2つまで)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき | 2. 認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき |
| 3. 家族や知人から運転を止められたとき | 4. 交通事故を頻繁に起こし始めたとき |
| 5. 家族や知人などに運転してもらえるようになったとき | 6. 生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき |
| 7. その他 () | |

(13) 運転免許証を返納された方は、返納により日常生活で困ったことは何ですか。

また現在お持ちの方は、返納した場合に日常生活で困ると思うことは何ですか。

(○は主なもの2つまで)

- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 仕事 |
| 4. 習い事への参加 | 5. 家族等の送迎 | |
| 6. その他 () | | |

問2 お住まいの地域について

(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に○をつけてください(○は1つ)

あ		27. 高野台1～5丁目	な		ま	
1.	旭町	28. 古作1～4丁目	52.	中野木1～2丁目	76.	前貝塚町
2.	旭町1～6丁目	29. 古作町	53.	夏見1～7丁目	77.	前原西1～8丁目
3.	東町	30. 小野田町	54.	夏見台1～6丁目	78.	前原東1～6丁目
4.	市場1～5丁目	31. 小室町	55.	夏見町2丁目	79.	馬入町
5.	印内1～3丁目	32. 米ヶ崎町	56.	七林町	80.	馬入西1～3丁目
6.	印内町	33. 古和釜町	57.	習志野1～5丁目	81.	松が丘1～5丁目
7.	大穴町	さ	58.	習志野台1～8丁目	82.	丸山1～5丁目
8.	大穴北1～8丁目	34. 栄町1～2丁目	59.	西浦1～3丁目	83.	三咲1～9丁目
9.	大穴南1～5丁目	35. 咲が丘1～4丁目	60.	西習志野1～4丁目	84.	三咲町
10.	大神保町	36. 潮見町	61.	西船1～7丁目	85.	緑台1～2丁目
か		37. 芝山1～7丁目	62.	二宮1～2丁目	86.	湊町1～3丁目
11.	海神1～6丁目	38. 新高根1～6丁目	は		87.	南海神1～2丁目
12.	海神町2～3丁目	39. 神保町	63.	飯山溝町1～3丁目	88.	南本町
13.	海神町西1丁目	40. 鈴身町	64.	浜町1～3丁目	89.	南三咲1～4丁目
14.	海神町東1丁目	41. 駿河台1～2丁目	65.	東中山1～2丁目	90.	みやぎ台1～4丁目
15.	海神町南1丁目	た	66.	東船橋1～7丁目	91.	三山1～9丁目
16.	葛飾町2丁目	42. 高瀬町	67.	日の出1～2丁目	92.	宮本1～9丁目
17.	金杉1～9丁目	43. 高根台1～7丁目	68.	藤原1～8丁目	93.	本中山1～7丁目
18.	金鉢台1～2丁目	44. 高根町	69.	二子町	や	
19.	金鉢町	45. 滝台1～2丁目	70.	二和西1～6丁目	94.	八木が谷1～5丁目
20.	金堀町	46. 滝台町	71.	二和東1～6丁目	95.	八木が谷町
21.	上山町1～3丁目	47. 田喜野井1～7丁目	72.	本郷町	96.	薬町台1～6丁目
22.	北本町1～2丁目	48. 坪井町	73.	本町1～2丁目	97.	薬園台町1丁目
23.	行田1～3丁目	49. 坪井西1～2丁目	74.	本町3丁目	98.	山手1～3丁目
24.	行田町	50. 坪井東1～6丁目	75.	本町4～7丁目	99.	山野町
25.	楠が山町	51. 豊富町			わ	
26.	車方町				100.	若松1～3丁目

問3 住環境について

(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか (○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 |
|---------|---------|

(2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 持ち家 |
| 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. UR賃貸住宅 |
| 4. 公営住宅 (県営・市営) |
| 5. 高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など) |
| 6. その他 () |

【(2)において「2. 民間賃貸住宅 ~ 6. その他」と回答された方におたずねします】
 現在、あなたがお住まいの住宅の家賃 (共益費を含む) は、次のどれにあたりますか
 (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3~5万円未満 | 3. 5~7万円未満 |
| 4. 7~9万円未満 | 5. 9万円以上 | 6. その他 () |

(3) あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか (○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保証人になってくれる人がいる |
| 2. 保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる |
| 3. 保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない |
| 4. その他 () |

(4) あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか
 (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. はい (2階、もしくは2階より上にある) | 2. いいえ |
|-------------------------|--------|

【(4)において「1. はい」と回答された方におたずねします】

お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか (○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置されている | 2. 設置されていない |
|------------|-------------|

(5) あなたのお住まいの中で、不便なところがありますか (○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 和式トイレで使いにくい・寝室と同じ階にトイレがない | 2. 玄関から道路までに段差がある |
| 3. 浴室が使いにくい | 4. エレベーターがない |
| 5. 台所が使いにくい (流し、コンロなど) | 6. 断熱性能が低い |
| 7. 玄関・廊下の幅が狭い | 8. 階段が急である |
| 9. 住宅内の床に段差がある | 10. 廊下・階段などに手すりがない |
| 11. その他 (|) |
| 12. 特にない | |

(6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 可能な限り今の住まいで生活したい | 2. 今の住まいを改修して住み続けたい |
| 3. バリアフリー化された住宅に転居したい | 4. 今より家賃の安いところに転居したい |
| 5. 親族の近く (同居を含む) に転居したい | 6. 医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい |
| 7. その他 (|) |

問4 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

問5 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問6 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可) (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) あなたがふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 買い物 | 2. ごみ出し |
| 3. 食事の準備(調理など) | 4. 部屋や庭などの手入れ・掃除 |
| 5. 洗濯(乾燥、干すことも含む) | 6. 災害が起きたときの対応(避難など) |
| 7. 防犯 | 8. 家計、暮らしの経済的なこと |
| 9. 家族や親戚との関係 | 10. 近所付き合い |
| 11. 友人・知人との付き合い | 12. ふだんの話し相手 |
| 13. 病気やけが | 14. その他 () |

(8) あなたが気になったり、困ったりしていることに、どのように対応されていますか (○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自分一人でなんとか対応している |
| 2. 家族、身内に支援を受けながら対応している |
| 3. 近所の方の支援を受けて対応している |
| 4. 市役所など、行政機関に相談して対応している |
| 5. 介護保険のサービスを利用して対応している |
| 6. 介護保険以外の有料サービスなどを利用して対応している |
| 7. ボランティアを利用して対応している |
| 8. NPO 法人を利用して対応している |
| 9. やむをえずそのままにしている |
| 10. その他 () |

(9) 市では他の方の支援を受けられず、自らごみ収集ステーションにごみを出すことが困難な方に対し、市職員が戸別にごみ収集を行う事業の実施を検討しています。このような事業を実施した場合、あなたは利用したいですか（○は1つ）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい |
| 2. 自身でごみ出しができており困っていない |
| 3. 支援を受けることができるため、利用するつもりはない |

問7 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①－⑦それぞれに回答してください

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(4) 地域住民の有志によって、家事援助などのたすけあい活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいですか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(5) 上記「(4)」の活動をすると、後日換金等ができるポイントをもらえる制度があったら、利用してみたいですか（○は1つ）

1. 是非利用したい 2. 利用してもよい 3. 利用したくない

(6) あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか（○は1つ）

1. 困った時に助け合うことのできる親しい人がいる
 2. お互いに行き来する程度の人がいる
 3. 立ち話をする程度の人がいる
 4. あいさつをする程度の人がいる
 5. 近所の人とはあまり付き合いはない

問8

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
 7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他 ()	8. そのような人はいない	

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない
----------	---------	------------	---------

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○を1つ付けてください)

										と き
1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	1

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそちゅう のうしゅつけつ のうこうそくなど</small>	4. 心臓病
5. 糖尿病 <small>とうによびょう</small>	6. 高脂血症 (脂質異常) <small>こうしけつしよ ししついじょう</small>
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) <small>きんこつかく こつそ しよ</small>
11. 外傷 (転倒・骨折等) <small>がいしよ てんとう こっせつなど</small>	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 <small>めんえき</small>	14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等) <small>にんちしよ</small>	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. 歯の病気	20. その他 ()

(7) あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか (○は1つ)

1. 「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている
2. 総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている
3. 病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている
4. 滅多に病気にならないので、よくわからない
5. その他 ()

(8) あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか (○は2つまで)

1. 通院している	2. 訪問診療を受けている
3. 入院している	4. いずれも行っていない

**【(8) において「2. 訪問診療を受けている」と回答された方へおたずねします】
訪問診療で受けているものは、どのような内容ですか (○はいくつでも)**

1. 点滴	2. 経管栄養 (胃ろう等)
3. 酸素療法	4. じょくそう (床ずれ) の処置
5. 人工呼吸器	6. 導尿の管理 (カテーテル、自己)
7. 気管切開の処置	8. インスリンの自己注射
9. 痛みに対する管理 (注射、湿布、薬等)	10. 歯の治療
11. その他 ()	

問 10 介護予防・介護サービスの利用意向について

(1) あなたは、ご自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか（○は1つ）

1. 家族の介護を受けながら、自宅で生活したい
2. 介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい
3. 高齢者向け施設など（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など）に住み替えて、介護サービスを利用したい
4. 介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24時間のサービスを受けたい
5. その他（）
6. わからない

(2) あなたがご自宅で介護保険のサービスを受けるにあたって、負担できる月額（介護を受けることに伴ってかかる費用であり、日常生活に係る費用は除きます）はどの程度まで可能ですか（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 5千円未満 | 2. 5千～1万円未満 |
| 3. 1万～2万円未満 | 4. 2万～3万円未満 |
| 5. 3万～5万円未満 | 6. 5万～7万円未満 |
| 7. 7万円以上 | |

(3) 今後、もしあなたが施設に入所するとしたら、1か月間にかかる費用は総額でいくらまで負担できますか（○は1つ）

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 5万円未満 | 2. 5万～7万5千円未満 |
| 3. 7万5千～10万円未満 | 4. 10万～15万円未満 |
| 5. 15万～20万円未満 | 6. 20万円以上 |

(4) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設^{※1}」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費^{※2}は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください（○は1つ）

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

1. たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ（現在の船橋市の65歳以上の方一人あたりの平均介護保険料（基準額）は、月額で4,960円、年額で59,520円です。）
2. 介護保険料の上昇を必要最低限度に抑えられるよう、重度（要介護4・5）の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ
3. 介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ
4. その他（ ）

問 11 高齢者福祉サービスの充実について

(1) 超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか（○は1つ）

1. 地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく
2. 現状の高齢者福祉サービスについて、必要性和内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく
3. 福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく
4. その他（ ）
5. わからない

(2) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。

あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか
（それぞれ○は1つ）

①地域包括支援センター	1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない
-------------	--

②在宅介護支援センター	1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない
-------------	--

(3) 可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために、あなたはどのようなサービスが必要だと思いますか（○は3つまで）

1. 24時間対応の在宅医療の充実、推進 2. 24時間対応の訪問介護看護サービスの充実 3. 介護予防サービスの確保（筋力トレーニング、転倒骨折予防） 4. 家庭内での介護・介助者の確保 5. 介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス） 6. 介護しやすい住宅への改修 7. 高齢者向け施設の充実（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など） 8. 地域の人々の見守りや助け合い 9. ボランティアやNPOによるさまざまな生活支援 10. その他（) 11. 特にない 12. わからない
--

(4) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと考えますか（○は3つまで）

虚弱な一人暮らし・高齢者のみ世帯を対象とした

1. 緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス
2. 食事の宅配や栄養管理を行うサービス
3. 部屋の掃除等を行う援助員を派遣するサービス
4. 低所得な高齢者へのシルバーカーや電磁調理器等の給付・補聴器の購入費用を助成するサービス

介護が必要な高齢者を対象とした

5. タクシー料金を助成して外出を支援するサービス
6. 理美容師の訪問や寝具乾燥消毒車を派遣するサービス
7. 住宅のバリアフリー化のための工事費助成や無利子の貸付を行うサービス
8. 紙おむつ等を宅配により支給するサービス

その他

9. 軽運動やレクリエーションを組み入れた健康教室等の実施
10. 認知症高齢者を在宅介護する家族に代わって、支援員が見守りを行うサービス
11. 普段は元気な一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象とした、緊急時に一時的な家事援助等を行う支援員を派遣するサービス
12. 元気な高齢者が地域ボランティアとして、高齢者宅等で身の回りの援助を行うサービス
13. 身近な地域の団体(町会・自治会等)が行う、高齢者への見守り活動や地域交流を目的とした活動に対して補助金を交付する事業
14. その他 ()

(5) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

1. できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない
2. 介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき
3. 介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい
4. その他 ()
5. わからない

船橋市高齢者生活実態調査 調査票

市民の皆様におかれましては、平素より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

船橋市では、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を平成30年3月の策定に向け、作業を進めているところです。

このたび65歳以上の市民の方のうち、要介護認定を受けられている10,000人の方を無作為に選び、「船橋市高齢者生活実態調査」としてアンケートを実施することといたしました。

調査結果は、今後の高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいります。

ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年11月

船橋市長 松戸 徹

《この調査票のご記入に当たって》

- ご回答は、11月1日現在の状況でお答えください。
- この調査票では、あて名ご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある(○は1つ)(○は2つまで)(○はいくつでも)等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで()内になるべく具体的にその内容も記入してください。
- 調査は無記名です(お名前を記入いただく必要はありません)。また、お寄せいただいた回答は統計的に処理し、他の目的には使用しません。また、個人が特定される形で公表されることはございませんので、率直なご意見等ご記入ください。
- ご記入いただいたこの調査票は三つ折りにして、**12月21日(水)まで**に、**同封の返信用封筒(切手不要)**によりポストに投函してください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

- 調査票の再発送や回答の書き方に関すること(調査の趣旨以外のお問い合わせ先)
みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部(船橋市から委託されています。)
TEL 0120-453-344 [平日 9:30~17:30]
※12月29日(木)~1月4日(水)は不通となります。
(平成29年1月13日(金)以降のお問合せ:0120-145-277 [平日 9:30~17:30])
FAX 03-5281-5443
- 調査の趣旨等に関すること
船橋市役所健康福祉局 健康・高齢部 介護保険課 総務係
船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-3306(直通)(平日 9:00~17:00)
※12月29日(木)~1月3日(火)は不通となります。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
2. 代筆・代読してもらった上、あて名のご本人が記入
3. ご家族が記入
(あて名のご本人からみた続柄)
4. その他

ご回答いただいた事項の取り扱いについて

ご回答いただいた事項の管理方法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、船橋市高齢者保健福祉計画ならびに船橋市介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、船橋市が適切に管理いたします。
- 上記にご同意いただけましたら、調査票へのご記入とご返送をお願いいたします。

問 1 あなたの家族や生活状況について**(1) あなたの性別をお教えてください (○は1つ)**

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢をお教えてください (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 | 3. 75～79 歳 |
| 4. 80～84 歳 | 5. 85～89 歳 | 6. 90～94 歳 |
| 7. 95～99 歳 | 8. 100 歳以上 | |

(3) あなたの現在の要介護度はどれですか (○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 要介護 1 | 2. 要介護 2 | 3. 要介護 3 |
| 4. 要介護 4 | 5. 要介護 5 | |

(4) あなたの家族構成は次のどれですか (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 1 人暮らし | 2. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との 2 世帯 |
| 5. その他 () | |

(5) あなたの年金を含めた 1 年間の収入は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100～200 万円未満 |
| 3. 200～300 万円未満 | 4. 300～400 万円未満 |
| 5. 400～500 万円未満 | 6. 500 万円以上 |

(6) あなたは、生活費をどこから捻出していますか (○はいくつでも)

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 年金 | 2. 預貯金 | 3. 給与・事業収入 |
| 4. 不動産収入 | 5. 親族の援助 | 6. 生活保護 |
| 7. その他 () | | |

(7) あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50～150 万円未満 | 3. 150～250 万円未満 |
| 4. 250～350 万円未満 | 5. 350～500 万円未満 | 6. 500～1000 万円未満 |
| 7. 1000 万円以上 | | |

(8) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 お住まいの地域について

(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に

○をつけてください(○は1つ)

あ		27.	高野台1～5丁目	な		ま	
1.	旭町	28.	古作1～4丁目	52.	中野木1～2丁目	76.	前貝塚町
2.	旭町1～6丁目	29.	古作町	53.	夏見1～7丁目	77.	前原西1～8丁目
3.	東町	30.	小野田町	54.	夏見台1～6丁目	78.	前原東1～6丁目
4.	市場1～5丁目	31.	小室町	55.	夏見町2丁目	79.	馬入町
5.	印内1～3丁目	32.	米ヶ崎町	56.	七林町	80.	馬入西1～3丁目
6.	印内町	33.	古和釜町	57.	習志野1～5丁目	81.	松が丘1～5丁目
7.	大穴町	さ		58.	習志野台1～8丁目	82.	丸山1～5丁目
8.	大穴北1～8丁目	34.	栄町1～2丁目	59.	西浦1～3丁目	83.	三咲1～9丁目
9.	大穴南1～5丁目	35.	咲が丘1～4丁目	60.	西習志野1～4丁目	84.	三咲町
10.	大神保町	36.	潮見町	61.	西船1～7丁目	85.	緑台1～2丁目
か		37.	芝山1～7丁目	62.	二宮1～2丁目	86.	湊町1～3丁目
11.	海神1～6丁目	38.	新高根1～6丁目	は		87.	南海神1～2丁目
12.	海神町2～3丁目	39.	神保町	63.	飯山満町1～3丁目	88.	南本町
13.	海神町西1丁目	40.	鈴身町	64.	浜町1～3丁目	89.	南三咲1～4丁目
14.	海神町東1丁目	41.	駿河台1～2丁目	65.	東中山1～2丁目	90.	みやぎ台1～4丁目
15.	海神町南1丁目	た		66.	東船橋1～7丁目	91.	三山1～9丁目
16.	葛飾町2丁目	42.	高瀬町	67.	日の出1～2丁目	92.	宮本1～9丁目
17.	金杉1～9丁目	43.	高根台1～7丁目	68.	藤原1～8丁目	93.	本中山1～7丁目
18.	金鉢台1～2丁目	44.	高根町	69.	二子町	や	
19.	金鉢町	45.	滝台1～2丁目	70.	二和西1～6丁目	94.	八木が谷1～5丁目
20.	金堀町	46.	滝台町	71.	二和東1～6丁目	95.	八木が谷町
21.	上山町1～3丁目	47.	田喜野井1～7丁目	72.	本郷町	96.	薬町台1～6丁目
22.	北本町1～2丁目	48.	坪井町	73.	本町1～2丁目	97.	薬園台町1丁目
23.	行田1～3丁目	49.	坪井西1～2丁目	74.	本町3丁目	98.	山手1～3丁目
24.	行田町	50.	坪井東1～6丁目	75.	本町4～7丁目	99.	山野町
25.	楠が山町	51.	豊富町			わ	
26.	車方町					100.	若松1～3丁目

問3 住環境について

(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか (○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 |
|---------|---------|

(2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 持ち家 |
| 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. UR 賃貸住宅 |
| 4. 公営住宅 (県営・市営) |
| 5. 高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など) |
| 6. その他 () |

【(2)において「2. 民間賃貸住宅 ～ 6. その他」と回答された方におたずねします】

現在、あなたがお住まいの住宅の家賃 (共益費を含む) は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3～5万円未満 | 3. 5～7万円未満 |
| 4. 7～9万円未満 | 5. 9万円以上 | 6. その他 () |

(3) あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか (○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保証人になってくれる人がいる |
| 2. 保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる |
| 3. 保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない |
| 4. その他 () |

(4) あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------|
| 1. はい(2階、もしくは2階より上にある) | 2. いいえ |
|------------------------|--------|

【(4)において「1. はい(2階、もしくは2階より上にある)」と回答された方におたずねします】

お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置されている | 2. 設置されていない |
|------------|-------------|

(5) あなたのお住まいの中で、不便なところはありますか(○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 和式トイレで使いにくい・寝室と同じ階にトイレがない | 2. 玄関から道路までに段差がある |
| 3. 浴室が使いにくい | 4. エレベーターがない |
| 5. 台所が使いにくい(流し、コンロなど) | 6. 断熱性能が低い |
| 7. 玄関・廊下の幅が狭い | 8. 階段が急である |
| 9. 住宅内の床に段差がある | 10. 廊下・階段などに手すりがない |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にない | |

(6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. 可能な限り今の住まいで生活したい | 2. 今の住まいを改修して住み続けたい |
| 3. バリアフリー化された住宅に転居したい | 4. 今より家賃の安いところに転居したい |
| 5. 親族の近く(同居を含む)に転居したい | 6. 医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい |
| 7. その他 () | |

問4 健康について

(1) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそちゅう のうしゅっけつ・のうこうそくなど</small> | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病
<small>とうによびょう</small> | 6. 高脂血症 (脂質異常)
<small>こうしけつしやう ししついじやう</small> |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん</small> | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
<small>きんこつかく こつそ しやう</small> |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)
<small>がいしやう てんとう こっせつなど</small> | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>めんえき</small> | 14. うつ病 |
| 15. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしやう</small> | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. 歯の病気 | 20. その他 () |

(2) あなたは、介護認定を受ける前に診断もしくは治療を受けていた病気はありますか (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 高血圧 | 2. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 | 4. 糖尿病 |
| 5. 高脂血症 (脂質異常) | 6. 肝機能障害 |
| 7. 胃腸・その他消化器の病気 | 8. 高尿酸血症 |
| 9. 腎臓の病気 | 10. その他 () |
| 11. ない | |

(3) あなたは、現在、口腔ケア (歯やお口の手入れ) について行っていることはありますか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 歯みがきやうがいなど、口の中を清潔にしている | 2. 毎日、入れ歯を洗浄している |
| 3. 定期的に歯の検診を受けている | 4. その他 () |

(4) あなたは、現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか (○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|-----------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類 | 3. 3種類 |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 飲んでいない |

**(6) あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか
(○は1つ)**

1. 「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている
2. 総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている
3. 病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている
4. 滅多に病気にならないので、よくわからない
5. その他 ()

問5 要介護認定・介護保険サービス等について

(1) 要介護認定の申請が必要になった主な原因は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 | 3. がん (悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺炎等) | 5. 関節の病気 (リウマチ等) | 6. 認知症 (アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 | 9. 視覚・聴覚障害 |
| 10. 骨折・転倒 | 11. 脊椎損傷 | 12. 高齢による衰弱 |
| 13. その他 () | 14. わからない | |

(2) あなたが要介護認定を申請した理由はどれですか (○はいくつでも)

1. 介護保険サービスを利用するため
2. 介護保険施設など (特別養護老人ホームなど) の利用申込みをするため
3. 住宅改修費支給を利用するため
4. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売購入費支給を利用するため
5. 医師等から申請するように言われたため
6. 特に理由はないが、とりあえず申請した
7. 介護保険にないサービス (紙おむつの支給、食事サービス、タクシー券など) のみを利用している
8. その他 ()

（３）あなたが、利用された介護保険サービスをお答えください（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1. 訪問介護（ホームヘルプサービス） | 2. 訪問入浴介護 |
| 3. 訪問看護 | 4. 訪問リハビリテーション |
| 5. 居宅療養管理指導（医師・歯科医師等の訪問による健康管理など） | 6. 通所介護（デイサービス） |
| 7. 通所リハビリテーション（デイケア） | 8. 短期入所生活介護（ショートステイ） |
| 9. 短期入所療養介護（医療ショートステイ） | 10. 特定施設入居者生活介護 |
| 11. 福祉用具貸与 | 12. 福祉用具購入 |
| 13. 住宅改修 | 14. 認知症対応型通所介護 |
| 15. 小規模多機能型居宅介護 | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 18. 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス） |
| 19. 利用していない | |



「1.」～「18.」を選んだ方 → ①へ

「19.」を選んだ方 → 次ページの③へ

【（３）において「1.」～「18.」のいずれかのサービスを回答された方におたずねします】

①介護保険の在宅サービスを利用する際は、要介護状態区分別に保険から給付される上限額（支給限度額）が決められています。

あなたは、介護保険サービスを上限額まで利用していますか（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【（３）①において「2. いいえ」と回答された方におたずねします】

②上限額まで介護サービスを利用していない理由は何ですか（○は1つ）

- | |
|---|
| 1. 今利用しているサービスで十分であり、そもそも上限額までサービスを必要としないため |
| 2. 生活の中で、自分でできることは自分で行っているため |
| 3. 家族が介護しているので、それほど多くサービスを利用しなくてもよいため |
| 4. 上限額までサービスを使うことを必要としているが、経済的な負担が大きいため |
| 5. 現在利用しているサービス以外に、どのようなサービスを利用してよいかわからないため |
| 6. 利用したいサービスを提供する事業者がないため |
| 7. その他 |

(2) あなた（主に介護をしている方）の性別・年齢・あて名ご本人との関係（続柄等）をお答えください（それぞれについて○は1つ）

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 40歳未満	2. 40歳代	3. 50歳代	4. 60～64歳
	5. 65～74歳	6. 75～84歳	7. 85歳以上	
あて名ご本人との関係（続柄等）	1. 妻	2. 夫	3. 子	4. 子の妻
	5. 子の夫	6. 親	7. 孫	8. 兄弟姉妹
	9. 友人・知人	10. 介護サービスのヘルパー	11. その他（ ）	

(3) 本人と同居（二世帯住宅を含む）していますか（○は1つ）

1. 同居している	2. 同居していない
-----------	------------

(4) 本人の介護を始めて、どのくらいですか（○は1つ）

1. 1年未満	2. 1～2年	3. 3～4年
4. 5～7年	5. 8～9年	6. 10年以上

(5) 介護をされていてつらいとき、どこ（だれ）に相談しましたか（○はいくつでも）

1. 家族・親族	2. 近所の人・知人、友人	3. 民生委員
4. ボランティア	5. NPO法人	6. 市役所の担当窓口
7. 社会福祉協議会	8. ケアマネジャー	9. 地域包括支援センター
10. 医師・医療機関	11. 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師など	12. どこにも（誰にも）相談していない
13. 特につらいことはない	14. その他（ ）	

(6) 介護をされていて、困ったことや負担に感じたことは何ですか (○はいくつでも)

【意思疎通について】

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 本人に正確な症状を伝えるのが難しい | 2. 現在の状況を理解してもらうのが難しい |
| 3. 来客にも気を遣う | 4. 本人の言動が理解できないことがある |
| 5. 本人に受診を勧めても同意してもらえない | |

【介護の仕方について】

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 6. 適切な介護方法がわからない | 7. 症状への対応がわからない |
| 8. 徘徊するため目が離せない | 9. 介護を協力してもらえない |
| 10. 誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない | 11. 日中、家を空けるのを不安に感じる |
| 12. 介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある | 13. 介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない |
| 14. 介護することに対して、周囲の理解が得られない | |

【サービス利用について】

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 15. サービスを思うように利用できない、サービスが足りない | 16. サービスを利用したら本人の状態が悪化した (ことがある) |
| 17. サービス事業者との関係がうまくいかない | 18. ケアマネジャーとの関係がうまくいかない |

【介護者ご自身のことについて】

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 19. 自分の用事・都合をすませることができない | 20. 身体的につらい (腰痛や肩こりなど) |
| 21. 精神的なストレスがたまっている | 22. 睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない |
| 23. 自分の自由になる時間が持てない | 24. 先々のことを考える余裕がない |
| 25. 経済的につらいと感じたときがある | 26. 仕事との両立ができない |
| 27. その他 () | 28. 特に困っていることはない |

(8) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと考えますか（○は3つまで）

虚弱な一人暮らし・高齢者のみ世帯を対象とした

1. 緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス
2. 食事の宅配や栄養管理を行うサービス
3. 部屋の掃除等を行う援助員を派遣するサービス
4. 低所得な高齢者へのシルバーカーや電磁調理器等の給付・補聴器の購入費用を助成するサービス

介護が必要な高齢者を対象とした

5. タクシー料金を助成して外出を支援するサービス
6. 理美容師の訪問や寝具乾燥消毒車を派遣するサービス
7. 住宅のバリアフリー化のための工事費助成や無利子の貸付を行うサービス
8. 紙おむつ等を宅配により支給するサービス

その他

9. 軽運動やレクリエーションを組み入れた健康教室等の実施
10. 認知症高齢者を在宅介護する家族に代わって、支援員が見守りを行うサービス
11. 普段は元気な一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象とした、緊急時に一時的な家事援助等を行う支援員を派遣するサービス
12. 元気な高齢者が地域ボランティアとして、高齢者宅等で身の回りの援助を行うサービス
13. 身近な地域の団体(町会・自治会等)が行う、高齢者への見守り活動や地域交流を目的とした活動に対して補助金を交付する事業
14. その他 ()

(9) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

1. できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない
2. 介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき
3. 介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい
4. その他 ()
5. わからない

アンケートは、以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入漏れなどないか、お確かめの上、同封の返信用封筒（切手不要）にて
12月21日（水）までにご返送ください。

船橋市高齢者生活実態調査 調査票

市民の皆様におかれましては、平素より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

船橋市では、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を平成30年3月の策定に向け、作業を進めているところです。

このたび65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯の高齢者のうち、1,000人の方を無作為に選び、「船橋市高齢者生活実態調査」として訪問調査を実施することといたしました。

調査結果は、今後の高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいります。

ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年11月

船橋市長 松戸 徹

《この調査のご回答に当たって》

- ご回答は、11月1日現在の状況でお答えください。
- この調査は、できるだけご本人がお答えください。ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある(○は1つ)(○は2つまで)(○はいくつでも)等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで()内になるべく具体的にその内容も記入してください。
- 調査は無記名です(お名前を記入いただく必要はありません)。また、お寄せいただいた回答は統計的に処理し、他の目的には使用しません。なお、個人が特定される形で公表されることはございませんので、率直なご意見等ご記入ください。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

船橋市役所健康福祉局 健康・高齢部 介護保険課 総務係
船橋市湊町 2-10-25 TEL 047-436-3306 (直通) (平日 9:00~17:00)
※12月29日(木)~1月3日(火)は不通となります。

(船橋市からの業務委託先：調査結果の集計・分析担当)
みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. ご本人が記入
2. ご家族が記入
(ご本人からみた続柄)
3. その他

ご回答いただいた事項の取り扱いについて

ご回答いただいた事項の管理方法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、船橋市高齢者保健福祉計画ならびに船橋市介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、船橋市が適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- 上記にご同意いただけましたら、調査票へのご記入とご返送をお願いいたします。

問 1 あなたのご家族や生活状況について**(1) あなたの性別をお教えてください (○は1つ)**

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢をお教えてください (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65～69 歳 | 2. 70～74 歳 | 3. 75～79 歳 |
| 4. 80～84 歳 | 5. 85～89 歳 | 6. 90～94 歳 |
| 7. 95～99 歳 | 8. 100 歳以上 | |

(3) あなたの現在の要介護度等はどれですか (○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 要支援 1 |
| 2. 要支援 2 |
| 3. 介護予防・日常生活支援総合事業の対象者* |
| 4. 認定は受けていない (介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ではない) |

※介護予防・日常生活支援総合事業の対象者とは、地域包括支援センター等で「基本チェックリスト」により要支援相当と判定を受けた方です。

(4) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 1 人暮らし | 2. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との 2 世帯 |
| 5. その他 () | |

(5) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

【(5) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (○はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそつちゆう のうしゅつけつ のうこうそく</small>	2. 心臓病	3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) <small>はいきしゅ</small>	5. 関節の病気 (リウマチ等)	
6. 認知症(アルツハイマー病等) <small>にんちしょう</small>	7. パーキンソン病	8. 糖尿病 <small>とうによびょう</small>
9. 腎疾患 (透析)	10. 視覚・聴覚障害 <small>しかく ちょうかくしょうがい</small>	11. 骨折・転倒 <small>こっせつ てんとう</small>
12. 脊椎損傷 <small>せきついそんしょう</small>	13. 高齢による衰弱 <small>すいじやく</small>	14. その他
15. 不明		()

(6) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(7) あなたの年金を含めた1年間の収入は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

1. 100万円未満	2. 100～200万円未満	3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満	5. 400～500万円未満	6. 500万円以上

(8) あなたは、生活費をどこから捻出していますか (○はいくつでも)

1. 年金	2. 預貯金	3. 給与・事業収入
4. 不動産収入	5. 親族の援助	6. 生活保護
7. その他 ()		

(9) あなたの預貯金額は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

1. 50万円未満	2. 50～150万円未満	3. 150～250万円未満
4. 250～350万円未満	5. 350～500万円未満	6. 500～1,000万円未満
7. 1,000万円以上		

(10) あなたは、自動車^{*}を日常的に運転していますか。(○は1つ)

※普通免許で運転が可能な「軽自動車、普通自動車」とします。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 運転している | 2. 時々運転することがある |
| 3. 運転免許証を取得しているが運転していない | 4. 運転免許証を取得していたが自主返納した |
| 5. 運転免許証を取得したことがない | |



- | | |
|-------------------|-------------------|
| 「1.」「2.」「3.」を選んだ方 | → (11)・(12)・(13)へ |
| 「4.」を選んだ方 | → (12)・(13)へ |
| 「5.」を選んだ方 | → 次ページ問2へ |

(11) 現在、運転している方に伺います。あなたが自動車を運転する目的は何ですか。

(○は主なもの2つまで)

- | | | |
|-----------|------------|------------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 仕事 |
| 4. 旅行 | 5. 習い事への参加 | 6. 運転することが好き(趣味) |
| 7. 家族等の送迎 | 8. その他() | |

(12) 運転免許証を返納された方は、どのような時に返納を考え始めましたか。

また現在お持ちの方は、あなたがどのような状況になった時にご自身の運転免許証の返納をすべきだと考えますか。(○は主なもの2つまで)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 身体的な衰えを感じ運転に自信がもてなくなったとき | 2. 認知症と診断されるなど医師から返納を勧められたとき |
| 3. 家族や知人から運転を止められたとき | 4. 交通事故を頻繁に起こし始めたとき |
| 5. 家族や知人などに運転してもらえるようになったとき | 6. 生活をしていくなかで自動車以外の自転車などで代替が利くようになったとき |
| 7. その他() | |

(13) 運転免許証を返納された方は、返納により日常生活で困ったことは何ですか。

また現在お持ちの方は、返納した場合に日常生活で困ると思うことは何ですか。

(○は主なもの2つまで)

- | | | |
|------------|-----------|-------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 仕事 |
| 4. 習い事への参加 | 5. 家族等の送迎 | |
| 6. その他() | | |

問2 お住まいの地域について

(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に○をつけてください(○は1つ)

あ		27.	高野台1～5丁目	な		ま	
1.	旭町	28.	古作1～4丁目	52.	中野木1～2丁目	76.	前貝塚町
2.	旭町1～6丁目	29.	古作町	53.	夏見1～7丁目	77.	前原西1～8丁目
3.	東町	30.	小野田町	54.	夏見台1～6丁目	78.	前原東1～6丁目
4.	市場1～5丁目	31.	小室町	55.	夏見町2丁目	79.	馬入町
5.	印内1～3丁目	32.	米ヶ崎町	56.	七林町	80.	馬入西1～3丁目
6.	印内町	33.	古和釜町	57.	習志野1～5丁目	81.	松が丘1～5丁目
7.	大穴町	さ		58.	習志野台1～8丁目	82.	丸山1～5丁目
8.	大穴北1～8丁目	34.	栄町1～2丁目	59.	西浦1～3丁目	83.	三咲1～9丁目
9.	大穴南1～5丁目	35.	咲が丘1～4丁目	60.	西習志野1～4丁目	84.	三咲町
10.	大神保町	36.	潮見町	61.	西船1～7丁目	85.	緑台1～2丁目
か		37.	芝山1～7丁目	62.	二宮1～2丁目	86.	湊町1～3丁目
11.	海神1～6丁目	38.	新高根1～6丁目	は		87.	南海神1～2丁目
12.	海神町2～3丁目	39.	神保町	63.	飯山溝町1～3丁目	88.	南本町
13.	海神町西1丁目	40.	鈴身町	64.	浜町1～3丁目	89.	南三咲1～4丁目
14.	海神町東1丁目	41.	駿河台1～2丁目	65.	東中山1～2丁目	90.	みやぎ台1～4丁目
15.	海神町南1丁目	た		66.	東船橋1～7丁目	91.	三山1～9丁目
16.	葛飾町2丁目	42.	高瀬町	67.	日の出1～2丁目	92.	宮本1～9丁目
17.	金杉1～9丁目	43.	高根台1～7丁目	68.	藤原1～8丁目	93.	本中山1～7丁目
18.	金鉢台1～2丁目	44.	高根町	69.	二子町	や	
19.	金鉢町	45.	滝台1～2丁目	70.	二和西1～6丁目	94.	八木が谷1～5丁目
20.	金堀町	46.	滝台町	71.	二和東1～6丁目	95.	八木が谷町
21.	上山町1～3丁目	47.	田喜野井1～7丁目	72.	本郷町	96.	薬円台1～6丁目
22.	北本町1～2丁目	48.	坪井町	73.	本町1～2丁目	97.	薬園台町1丁目
23.	行田1～3丁目	49.	坪井西1～2丁目	74.	本町3丁目	98.	山手1～3丁目
24.	行田町	50.	坪井東1～6丁目	75.	本町4～7丁目	99.	山野町
25.	楠が山町	51.	豊富町			わ	
26.	車方町					100.	若松1～3丁目

問3 住環境について**(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか (○は1つ)**

- | | |
|---------|---------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 |
|---------|---------|

(2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 持ち家 |
| 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. UR賃貸住宅 |
| 4. 公営住宅 (県営・市営) |
| 5. 高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など) |
| 6. その他 () |

【(2) において「2. 民間賃貸住宅 ~ 6. その他」と回答された方におたずねします】
現在、あなたがお住まいの住宅の家賃 (共益費を含む) は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3~5万円未満 | 3. 5~7万円未満 |
| 4. 7~9万円未満 | 5. 9万円以上 | 6. その他 () |

(3) あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか (○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保証人になってくれる人がいる |
| 2. 保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる |
| 3. 保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない |
| 4. その他 () |

(4) あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. はい (2階、もしくは2階より上にある) | 2. いいえ |
|-------------------------|--------|

【(4) において「1. はい」と回答された方におたずねします】**お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか (○は1つ)**

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置されている | 2. 設置されていない |
|------------|-------------|

(5) あなたのお住まいの中で、不便なところがありますか (○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 和式トイレで使いにくい・寝室と同じ階にトイレがない | 2. 玄関から道路までに段差がある |
| 3. 浴室が使いにくい | 4. エレベーターがない |
| 5. 台所が使いにくい (流し、コンロなど) | 6. 断熱性能が低い |
| 7. 玄関・廊下の幅が狭い | 8. 階段が急である |
| 9. 住宅内の床に段差がある | 10. 廊下・階段などに手すりがない |
| 11. その他 (|) |
| 12. 特にない | |

(6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思いませんか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 可能な限り今の住まいで生活したい | 2. 今の住まいを改修して住み続けたい |
| 3. バリアフリー化された住宅に転居したい | 4. 今より家賃の安いところに転居したい |
| 5. 親族の近く (同居を含む) に転居したい | 6. 医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい |
| 7. その他 (|) |

問4 からだを動かすことについて**(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)**

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問5 食べることについて**(1) 身長・体重**

身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----------------------	----

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)**(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)**

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(4) どなたかと食事をとる機会がありますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問6 毎日の生活について**(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)**

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可) (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) あなたがふだんの生活で気になったり、困ったりしていることはありますか (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 買い物 | 2. ごみ出し |
| 3. 食事の準備(調理など) | 4. 部屋や庭などの手入れ・掃除 |
| 5. 洗濯(乾燥、干すことも含む) | 6. 災害が起きたときの対応(避難など) |
| 7. 防犯 | 8. 家計、暮らしの経済的なこと |
| 9. 家族や親戚との関係 | 10. 近所付き合い |
| 11. 友人・知人との付き合い | 12. ふだんの話し相手 |
| 13. 病気やけが | 14. その他 () |

(8) あなたが気になったり、困ったりしていることに、どのように対応されていますか (○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自分一人でなんとか対応している |
| 2. 家族、身内に支援を受けながら対応している |
| 3. 近所の方の支援を受けて対応している |
| 4. 市役所など、行政機関に相談して対応している |
| 5. 介護保険のサービスを利用して対応している |
| 6. 介護保険以外の有料サービスなどを利用して対応している |
| 7. ボランティアを利用して対応している |
| 8. NPO 法人を利用して対応している |
| 9. やむをえずそのままにしている |
| 10. その他 () |

(9) 市では他の方の支援を受けられず、自らごみ収集ステーションにごみを出すことが困難な方に対し、市職員が戸別にごみ収集を行う事業の実施を検討しています。このような事業を実施した場合、あなたは利用したいですか（○は1つ）

1. 支援を受けることができず、ごみ出しに困っているため利用したい
2. 自身でごみ出しができており困っていない
3. 支援を受けることができるため、利用するつもりはない

問7 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①－⑦それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加してい ない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(4) 地域住民の有志によって、家事援助などのたすけあい活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動にボランティアとして参加してみたいですか（○は1つ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(5) 上記「(4)」の活動をすると、後日換金等ができるポイントをもらえる制度があったら、利用してみたいですか（○は1つ）

1. 是非利用したい 2. 利用してもよい 3. 利用したくない

(6) あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか（○は1つ）

1. 困った時に助け合うことのできる親しい人がいる
2. お互いに行き来する程度の人がいる
3. 立ち話をする程度の人がいる
4. あいさつをする程度の人がいる
5. 近所の人とはあまり付き合いはない

問8

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他（ ） 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問9 健康について**(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)**

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○を1つ付けてください)

- | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|
| 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | と
き
1 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそつちゅう のうしゅつけつ のうこうそくなど</small>	4. 心臓病
5. 糖尿病 <small>とうにようびよう</small>	6. 高脂血症 (脂質異常) <small>こうしけつしよ ししついじよう</small>
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) <small>きんこっかく こつそ しよ</small>
11. 外傷 (転倒・骨折等) <small>がいしよ てんとう こっせつなど</small>	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 <small>めんえき</small>	14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等) <small>にんちしよ</small>	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. 歯の病気	20. その他 ()

(7) あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか (○は1つ)

1. 「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている
2. 総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている
3. 病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている
4. 滅多に病気にならないので、よくわからない
5. その他 ()

(8) あなたは現在、通院や訪問診療などで診療を受けていますか (○は2つまで)

1. 通院している	2. 訪問診療を受けている
3. 入院している	4. いずれも行っていない

**(9) 【(8)で「2. 訪問診療を受けている」と回答された方へおたずねします】
訪問診療で受けているものは、どのような内容ですか (○はいくつでも)**

1. 点滴	2. 経管栄養 (胃ろう等)
3. 酸素療法	4. じょくそう (床ずれ) の処置
5. 人工呼吸器	6. 導尿の管理 (カテーテル、自己)
7. 気管切開の処置	8. インスリンの自己注射
9. 痛みに対する管理 (注射、湿布、薬等)	10. 歯の治療
11. その他 ()	

(4) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設^{※1}」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費^{※2}は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください（○は1つ）

※1：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2：サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

1. たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ（現在の船橋市の65歳以上の方一人あたりの平均介護保険料（基準額）は、月額で4,960円、年額で59,520円です。）
2. 介護保険料の上昇を必要最低限度に抑えられるよう、重度（要介護4・5）の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ
3. 介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ
4. その他（ ）

問 11 高齢者福祉サービスの充実について

(1) 超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか（○は1つ）

1. 地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく
2. 現状の高齢者福祉サービスについて、必要性和内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく
3. 福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく
4. その他（ ）
5. わからない

(2) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。

あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか
(それぞれ○は1つ)

①地域包括支援センター	1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない
-------------	--

②在宅介護支援センター	1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない
-------------	--

(3) 可能なかぎり住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために、あなたはどのようなサービスが必要だと思いますか（○は3つまで）

1. 24時間対応の在宅医療の充実、推進 2. 24時間対応の訪問介護看護サービスの充実 3. 介護予防サービスの確保（筋力トレーニング、転倒骨折予防） 4. 家庭内での介護・介助者の確保 5. 介護をしている家族等への支援（休養や息抜きのためのサービス） 6. 介護しやすい住宅への改修 7. 高齢者向け施設の充実（有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など） 8. 地域の人々の見守りや助け合い 9. ボランティアやNPOによるさまざまな生活支援 10. その他（) 11. 特にない 12. わからない
--

(4) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと考えますか（○は3つまで）

虚弱な一人暮らし・高齢者のみ世帯を対象とした

1. 緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス
2. 食事の宅配や栄養管理を行うサービス
3. 部屋の掃除等を行う援助員を派遣するサービス
4. 低所得な高齢者へのシルバーカーや電磁調理器等の給付・補聴器の購入費用を助成するサービス

介護が必要な高齢者を対象とした

5. タクシー料金を助成して外出を支援するサービス
6. 理美容師の訪問や寝具乾燥消毒車を派遣するサービス
7. 住宅のバリアフリー化のための工事費助成や無利子の貸付を行うサービス
8. 紙おむつ等を宅配により支給するサービス

その他

9. 軽運動やレクリエーションを組み入れた健康教室等の実施
10. 認知症高齢者を在宅介護する家族に代わって、支援員が見守りを行うサービス
11. 普段は元気な一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象とした、緊急時に一時的な家事援助等を行う支援員を派遣するサービス
12. 元気な高齢者が地域ボランティアとして、高齢者宅等で身の回りの援助を行うサービス
13. 身近な地域の団体(町会・自治会等)が行う、高齢者への見守り活動や地域交流を目的とした活動に対して補助金を交付する事業
14. その他 ()

(5) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

1. できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない
2. 介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき
3. 介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい
4. その他 ()
5. わからない

(6) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

＜参考＞平成27年度実績

敬老記念品（購入券）	9,994万円
敬老行事交付金	1億2,058万円

① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

【概要】	77歳（喜寿）1万円分	88歳（米寿）2万円分
	99歳（白寿）3万円分	100歳以上 5万円分

1. 現在のまま継続する
2. 他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
3. 高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
4. その他（ ）

② 敬老会を実施する町会・自治会等に対しての敬老行事交付金

【概要】75歳以上の方一人につき2千円の割合で交付金額を算出し、実施費用の助成として交付

1. 現在のまま継続する
2. 他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
3. 高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
4. その他（ ）

アンケートは、以上です。ご協力ありがとうございました。

船橋市高齢者生活実態調査 調査票

市民の皆様におかれましては、平素より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

船橋市では、次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を平成30年3月の策定に向け、作業を進めているところです。

このたび40歳以上65歳未満の市民1,000人の方を無作為に選び、「船橋市高齢者生活実態調査」としてアンケート調査を実施することといたしました。

調査結果は、今後の高齢者の保健福祉や介護サービスの充実のための基礎資料として活用してまいります。

ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年11月

船橋市長 松戸 徹

《この調査票のご記入に当たって》

- ご回答は、11月1日現在の状況でお答えください。
- この調査票では、あて名ご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、またはご本人の立場に立ってお答えください。
- 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。質問文にある(○は1つ)(○は3つまで)(○はいくつでも)等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで()内になるべく具体的にその内容も記入してください。
- 調査は無記名です(お名前を記入いただく必要はありません。)また、お寄せいただいた回答は統計的に処理し、他の目的には使用しませんので、率直なご意見等ご記入ください。
- ご記入いただいたこの調査票は三つ折りにして、**12月21日(水)まで**に、**同封の返信用封筒(切手不要)によりポストに投函してください。**

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

- 調査票の再発送や回答の書き方に関すること(調査の趣旨以外のお問い合わせ先)
みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部(船橋市から委託されています。)
TEL 0120-453-344 [平日 9:30~17:30]
※12月29日(木)~1月4日(水)は不通となります。
(平成29年1月13日(金)以降のお問合せ:0120-145-277 [平日 9:30~17:30])
FAX 03-5281-5443
- 調査の趣旨等に関すること
船橋市役所健康福祉局 健康・高齢部 介護保険課 総務係
船橋市湊町2-10-25 TEL 047-436-3306(直通)(平日 9:00~17:00)
※12月29日(木)~1月3日(火)は不通となります。

ご回答いただいた事項の取り扱いについて

ご回答いただいた事項の管理方法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、船橋市高齢者保健福祉計画ならびに船橋市介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、船橋市が適切に管理いたします。
- 上記にご同意いただけましたら、調査票へのご記入とご返送をお願いいたします。

問 1 あなたの家族や生活状況について**(1) あなたの性別をお教えてください (○は1つ)**

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(2) あなたの年齢をお教えてください (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 40～44 歳 | 2. 45～49 歳 | 3. 50～54 歳 |
| 4. 55～59 歳 | 5. 60～64 歳 | |

(3) あなたの家族構成は次のどれですか (○は1つ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. 親と(自身を含む)夫婦2人 | 6. 親と(自身を含む)夫婦2人と未婚の子 |
| 7. 夫婦2人と未婚の子(1世帯) | 8. その他 () |

(4) あなたは現在、仕事をしていますか。また、どのくらいの頻度ですか (○は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日仕事についている | 2. 週に2～3日仕事についている |
| 3. 月に数日仕事についている | 4. 決まっていない |
| 5. 仕事はしていない | |

【(4)において「1. ほぼ毎日仕事についている」～「4. 決まっていない」と回答された方におたずねします】

①どのような働き方をされていますか (○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. 契約社員・派遣社員 |
| 3. 自営業・自由業 | 4. パート・アルバイト |

【(4)において「5. 仕事はしていない」と回答された方におたずねします】

②仕事をしていない理由のご家族等の介護をするためですか。また、今後の意向についてお教えてください (○は1つ)

- | |
|--|
| 1. 介護によるものではない |
| 2. 介護によるもので、今後は介護に関する支援を受け、仕事をしたい |
| 3. 介護によるもので、今後は介護に関する支援を受けたいが、仕事はしたくない |
| 4. 介護によるものだが、今後も仕事はしたくない |

(5) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問2 お住まいの地域について

(1) あなたのお住まいは、下記のうちどちらですか。当てはまる町丁名の番号に

○をつけてください(○は1つ)

あ		27. 高野台1～5丁目	な		ま	
1.	旭町	28. 古作1～4丁目	52.	中野木1～2丁目	76.	前貝塚町
2.	旭町1～6丁目	29. 古作町	53.	夏見1～7丁目	77.	前原西1～8丁目
3.	東町	30. 小野田町	54.	夏見台1～6丁目	78.	前原東1～6丁目
4.	市場1～5丁目	31. 小室町	55.	夏見町2丁目	79.	馬入町
5.	印内1～3丁目	32. 米ヶ崎町	56.	七林町	80.	馬入西1～3丁目
6.	印内町	33. 古和釜町	57.	習志野1～5丁目	81.	松が丘1～5丁目
7.	大穴町	さ	58.	習志野台1～8丁目	82.	丸山1～5丁目
8.	大穴北1～8丁目	34. 栄町1～2丁目	59.	西浦1～3丁目	83.	三咲1～9丁目
9.	大穴南1～5丁目	35. 咲が丘1～4丁目	60.	西習志野1～4丁目	84.	三咲町
10.	大神保町	36. 潮見町	61.	西船1～7丁目	85.	緑台1～2丁目
か		37. 芝山1～7丁目	62.	二宮1～2丁目	86.	湊町1～3丁目
11.	海神1～6丁目	38. 新高根1～6丁目	は		87.	南海神1～2丁目
12.	海神町2～3丁目	39. 神保町	63.	飯山満町1～3丁目	88.	南本町
13.	海神町西1丁目	40. 鈴身町	64.	浜町1～3丁目	89.	南三咲1～4丁目
14.	海神町東1丁目	41. 駿河台1～2丁目	65.	東中山1～2丁目	90.	みやぎ台1～4丁目
15.	海神町南1丁目	た	66.	東船橋1～7丁目	91.	三山1～9丁目
16.	葛飾町2丁目	42. 高瀬町	67.	日の出1～2丁目	92.	宮本1～9丁目
17.	金杉1～9丁目	43. 高根台1～7丁目	68.	藤原1～8丁目	93.	本中山1～7丁目
18.	金鉢台1～2丁目	44. 高根町	69.	二子町	や	
19.	金鉢町	45. 滝台1～2丁目	70.	二和西1～6丁目	94.	八木が谷1～5丁目
20.	金堀町	46. 滝台町	71.	二和東1～6丁目	95.	八木が谷町
21.	上山町1～3丁目	47. 田喜野井1～7丁目	72.	本郷町	96.	薬町台1～6丁目
22.	北本町1～2丁目	48. 坪井町	73.	本町1～2丁目	97.	薬園台町1丁目
23.	行田1～3丁目	49. 坪井西1～2丁目	74.	本町3丁目	98.	山手1～3丁目
24.	行田町	50. 坪井東1～6丁目	75.	本町4～7丁目	99.	山野町
25.	楠が山町	51. 豊富町			わ	
26.	車方町				100.	若松1～3丁目

問3 住環境について

(1) あなたのお住まいは、次のうちのどちらですか (○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 一戸建て | 2. 集合住宅 |
|---------|---------|

(2) あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 持ち家 |
| 2. 民間賃貸住宅 |
| 3. UR 賃貸住宅 |
| 4. 公営住宅 (県営・市営) |
| 5. 高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など) |
| 6. その他 () |

【(2)において「2. 民間賃貸住宅 ~ 6. その他」と回答された方におたずねします】

現在、あなたがお住まいの住宅の家賃 (共益費を含む) は、次のどれにあたりますか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3~5万円未満 | 3. 5~7万円未満 |
| 4. 7~9万円未満 | 5. 9万円以上 | 6. その他 () |

(3) あなたが入院、施設入所、賃貸住宅への転居等が必要になったとき、保証人や緊急連絡先になってくれる人はいますか (○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 保証人になってくれる人がいる |
| 2. 保証人になってくれる人はいないが、緊急連絡先になってくれる人がいる |
| 3. 保証人にも緊急連絡先にもなってくれる人がいない |
| 4. その他 () |

(4) あなたのお住まい(主に生活する部屋)は2階、もしくは2階より上にありますか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1. はい (2階、もしくは2階より上にある) | 2. いいえ |
|-------------------------|--------|

【(4)において「1. はい」と回答された方におたずねします】

お住まいの建物にエレベーターは設置されていますか (○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 設置されている | 2. 設置されていない |
|------------|-------------|

(5) あなたのお住まいの中で、不便なところがありますか (○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 和式トイレで使いにくい・寝室と同じ階にトイレがない | 2. 玄関から道路までに段差がある |
| 3. 浴室が使いにくい | 4. エレベーターがない |
| 5. 台所が使いにくい (流し、コンロなど) | 6. 断熱性能が低い |
| 7. 玄関・廊下の幅が狭い | 8. 階段が急である |
| 9. 住宅内の床に段差がある | 10. 廊下・階段などに手すりがない |
| 11. その他 () | |
| 12. 特にない | |

(6) あなたは、今後もずっと現在のお住まいで生活していきたいと思えますか (○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 可能な限り今の住まいで生活したい | 2. 今の住まいを改修して住み続けたい |
| 3. バリアフリー化された住宅に転居したい | 4. 今より家賃の安いところに転居したい |
| 5. 親族の近く (同居を含む) に転居したい | 6. 医療や介護が受けられる有料老人ホーム等に転居したい |
| 7. その他 () | |

問4 健康について**(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (○は1つ)**

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、一年以内に健康診断を受けましたか (○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 一年以内に受けた | 2. 受けていない |
|-------------|-----------|

【(2) において「1. 一年以内に受けた」と回答された方におたずねします】

あなたは、この1年間に健康診断の結果、医師や保健師等から次のような保健指導を受けたことがありますか (○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 生活習慣全般に関する指導 | 2. 再検査または精密検査のすすめ |
| 3. 栄養や食事に関する指導 | 4. 運動や体力に関する指導 |
| 5. 治療のための受診のすすめ | 6. その他 () |
| 7. 保健指導を受けたことはない | |

(3) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) <small>のうそっちゅう のうしゅっけつ・のうこうそくなど</small>	4. 心臓病
5. 糖尿病 <small>とうによびょう</small>	6. 高脂血症 (脂質異常) <small>こうしけっしょう ししついじょう</small>
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 <small>じんぞう ぜんりつせん</small>	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) <small>きんこつかく こつそ</small>
11. 外傷 (転倒・骨折等) <small>がいしやう てんとう こっせつなど</small>	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気 <small>けつえき めんえき</small>	14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等) <small>にんちしやう</small>	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. 歯の病気	20. その他 ()

(4) あなたは、ふだんから健康や介護予防のために気をつけていることはありますか (○はいくつでも)

1. 栄養バランスや、かむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている (歯みがき、うがいなど)
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている (夜更かしをしないなど)
5. たばこをやめた、または吸っていない
6. お酒を飲みすぎない
7. 読み書きや計算など、頭を使う作業に取り組んでいる
8. 定期的に健康診断を受けている
9. かかりつけの医師 (主治医) に定期的に診てもらっている
10. 気持ちをできる限り明るく保っている
11. 休養や睡眠を十分にとっている
12. その他 ()
13. 特にない

**(5) あなたの健康について、いろいろと相談できる「かかりつけ医」をお持ちですか
(○は1つ)**

1. 「かかりつけ医」と言えるお医者さんを近所に持っている
2. 総合病院に「かかりつけ医」のようにみてもらっている
3. 病院・医院を特定せず、その時々のお医者さんにみてもらっている
4. 滅多に病気にならないので、よくわからない
5. その他 ()

問5 地域での活動について

(1) あなたは、現在、ボランティア活動をしていますか (○は1つ)

1. ボランティア活動をしている
2. していないが、今後はやりたい
3. していないし、今後やるつもりはない

**(2) あなたが今後参加するとしたら (すでに参加している場合は続けるとしたら)
どのようなボランティアが考えられますか (○はいくつでも)**

1. 地域の行事
2. 趣味やスポーツなどの指導
3. 環境美化やリサイクル活動
4. 交通安全や防犯に関する活動
5. 子どもや子育て中の親を支援する活動
6. 家事援助などのたすけあい活動
7. 授業の指導や、児童・生徒の見守りなど、学校を支援する活動
8. 高齢者・障害者を支援する活動
9. 自然を保護する活動
10. その他 ()
11. 特にない

(3) あなたは、ふだん地域の活動などに参加されていますか (○はいくつでも)

1. 祭り・行事
2. 町会・自治会・地区社会福祉協議会等の活動
3. サークル・自主グループ (年齢を問わない住民グループ)
4. 高齢者によるサークル・自主グループ
5. その他 ()
6. 参加していない

【(3) において「6. 参加していない」と回答された方におたずねします】

地域の活動に参加する上での支障はありますか。ある場合、何が変われば参加できるようになりますか (○は1つ)

1. ない 2. ある → (具体的に)

(4) 仕事や地域の活動などを通じて、社会とかかわる活動の場があると感じていますか (○は1つ)

1. 感じている 2. やや感じている 3. どちらとも言えない 4. 感じていない

(5) あなたの近所付き合いの状況は、どれに近いですか (○は1つ)

1. 困った時に助け合うことのできる親しい人がいる 2. お互いに行き来する程度の人がいる
3. 立ち話をする程度の人がいる 4. あいさつをする程度の人がいる
5. 近所の人とはあまり付き合いはない

(6) もし、あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったら、近所の人に手助けをしてほしいことはどのようなことですか (○は3つまで)

1. 安否確認の声かけ 2. 話し相手 3. 悩み事、心配事の相談
4. 買い物・ごみ出し等簡単な家事の手伝い 5. 食事の提供、調理の手伝い 6. 家のまわりの掃除
7. 通院等外出時の付き添い 8. 自治会の掃除当番等の軽減 9. 短時間の留守番
10. 災害時の避難支援 11. その他 () 12. 特にない

(7) もし、あなたの近所に日常生活が不自由で困っている高齢者の方がいたら、あなたにできる手助けはどのようなことですか (○は3つまで)

1. 安否確認の声かけ 2. 話し相手 3. 悩み事、心配事の相談
4. 買い物・ごみ出し等簡単な家事の手伝い 5. 食事の提供、調理の手伝い 6. 家のまわりの掃除
7. 通院等外出時の付き添い 8. 自治会の掃除当番等の軽減 9. 短時間の留守番
10. 災害時の避難支援 11. その他 () 12. 特にない

問 6 介護や高齢者施策などについて

(1) あなたは、介護保険制度についてどの程度ご存じですか (○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. よくわかっている | 2. ある程度わかっている | 3. あまりわかっていない |
| 4. ほとんどわかっていない | 5. どちらともいえない | |

(2) あなたは、ご自身が介護を必要とする状態になったとき、どのような介護を受けたいと思いますか (○は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1. 家族の介護を受けながら、自宅で生活したい | |
| 2. 介護保険の在宅サービスを利用しながら、自宅で生活したい | |
| 3. 高齢者向け施設など (有料老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付高齢者向け住宅など) に住み替えて、介護サービスを利用したい | |
| 4. 介護保険で利用できる特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに入所・入院して、24 時間のサービスを受けたい | |
| 5. その他 () | |
| 6. わからない | |

(3) 高齢期を過ごされる場所として、「住み慣れた自宅」と並んで「介護保険施設^{※1}」というニーズが多くあります。

現在の介護保険制度では、ご自宅で介護サービスを利用される場合に比べ、介護保険施設の保険給付費^{※2}は高額になっており、みなさんの介護保険料や税負担に与える影響も大きくなっています。以下のうち、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください (○は1つ)

※1 : 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

※2 : サービスを利用した場合、保険で給付され、1割または2割が自己負担になります。介護保険施設においては在宅サービスに比べ、一人当たり約2.6倍の保険給付費が生じています。

- | |
|---|
| 1. たとえ介護保険料が上昇しても、施設入所を希望する方が入所できるように介護保険施設を整備すべきだ (現在の船橋市の65歳以上の方一人あたりの平均介護保険料 (基準額) は、月額で4,960円、年額で59,520円です) |
| 2. 介護保険料の上昇を必要最低限度に抑えられるよう、重度 (要介護4・5) の方や、身寄りのない高齢者の方に限って入所できるように、介護保険施設を整備すべきだ |
| 3. 介護保険料がこれ以上上昇しないよう、施設を整備するよりも、在宅サービスの充実に力を注ぐべきだ |
| 4. その他 () |

(4) 介護保険では、全国一律のサービス（訪問介護やデイサービスなど）とは別に、市町村特別給付として市町村ごとに独自のサービスを追加することも可能ですが、その財源は介護保険料となります。この市町村特別給付について、以下のうち、あなたのお考えに近いものはどれですか（○は1つ）

1. できるだけサービスの種類を増やして、市の介護保険を充実させてほしい。そのための介護保険料の上昇はやむを得ない
2. 介護保険料の上昇はなるべく抑えてほしい。その上で、必要なサービスであれば追加すべき
3. 介護保険料が多少でも上昇するのであれば、市町村特別給付は行わないでほしい
4. その他（)
5. わからない

(5) 超高齢社会を迎え、あなたは、これからの高齢者福祉サービスがどうあるべきだと考えますか（○は1つ）

1. 地域住民の連携を深め、身近な地域の支えあいを中心となって高齢者福祉を担っていく
2. 現状の高齢者福祉サービスについて、必要性和内容を再検討し、より効果的なサービスに転換していく
3. 福祉はできる限り行政が行うことを基本とし、高齢者福祉サービスを拡大していく
4. その他（)
5. わからない

(6) 船橋市では、介護保険サービス以外にも、在宅高齢者へのさまざまな福祉サービスを行っています。あなたは、今後どのサービスを充実していくべきだと思いますか（○は3つまで）

虚弱な一人暮らし・高齢者のみ世帯を対象とした

1. 緊急時に対応が図れる装置の貸与や定期的な電話・訪問による安否確認を行うサービス
2. 食事の宅配や栄養管理を行うサービス
3. 部屋の掃除等を行う援助員を派遣するサービス
4. 低所得な高齢者へのシルバーカーや電磁調理器等の給付・補聴器の購入費用を助成するサービス

介護が必要な高齢者を対象とした

5. タクシー料金を助成して外出を支援するサービス
6. 理美容師の訪問や寝具乾燥消毒車を派遣するサービス
7. 住宅のバリアフリー化のための工事費助成や無利子の貸付を行うサービス
8. 紙おむつ等を宅配により支給するサービス

その他

9. 軽運動やレクリエーションを組み入れた健康教室等の実施
10. 認知症高齢者を在宅介護する家族に代わって、支援員が見守りを行うサービス
11. 普段は元気な一人暮らし・高齢者のみの世帯を対象とした、緊急時に一時的な家事援助等を行う支援員を派遣するサービス
12. 元気な高齢者が地域ボランティアとして、高齢者宅等で身の回りの援助を行うサービス
13. 身近な地域の団体(町会・自治会等)が行う、高齢者への見守り活動や地域交流を目的とした活動に対して補助金を交付する事業
14. その他 ()

(7) 現在、船橋市では敬老に関して2つの事業を行っています。あなたは今後この事業についてどのようにあるべきと考えますか（それぞれ○は1つ）

＜参考＞平成27年度実績

敬老記念品（購入券）	9,994万円
敬老行事交付金	1億2,058万円

① 節目の年齢を迎えた方への敬老記念品（購入券）

【概要】

77歳（喜寿）	1万円分	88歳（米寿）	2万円分
99歳（白寿）	3万円分	100歳以上	5万円分

1. 現在のまま継続する
2. 他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
3. 高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
4. その他（)

② 敬老会を実施する町会・自治会等に対する敬老行事交付金

【概要】75歳以上の方一人につき2千円の割合で交付金額を算出し、実施費用の助成として交付

1. 現在のまま継続する
2. 他の高齢者福祉事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
3. 高齢者福祉事業に限定せず、他の事業の充実のため、事業の縮小や廃止等の見直しをする
4. その他（)

(8) あなたは、将来の生活についてどのような不安がありますか（○はいくつでも）

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 老後の年金などの収入 | 2. だまされたり犯罪に巻き込まれる |
| 3. おおきな病気やけが | 4. 寝たきりや体の自由がきかなくなる |
| 5. 孤独死 | 6. 認知症になり物事の判断がつかなくなる |
| 7. 親や身内の介護 | 8. 老老介護 |
| 9. 介護をうけるための移転 | 10. 介護のための離職 |
| 11. その他（) | |

(9) 船橋市では、高齢者のみなさんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症のことなど様々な相談にお応えする『地域包括支援センター』（10カ所）と、その協働機関として、身近な地域で相談ができる『在宅介護支援センター』（19カ所）を設置しています。

あなたは、これらの施設のことをご存じですか。また、利用したことがありますか
(それぞれ○は1つ)

①地域包括支援センター

1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない

②在宅介護支援センター

1. 利用している・利用したことがある 2. 利用したことはないが、名前だけは知っている 3. 知らない

アンケートは、以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入漏れなどないか、お確かめの上、同封の返信用封筒（切手不要）にて
12月21日（水）までにご返送ください。

船橋市高齢者生活実態調査 報告書

平成29年3月

発行：船橋市 健康福祉局 健康・高齢部 介護保険課

〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号

電話 047-436-3306 fax 047-436-3307

ホームページアドレス <http://www.city.funabashi.lg.jp/>